第五六　蠶絲業ニ關スル參考資料　第三次　五三一
第五七　世界之蠶絲業竝人造絹絲業　第三次　七五イ
第五八　東北地方ノ稻作ノ豐凶ト海流トノ關係　其一（齋藤吉三郎）　三八　一四、二　三七三
第五九　地主ノ農事ニ關スル施設事例
第六〇　肥料概覽
第六一　蠶兒普通育條桑育比較經濟調査
第六二　日本內地ニ於ケル乳製品ト肉製品　大正三年
第六三　農業關係重要品輸出入累年對照表
第六四　糖業概覽
第六五　東北地方ノ稻作ノ豐凶ト海流トノ關係　其二（齋藤吉三郎）
第六六　本邦牧場一斑
第六七　本邦養蜂業一斑
第六八　町村農會經營事例
第六九　和牛ニ關スル調査
第七〇　天然藍ニ關スル調査
第七一　日本內地ニ於ケル乳製品ト肉製品　大正四年
第七二　東北地方ノ稻作ノ豐凶ト海流トノ關係　其三（齋藤吉三郎）
第七四　大豆其他ノ豆類ニ關スル調査
第七五　本邦ニ於ケル乳製品ト肉製品　大正五年
第七六　糖業概覽
第七七　東北地方ノ稻作ノ豐凶ト海流トノ關係　其四（齋藤吉三郎）
第七八　本邦ニ於ケル乳製品ト肉製品　大正六、七年
同　第二八、二九、三一、三三、七五　大正三、八　五　三一　七五イ
第二八　日本園藝業概覽
第二九　日本肥料概覽
第三一　茶業概覽
農務局報　農商務省農務局編　大正四至一五　三八　一四、二　三七三
第一號　柑橘類より枸櫞酸を製造する方法　其ノ一（鈴木梅太郎）
第二號　米麥品種改良ニ關スル參考資料
第三號　柑橘類より枸櫞酸を製造する方法　其二
第四號　米穀貯藏ニ關スル參考資料（川崎一郎）
第五號　道廳府縣に於ける米麥品種改良事業要覽
第六號　主要食糧農產物改良增殖奬勵ニ關スル參考資料
第七號　桑園ニ關スル調査
第八號　茶業要覽
第九號　穀物倉庫ノ建築要綱（高木源之助）
第一〇號　天蠶柞蠶ノ微粒子病ニ關スル調査
第一一號　府縣に於ける米麥多收穫共進會に關する規則一覽
第一二號　主要食糧農作物品種改良事業要覽
第一三號　籾殼を燃料に用うる方法
第一四號　日本內地ニ於ケル乳製品ト肉製品　大正三年
第一五號　主要食糧農產物ノ生產貿易及市價要覽
第一六號　肥料要覽
第一七號　園藝業要覽
第一八號　糖業要覽
第一九號　稻二化性螟蟲驅除豫防奬勵指針
第二〇號　大豆其ノ他豆類要覽
第二一號　茶業統計摘要
第二三號　園藝業ニ關スル組合事例　其ノ一
第二五號　道府縣ニ於ケル大正十年產米中著シク品質ヲ劣變スルコトナク夏越可能ノ見込アルモノノ內最低位ト認メラレタル玄米ノ水分檢定成績
第二六號　蒟蒻ニ關スル調査
第二七號　主要食糧農產物改良增殖奬勵規則ニ依リ奬勵金ヲ交付シタル事業要覽
第二八號　肥料要覽
第二九號　糖業要覽
第三〇號　麥其ノ他穀物要覽
第三二號　肥料要覽
第三三號　糖業要覽
第三四號　糖業要覽
第三五號　主要工藝農產物要覽
第三六號　園藝要覽
第三七號　茶業要覽
第三八號　豆類要覽
第三九號　甘藷馬鈴薯及澱粉要覽
第四〇號　肥料要覽
第四一號　糖業要覽
第四二號　穀物檢查事業要覽　第一號
第四三號　穀物檢查事業要覽　第二號
第四四號　穀物檢查事業要覽
第四五號　主要食糧農產物改良增殖奬勵事業要覽
第四六號　穀物檢查事業要覽　第三號

第四七號　肥料改良奬勵事業ニ關スル調査
第四八號　主要販賣肥料ニ關スル調査
能面大觀　上卷　齋藤芳之助　大正九　一〇　四二〇　六六
能面之圖　寫本　特一〇　さ　二六
濃陽諸士傳記　黑川眞道編（國史叢書ノ內　大正四）　三四〇　三る
農喩　鈴木正長（日本經濟叢書卷一七ノ內　大正四）　三四六　一八
農用機具學　稻垣乙丙、杉原清一　大正一四　一　五二七　一三一
農用氣象學講義　中村鐵太郎（農學講義大全ノ內　大正元）　三二六　二九
農用化學分析　吉村清尙　增訂四版　大正三　一　三〇　四四九イ
農用昆蟲學講義　桑名伊之吉　大正七　一　三七一　一一四
同　增訂　大正一四　一　三七一　一一四イ
農用種子學　橫井時敬（橫井博士全集第一卷ノ內　大正一四）　五二〇　三
同　特　五二〇　三イ
農用博物學講義　今村猛雄、小倉延定（農學講義大全ノ內　大正元）　三二六　二九
農用無機化學講義　河村椅八（農學講義大全ノ內　大正元）　三二六　二九
農用藥劑學　內田郁太、野口德三　大正一四　一　五三七　一三
能率及保健調査資料　東京市電氣局調査課編　大正一二　二　一四六ハ　一七三
第一輯　大正從業員の疾病調査
第二輯　大正七年初より同九年末に至る從業員の疾病調査
能率學講話　神長倉眞民　大正一三　一　五二八　二九
能率學者の旅日記　上野陽一　大正一四　一　五三三　一七三

能率研究　能率增進研究會發行（第一、二號（大正一二年六、七月）、第三號（大正一二年八月）ヨリ「能率增進研究」ト改題）　雜四九　五一
能率研究人間工學　田中寬一　訂五版　大正一四　一　三八七　二〇九イ
能率實施法講話　宇野信三　大正一五　一　五六三　三八
能率增進　エフイシエンシー社發行（第二卷第七號（大正七年七月）至第三卷第四號（大正八年四月））　雜四九　五〇
能率增進一家無駄省略法　東鄕昌武　大正四　一　三五六　一二六
能率增進科學的經營法　池田藤四郎　大正二（科學的經營叢書第一編）　一　五二五　七三
能率增進科學的工場經營法　上、下　中外產業調査會能率研究部編　大正一三　二　五一〇　九二
能率增進科學的事務管理法　中外產業調査會能率研究部編　大正一三　一　五一〇　八六
能率增進研究　同會發行　第三號（大正一二年八月）至第八號（大正一三年一二月）〔「能率研究」ノ改題〕　雜四九　五一
能率增進工場設備　勝田一　再版　大正七　一　三七一　八四
能率增進事業經營之新勢　依田信太郎　大正三　一　三四九　三八九
能率增進通俗圖解能率增進と人の成功　（立身出世の近道）　近藤留藏　大正一三　一　五一〇　一九
能率增進の原理と其應用　太田欽吾　大正一五　一　五二五　三〇〇
能率增進の實際　生田長江（最新學藝叢書第一〇編）　大正九　一　三八九　三
能率增進の實際　ビー・エー・フランクリン著　下中彌三郎譯　大正七　一　三六一　二五七
能率增進の科學的始末法報告書　中外商業調査會編〔大正一二〕　一〇　五一〇　四八
第一冊　オッフイス事務管理法
第二冊　使用人の心理及ストライキ鎭撫策
第三冊　賃請仕事の組織及監督法
第四冊　工場管理法
第五冊　使用人及職工訓練待遇法
第六冊　產業上の病氣及危險防止法

	冊	函	號
第七冊　家庭に於ける無駄節約法	一	五三七	七〇
第八冊　無駄と廢物の問題			
第九冊　個人能力充實法	一	二六三（四）	五九
第一〇冊　生産費節約問題			
能率中心工業材料の管理及檢査　小原龜太郎　大正一四	一	五三七	七〇
能率中心珠算教授法　岡田藤十郎　大正八	一	二六三（四）	五九
能率調査資料　農商務省工務局編　大正一三	一	一四五	九七
一　工場廣埃ノ作業者ニ及ボス影響			
能率展覽會誌　愛知縣能率研究會編　大正一五	一	五一八	三三五
能率展覽會誌　同會編　大正一三	一	五〇九	一二六
同	一	五〇九	一二六（イ）
能率の研究　大阪市民博物館編　大正一二	一	五一〇	五四
能率の心理學的研究　松本亦太郎（復興叢書第五輯ノ内大正一三）	五一〇		三
能率の增進　黒田又吉（南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局社友會文藝部ニ講演集ノ内　大正一四）	五二四		三二六
能率本位原價計算法　渡部義雄　大正一五	一	五六三	五九
能率本位時間の活用　蕭川忠雄　大正五	一	三六三	二六
能率より見たる倉庫及物品材料格納保存法　亘理繁一　大正一五	一	五四七	一五八
能率より見たる勞銀支拂法　神田孝一　大正一四（工場能率資料第五輯）	一	五三七	一四三
能力充實三百萬圓改革物語　池田藤四郎編　大正四	一	三九	五六六
能力增進上最良の室内照明法　大塚政長編　大正九（マツダ叢書第一編）	一	三九	二六
能力の研究　ドレッサー著　大日本文明協會譯　大正六（大日本文明協會刊行書第四期第二一卷）	一	三五	三一
能力への道　ジョン・バウロ著　松本益吉譯　大正七	一	三五	三八
農林業增收策　炭酸肥料講話　鏑木德二、庵原良介　大正一四	一	五四一	一〇一
〔農林省〕園藝試驗場報告　同場編（〔農商務省〕園藝試驗場調査報告ノ改題）　大正一一至一五	一	一四三（イ）	五四七
第三號　柑橘の根接に就て（谷川利善、上林諭一郎）			
第四號　柑橘の砧木に關する試驗成績（高橋郁郎編）			
第五號　萊陽梨、附鴨梨（大崎守）			
第六號　溫州蜜柑の不揮發性有機酸に就て（岩崎康男）			
〔農林省〕蠶業試驗場彙報　同場編（〔農商務省〕蠶業試驗場彙報ノ改題）　大正一四、一五	二	一四三（イ）	三六九（イ）
第二七號　桑樹の新害蟲に就て（第一報）（大澤孝三）			
第二八號　繭絲纖度に就て（第一報）（藤山周一）			
第二九號　新に配付せる夏秋蠶用原蠶種竝其交雜種の試驗成績（同場編）			
第三〇號　冬枯と桑の品種（山内爲壽）桑の品種試驗成績（鈴木廣吉）			
同（熊本支場の分）（松本俊造、深田亮平）			
蠶卵の電氣孵化に關する試驗（田村郡重）			
第三一號　大正十四年養蠶作柄に關する調査（同編）			
第三二號　繭の檢査及格付法の研究（第一報）			
第三三號　繭の絲長、絲量及纖度の測定法に就て（吉澤彌吾）			
繭の檢査及格付法の研究（第二報）			
繭の口緣檢査法に就て（同）			
桑緒分業繰絲法に就て（同）			
桑樹の簡易接木法（其二）（菊池助松、松本城隆）			
第三四號			
〔農林省〕蠶業試驗場事績報告　第一〇回　同場編　大正一四	一	一四三（イ）	三六九（ロ）
〔農林省〕蠶業試驗場報告　同場編（〔農商務省〕蠶業試驗場報告ノ改題）　大正一四、一五	二	一四三（イ）	三六九
第六卷第一〇號　桑葉炭水化物ノ榮養的價値ニ關スル研究（第一報）蠶ニヨル炭水化物攝取利用ノ經路並炭水化物增給ノ影響ニ就テ（平塚英吉）			
第一一號　X線ノ蠶ニ及ボス影響（勝木喜蕾）			
第一二號　蠶兒飼育法試驗（第二報）試驗ニ使用セシ恒溫恒濕裝置ニ就テ（柳町政之助）			
第一九號　北米産輸入材ノ粘性ニ就テ（森三郎）膠著劑「カゼイン」膠ノ固著力ノ減失ト其原因竝之カ防止ニ就テ（泉谷太）「トビカツヲブシムシ」膠ノ形態並ニ生活史（同）「トビカツヲブシムシ」及「コクヌストモドキ」ノ異常乾高濕ニ對スル抵抗力（同）			
第三號　製絲用水ノ水素イオン濃度ニ關スル研究（渡邊綱男）			
第四號　窒素施肥量ヲ異ニスル桑葉ノ飼料的價値（第二報）八月飼育蠶ニ就テ觀察（平塚英吉）			
第五號　家蠶ノ絹質物分泌ニ就テ（町田次郎）			
第六號　桑葉ノういたみん含有量ニ就テ（若栄俊雄）			
農林省指定廿藷肥料試驗成績　第一報　埼玉縣立農事試驗場編　大正一五	一	一四三（イ）	五六二
農林省指定ヨル廿藷馬鈴薯及雜穀ニ關スル試驗成績　愛媛縣立農事試驗場編　大正一五	一	三三七	三八三
農林省職員錄　大正一四、一五年　大正一四、一五　農林大臣官房秘書課編	二	一四一	一二七
〔農林省〕畜產試驗場要覽（十年一）　同場編　大正一五	一	一四三（イ）	四八四（イ）
農林省統計表　第一、二次（大正一三、一四年）　農林大臣官房統計課編　大正一五	二	一四四	七三〇
〔農林省〕林業試驗彙報　農林省林業試驗場編　大正一四、一五	二	一四三（イ）	一三五（ロ）
〔（農商務省）林業試驗彙報ノ改題〕			
第一七號　林地播種造林ニ關スル試驗（弓崎貞夫）かし類山行苗整理方法ノ生育ニ及ボス影響（林泰治）			
原野ノ灌木除去ニ關スル試驗（大迫元雄）きいろこがねノ成蟲驅除試驗（肱黒友三）硫黄島ノ地熱ト植物ニ就テ（豐島知清）			
第一八號　根切蟲ノ藥劑的驅除試驗（肱黒友三）動物質膠ノ溶解溫度ト加熱時間カ固著力ニ及ホス影響（泉谷太）一齊同齢林ノ樹高曲線及材積曲線ノ研究竝常數法ニヨル材積表調製（麻生誠）			
農林省林業試驗場編　大正一四、一五	二	一四三（イ）	一三五（ロ）
〔（農商務省）林業試驗彙報ノ改題〕			
第一七號　林地播種造林ニ關スル試驗（弓崎貞夫）かし類山行苗整理方法ノ生育ニ及ボス影響（林泰治）			
原野ノ灌木除去ニ關スル試驗（大迫元雄）きいろこがねノ成蟲驅除試驗（肱黒友三）硫黄島ノ地熱ト植物ニ就テ（豐島知清）			
第一八號　根切蟲ノ藥劑的驅除試驗（肱黒友三）動物質膠ノ溶解溫度ト加熱時間カ固著力ニ及ホス影響（泉谷太）一齊同齢林ノ樹高曲線及材積曲線ノ研究竝常數法ニヨル材積表調製（麻生誠）			
〔農林省〕林業試驗彙報　大正一四、一五	二	一四三（イ）	一三五（ロ）
第七卷第一號　桑ノ野螟蛾ノ研究（一）（形態、生活史及習性）（横山桐郎）	一	一四三（イ）	五六二
第二號　日本産鰾節蟲ノ研究（一）「トビカツヲブシムシ」ノ形態並ニ生活史（同）「トビカツヲブシムシ」及「コクヌストモドキ」ノ異常乾高濕ニ對スル抵抗力（同）			
第三號　製絲用水ノ水素イオン濃度ニ關スル研究（渡邊綱男）			
第四號　窒素施肥量ヲ異ニスル桑葉ノ飼料的價値（第二報）八月飼育蠶ニ就テ觀察（平塚英吉）			
第五號　家蠶ノ絹質物分泌ニ就テ（町田次郎）			
第六號　桑葉ノういたみん含有量ニ就テ（若栄俊雄）			
農林省指定廿藷肥料試驗成績　第一報　埼玉縣立農事試驗場編　大正一五	一	一四三（イ）	五六二
農林省指定ヨル廿藷馬鈴薯及雜穀ニ關スル試驗成績　愛媛縣立農事試驗場編　大正一五	一	三三七	三八三
農林省職員錄　大正一四、一五年　大正一四、一五　農林大臣官房秘書課編	二	一四一	一二七
〔農林省〕畜產試驗場要覽（十年一）　同場編　大正一五	一	一四三（イ）	四八四（イ）
農林省統計表　第一、二次（大正一三、一四年）　農林大臣官房統計課編　大正一五	二	一四四	七三〇
〔農林省〕林業試驗彙報　農林省林業試驗場編　大正一四、一五	二	一四三（イ）	一三五（ロ）
〔（農商務省）林業試驗彙報ノ改題〕			
第一七號　林地播種造林ニ關スル試驗（弓崎貞夫）かし類山行苗整理方法ノ生育ニ及ボス影響（林泰治）			
原野ノ灌木除去ニ關スル試驗（大迫元雄）きいろこがねノ成蟲驅除試驗（肱黒友三）硫黄島ノ地熱ト植物ニ就テ（豐島知清）			
第一八號　根切蟲ノ藥劑的驅除試驗（肱黒友三）動物質膠ノ溶解溫度ト加熱時間カ固著力ニ及ホス影響（泉谷太）一齊同齢林ノ樹高曲線及材積曲線ノ研究竝常數法ニヨル材積表調製（麻生誠）			
農林省林業試驗場編　大正一四、一五	二	一四三（イ）	一三五（ロ）
〔（農商務省）林業試驗彙報ノ改題〕			
第一七號　林地播種造林ニ關スル試驗（弓崎貞夫）かし類山行苗整理方法ノ生育ニ及ボス影響（林泰治）			
原野ノ灌木除去ニ關スル試驗（大迫元雄）きいろこがねノ成蟲驅除試驗（肱黒友三）硫黄島ノ地熱ト植物ニ就テ（豐島知清）			
第一八號　根切蟲ノ藥劑的驅除試驗（肱黒友三）動物質膠ノ溶解溫度ト加熱時間カ固著力ニ及ホス影響（泉谷太）一齊同齢林ノ樹高曲線及材積曲線ノ研究竝常數法ニヨル材積表調製（麻生誠）			
〔農林省〕林業試驗彙報　大正一四、一五	二	一四三（イ）	一三五（ロ）
第七卷第一號　桑ノ野螟蛾ノ研究（一）（形態、生活史及習性）（横山桐郎）	一	一四三（イ）	五六二
第二號　日本産鰾節蟲ノ研究（一）「トビカツヲブシムシ」ノ形態並ニ生活史（同）「トビカツヲブシムシ」及「コクヌストモドキ」ノ異常乾高濕ニ對スル抵抗力（同）			
第三號　製絲用水ノ水素イオン濃度ニ關スル研究（渡邊綱男）			
第四號　窒素施肥量ヲ異ニスル桑葉ノ飼料的價値（第二報）八月飼育蠶ニ就テ觀察（平塚英吉）			
第五號　家蠶ノ絹質物分泌ニ就テ（町田次郎）			
第六號　桑葉ノういたみん含有量ニ就テ（若栄俊雄）			
農林省指定廿藷肥料試驗成績　第一報　埼玉縣立農事試驗場編　大正一五	一	一四三（イ）	五六二
農林省指定ヨル廿藷馬鈴薯及雜穀ニ關スル試驗成績　愛媛縣立農事試驗場編　大正一五	一	三三七	三八三
農林省職員錄　大正一四、一五年　大正一四、一五　農林大臣官房秘書課編	二	一四一	一二七
〔農林省〕畜產試驗場要覽（十年一）　同場編　大正一五	一	一四三（イ）	四八四（イ）
農林省統計表　第一、二次（大正一三、一四年）　農林大臣官房統計課編　大正一五	二	一四四	七三〇
〔農林省〕林業試驗彙報　農林省林業試驗場編　大正一四、一五	二	一四三（イ）	一三五（ロ）
〔（農商務省）林業試驗彙報ノ改題〕			
第一七號　林地播種造林ニ關スル試驗（弓崎貞夫）かし類山行苗整理方法ノ生育ニ及ボス影響（林泰治）			
原野ノ灌木除去ニ關スル試驗（大迫元雄）きいろこがねノ成蟲驅除試驗（肱黒友三）硫黄島ノ地熱ト植物ニ就テ（豐島知清）			
第一八號　根切蟲ノ藥劑的驅除試驗（肱黒友三）動物質膠ノ溶解溫度ト加熱時間カ固著力ニ及ホス影響（泉谷太）一齊同齢林ノ樹高曲線及材積曲線ノ研究竝常數法ニヨル材積表調製（麻生誠）			
農林省林業試驗場編　大正一四、一五	二	一四三（イ）	一三五（ロ）
〔（農商務省）林業試驗彙報ノ改題〕			
第一七號　林地播種造林ニ關スル試驗（弓崎貞夫）かし類山行苗整理方法ノ生育ニ及ボス影響（林泰治）			
原野ノ灌木除去ニ關スル試驗（大迫元雄）きいろこがねノ成蟲驅除試驗（肱黒友三）硫黄島ノ地熱ト植物ニ就テ（豐島知清）			
第一八號　根切蟲ノ藥劑的驅除試驗（肱黒友三）動物質膠ノ溶解溫度ト加熱時間カ固著力ニ及ホス影響（泉谷太）一齊同齢林ノ樹高曲線及材積曲線ノ研究竝常數法ニヨル材積表調製（麻生誠）			
〔農林省〕林業試驗彙報　大正一四、一五	二	一四三（イ）	一三五（ロ）

野鴨	イプセン著　坪内士行譯　大正六（イプセン傑作集ノ内）	一	三五七	二三
乃木	スタンレー・ウオッシュバーン著　目黒眞澄譯　大正一三	一	五一四	二三六
乃木一門忠義	川西榮之祐　大正一一	一	三九四	三二九
乃木院長記念寫眞帖	學習院輔仁會編　大正二	一	四一〇	二六
乃木院長記念錄	學習院輔仁會編　大正三	一	三四八	二一〇
野菊の墓	伊藤左千夫（世界短篇小說大系日本篇中ノ内　大正一五）	五一〇		四五
乃木會講演集	第一至五回　同會編　大正三至一〇	五	三四八	一七八
乃木軍戰影（精神鍛錬資料）	吉野有武編　大正三	一〇	四一九	三三
能義郡母里村公有林施業要領	島根縣同村編　大正七	一	三七二	七九
乃木家再興と世論	佐佐木勿來（笑受郎）編　大正四	一	三三九	六一〇
乃木家再興問題に就て	日本全國民に訴ふ　樋口龍陽　大正四	一	三五六	一三九
乃木式文庫	第一、二輯　古江楓堂編　大正九	二	三八七	一一三
乃木靜子	宿利重一（多湖學人）　大正一五	一	五五六	一三五
乃木靜子（大將夫人ノ）	宿利重一（多湖學人）　大正二	一	三五〇	四三
乃木將軍	大伴佐久雄編　大正元	一	三三三	三六二
乃木將軍	西村才助　大正元	一	三三四	二三五
乃木將軍	松居眞支（松翁）　大正一四	一	五五〇	一三
乃木將軍（明治の公ノ）	東京文學會編　大正元	一	三三三	三六五
乃木將軍愛讀の書	南園堂發行　大正元	一	九四	七八六

武教小學（山鹿素行）武教講錄（吉田松陰）加藤清正公逸事（矢野玄道）		一	三四二	三四
乃木將軍高節百話	內山省三編　大正元	一	一五九	一六三
乃木將軍獻上書	譯文付　荒川俊崇編　大正八	一	三六四	六六
乃木將軍詩集詳解	山田竹三郎編　大正五	一	四二一	六四
乃木將軍寫眞畫報	菊香會編　大正一五	一〇	三三七	一三九
乃木將軍寫眞帖	附　肉山血海之旅順　本吉豐次郎編　大正二	一	三三三	三五四
乃木將軍血染乃軍旗	薩南隱士　大正元	一	三八七	一七〇
乃木將軍勅諭のまゝに	龜岡泰辰　大正九	一	三四八	二七四
乃木將軍傳	村田峯次郎　大正四	一	三九三	六四八
乃木將軍に就て	石黑忠悳　大正一四（陸軍士官學校生徒課外講演第八輯）	一	三九八	一二六
野木村誌	植野信治郎編　大正一一	一	三三三	三五五
乃木大將	靜子夫人　高橋義雄編　大正元	一	三三四	二〇七
乃木大將	濱中仁三郎編　大正元	一	五〇〇	四七
乃木大將	山口縣教育會編　大正一〇（偉人叢書第一編）	一	三四四	二二五
乃木大將	山路彌吉　大正元	一	三三四	三五三
乃木大將（實傳ノ）	碧瑠璃園　大正二	二	三四八	七二
乃木大將逸事（修養訓話資料ノ）	塚本小治郎　大正一〇	一	三八七	三五二
乃木大將遺墨	解說（能勢健治編）付　乃木大將遺墨發行所編　大正二	特一帖	二亥	八四
乃木大將遺墨集	並　解說　能勢天祐編　大正一五	一帖	二	四七

	渡邊白水編　大正四	一	三七	四七九
乃木大將景仰帳	帝國在鄉軍人會本部發行　大正二	一	四〇六	四三
乃木大將景慕記念錄	上、下卷　乃木大將景慕修養會發行　下卷八版　大正二	二	三四八	六
乃木大將言行錄	鹿野千代夫編　大正元	一	三三四	二一七
乃木大將言行錄（通俗講話ノ）	山根正次　大正四	一	三三七	八九六
乃木大將事蹟	塚田清市編　大正五	一	三四八	三七六
乃木大將陣中珍談	桃川若燕　大正元	一	三三三	三五三
乃木大將傳	山岡劍山編　大正元	一	三三四	二一八
乃木大將と暗示	五十嵐光龍（修養講話ノ内　大正四）		三四九	三五
乃木大將と其夫人	九十九峰外史編　大正元	一	三三四	二二五
乃木大將の面影	乃木會編　大正六	一	三三七	一〇二三
乃木大將百話	大庭三郎（教訓叢書ノ内）　大正三	一	三四〇	二八
乃木大將武士道問答	軍事教育會發行　大正二	一	三四四	二八八
乃木大將夫人言行錄	平田勝藏、青木米太良編　大正二	一	二一	二八四
乃木大將夫人の一生	渡邊勝（綠園生）　大正一〇	一	三九四	八四
乃木大將論	人物社同人編　大正元	一	三三九	一二四
乃木陣中の影	吉野有武編　大正五	一	七〇	三三三
乃木と前原（戲曲ノ）	長崎武　大正一一	一	三九六	二九七
軒並娘八丈（錦の帶屋雪の白木屋ノ）	南仙笑楚滿人（人情本刊行會叢書第九輯ノ内　再版　大正一五）	一	五四五	二六

乃木百首（國民讀本ノ）	玉井清水　大正一二	一	五二二	四三
乃木夫人言行錄	平田勝成　大正四	一	二一	二八四
乃木夫人傳	永江爲政　大正八	一	三七二	三一〇
乃木希典言行錄	福島成行　大正二（偉人研究第八〇編）	一	九五	四五
乃木希典の妻（明治時代の貞烈龜鑑ノ）	齋藤鹿三郎編　大正二	一〇	二四九	二九
野口小嶺女史遺愛對山先生山水畫本	日根野長晝　大正八	一帖	一四三	二五
野口博士建築圖集	日高胖編　大正九	一	四一六	九
野口米次郎定本詩集	野口米次郎　大正一四、一五	二	五四八	一一
第一卷	表象抒情詩			
第二卷	第二表象抒情詩			
野口米次郎ブックレット	野口米次郎　大正一四、一五		三〇	五四八	五
第一編	芭蕉論			
第二編	抱一と光悅			
第三編	松の木の日本			
第四編	能樂の鑑賞			
第五編	米國文學論			
第六編	光琳と乾山			
第七編	歌麿北齋廣重論			
第八編	春信と清長			
第九編	寫樂			
第一〇編	蕪村俳句選評			
第一一編	芭蕉俳句選評			
第一二編	ボオ評傳			
第一三編	小泉八雲			
第一四編	萬葉論			
第一五編	神秘の日本			
第一六編	詩の本質			
第一七編	人生五十年			
第一八編	第一　芭蕉門俳人論			
第一九編	眞日本主義			

		冊	函	號
第一〇編	春信清長寫樂論 附 大蘇芳年			
第一一編	戀愛の詩人			
第一二編	自然禮讃			
第一三編	印度の詩人			
第一四編	米次郎隨筆			
第一五編	米次郎獨語			
第一六編	米次郎講演			
第一七編	霧の倫敦			
第一八編	愛蘭情調			
第一九編	海外の交友			
第二〇編	外人の心理			
鋸屑利用漆器素地試驗成績	澤口悟一 大正九（東京工業試驗所報告第一五回第九號）	一	一四、三	二七
同		一	一四、三	二七
殘された夫	正宗白鳥（白鳥傑作集第四卷ノ內 大正一五）	一	五〇〇	四八
殘るおもかげ	上澤謙一 大正八（物語第五集）	一	三五七	二四八
殘る花	田山花袋 大正九	一	三九一	一六六
同	（花袋全集第三卷ノ內 大正一二）	一	五一五	三六
能崎式九十字速記術	近藤貞治 大正六	一	三六三	一九六
野澤宇齋翁傳	門田正經編 大正一三	一	一六〇	二〇八
野ざらし	豐島與志雄（中篇小說叢書第一〇）	一	五〇五	四九
野ざらし紀行	松尾芭蕉（日記紀行集ノ內 大正一一）		五一四	二九
野晒紀行評釋	附錄 鹿島詣評解 荻原井泉水 大正一二（芭蕉文庫第三編）	一	三八九	八六
慰斗目考	松岡辰方（國書刊行會本三十輯第二ノ內 大正六）		三三〇	五一
野尻案內	九四頁	一	五一六	一六〇
野尻湖の研究	附 犀山地方の湖沼 田中阿歌麿編 大正一五	一	五六三	三〇
のぜまゝほむびしす（微粒子病々原體）ノ構造及發育圈ニ關スル研究	工藤六三郎（農商務省蠶業試驗場報告第一卷第二號ノ內 大正四）		一四、三	三六九
のぞみ	希望社發行 第二卷第一號（大正一三年一月）ヨリ		雜 五六	四一
望の曙	モリス・ジエラード著 小林清三郎譯 大正七	一	三三五	三三五
野田新兵	岩野泡鳴（泡鳴全集第三卷ノ內 大正一〇）		五〇〇	一
野田戰記	皆川登一郎 大正五	一	三三七	八五七
後ちに來る者に	武者小路實篤 大正五	一	三五七	一三四
後午の日記	荒木田麗女（女流文學全集第三卷ノ內 大正八）		三七一	一六四
後の岡部日記	賀茂眞淵（日記紀行集ノ內 大正一一）		五一四	二九
後の巖窟王	高桑良興譯編 明治四五	一	九九	一〇五
後の西郷南洲	並 同完編 伊藤痴遊 明治四五、大正元	二	三三九	四一
野路の小夜子	學校劇と童話劇 葛原しげる 大正一一	一	三九六	二九一
後の鹽原	島村抱月（抱月全集第六卷ノ內 大正八）		三七九	二
後の新片町より	島崎藤村 大正二	一	三五〇	六〇
後の多情多恨	關莊一郎 大正元	一	三二九	一六〇
後の茶話	薄田泣菫（淳介） 大正七	一	七一	五九三
後のチルチル	メエテルリンク著 布施延雄譯 大正一五	一	五五一	七〇
後の三日月	村上浪六（浪六傑作集上卷ノ內 大正一五）		五五一	三三六
野幌	西村眞琴編 大正一五	一	五五六	二四
野幌國有林野生植物調查報告書	北海道廳編 大正六	一	三六一	六〇
野幌地方椴松木材收額表	小出彥吉、中島廣吉（北海道帝國大學農學部演習林研究報告第一卷第八號ノ內 大正一〇）		三二一	一五三
野幌林間大學講演集	北海道林業會編 大正一五	一	一四、五	一六六
能登遊記	源有斐稿本 寫本	特	二〇	二四
能登國輿地全圖	寫本 一·七×三·〇		一枚	一九
能登の輪島	畠中重次編 大正三	一	三三九	一七九
能登半島	山田毅一 大正二	一	三五〇	二三六
のどぼとけ（漫畫と落語）	久世勇三 大正五	一	三五七	一四九
能登名跡志	太田頼資 三卷（大日本地誌大系第一三冊諸國叢書北陸之壹ノ內 大正六）		三五三	一二
同			三五三	一三
野中兼山先生の遺業	高知縣（植木半次郎）發行 大正元 一八頁	一	三四四	一八二
野鼠驅除の成績	茨城縣立農事試驗場編 大正元 四五頁	一	一四、二	二九二
野の哄笑	相馬泰三（金星堂名作叢書第三三ノ內 大正一一）		三八九	七三
同	（世界短篇小說大系日本篇下ノ內 大正一五）		五二〇	四五
野の旅山の旅（漫畫紀行）	三上知二 大正九	一	三八四	二三四
野の花	田山花袋 大正五（名家傑作集第六編）	一	三五	二七一
野の道	田山花袋（花袋全集第五卷ノ內 大正一二）		五一五	三六
野の道	津輕照子 大正一三	一	五三	二六七
野々村仁清	大正生（大河內正敏）再版 大正一五（彩壺會講演錄ノ內）	一	五二四	二
野々山虎第一詩集月に喘ぐ潮	野々山虎 大正一四	一	五四四	七九
野鳩の宿	下田將美 大正一四	一	五三八	一八九
野原の郭公（自選歌集）	若山牧水 大正一四	一	五五一	三
野茨の道（詩集）	白鳥省吾 大正一五	一	五五一	一五四
野火（長篇小說）	長田幹彥 大正一一	一	五〇六	一九七
伸び支度	島崎藤村（藤村パンフレット第三輯ノ內 大正一四）		五一五	一二
延び行く鎖	大石光之助 大正一五	一	五五六	一三五
ノフアリス	マーテルリンク著 鷺尾浩譯（マーテルリンク全集第一卷ノ內 大正九）		三九〇	五一
信實朝臣家集	（續群書類從第一六輯ノ上和歌部ノ內 再版 大正一三）		八〇	三一
信實朝臣家集撰	（國書刊行會本舟鶴叢書歌集物語ノ內 大正三）		三四三	四
信友自筆成就二傳覺書	寫本（伴信興奧書アリ）	軸	一四三	一八一
信虎暴虐編	直木三十三（大衆文藝新作仇討全集第二卷ノ內 大正一五）		五四八	一六
信長と安土城	田中義成（安土桃山時代史論ノ內 大正四）		三四八	三五一
信長の勤王	吉川貞次郎（安土桃山時代史論ノ內 大正四）		三四八	三五一
野へ	ゾラ著 椎名其二譯 大正一五	一	五五一	二四

			冊	函	號
延岡案内	今井松五郎	大正四	一	二	三九二
延岡大觀	山口德之助	大正一五	一	五三二	二七七
延岡圖幅	（地質）	地質調査所編 大正七 一・九×一・六	一枚	一三	一五八
延岡圖幅地質說明書		地質調査所編 大正七	一	一三	一五八
延岡丁丑戰記	山室元吉編	大正六	一	三二七	九九四
野邊地戰爭記聞	山崎有信編	明治四四	一	三三四	一六〇イ
同			一	三三四	一六〇イ
延来商濫觴記	（國書刊行會本德川商業叢書第二ノ内 大正二）			三四三	四ぬ
登川村勢一斑	北海道夕張郡登川村役場編	大正四	一	二一	三六八
昇鯉瀧白旗	河竹默阿彌（默阿彌脚本集第一卷ノ内 大正一〇）			三九〇	二一
同	（默阿彌全集第一卷ノ内 大正一三）			五二七	四三
登別温泉案内	安齋羽山（吉太郎）	大正三	一	三七	二七七
昇る日を待つ間	荻原井泉水	大正一三	一	五二三	一二九
蚤	ヴェデキンド著 秦豐吉譯（近代劇大系第七卷獨逸篇三ノ内 大正一三）			五一五	二六イ
同	（近代劇大系第七卷獨逸篇三ノ内 大正一四）			五一五	二六イ
能海寬遺稿	能海寬遺憶會編	大正六	一	三四九	四五七
能美郡案内	金戸政吉編	大正四	一	二一	四一六
同	大正七			二一	四一六イ
能見郡小松案内	大田耕治編	大正二	一	三三三	四二五

			冊	函	號
呑込多霊寶緣記（諸色一）買帳）	山東京傳	大正八（複製）	一〇	一五	三七五
野村經濟パンフレット	野村合名會社調査部編	大正一五	一	一四五	一六〇
第一年第一號	金輸出解禁前後に於ける英國財界の推移				
野村教育研究所報告	第一册 同所編	大正一五	一	二五九五	八九
野村財界研究叢書	大阪野村銀行調査部編	大正一四	一	五二九	三七
第一輯	景氣循環に關する諸學說				
野村訥齋（隱れた一）る畫家）	大野和平	大正八	一〇	一五九	一三七
野村放資研究叢書	野村證券株式會社調査部編 大正一五		一	五四八	七三
第二輯	金解禁前後の我財界				
野山のなげき	伴林光平（勤王文庫第三編ノ内 大正一〇）			三七九	九
ノラ	イブセン著 木村荘太譯（世界婦人文獻第五卷文藝に現れたる泰西の代表的女性（一）ノ内 大正一五）			五四五	七
同	イブセン著 森鷗外譯 大正二		一	三三八	三三八
同	（鷗外全集第一四卷ノ内 大正一二）			五二〇	一イ
同			特	五二〇	一イ
ノラクラ倶樂部	佐々木邦	大正一四	一	五三八	一三五
のらくら者の生活より	アイヘンドルフ著 大久保幸次郎譯	大正一二	一	五一七	一八三
ノラの解釋に就いて	島村抱月（抱月全集第二卷ノ内 大正九）			三七九	二
乘鞍嶽上十日記	川口孫治郎 大正一〇		一	三九六	一四三
海苔作ト氣象トノ關係	大正一二年 神奈川測候所編 大正一二 六頁		一	一四六二	三六
海苔色素試驗	第一報告 中野治房、東道太郎 大正六（水産講習所試驗報告第一三卷第二册）		一	一四二イ	四五七イ

			冊	函	號
糊附機標準働作	佐野寅造	大正一〇	一〇	一二	四一六
糊附法と力織機	荒川喜代治、萩原清彦	明治四五	一	九四	七七一
ノリット精糖法	ノリット白糖會社編	大正六	一	三六四	一六二
乘秩年譜草稿	松平乘承編	大正一一 一七頁	一	三九七	三三六
祝詞語意論（國一）	今泉龜治郎	大正五	一	三三九	八三三
祝祠作文自在	青木陳實	明治四五	一〇	二四九	六三
海苔漢立粗密試驗	岡村金太郎、東道太郎（水産講習所試驗報告第九卷第四册ノ内 大正二）			一四二イ	四五七
同				一四二イ	四五七イ
海苔肥料試驗	第一、二報 中野治房、東道太郎（水産講習所試驗報告第九卷第四册、第一二卷第五册ノ内 大五二五）			一四二イ	四五七イ
海苔附着條件試驗	第一報 岡村金太郎、東道太郎（水産講習所試驗報告第九卷第四册ノ内 大正二）			一四二イ	四五七
同				一四二イ	四五七イ
乘邑名物記	松平乘邑輯 寫本（茶道叢書第一六七至一六九册）		一〇	三〇	八三三
乘りもの（交通機關雜誌一）					二三
	龍洋社發行 第一卷第一號（大正八年八月）至第四卷第一號（大正一一年一月）第四卷第三號（大正一一年四月）ヨリ「スポート」ト改題）			雜	五〇
諸威	内藤民治（世界實觀第一〇卷ノ内 大正五）			四〇八	二一〇ぬ
ノルマンディの惡戲	モウパッサン著 瀨戸義直譯（モウパッサン全集第一〇卷ノ内 大正一〇）			三九〇	四一
野呂元丈傳	大西源一編		一	三三七	八四三
狼火（現代劇集一）	林久男譯著	大正一〇 六〇一頁	一	五〇一	一二三

			冊	函	號
呪はしき生存	佐々木味津三	大正一二	一	五一七	一九五
行燈夫婦	呪はしき生存				
呪はしき生存	佐々木味津三	大正一三	一	五一七	一九五イ
呪はしき生存	御鷹匠の縊死				
被征服者	行燈夫婦				
名刺	姉の問題				
呪はれた戲曲	谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第四卷ノ内 大正一〇）			五〇〇	四
呪はれた戲曲	谷崎潤一郎	大正八	一	三七七	二〇五
呪はれた戲曲	神童				
異端者の悲しみ	晩春日記				
詩人のわかれ	あくび				
呪はれた麵麭	モウパッサン著 平野威馬雄譯（モウパッサン全集第一二卷ノ内 大正一二）			三九〇	四一
呪はれたる家	ガボリオ著 柳田泉譯（世界短篇小說大系探偵家庭小說篇ノ内 大正一五）			五二〇	四五
呪はれたる軍國主義	一名 禍神の降臨 オーエン・ウヰスター著 通俗大學會譯 大正五（東西時論第七篇）		一	三五	二六三
呪はれたる日本	佐藤鋼次郎	大正一〇	一	三八七	二三〇
呪はれたる抱擁	ゾラ著 井上勇譯	大正一〇	一	五〇一	二五八
呪はれたる夫婦	エルヴュー著 大瀧終二郎譯（現代佛蘭西戲曲傑作叢書第一編ノ内 大正一二）			五〇五	四四
呪はれたる陸軍	中尾龍夫 大正一二		一	三一八	五〇三
のろひの木	星野天知（世界短篇小說大系日本篇上ノ内 大正一四）			五二〇	四五
呪ひの聖者（戲曲一）	村田琢 大正一三		一	五三三	二八八
のんきなとうさん（漫畫一）	第一、五集 麻生豐 大正一三、一四		二	五〇九	一〇四

		冊	函	號
癡言文學（ノンセンスリテラテユール）	野口米次郎（三田文選ノ内 大正八）	一	三九	二九一 イ
同		三	三九	二九一

ハ

		冊	函	號
パーエル一世	メレジュコーフスキイ著 米川正夫譯 大正一〇	一	三九六	二一〇
バーク人知の原理及對話		一	三七九	一三
レイ	ジョージ・バークレイ著 善浪達童譯 大正九（哲學名著叢書第三編）	一	三九〇	二四 イ
Personificationの性の研究	八木又三（英文學研究第四册ノ内 大正一二）	二	三九〇	二四 イ
同		一	五一七	五六九
ハアデイ短篇全集	第一輯 ハアデイ著 森村豐、大宮健太郎譯 大正一五	一	三四〇	四三
	夢の呪			
	許されざる願 アリシアの日記			
	幻の女 千八百四年の傳說			
	變り果てた男 町の人々			
	悲しみの輕騎兵 其の夜の晩餐			
ハーデイ物語	仲木貞一 大正三（世界名著物語第五編）	一	三四〇	四三
バアテル、セルギウス	レオ・トルストイ著 森鷗外譯（泰西名著文庫諸國物語ノ内 大正四）	一	三四五	一二 ほ
バーデン大公國ニ於ケル家畜保險法及同施行規則	フェーゼンマイヤー註 農林省畜産局譯 大正一四（家畜保險資料第一號）		五二四	四一五
バートランド ラッセル	哲學に於ける科學的方法 ラッセル著 佐々木喜市譯 大正一四	一	五一〇	一五六
バートランド ラッセル	哲學の問題 ラッセル著 中込本治郎譯 大正一三（經驗哲學叢書ノ内）	一	五三〇	二九 い
バイエルン及スイス家畜保險法	農林省畜産局譯 大正一五（家畜保險資料第七號）	一	五二四	四一五
煤煙下の大阪	佐田富三郎 大正七	一	三七六	二三三
廢園雜草（文藝—論抄—）	鈴木敏也 大正一五	一	五一七	四七九
梅園全集	三浦梅園（晉）著 梅園會編 大正元	二	三四二	一九六
上卷	玄語 八卷	一	五二四	四一五
	敢語			
	寓意			
	元煦論			
	造物餘譚			
	丙午封事			
	豐後跡考			
	東遊草			
	名字私議			
下卷	梅園叢書 三卷			
	梅園後拾葉			
	倫娩錄			
	塾制			
	子歲漫錄			
	獨嘯集			
	梅園詩集 二卷			
	梅園文集			
	贅語 一四卷			
	通語			
	乘輿子			
	死生譚			
	身生餘譚			
	價原			
	五月雨抄 二卷			
	歸山錄 二卷			
	先考三浦庵居士行狀			
	梅園拾葉			
	梅園拾英			
	養生訓			
	梅園讀法			
	註幟			
	春遊草			
	梅園詩稿			
	梅園書翰集			
肺炎と其他の肺疾患	宮原立太郎 大正八（續家庭醫學叢書第一篇）	一	六〇	五一
煤煙の臭ひ	宮地嘉六 大正八	一	三九一	一
廢園の花	加藤武雄 大正一三	一	五二九	三三
煤煙の豫防と燃料節約法	工業講話會編 大正八	一	三八五	一九
廢屋	有島生馬（現代三十三人集ノ内 大正一一）	五〇六		一二
廢屋	ホフマン著 木村信兒譯（世界短篇小說大系探偵家庭小說篇ノ内 大正一五）	五二〇		四五
梅屋和尚文集	梅屋宗香（續群書類從第一三輯ノ下文筆部ノ内 再版 大正一五）	八〇	三一 ロ	
バイオグラフィカルストウリズ詳解	紀太藤一 大正五	一	三三	一六二
媒介	エチエガライ著 中村吉藏譯（近代劇大系第一二卷佛及南歐篇三ノ内 大正一三）	五一五		二六
同	（近代劇大系第一二卷佛及南歐篇三ノ内 大正一五）	五一五		二六 イ
俳諧あづまからげ	（國書刊行會本德川文藝類聚第一一雜俳ノ内 大正三）	三三〇		四九 ろ
俳諧生駒堂	燈外編 安井知之校（和露文庫第二編） 大正一五	一	五四九	八
俳諧一葉集	勝峰晋風（晋三）編 大正一四（扉等ニハ「芭蕉一葉集」トアリ）	一	五四四	九九
俳諧一家言蕪村その他	岡野知十（敬胤） 大正一三	一	五二九	一七三
誹諧繪文匣	松井立詠撰並畫 享保七	待	二〇	は 八八
誹諧繪文匣	松井立詠編 大正一三（複製）	一〇	一五	四一一
俳諧金砂子	晩成齋編 二卷（國書刊行會本德川文藝類聚第一一雜俳ノ内 大正三）	三三〇		四九 ろ
俳諧古今抄	各務支考著 佐々醒雪、巖谷小波校 三卷（俳諧叢書第二册俳諧註釋集下卷ノ内 大正二）	三四五		四
俳諧古選	三宅嘯山編 佐々醒雪、巖谷小波校 五卷（俳諧叢書第三册名家俳句集ノ内 大正二）	三四五		四
俳諧古典集	友善堂發行 三、四版 大正一五	二	五四九	一九五
俳諧吳服絹	阪上稻丸編（池田叢書第四編ノ内 大正一四）			六三
俳諧歲時記栞草	曲亭馬琴、籃亭青藍編 改版 大正一五	一	六	二三九
俳諧寂栞	加舍白雄著 佐々醒雪、巖谷小波校 三卷（俳諧叢書第四册俳諧作法集ノ内 大正三）	三四五		四
俳諧三十六家選	桃李庵編 大正一五	一	五一七	四三
俳諧三尺のむち	（國書刊行會本德川文藝類聚第一一雜俳ノ内 大正三）	三三〇		四九 ろ
俳諧師	岡本綺堂（綺堂戲曲集第一卷ノ内 大正一三）	五一七		一六

		冊	函	號
俳諧師	岡本綺堂（現代戯曲全集第二卷ノ内　大正一四）		五二〇	二五
俳諧師	高濱虛子　大正五	一	九三	三一三 イ
俳諧七福神	歌川豐國畫	特一帖	ゐ	一八三
俳諧七部集	佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第七册芭蕉翁全集ノ内　大正五）		三四五	四
俳諧七部拾遺	菊舍謝車編　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第七册芭蕉翁全集ノ内　大正五）		三四五	四
俳諧十風	榎田玄山（彥勝）　大正三	一	三七	三四四
俳諧十論發蒙	五升庵蝶夢著　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第二册俳諧註釋集下卷ノ内　大正一）		三四五	四
俳諧者流奇談夢の棧	附　高館俳軍記（白川芝山）　勝峰錦風校註　大正一三（十日俳書文庫第六編）	一	五一五	一二九
俳諧書簡集	手紙雜誌社編　大正三	一	三五〇	三四一
俳諧書籍目錄	附　俳書直段附書目（井筒屋庄兵衞編）　阿誰軒柳麿編	〇	一〇三	三七二
俳諧書籍目錄	井筒屋庄兵衞、橘屋治兵衞編	一	一八三	五〇八
俳諧新研究	安藤和風　大正六	一	三六四	二三七
俳諧新五萬句	伊達秋航編　大正四	一	七一	五四七
俳諧新選	炭大祇、三宅嘯山編　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第三册名家俳句集ノ内　大正二）		三四五	四
俳諧世說	高桑闌更著　佐々醒雪、巖谷小波校　五卷（俳諧叢書第六册俳人逸話紀行集ノ内　大正四）		三四五	四
俳諧叢書	佐々醒雪、巖谷小波校　大正元至五		三四五	四

第一册　俳諧註釋集　上卷
芭蕉翁發句諸抄大成（曙紫庵杉雨）
芭蕉翁發句評林　二卷（春栢庵梅丸）
朱紫　二卷（越谷吾山）
七部集大鏡　第一至五卷（茂呂何丸）
七部婆心錄　五卷（原田曲齋）
附錄　元祿の蕉風（佐々醒雪）

第二册　俳諧註釋集　下卷
七部婆心錄　第六、七卷（原田曲齋）
晉子發句撮解　二卷（高柳莊丹）
俳諧みみな草（連積）永機編
嵐雪發句撮解（高柳莊丹）
支峰集註解（齋藤雀志）
俳諧十論發蒙　三卷（五升庵蝶夢）
俳諧古今抄　三卷（各務支考）
芭蕉翁附合集評註　三卷（飯田篤老）
七部搜　三卷（大島蓼太編）
去來抄　三卷（向井去來）

第三册　名家俳句集
延寶二十歌仙（杉山杉風等）
芭蕉句選拾遺（井筒屋庄治編）
綾錦　三卷（菊岡沾涼編）
俳諧古選　五卷（三宅嘯山編）
俳諧新選　五卷（炭太祇、三宅嘯山編）
丈草句集（中島秋擧編）
杉風句集（平山梅人編）
桑々畔發句集　二卷（富岡有佐、皐月平砂編）
素丸發句集（橫山憲布編）
風草及帝中句集（林惟中編）
俳諧袋　二卷（大伴大江丸）
一茶發句集　二卷（高梨一具補訂）
俳諧なくるま　五卷（上島鬼貫）
鬼貫句選　四卷（炭太祇考訂）

第四册　俳論作法集
俳諧作法　二卷（修竹堂）
俳諧或問　二卷（原田曲齋）
俳諧增補提要錄　六卷（加舍白雄）
俳諧寂栞　三卷（車蓋編）
俳諧式海印鉢　六卷（各務支考）
貞享式海印鉢（大島蓼太）
蕉門格外辨（同）
葛の松原
俳諧發句小鑑

第五册　名家俳文集
風俗文選　一〇卷（森川許六編）
類柑文集　三卷（榎本其角）
風俗文選拾遺　二卷（山崎北華）
風狂文艸　五卷（田中友水子）
蝶夢和尚文集　五卷（五升庵蝶夢）
鶉衣　二卷（橫井也有）

第六册　俳人逸話紀行集
宗祇諸國物語　五卷
行脚怪談袋　六卷（高桑闌更）
俳諧世說　五卷

滑稽太平記　八卷（北藤浮生）
俳諧百人選　三卷（石雲居海濤）
俳家奇人談　三卷（竹窓玄々一）
續俳家奇人談（同）
白河紀行（飯尾宗祇）
筑紫道の記（同）
佐野の和多理（月村齋宗碩）
斗藪雜記（大野泉山）
江都近在所名集（須田一漁編）
箱館紀行（乙二）
斧の柄（同）
わがほとけ（同）
そゝろごと（鈴木道彥）
霍芝（同）
馬の上（同）
鷄口集抄（入江樵風）

第七册　芭蕉翁全集
芭蕉翁繪詞傳（五升庵蝶夢）
泊船集　六卷（風國編）
俳諧七部集（松尾芭蕉編）
冬の日（山本荷兮編）
春の日
曠野集　八卷（同）
ひさご集（資田洒堂編）
猿蓑集　六卷（向井去來、凡兆編）
炭俵　二卷（小泉孤屋等編）
續猿蓑集　二卷
俳諧續七部集（高桑闌更編）
俳諧深川集（資田洒堂編）
卯辰集　四卷（金子螢雀編）
韻塞　二卷（森川許六、河野李由編）
刀奈美山（浪化編）
有磯海（同）
芭蕉庵小文庫　四卷（中村史邦編）
千鳥掛集　二卷（下郷知足編）
俳諧七部拾遺（菊舍謝車編）
初懷紙（松尾芭蕉）
野ざらし紀行
三歌仙　久村曉臺編
一ば　鈴木清風編
桃の實　（櫻井丸峰編）
初便
其袋（服部嵐雪編）

俳諧叢書　俳書堂發行　大正四
第二四編　新春夏秋冬　冬之部（松根東洋城編）

俳諧增補提要錄　佐々醒雪、巖谷小波校　二卷（俳諧叢書第四册俳論作法集ノ内　大正三）
俳諧續三佳書　俳書堂編　大正六
曠野　八卷（山本荷兮編）
有磯海（浪化編）
其雪影（高井几董編）
俳諧續七部集　高桑闌更編　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第七册芭蕉翁全集ノ内　大正五）
俳諧大要　正岡子規（常規）　大正二
同　大正五
俳諧高天鶯　鶴壽軒良弘編（國書刊行會本德川文藝類聚第一雜俳ノ内　大正三）
俳諧附合小鑑　大島蓼太著　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第四册俳論作法集ノ内　大正三）
俳諧亭句樂の死　吉井勇（現代戯曲全集第九卷ノ内　大正一四）
俳諧童子教　稀書複製會編　大正一一（複製）
俳諧胴ゐ　稀書複製會編　大正一五（複製）
俳諧梨の花　坂本文禮　大正一五
俳諧ななくるま　上島鬼貫著　佐々醒雪、巖谷小波校五卷（俳諧叢書第三册名家俳句集ノ内　大正二）
俳諧の發句　〔里村紹巴〕（國書刊行會本三十輯第四ノ内　大正六）
俳諧芭蕉談　文曉編　大正六（俳諧名著文庫第九編）
俳諧袋　大伴大江丸著　佐々醒雪、巖谷小波校　二卷（俳諧叢書第三册名家俳句集ノ内　大正二）
俳諧文庫　積文館發行　大正一五
第一編　芭蕉名句選集（工藤靜波編）
第二編　一茶名句選集（同）

		冊	函	號
俳諧文選	附俳句連句選　第七高等學校國語科編　大正一三　五七頁	一	三三	五四五
誹諧別座鋪	子捌編　安井千之校　大正一五（雀門珍書百種第九編）	一	五四五	四
同		一	五四五	四イ
俳諧發句小鑑	大島蓼太著　佐々醒雪、巖谷小波校　（俳諧叢書第四册俳論作法集ノ内　大正三）		三四五	四
俳諧漫畫	爲永春水自筆稿本　寫本	特一	〇	乙京
俳諧萬人講	（國書刊行會本德川文藝類聚第一二雜俳ノ内　大正三）		三三〇	四九ろ
誹諧三河小町	太田白雪撰　安井千之校　大正一四（雀門珍書百種第三編）	一	五四五	四
同		一	五四五	四イ
俳諧みみな草	穗積永機編　佐々醒雪、巖谷小波校　二卷（俳諧叢書第二册俳諧註釋集下卷ノ内　大正二）		三四五	四
俳諧武玉川	慶紀逸編　一八編（國書刊行會本德川文藝類聚第一二雜俳ノ内　大正三）		三三〇	四九ろ
同	初編　大正一三（川柳叢書ノ内）	一	六六	二五八い
俳諧名所めぐり	坪谷水哉（善四郎）　大正一〇	一	三九六	一九三
俳諧名著文庫	俳書堂發行　大正五至六	九	三五五	二八
第一編	おらが春　（小林一茶）	特一	〇	は
第二編	去來抄　（向井去來）　翁反故　（雀屋日記）　（文曉編）			八一
第三編				
第四編	新花摘　（谷口蕪村）			
第五編	第五子稿　（嘉會室享編）			
第六編	芭蕉書簡集　（俳書堂編）			
第七編	陸奥千鳥　（天野桃隣編）			
第八編	雪まろげ　（河合曾良編）			
第九編	俳諧芭蕉談　（文曉編）			
俳諧桃李	谷口蕪村、高井几董　安永九　六枚			

		冊	函	號
俳諧例句新撰歲事記	今井柏浦編　補一二版　大正五	一	七一	五三八
俳諧或問	修竹堂著　佐々醒雪、巖谷小波校　二卷（俳諧叢書第四册俳論作法集ノ内　大正三）		三四五	四
俳家奇人談	竹窓玄々一著　佐々醒雪、巖谷小波校　三卷（俳諧叢書第六册俳人逸話紀行集ノ内　大正四）		三四五	四
俳家人名辭書（增訂一）	牧野望東編　吉原開增訂　明治三七	特一	〇	は
陪駕日記	田能村竹田　大正九（複製）	一	〇	八五
同	（國書刊行會本田能村竹田全集ノ内　大正五）	一	〇	二五
俳家百哲名句と逸話	武谷糺之（世外）編　大正一四	一	三三〇	五〇ろ
俳家風交錄	勝峯錦風（金治）　大正七	一	五四四	一〇二
ハイカラ論	岩野泡鳴（美衛）（泡鳴全集第一七卷ノ内　大正一一）	一	三六四	三九九
廢棄窯業品原料ノ精製及ビ利用法	第一報　熊澤治郎吉　大正一三（東京工業試驗所報告第一九回第八號）	一	五〇〇	一
同		一	一四、三	二一七イ
配給問題と消費組合	大野彌曾次（山口高等商業學校開校第二十周年記念講演及論文集ノ内　大正一五）	一	一四、二	二一七ロ
梅玉餘響	猿笠翁編（演劇文庫第五編ノ内　大正三）		五八八	三一
黴菌消毒之話	衛生新報社編　大正六（家庭醫學叢書第四五編）		三四〇	三〇
黴菌と日常生活	太田透　大正八（科學と人生叢書第四編）	一	六〇	五一
俳句繪はなし	久保田世音（米齋）　大正一一	一	三七五	二三
俳句を求むる心	臼田亞浪　大正一一（石楠パンフレット第一輯）	一	五〇六	一九八
俳句講話叢書	層雲社發行　大正九	一	五一五	四一
	新しき俳句を見よ　（荻原井泉水）	一	三八九	三四

		冊	函	號
俳句歲時記（袖珍）	春、夏、秋、冬之部　長谷川零餘子　大正七	二	三一	五八二
俳句作法自在（大正一）	水鄕庵主人編　大正六	一	三六四	一五八
俳句雜感	松瀨青々（朝日講演集第五輯ノ内　大正九）		三三五	三三三
梅翠山水眞蹟合壁	後藤博山編　大正一三	〇	四一六	一〇五
俳句自由自在	武田鶯塘、田澤騎士　大正五	一〇	七一	五七一
俳句十講	飯田秋羅　大正七	一	三一	六八
俳句新話綠蔭に語る	荻原井泉水　大正一二	一	五三一	一三
俳句大觀（三句一索引）	佐々醒雪編　大正五	一	三九七	一七九
俳句提唱	荻原井泉水　大正六	一	三三八	三四
俳句的標象	島村抱月（抱月全集第一卷ノ内　大正八）		三七九	一一
俳句手ほどき（春夏一秋冬一）	水鄕庵編　大正五	一	三六四	三八
俳句と歌仙	曉川堂（多田）柳窓　明治四五			
俳句と柳絮集	曉川堂（多田）柳窓　明治四五	一	九四	七四四
俳句と自分	高濱虛子　三版　大正四	一	七一	五四八
俳句と其作り方	沼波瓊音　大正五	一	七一	五三六
俳句とその作り方	長谷川零餘子　大正八	一	三七七	一六一
俳句とはどんなものか	高濱虛子　大正三	一	三二九	三七六
俳句と文章（日日一作例一）	中內蝶二編　大正七	一	三七七	六七
俳句と連句の作り方	小泉汪外　大正一五	一	五一七	五八六
俳句に關する展覽會集	北村鈴菜編　大正六	一〇	一	二六三

		冊	函	號
俳句入門（發句自在一）	守朴編　大正一五	一	五五一	二二三
俳句入門叢書	現代通報社發行　大正七至九	四	三一	六三三
第一　句作問答	（荻原井泉水）			
第二　俳句階梯	（同）			
第四　句作捷徑	（同）			
第五　俳句選評	（同）			
俳句の解し方（作り方を主としたる俳句講話一）	長谷川零餘子　大正八	一	三三八	三三五
俳句の考へ方	原石鼎　大正七	一	三一	六四三
俳句の故事解說	宮田保　大正一四	一	五一六	三三九
俳句のすゝめ	俳書堂主人　大正四	一	三七	四五九
俳句の先生	寒川鼠骨　大正七	一	三七七	三三
俳句の作り方	沼波瓊音　大正一四	一	五一六	三三六
俳句の作り方	吉田冬葉編　大正一五	一	五五〇	六八
俳句の作り方（四季類題一）	木村蕪村　大正一〇	一	三九六	二一七
俳句の作り方と其の味ひ方	三浦圭三　大正一〇	一	五〇一	二〇一
俳句の作りやう	高濱虛子　六版　大正四	一	三五七	二四
俳句の手びき（春夏一秋冬一）	水鄕庵主人編　大正五	一	五五〇	六〇
俳句はいかに作りいかに味ふか	內藤鳴雪　大正九	一	三九一	六三
俳句は斯く解し斯く味ふ	高濱虛子　大正七	一	三一	六一七
俳句は如何して作るか	小林鶯里　大正六	一	三三八	三三
俳句名所めぐり	上卷　小林鶯里　大正一一	一	三九六	三〇九

俳句練習法	沼波瓊音 大正三（文藝練習法叢書第三編）	一	三三九	一七八
梅華巷二香琴譜	清、蔣文勳撰 道光一三	特四	八三三	一八九
梅花遺芳	官幣中社北野神社社務所編 大正九	一	一八六	二七七
賣花翁	海野昌平（ふたば集第四卷ノ内 大正一〇）		三九六	三
俳書を習ふ人へ	本方秀麟 大正一三（赤壁叢書第一編）	一	三九三	六七六
俳書講義	上卷 北川六郎（北陸） 大正一四	一	五四〇	三九
梅花源	荒浪市平編 大正一四	一	二七三	七三
俳書集	會澤秋郷編 大正九	一	二八	三三
梅花唱和集	雅聲社編 大正一一 一八枚	一	一七一	九八
賣花新驛	朱樂管江（國書刊行會本德川文藝類聚第五酒落本ノ内 大正三）		三三〇	四九ろ
楳華道人山水帖	博文堂發行 大正六	帖	一三八	二〇五
俳書の描き方	鶉月左青 大正一四	一	一六六	三三〇
俳書百選	山田直三郎編 大正三	一	一二八	二六九
梅花無盡藏	小松帶刀編 大正一〇		一二	五三六
梅關詩集	菅井梅關（仙臺叢書第三卷ノ内 大正一二）		五〇八	一三
肺患者養生法秘訣	永井秀太編 大正一三	一	六〇	七六八
梅溪稿	雪嶺永瑾（續群書類從第一三輯ノ下文筆部ノ内再版 大正一五）		八〇	三二ロ
背景裝飾の掛へ方	倉本長治 大正一四（廣告實務叢書第五編）	一	五二九	五七
背教者ジユリアノ	メレジユコフスキイ著 舟田亨二譯 大正一三（春陽堂譯述叢書ノ内）	一	五二七	七〇ほ
肺結核及其徹底療法	吉村良雄 大正九	一	五三	一六七
肺結核患者通院療法論	原榮（最新結核病論ノ内 大正四）		五三	二七
肺結核早期診斷及治療學	原榮 補再版 明治四五 八一四頁	一	五三	六六イ
同		一	五三	六六ロ
肺結核と癌の征服	リパーゼの話 市川二太郎 大正一四	一	六〇	七八五
肺結核に就て	栗木東明（矢野恒太君保險關係二十五年記念報告ノ内 大正四）		三三七	七五三
肺結核ノ治療ニ就テ	賀屋隆吉（最新結核病論ノ内 大正四）		五三	二七
肺結核之話	額田豐 大正四（家庭醫學叢書第五編）	一	六〇	五一
肺結核の豫防及治療法	額田晉 大正一二	一	五三	二二
肺結核病化學的療法	牧野千代藏 大正一五	一	五三	二四一
肺結核病早期診斷法要訣	高田耕安 大正五	一	五三	一三一
肺結核病とは斯の如きものなり	星野眞左司 大正三	一	五三	一〇七
肺結核病の診斷上、氣管、血管幹及心臟の轉位の意義、肺結核病の期別法に就て	高田耕安 大正八	一	五三	一五二
肺結核病は斯うして癒る	皆川廸丸 大正九	一	五三	一七一
肺結核養生法（社會教育ー）	柴山五郎作 大正二	一	五三	九七
肺結核豫防消毒實施指針	靜岡縣警察部衞生課編 大正七	一	六一	三三五
肺結核療養法	鈴木孝之助 大正一五	一	五三	二四四
佩弦齋日記付書柬集	青山延光自筆日記（日記ハ嘉永安政比ナリ、書柬ハ延光ノ母ト見エタリ）	特	三〇八二七	七七

佩弦齋漫抄	青山延光自筆稿本 寫本	特	一〇八七	八二
梅莊遺稿	清水成美 大正九		一一	三五四
黴瘡茶談	船越晉		一一二	三四六
賣茶翁偶語	附 名公茶器銘 柴山元昭 大正一四		一〇一	二六六
賣茶翁茶器圖	泉谷末三郎發行 再版 大正一三	帖	一五	四一五
梅山種茶譜略	高遊外（賣茶翁） 天保九 一四枚		一〇五	二三六
拜山先生書畫帖	堤義郎編 大正元		二一三	五五〇
俳三昧	平民文學社發行 第一卷第一號（大正一二年九月）	雜	一三	一五
敗等添塵	多田義俊（ヨリ）三卷（國書刊行會本百家隨筆第一ノ内 大正六）		三三〇	五三
倍收米作法（自然利用ー）	小早川一到 明治四五		二四九	七三
梅實餘味	石井盛時編 寫本		二〇九	七六四
賠償問題	增井光藏（神戸高等商業學校商業研究所叢書第一册） 大正一五		一四五	一九四
肺出血及其療法	森文男編 大正元（近世醫學叢書第六八編）		六〇	三五九
同			六〇	三五九ロ
俳趣味の手紙	桑田春風（哲秀）編 大正九		三九一	一七〇
賣春ノ害毒及其豫防	栗本庸勝 明治四四（近世醫學叢書第四一編）		六〇	三五九
楳所印粹	中澤廣勝編 大正四		一八六	一五四
梅松訴陳	黒河春村訓點 嘉永五 一七枚		一一三	一八四ロ
梅松論	池邊義象等校註 二卷（校註國文叢書第一八册ノ内 大正四）		一一三	一八四

ハイケ—ハイシ

梅松論	物集高量校註（新釋日本文學叢書第一〇卷ノ内 大正八）		三四五	一三
賣色鴨南蠻	泉鏡花（鏡花全集第二一卷ノ内 大正一五）		五三〇	四四
同			五二〇	四四イ
配所殘筆	山鹿素行（高祐）（修養文庫第二編賢哲傳下ノ内 大正八）		三七五	三五
同	（山鹿素行全集ノ内 大正五）		三五六	一五六
俳書新選	現代通報社發行 大正八		三一	八九六
	第一 芭蕉選集（荻原井泉水編）			
配所の管公	太宰府史蹟 桑原恭助 大正九		三八四	一九五
俳書目錄	南久太郎 大正一四		一六五	一四三
俳人逸話紀行集	佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第六册） 大正四		三四五	四
俳人鬼貫の研究	鈴木重雅 大正一五		五一七	四五四
俳人子規	木下泰雄 大正六		三六四	三三七
陪審制度視察報告書集	附 陪審制度論（ガルソン）（司法省調査課編 大正一五（司法資料第八五號））		一四五	五四
陪審制度に就て	馬場鍈一 第四回ノ内 大正一〇（（佛教聯合會）講習會講演集）		五一一	四三
陪審制度の話	司法省刑事局編 大正一五		五四九	一〇〇
陪審制度法理觀	花井卓藏等 大正一〇		三九七	一〇八
陪審制度論	大場茂馬 大正二		三三六	一三九
同	大正三		三三六	一三九イ
俳人叢書	春陽堂發行 大正一五		五五〇	五五

	冊	函	號
第一編　芭蕉俳句集（小澤武二編）			
第二編　其角俳句集（同）			
第三編　蕪村俳句集（同）			
第四編　笈日記（同）	一	六	三三九
俳人弔霊句集　報知俳句唫社編　大正五	一	三三九	四六四
梅屑尼　二村忠誠　大正三	一	三一	六八九
俳人の手紙（新註）　長谷川零余子　大正七	一	五三八	一七三
癈人の惱み　小島勝光　大正一四	一	七一	五九二
俳人芭蕉　山崎藤吉　大正五	一	五六五	九〇
陪審法要覽（註釋）　梶康郎　大正一五	一	五一二	二三三
陪審法釋義　溝淵孝雄　大正一三	一	五一二	一一七
陪審法述義　三上英雄　大正一〇	一	五一二	一六一
陪審法審議編　清水書店編　大正一二　一五三〇頁	一	三八二	七九イ
陪審法制　法曹會編　大正九	一	三八二	七九イ
同　再版　大正一〇	一	五三五	八三
陪審法通義　花村四郎　大正一四	一	五四六	六九
陪審法の知識　椎名隆　大正一四	一	五二三	一四五
陪審法の話　平尾縫太郎　大正一三	一	五三	二〇
陪審法早わかり（詳解）　並木信政　大正一二	一	三九三	四九四
陪審問答（喜劇一場）　江木衷　大正一二　一四頁			
ハイズ　モウバッサン著　宮島新三郎譯（モウバッサン全集第四卷ノ內　大正一〇）			

	冊	函	號
俳聖芭蕉翁　錦花園玄生編　大正五	一	三五七	一八三
俳聖芭蕉全集　吉木燦浪校　大正九	一	三九一	七〇
俳小星句集　齋藤德藏編　大正一四	一	五四四	七八
賣笑婦及花柳病　氏原佐藏　大正一五	一	五三〇	二九六
排斥の原因　時局研究會編　大正二	一	三三九	三三一
俳席便覽俳通　巖谷小波　大正五	一	三五七	一四四
拜說　笠當編　寫本（杉原本）	一	八三一	七九
敗戰　ウエレッシェヨー著　大場茂雄譯　大正四	一	三一九	三五三
賣扇庵扇譜　宮脇新兵衞編　大正六	一	一五	三三〇
賣扇庵扇譜拔萃　宮脇新兵衞編　大正一〇	一	三九六	二六八
俳仙影鑑　初二卷　杉浦其淼　大正四、五	二	一八六	一六七
媒染染料綿布直接捺染試驗成績報告　野口寅之助、加藤淺四（東京工業試驗所報告第九回ノ內　大正四）	一	四二イ	一七
梅村壽筵圖錄　瓜生寅	二	八三三	三五五
拜村施業森林組合施業計畫書　濱田磯之丞編　大正七	一	三六八	一九
胚胎腺の話　國府田中（印度洋講演集ノ內　大正一〇）		三七	二三
梅堂遺稾　三土幸太郎著　同忠造編　大正九	一	二	三三〇
俳道要訣　三森準一編　大正七	一	三	五七〇
配當金に就て　吉田良三（會計學論叢第六集ノ內　大正一〇）		三五六	三九

	冊	函	號
貝多樹下思惟十二因緣經　吳、支譯譯（大正新脩大藏經第一六卷經集部三ノ內　大正一四）	特	四四	三七四
同		八六	三九一
俳壇十年　荻原井泉水　大正一一	一	五一七	一四
ハイヂ　ヨハンナ・スピリイ著　野上彌生子譯　大正九（世界少年文學名作集第八卷）	一	三七五	三九
肺「ヂストマ」の研究　横川定　大正八（臺灣ニ於ケル內臟寄生蟲病ノ研究第三回報告）	一	五九	五七
俳通（俳席便覽）　巖谷小波　大正五	一	三五七	一四四
梅天禪師法語　笹桂林　大正一五（題簽ニハ「梅天法語」トアリ）	一	一六五	一五〇
配電法　勝守寬二　大正四	一	三五一	七三
同	一	三五一	七三イ
配電盤及器具（電機學校長距離教授）　村尾栞　大正三（電機學校叢書第一一卷）	一	三三〇	三三
同　大正四	一	三三〇	三三イ
梅洞由筆　寶雲　六卷（眞宗全書第四四卷ノ內　大正三）	一	三四六	七
廢都を行く（詩集）　篠崎初太郎　大正一三	一	五二九	六三
黴毒（福岡醫科大學雜誌特別號）　九州帝國大學醫科大學雜誌部編　再版　大正六	一	五七	四六
背德者　アンドレ・ジッド著　石川淳譯　大正一三（現代佛蘭西文藝叢書第六）	一	五一五	七四
黴毒診療法　秦佐八郎（北里研究所補修講演錄ノ內　大正四）		六〇	三六一
黴毒性眼病學　增田隆　大正二	一	五五	八三
梅毒ノ血清診斷　野口英世著　赤津誠內譯　大正七	一	五七	五一

	冊	函	號
黴毒の蒼鉛劑療法　石丸一（新治療叢書第二編）　大正一三	一	六〇	七四八
黴毒ノ診斷　秦佐八郎（北里研究所補修講演錄ノ內　大正四）		六〇	三六一
黴毒之話　佐藤長祐（家庭醫學叢書第九編）　大正四	一	六〇	五三
肺と健康　志賀潔（社會文庫ノ內）	一	三四〇	五〇
バイト使用法　古賀圓藏　大正六	一	三六四	二〇七
ハイドロサルファイトの分解に就て　山崎隆平（色染叢書第九ノ內　大正一四）		三八〇	一六五
ハイドロサルファイトの分析法　桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第五ノ內　大正一〇）		三八〇	一六五
はいどろさるふあいと類ニ就テ　齋藤民次郎（盛岡高農同窓會學術彙報第三卷ノ內　大正一五）	一	四、五	八六
排日問題梗概　千葉豐治編　大正二	一	三四四	三三一
排日問題と基督教徒　網島佳吉　大正五	一	三三五	三九〇
排日問題の眞相　鈴木三郎　大正一三	一	五三三	二一四
ハイネ詩集　ハイネ著　生田春月（清平）譯　大正八	一	三一	八六八
ハイネ詩集（譯註）　粕谷眞洋譯註　大正一〇	一	三三三	四四五
ハイネ書簡集　ルードウイツヒ・フォン・エムブデン編　蘇武綏郎譯　大正一五	一	五五一	一〇六
ハイネ小曲集　ハイネ著　生田春月譯　大正一四	一	五一六	三四八
ハイネ小曲集　ハイネ著　松山敬譯（綠蔭叢書ノ內）	一	五五〇	八二

ハイネ全集	ハイネ著 大正九	生田春月譯	越山堂發行	一冊
第二卷 新詩集				函 三八九
ハイネ全集	ハイネ著 大正一四、一五	生田春月譯	春秋社發行	三 三八九 イ
第一卷 詩の木				號 三五
第二卷 新詩集				
第三卷 物語詩				
ハイネ評傳	藤浪豐 大正五			一 三五七 二五
ハイネ名詩選	松山敏譯 大正一二	(世界名詩叢書第一編)		一 五一六 一五一
ハイネ名詩選集	松山敏譯 大正一三	(泰西詩人叢書第七編)		一 三八九 八七
肺之健康法	(肺病豫防法) 井上壽男編 大正二	(國民衞生叢書第一編)		一 三四〇 二七
賣買投機之掛引要訣	井上廣吉(三昧) 大正二			一 三四二 三二四
賣買事業に於ける信用取引を論ず	石川文吾 (東京商科大學創立五十周年記念論文集ノ內) 大正一四)			五二 三三七
賣買論	石川文吾 訂六版 大正二			一 九〇 二二 ロ
廢藩當時の人物	尙球 大正四			一 三七 四二
廢罷訴權論	加藤正治 大正七			一 三八二 九
肺病營養療法	井上正賀 大正四			一 五三 二五
肺病奇藥田ウコギ草談	長屋信吉編 大正五			一 五〇 一六九
肺病患者と醫師の問答	北山啓助 大正一三			一 五三 二四
肺病患者は如何に養生すべきか	原榮 大正一三			一 五三 二一
肺病十大根治療法(最新研究)	岡田伊之助 大正八			一 五三 一五六

肺病征伐	ウツツ・ハッチンソン著 大正一五	古谷賴綱譯		一冊
肺病全快の祕訣	栗本東明 大正七	(實驗健康叢書第一編)		函 五三 三六
肺病全治者の療養實驗談	原榮編 大正一四			一 六〇 四六七
肺病治療法五十種	菊地林作、伊藤尙賢 大正九			一 六〇 七八〇
肺病の完全な豫防と自宅療法	玉生辰雄 大正一五			一 五三 一六六
肺病の養生及び豫防の心得	菊池米太郎 大正一〇			一 六〇 八一六
肺病は如何にして癒つて行くか	大野禧一 大正九	三二頁		一 五三 一七三
肺病は必ず治る(六博士講述)	水谷次郎編 大正一〇	(强健叢書第一編)		一 六〇 七〇八
パイプ	ジャンム著	(世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ內 大正一四)		五二〇 四五
パイプ	谷口武譯 作者不明傑作篇ノ內	(世界短篇小說大系小國現代短篇集附錄 大正一四)		五二〇 四五
誹風柳樽拾遺	第一 今井卯木校 大正一三			一〇 一五七 六九
誹風柳樽通釋	初、二篇 武笠三(山椒) 大正一三、一四			二 五三一 二七一
配付黴種に關する注意書	岐阜縣立、原黴種製造所同大井支所編 大正六			一 三七 九三
廢物棄てる物なし活用	矢野政代 大正七			一 三八六 六
廢物磐土ノ應用	瀧田岩造 綿谷政治郎	(大阪工業試驗所報告第三回第五號ノ內 大正一一)		一四二 四九八 イ
同				一四二 四九八 イ
廢物利用家禽飼料經濟法	大森清次郎 大正八			一 三六 一五三
廢物利用家庭養鷄	引田久次郎 大正六			一 三五八 一九〇
廢物利用植物性電池	附 簡易實驗電氣機製作法 今西宗吉 大正八			一 三八 七

廢物利用人造綿製造法	職業研究會編 大正一〇	四〇頁		一 三九六 九二
廢物利用堆肥問答	若林高孝 大正三			一 三二七 六八九
同 再版	大正四			一 三二七 六八九 イ
廢物利用法(誰にも出來る)	河口愛子 大正五			一 三六一 一〇
廢物利用法講義	鴨田脩治編 大正六			一 三六一 一三五
バイブルの神の罪惡	宮崎湖處子(八百吉) 大正九			一 三九二 一二三
俳文學選	志田義秀編 大正一五			一 三三八 四三五
佩文齋書題類抄	上田種豆編 天保一四 三卷			二〇 一〇三 一七二
俳文俳句抄	鴻巢盛廣等編 大正九			一 三三八 三六四
俳文俳句選	藤井乙男(紫影)編 大正一五 五九頁			一 五三一 七〇
癈兵	ゴールド・スミス著 吉利歷代名作集上ノ內	柳田泉譯 (世界短篇小說大系英 大正一五)		五二〇 四五
癈兵竝軍人遺家族の救護	內務省地方局編 (戰時列國地方資料第四輯)	大正六		一 三二六 二一
ハイペシャ	上、下 キングスレー著 大正一三	村山勇三譯		二 五三八 四三
賣卜先生糠俵	前、後編 虛白齋 (修養文庫第五編世俗訓ノ內	大正九)		三七五 三五
俳味紀行 山から海	巖谷小波(季雄) 大正一〇			一 五一六 五
俳味と信仰味	廣川靈城 大正八			一 三九二 二六
ハイヤー、イングリッシュ、コンポジション	小日向定次郎、コリンズ 大正一四			一 三三三 六六九
俳論作法集	佐々木醒雪、巖谷小波編 (俳諧叢書第四册)	大正三		一 三四五 四
賣藥處方全集	松浦齋 大正一五			一 五〇 二九〇
賣藥稅(租稅常識)	市場市次郎 大正一一			一 五〇二 一五八
賣藥製劑篇(和漢歐)	赤木勘三郎編 大正三			一 五〇 八五 イ
賣藥製造法大鑑	木塚唯七 大正六			一 五〇 一八八
賣藥製法全書	川崎近雄編 大正六			一 五〇 一七六
賣藥製法全書	鹽見伊八郎編 三版 大正一五			一 五〇 一七六 イ
賣藥製法解說	附 藥業繁榮策 松井啓編 大正三			一 六八 六二四
賣藥法詳解	長岡隆一郎 大正五			一 五〇 一五四
賣藥法令全書	艸樂新聞社編 大正三			一 六八 六二四
賣藥部外品賣藥類似品製劑備考	赤木勘三郎編 大正四			一 五〇 一四八
肺癆病論	佐久間延二 大正四			一 五三 一三三
梅柳短策	(國書刊行會本三十輯第三ノ內 大正六)			三三〇 五一
梅嶺詩文集	大石大年(潤)稿本 寫本			五〇 二〇五 九〇
バイロン	評傳及詩集 木村鷹太郎譯 大正一二	七五〇頁		一 五一七 一七八
バイロン	ジョン・ニコル著 (文豪評傳叢書第五)	二好十郎譯 大正一五		一 五四八 六
バイロン(天才詩人)	正富汪洋 大正一一			一 五一七 一二
バイロン卿を論ず	ユーゴー著 ユーゴー全集第一二卷ノ內	平林初之輔譯 (ユーゴー 大正一〇)		三五五 九三 イ
バイロン傑作集	バイロン著 木村鷹太郎譯 大正七			一 三七七 五四
俳論作法集	佐々木醒雪、巖谷小波編 (俳諧叢書第四册)	大正三		一 三四五 四
バイロン二詩人詩集	バイロン、シエリイ 正富汪洋譯 大正一一			一 五〇六 四

		冊	函	號
バイロン詩集	バイロン著 牛山充譯 大正一一	一	五一六	一三
バイロン詩集	バイロン著 幡谷正雄譯 大正一三	一	五一六	二一九
バイロン詩集	バイロン著 松山敏譯 大正一三 (泰西詩人叢書第八編)	一	三八九	八七
拜輪詩選	バイロン著 支、曼殊譯 三版 大正四	一	三三三	一三五
バイロン名詩小曲集	バイロン著 松山敏譯 (綠蔭叢書ノ內)	一	五五〇	八二
バイロン名詩選	バイロン著 佐藤通夫譯 大正一二 (世界名詩叢書第三編)	一	五一五	一五一
バイロン名詩選集	バイロン著 松山敏譯 大正一五 (泰西詩人叢書第八編)	一	三八九	八七イ
俳話錄	江口淡(巴港) 大正一〇	一	五〇一	二〇九
バインアップル	櫻井芳次郎 大正一四 (南支那及南洋調査第九九輯)	一	一四、二イ	四七八
バインアップル事業に關する諸講演	一九二三、一九二四年 臺灣總督官房調査課譯大正一四、一五 (南支那及南洋調査第一〇九、一〇四輯)	二	一四、二イ	四七八
ハインとグレーテ	シユミツトボン著 浦上后三郎譯 大正一四 (海外文學新選第三五編ノ內)		五一五	一三〇
ハインリヒ、フオン、クライスト	濱野修著 大正一五 (世界文學大綱第一四卷)	一	五四八	二一
同		一	五四八	二一イ
亡友追遠錄	杉浦重剛 大正一〇	一	三九四	八六
抱一應擧等粉本	寫本	特 一四枚	二る	一三三
抱一上人粉本	寫本	特 四軸	ん	一五七
抱一眞蹟	畫報社編 明治四五	一	三三三	一五
抱一と光悅	野口米次郎 大正一四 (野口米次郎ブックレット第二編)	一	五四八	五

		冊	函	號
寶雲經	梁、曼陀羅仙譯 七卷 (大正新脩大藏經第一六卷經集部三ノ內 大正一四)	特	四四	三七四
同			八六	三九一
寶永山の話	白井喬二(井上義道) 大正一三 (讀物文藝叢書第一篇)	一	五二七	四一
寶永年間諸覺	(國書刊行會本鼠璞十種第二ノ內 大正五)		三三〇	五〇い
寶永落書	矢島鐵太郎編 寫本	三〇	八三六	三四
寶永落書	(近古文藝溫知叢書第五編ノ內 明治二四)		四二	二三イ
防疫要論	大日本私立衞生會富山支會編 大正一二	一	六一	三二九
防疫志	朝岡龍太郎 六版 大正一二	一	一四、六ハ	一八三
防疫實務手提灯	阿野信榮編 大正八	一	六一	二六八
防疫法規輯覽	大阪府警察部衞生課編 大正六	一	六一	二一三
匏園詩存	支、枕谿 中華民國七	一〇	一七一	八〇
保延六年如法尊勝法記	(續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內 大正一四)		八〇	二二一
同			八〇	二二一ロ
芳翁醫談	愼獨軒老人談 寫本	一〇	一〇七	四〇三
訪歐大飛行誌	岡野養之助編 大正一五	一	五五七	六三
報恩院入壇資	(續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內 大正一四)		八〇	二二一
同			八〇	二二一イ
報恩講式講義	大含說 二卷 (眞宗大系第二七ノ內 大正九)		三六九	一五や
報恩記	芥川龍之助 大正一三 (歷史物傑作選集第二)	一	五二七	五二

報恩記講述	龍溫 (眞宗大系第二一ノ內 大正八)		三六九	一五な
報恩記殿中講話	南溪 三卷 (眞宗全書續編第一九卷ノ內 大正四)		三四六	七
報恩四德	小林榮運 (修養講話ノ內 大正四)		三四九	三五
報恩主義	宗像逸郎 大正九	一	三九三	八四
報恩鈔	日蓮撰 二卷 (日蓮宗全書本典部日蓮聖人全集卷一ノ上祖書錄內ノ內 大正三)		二四六	二〇二
同	(日蓮聖人五大名篇ノ內 大正一一)		五〇四	三七
同	日蓮撰 圓智註 二卷 (日蓮宗全書註疏部御書註上卷ノ內 大正三)		二四六	二〇二
同	日蓮撰 日講註 大正二一 (日蓮宗全書註疏部錄內啓蒙第五)	一〇	二四六	二〇二
報恩抄私見聞	日朝 (日蓮宗宗學全書ノ內 大正一二)		三五三	三〇ほ
芳崖先生遺墨全集	東京美術學校編 大正一〇	別 二〇	四二二	五一
芳崖と雅邦	梅澤精一 大正九	一	三八〇	一〇六
望海每談	(近古文藝溫知叢書第八編ノ內 再版 明治四三)		四二	二三イ
防海錄	附 大津濱上陸圖 小宮山昌秀(楓軒)自筆稿本 二・九×二・二 〔九册ノ首ニ藤田幽谷自筆ノ詩稿一葉アリ〕	特 一枚九	八二六	八二
芳香族硫基酸鹽類ノ乾餾ニ就テ	(豫報) 片山嵓 (南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第四輯ノ內 大正七)		一四、二イ	四五一
邦樂全書	いろは書房發行 大正四、五	三	三五五	三二
い 第一編	新選長唄全集 (關根點庵、小谷青楓編)			
ろ 第二編	新選うた澤 端うた全集 (湯朝竹山人編)			
は 第三編	新選琴唄全集 (中川愛氷編)			
寶覺祖心禪師語錄	子和錄 仲介重編 (大日本續藏經第五九七册ノ內 明治四五)		二二五	二

忙我手記	前橋耕圃 大正一二 四七頁	一〇	五二四	二〇
方鑒要義	飯田天涯 大正九	一	三七二	三五七
方閑莊日抄	田永世編 寫本 一八卷	六〇	一二七	二六一
放鵰集	荒波市平 大正六	一〇	一七一	六七
伯耆志	景山肅編 寫本	特 一二〇	た	二八
同	卷一、二、四、五 大正五 (因伯叢書ノ內)	二〇	一二八	二四〇
忘機集	濱田活三編 大正六	二〇	一一	二三三
伯耆國大山寺緣起	(續群書類從第二八輯ノ上釋家部ノ內 大正一五)		八〇	二二一
同			八〇	二二一イ
伯耆國輿地全圖	寫本 二・五×五・二	一枚	一一九	一九三
伯耆の大山	池田喜市郎編 明治四五 三一頁	一	三四四	五四
伯耆之卷	附 船上錄、里の諺、船上山遺事 大正三 (因伯叢書ノ內)	一	一二八	二四〇
(異本)伯耆卷	(續群書類從第二〇輯ノ上合戰部ノ內 大正一二)		八〇	二二一
同			八〇	二二一イ
伯耆民談記	卷上、下 松岡布政 大正三 (因伯叢書ノ內)	一〇	一二八	二四〇
伯耆民談記	〔松岡布政著〕 西橋景貢校 寫本	特 三〇	た	二七
望鄉	池谷信三郎 大正一四	一	五四四	一二一
寶慶記	道元記 (日本大藏經第八卷ノ內 大正四)		三五三	六
寶鏡鈔	宥快 (國書刊行會本信仰叢書ノ內 大正四)		三三〇	四九を

寶行王正論	陳、眞諦譯（大正新脩大藏經第三一巻論集部ノ内 大正一四）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
放懷	松村介石等 大正一四		一〇	一〇〇
彷徨	江馬修（不滅の像第二） 大正八		一	三七七 一三七
膀胱鏡學	安藤畫一 大正一三		一	五三 四八
膀胱鏡檢査法	朝倉文三 大正三		一	五三 三六
方廣寺鐘銘並五山衆評判	（大日本佛教全書第一一九册ノ内 大正四）		三五三	一〇
邦光社大阪部歌會	第五集（大正一三年五月五日）同社編 大正一三		一〇	一六〇 二一一
邦光社歌會	第三五、三七集 同社編 大正一三、一五		二〇	一六〇 二一三
方廣大莊嚴經	唐、地婆訶羅譯 一二巻（大正新脩大藏經第三巻本緣部上ノ内 大正一三）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
放光般若經	西晋、無羅叉譯 二〇巻（大正新脩大藏經第八巻般若部四ノ内 大正一三）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
寶貨雋	（國書刊行會本德川文藝類聚第一二評判記ノ内 大正三）		三三〇	四九ろ
防火栓	ヒルシュフェルト著 森鷗外譯（鷗外全集第一六巻ノ内 大正一三）		五一〇	一
同		特	五一〇	一イ
同	（世界短篇小說大系獨逸篇ノ内 大正一五）		五一〇	四五
同	（泰西名著文庫諸國物語ノ内 大正四）		三四五	一三ほ
防火知識	緒方惟一郎 大正一四		一	五四六 二九
防火塗料ノ製法ニ就テ	平野茂 大正一四（東京工業試驗所報告第二〇回第八號）		一	一四、三 一一七イ
同			一	一四、二 二七ロ
寶貨漫文抄	大村成富（國書刊行會本扶桑十種第二ノ内 大正五）		三三〇	五〇い
坊觀流盛花	木原啓作 大正七		一〇	一〇 三三
坊觀流盛花之枝折	聽水庵春翁 大正一四		一〇	一五 四三四
寶髻經四法憂波提舍	天親造 元魏、毘目智仙譯（大正新脩大藏經第一二六巻釋經論部下毘曇部一ノ内 大正一五）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
方形デッドボール競技法	上林英太 大正一五		一	五六四 八
抱月隨筆集	島村抱月（明治大正隨筆選集第一四） 大正一四		一	五三九 三六
抱月全集	第一至八巻 島村抱月 大正八至九		八	三七九 一

隨感
新意を盡むるの書
雅劇妹山脊山
文藝と嵬派
精神的社會問題個人の寂寥
衆俗的勢力と新聞雜誌
新精神的傾向と教育
教育と精神的革新
重ねて新精神と教育とを論ず
新宗教家は實感情小說を作るべし
精神の强弱と國民的趣味
近代批評の意義
近代批評の意義
再び「近代批評の意義」について
イブセンと社會的哀憐
小說中のアドエンチュアス
文藝的理想
戰後の社會が要求する娛樂の二意義
職業と理想
助六と道德
頭と手
扞格偏倚の社會
應用文學
俳句的標象
文藝の調の翻譯
文藝瑣談
考へさせる文藝と考へさせぬ文藝
英國の尙美主義
「五人女」に見えたる思想
問題文藝と其の材料
新舊演劇の前途
脚本をして先づ讀物たらしめよ
演劇の第二種第三種
趣味の變化
知識ある批評
劇壇壁訴訟、批評
小說—描寫、批評
近代文藝の特色一二
人生を描くとは何ぞや
文藝座談
文藝は男一生の事業とするに足らざる乎
三人の作物
脚色論、雜談論
口語詩問題
四十一年文壇の回顧
行はせる藝術と考へさせる藝術
論議一二
解放文藝

文士推讓に就て
實行的人生と藝術的人生
演劇の保護
飜譯上の注意二三
新批評新演劇
現時文壇の缺陷
宗教の三分化と文藝
「復活」私議
藝術は何の爲めに存在するか
二葉亭論二則
作品に現はる可き作家の主觀
批評に就て
新史劇の試み
最近英米文壇と現實主義の世界的傾向
自由劇場に就いて
藝術の形式と內容
新しき作家に
明治四十二年文壇の回顧
文明思潮を描ける文學

第二卷

文藝雜評論
探偵小說
朦朧體とは何ぞや
「敗北」を評す
個人の寂寞勝利の悲哀
文藝以內と以外
思ひより
「青春」を評す
今の文壇と自然主義
情緒主觀の文學
禁閉覺の文學
東西新文藝の對比
「浦潮」を評す
梁川、樗牛、時勢、新自我
其面影を評す
文藝上の自然主義
情を盡くした批評
主觀の讓遜、現實修飾の悲哀
充實を欲する社會
イブセンの解決劇
教育と文藝との關係
自然主義の價値
自然主義と一般思想との關係
文藝上の自然主義
駁論二三
冷めた自己
藝術と實生活の界に橫はる一線
現代の詩
序に代へて人生觀上の自然主義を論ず

第一義と第二義
懷疑と告白
四十二年思想界の收穫
新文藝の將來を祝福せよ
近松の藝術及人生
最近所感
文壇觀戰記
東京座の新社會劇を見る
最近の問題
自己と分裂生活
戒むべき最近文壇の二傾向
現代の藝術と宿命觀
文學の將來
人間味と超越味
桐一葉の藝術と思想
トルストイの藝術と思想
文藝の生命＝地方色
現代の青年に與ふる書
四十三年の文藝學界
藝術界の明治四十三年
藝術雜感
將來の日本劇壇
文學の二大效用
ゲーテと惡魔
トルストイの教訓劇と惡魔
感情の强さ深さ
新しき現實
藝術と國民性
粗い調子の新文學
明治文學と德川文學の交替
詩と口語
文藝時事
國字の前途
當來の文藝
近松と東西心中劇の比較
現實主義の分化と新及深
「人形の家」雜感
「人形の家」と飜譯劇
ノラの解釋に就いて
四十四年の藝術
劇壇に於けるコスモポリタニズム
「獄」の評
飜譯の事
支那革命と我思想界
「故鄉」の上場に就て
文藝協會の「故鄉」
ズウダアマンの「故鄉」に描かれたる思想問題
「マグダ」の禁止問題
「故鄉」實演後の所感
近世演劇上の二說
作家俳優舞臺監督
新時代を準備せる明治の文學
現代劇の小說類と劇壇の問題
最近の小說界と劇壇の問題
飜譯劇の事
無限に新しかるべき藝術
現代喜劇の經過
「人形の家」とイブセンの作劇術
新しき劇壇の論議
四種の人
婦人問題と近代文藝
思想と政權の壓迫
諷閣の後
積極的な簡易生活
メーテルリンク論
「モンナ・ヴンナ」と「武器と人」
「モンナ・ヴンナ」の內的研究
藝術座の「モンナ・ヴンナ」
メーテルリンクの新史劇
文藝上より觀たる今日の民族競爭
「サロメ」上演に就て
「サロメ」一面觀
大正三年文壇の觀測
劇の將來
今年の劇壇と藝術座の事業
藝術家は可哀相なものである
「海の夫人」と神秘の現實化
「海の夫人」に就いて
飜譯劇時代
演劇の型
新問題劇の意義
文藝と平和
戰爭と思潮
舞臺監督と「デオゲネスの誘惑」
相對人格と絕對人格
藝術の弱小
此の事實を如何にするか
新劇團と創作劇
新史劇の技巧
藝術と鄉土
「アンナ・カレニナ」劇
自然主義運動の意義
人道主義と僕一個の考察
民衆藝術としての演劇
新劇將來の一問題
將に一轉機を劃せんとす

第三卷
春青時に於ける向上派の倫理と享樂派の倫理
文藝上の主義を如何に受け容れるか
「作らんとする心」と「沈鐘」
新劇と科白
將來の國字國語と音樂的基礎
美學及歐洲文藝史
美學及美術上の研究
審美的意識の性質を論ず
「新古」の快感と美の快感との關係
音樂美の價値
變化の統一と想の化現
氣韻生動
審美的研究の一法
和漢の美論を研究すべし
ルイ王家の夢の跡
歐洲近代の彫刻を論ずる書
ドイツ近代の銅像彫刻
動的美學
美學と生の興味
歐洲近代の繪畫を論ず
美術講話
獨逸現代の音樂家
英國最近の繪畫について
繪畫談
新裝飾美術
美術談
ミロー・ヴゥーナスの秘密
美學未定稿
サンタヤーナ　マーシャル美學綱要
リップス　文藝概論
藝術論講話
悲劇論
歐洲文藝思潮史講話
第四卷
新美辭學及文學概論
新美辭學
新文章論
文章雜考
文學概論
明治文學略史
第五卷
飜譯
故鄉（ズーダーマン著　島村抱月譯）
人形の家（イブセン著　同譯）
ベレアスとメリサンド（マーテルリンク著　同譯）
七王女（同）
モンナ・ヴンナ（同）
海の夫人（イブセン著　同譯）
復活（トルストイ著　同脚色）
クレオパトラ（シエーキスピアー著　同改修）
第六卷
創作
（小說）
しろあらし
玉かづら
めをと波
笹すべり
月暈日暈
なかれ星
佛ぞろへ
白蓮華
墨繪草紙
夏の夢
利根川の一夜
衆生心
花がるた
待つ間あはれ
後の鹽原
紅涙賦
山戀ひ
柏峠
斷片
小門の夜焚
その女
（戲曲）
淸盛と佛御前
運命の丘
海濱の一幕
復讐
競爭
赤と黃の夕暮
第七卷
文藝雜纂
（劇壇）
英國の劇壇
ツリーの「リサレクション」
アーヴィング劇「ダンテ」
名優アーヴィング最後の幕
英國劇と道德問題
ビネロ作「二度目のタンカレー夫人」
劇場問題
演劇雜談
オペラ雜感
舞踏とオペラ
「ミカド」オペラの事
オペラは亡ぶべきか
オペラの將來
新代劇とヤマ

帝國劇場の當事者の一考を煩す
帝國劇場への註文
沙翁劇公演所感
藝術になつた劇
歌舞伎座問題
文藝協會より
劇壇雜感
ズーデルマンの「故郷」に就いて
演劇と劇場
近代劇と女性
藝術座の稽古室より
藝術座より
「復活」問題に就いて鈴木辯護士に送る
藝術座の「生ける屍」
藝術座と松竹の事
藝術座の事
（文壇）
英國の小說界
英國の詩宗
雜事
イブセン小傳
歐文學中の日本
外國文藝家の計
外國新聞と意氣相感
論文體の自然主義
英國學者の一面
文藝院と文學
國語？漢文？歐文？先づ何を學ぶべき
懸賞小說「友千鳥」を讀みて
觀照卽人生の爲なり
「新潮」記者へ
個人的表白
辯解文
二潮交錯
教育と實世間との隔離
學校卒業者の職業問題
思想と實行との距離
文藝雜誌を評す
英國の雜誌と日本の雜誌
文藝委員會に就いて
瑣言
（趣味）
日本趣味と西洋趣味
ロセチが描ける顏
紀念像と神社
ヨオロッパの墓地及び靈廟
家屋哲學
繪畫に於ける印象派

明治の建築美術
議院建築問題
古格を崩さゞるもの
顏の表情
第八卷　隨筆、日記、書簡、
（紀行）
沙翁の墓に詣づるの記
奈良より
京都より
名古屋紀行
（小品）
風を追ふ
幻滅の一日
書卓の上
故郷の父
宅地
一夜
心の影
（滯歐通信）
（一）文壇雜報
取りあつめて
文壇雜報
偶感
（二）風光
新嘉坡より
海上日記
旅中旅行
北英山水の概觀
基督の再來
英米の同情
英國で見る日本
凱歌
零墨
（雜俎）
文學入門者に
新たに文學に之く者に與ふ
文學志望者の覺悟
女學生・批評・戰記
エルドン氏の演說
手紙と手紙小說に就いて
心理學者ラッド氏を迎ふ
文藝座談
都會の力
早稻田大學教室より
讀書と記憶
私の好きな文章
秦の天下
過去の早稻田文科

再興した頃の「早稻田文學」
樂屋で會つたヘンリー・アービング
故綱島梁川君
故梁川君の柩に捧ぐる辭
文學者としての綱島君
大西祝氏の追憶
國木田獨歩の靈に捧ぐる辭
夏目漱石氏の追憶
近代文藝は婦人を如何に觀るか
思ひより
人形の家の序論
（隨筆）
對墓庵漫筆
覺えがき
僕のページ
題言
初冬茶話
予の道樂
此頃の事
二十四時間と僕の生き方
（序文及公開狀）
（書簡）

寶篋印陀羅尼經和解祕略釋　蓮體　三卷（國書刊行會本佛教集說ノ內　大正五）　三三〇　四九た
寶篋院陀羅尼傳來記　道喜撰（大日本佛教全書第一一六册ノ內　大正一一）　三五三　一〇
寶研齋叢書　出野曦山畫　大正一五　一〇　四二一　九五
第一集　曦山人臨冬心花卉册
方言雜集　信濃教育會編　大正一五（一茶叢書第二編）　一　五四八　五九
保元三年番記錄（續群書類從第一〇輯ノ下公事部ノ內　再版　大正一五）　八〇　二二一ロ
保建大記　卷之上、下　栗山愿（勤王文庫第一編ノ內　大正八）　三七九　九
保建大記打聞　栗山愿著　谷重遠講　三卷（國民道德叢書第二編ノ內　明治四五）　三三〇　三五
保元平治　秋里籬島（通俗日本全史第二卷ノ內　大正元）　三三四　一九四
保元平治　日本史蹟叢書刊行會編　大正七（日本史蹟叢書ノ內）　一　三一　五七六

保元平治鬪圖會　秋里籬島　一〇卷（日本歷史圖會第三輯ノ內　大正一〇）　三九九　三
保元物語　池邊義象等校註（校註國文叢書第五册ノ內　大正二）　三四五　二
同　佐伯常麿校註（校註日本文學大系第一四卷ノ內　大正一四）　五四三　一
同　　五四三　一イ
同　武笠三校〔「平治物語、北條九代記」ト合綴〕　三九四　二二七
保元物語抄　鈴木敏也編　大正一三〔「平治物語抄」ト合綴〕　三二二　三九七
保元物語評釋　鳥野幸次　大正二　一　三三二　四一六
方言やつとかめ　竹內義王　大正一〇　一　三九三　三〇〇
放言錄　村上浪六　大正四（大正名著文庫第二〇編）　一　三四〇　三六
同　（浪六全集第二〇編ノ內　大正一二）　七一　四八九
同　（浪六全集第二六編ノ內　大正一五）　五五〇　五七
同　　五五〇　五七イ
放牛經　泉芳璟譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第五卷ノ內　大正一三）　五一五　一〇四
亡國行　別題內膳と勝賴　中島淸　大正一三　一　五二九　一三七
報國館鐵仲流天神鐵眞流柔術型極意秘傳圖解　附錄付　大串仁十編　大正一五　一　五五二　八一
方谷先生年譜　山田準　大正五　一〇　一八七　三九五イ
澎湖群島地質調査報文　臺灣總督府殖產局（出口雄三）編　大正元　一　三四四　一二八
澎湖廳誌　大正一一（臺灣全誌第六卷）　一　五〇八　六

		冊	函	號
砲後の人	留岡幸助 大正九	一	三七三	四九
防災と防疫	宇野利右衞門編 大正九（職工問題叢書第三冊）	一	三五三	元
訪災日乘	柳川信治 大正三	一	一一八	二七八
寶藏院流鎗術秘書	寫本	一	一〇六	三一四
疱さう食もつ考	池田瑞仙〔天保一一年序〕	一帖	一五八	七三
茅窩漫錄	茅原定（日本經濟叢書卷一九ノ內 大正四）	一〇	三四六	八
方山遺稿	內垣末吉 大正六	一〇	一六一	三四
邦産烏頭屬植物中のアルカロイドに就て	第一回報告 東北帝國大學理學部化學教室（眞島利行等）編 大正一四	一	一四五	一四七
芳山小記	賴千鄰 大正一三	一〇	六六	三五七
邦産醱酵製品中 β:γ—Butyleneglykol の分布	平友恒 大正一五（臺灣總督府中央研究所工業部報告第一二號）		一四、二	一八五
方山文寶禪師語錄	先覺等錄／機雲編（大日本續藏經第六〇八冊ノ內 明治四五）		三三五	二
芳洲遺稿	一柳薰著 同貞吉編 大正九	一〇	一一	三三三
房州延命寺內箴規略	寫本（里見叢書第一五冊）		一九五	一七五
房州見物	磯谷武一郎 大正六	一	三七三	五九
防州自生植物採集の友	山原種逸 大正四	一	三三九	五四三
房州みやけ	鷲見剛亮 明治四五	一	三三九	一一六
房州めぐり	安房振興會編 大正一四	一	五一六	三三一

		冊	函	號
放資要覽	第一輯 製糖篇 副島延一 大正二	一	三三六	一五〇
胞子注射椎蕾栽培法	今牧棟吉 大正三	一	三三九	四九一
帽子ピン	中村吉藏（現代戲曲全集第四卷ノ內 大正一四）		五二〇	二五
放生會を觀し記	太宰純（國書刊行會本三十輯第二ノ內 大正六）	一〇	三三〇	五一
放生歡喜草	純稱（大日本風教叢書第九、一〇輯ノ內 大正一〇）	一〇	一六六	三一四
同			三六九	二
			三六九	二
寶生太夫勸進能之圖	寫本〔弘化五年筋違橋御門外ニテ興行當時ノ圖繪ナリ〕	軸	二	ん 一七
寶星陀羅尼經	唐、波羅頗蜜多羅譯 一〇卷（大正新脩大藏經第一三卷大集部ノ內 大正一三）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
放生手引草	空華（大日本風教叢書第九、一〇輯ノ內 大正一〇）		三六九	二
			三六九	二
同			一〇	一五九 八三
寶生流いろは別名寄	江島伊兵衞 大正七		二	三一 七五七
寶生流謠曲手引集	中澤鉦丸 增補 大正七		六〇	一〇三 三九三
寶生流地拍子手附正本	卷一至六 寶生九郎 大正九		一	四六 二一〇
放射能概論	愛知敬一 大正九	特	四四	三七四
寶授菩薩菩提行經	宋、法賢譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ內 大正一四）		八六	三九一
同			一	五一七 六六
忘春詩集	室生犀星 大正一一		一〇	一一 二五三
芳春夫人小傳	近藤磐雄 大正六			

		冊	函	號
紡織要覽	大正二至七年度用 工業教育會（後、紡織雜誌社）編 大正元至六	六	三三三	二〇四
紡織界	紡織雜誌社發行 第一四卷第九號（大正一二年九月）ヨリ	雜		四九 三〇九
紡織計算	下 工業教育會編（紡織叢書第四編） 明治四五	一	三三〇	二八
紡織原料學	大佳吾八 大正六（實用工藝叢書第三編）	一	三三〇	四八
紡織工業製品竝雜工業製品輸出入額統計表	臨時產業調查局第三部第三課編（同局）調查資料第四八號） 大正八	一	一四、二	イ 四一八
紡織工業並雜業に及ぼしたる時局の影響	農商務省商工局編 大正八	一	三七八	二九
紡織術一斑	小原千藏編 大正九	一	三九五	七一
紡織叢書	工業教育會編 明治四五至大正五	七	三三〇	二八
第四編	紡織計算 下			
第五編	レザーローラー			
第六編	輪具精紡機			
第七編	打棉機			
第八編	練篠機			
第九編	梳棉機			
第一〇編	混棉法			
第一一編	撚絲機			
第一二編	開棉機			
第一三編	精紡機問答 上編			
同 四編	下編			
第一六編	梳棉機據付法			
第一七編	粗紡機取扱法 下編			
第一八編	精紡機實用計算			
第一九編	捲返機			
第二〇編	粗紡機運轉法 上			
同 二一編	下			
第二二編	梳棉機取扱法 上			
第二三編	精紡機管理法 上			
訪書餘錄	和田維四郎編 大正七	特	六〇	二四〇 七一
方針	野口繁治編 再版 大正九		一	三八七 一五五
傍人異論決	（淨土傳燈輯要卷下ノ內 大正一〇）		一五九	八九
芳深交話	六好（國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ內 大正三）		三三〇	ろ 四九
寶晉齋法帖	卷第四 石田淩風編 大正一五〔題簽ニハ「寶晉齋本十七帖」トアリ〕		一〇	二〇三 一五〇
邦人新發展地としての北ボルネオ	三穗五郎 大正五		一	三六〇 三〇〇
邦人の開拓すべき支那の大富源	長崎武 大正八		一	三八四 一〇三
邦人の發展地ブラジル	大島喜一 大正一三		一	五一四 三五八
邦人發展總南米	朝日胤一 大正一〇		一	三九四 一〇七
邦人英語の發音	本位 神保格 大正一〇		一	三三三 三七五
抱水クロラール、クロロフォルム	田原良純編（化學工業全書第六冊ノ內 四版 明治四四）			四五 一九〇ニ
方錐形天幕製式及使用法	陸軍省編 大正七		一	三一 七四六
防水布に就きて	桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第五ノ內 大正一〇）			三八〇 一六五
ハウスオヴコブウェブズ	（英和對照全譯ギッシング短篇集） ギッシング著 牧一、寺井邦男譯 大正一五		一	三三三 七二
砲聲を聞きつゝ	石川三四郎 大正四		一	三五七 一〇〇
寶石	久米武夫 大正三		一〇	四一一 五一
寶石	モウパッサン著 安成四郎譯（モウパッサン全集第六卷ノ內 大正一〇）			三九〇 四一

		冊	函	號
紡績機械管理法	佐野芥舟 大正八	一	三六四	四〇六
紡績機械ダイヤグラム集	宇野利右衛門 大正四	一	二九	四四五
紡績技術問答	佐野芥舟 大正六	一	三六四	三一一
紡績業と綿絲相場	深澤甲子男 大正一五	一	五六四	五三
紡績業の混亂と其の將來	深澤甲子男 大正一一	一	三九五	二三二
紡績業の將來	下野新之助 大正七	一	三六一	二五〇
紡績工場原價計算法	アーサ・エッチ・ハードマン著 高塚榮譯 大正一〇	一	三九五	一四三
寶石誌	鈴木敏編 大正五	一	三五九	四二
紡績縮緬漂白試驗	高松德治郎、荒井谷吉（東京工業試驗所報告第一〇回ノ內 大正五）	一	四、二イ	一一七
紡績と機織法	杉田廉（最新實用染織叢書第二篇）	一	五〇八	二四
房總遊覽誌	中村國香等（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ內 大正三）		三五三	一
房總一覽志	寫本	五〇	一〇二	一八二
房總漁業見聞錄	寫本	二〇	一四七	一六一
房總軍記	（國史叢書ノ內 大正五）		三四〇	三一れ
房總軍記	寫本（里見叢書第五、一三册）	二〇	一九五	一七五
房總雜記	嶺田楓江（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ內 大正三）		三五三	一
房總算學調査資料	千葉縣圖書館編 大正一五			
第一輯	北總之和算家花香安精文庫紀要			
第二輯	南總之和算家鈴木重昌文庫紀要	一	一四、五	一七二
房總衆說義德隨筆錄	寫本（里見叢書第六册）	一〇	一九五	一七五
房總志料續篇	田丸健良 一四卷（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ內 大正三）		三五三	一
房總靜養地案內	小山田清編 大正七	一	三七三	二一四
房總叢書	房總叢書刊行會編 大正三	一	三五三	一
第二輯	地誌及紀行 上總國誌稿 上、中 六卷（內務省地理局編）			
	萬葉集抄			
	延喜式抄			
	倭名類聚鈔抄			
	日本總國風土記抄			
	さらしな日記抄			
	回國雜記抄			
	東路の津登抄			
	椿新田記			
	房總志料續篇 一四卷（田丸健良）			
	金ケさく紀行（中村國香）			
	香取の日記（加藤千蔭）			
	佐倉風土記（磯邊昌言）			
	相馬日記抄（高田與清）			
	南遊雜記（安積艮齋）			
	南總往來			
	中山まふで			
	南總紀行旅眼石（十偏舍一九編）			
	東金記錄			
	東金城明細記			
	東金明細書			
	房總遊覽誌（中村國香等）			
	埴生郡聞見漫錄（深川元儁）			
	浪淘集（梁川星巖）			
	南總珍 二卷（渡邊寬）			
	枕山詩鈔抄（大沼枕山）			
	房總雜記（嶺田楓江）			
房總の偉人	林壽祐編 大正一四	一	五三四	一〇七
房總半島ニ於ケル土地ノ隆起	今村明恒（震災豫防調査會報告第一〇〇號乙ノ內 大正一四）		一四、四	一一五
放送無線聽取機の据付と組立法	加島斌 大正一四	一	五四一	八二

		冊	函	號
放送無線電話	中上豐吉 大正一四	一	五四一	一三
放送無線標準聽取機の組立	門岡速雄 大正一五	一	五二四	三一一
房總物語	第一輯 瀧田憲治編 大正一五	一〇	一七三	九七
放送ラヂオ	安藤博 大正一四	一	五四一	六九
砲臺島（少年小說—）	葛原茵 大正八	一	三九一	六
放蕩親爺	前篇 バルザック著 永戶俊雄譯 大正一三	一	五三八	一八
放蕩息子	シユミツトボン著 秦豐吉譯（近代劇大系第七卷獨墺篇三ノ內 大正一三）		五一五	二六
同	（近代劇大系第七卷獨墺篇三ノ內 大正一四）		五一五	二六イ
放蕩息子	（新約聖書より）木村毅譯（世界短篇小說大系古代篇ノ內 大正一四）		五二〇	四五
はうた手をどり稽古本		一〇	一五八	八八
端唄（はうた）の意（こころ）	（一聲は月がないたか郭公）（團扇繪）豐國畫	一枚	七別	一八四
花哇一夕話	梅暮里谷峩（書物往來叢書第三輯歌謠篇ノ內 大正一五）		一七三	六三
寶塔を開く迄	鳥越道眼 大正一二 九九頁	一	五一七	三〇二
砲彈を潛りて	川田功 大正一四	一	五三二	一八四
砲彈の下に立ちて	秋田孝三編 大正一四	一	五三八	六〇
寶池院前大僧正入壇資記	（續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內 大正一四）		八〇	二二一
同			八〇	二二一イ
報知懸賞住家設計圖案	佐藤功一編 大正五	一	四一九	七四
報知新聞小史	附記念事業新築概要 報知新聞社編 大正一一 三一頁	一	三九三	四六〇
報知年鑑	大正一四至一六年 報知新聞社編 大正一三至一五	三	一四、四	六七六
報知文化叢書	報知新聞社發行 大正一二、一三	二	五一五	四〇
いろ	國民豫算論（太田正孝） 印度の不安の眞相（衣斐鈔吉）			
庖丁	田山花袋（花袋全集第三卷ノ內 大正一二）		五一五	三六
防長海外協會々報	同會編 大正一三	一	五二四	一六一
第九號附錄	朝鮮事情 其一			
方丈記	鴨長明 大正一四	特一帖	一三九	二九二イ
同	鴨長明著 池邊義象等校註（校註國文叢書第一二册ノ內 大正三）		三四五	二
同	鴨長明著 大町桂月校註（修訂國文注釋全書ノ內 大正三）		三四〇	四〇
同	鴨長明著 塚本哲三校（有明堂文庫ノ內 大正一五）		五四三	二一
同	鴨長明著 物集高量校註（新釋日本文學叢書第五卷ノ內 大正七）		三四五	一三
同	鴨長明著 山崎麓校註（校註日本文學大系第三卷ノ內 大正一四）		五四三	一
同			五四三	一イ
同	（彰考館本）鴨長明著 山岸德平校註（校註日本文學大系第三卷ノ內 大正一四）		五四三	一
同			五四三	一イ
（異本）方丈記	鴨長明著 珍書同好會校 大正四 一〇枚	一	一〇三	三六八
方丈記泗說	（國文註釋全書第九編ノ內 大正三）		六三	八五イ
方丈記新解	德本正俊 大正一四	一	五四四	一五四
方丈記新釋（改定—）	竹野長次 大正八	一	三七三	二六五

方丈記とその口譯(新らしい解釋の)	三浦圭三	大正一三	一	三九三
「方丈記」に現れたる源平の盛衰	田山花袋(花袋全集第一一卷ノ內)	大正一二		五一五
寶田二十五年史	寶田石油株式會社(營業の栞)	同社編 大正九	一	三八〇
方等之事	日向(日蓮宗宗學全書ノ內)	大正一〇	一	三五三
暴動の眞因	立石駒吉	大正七	一	三七三
暴騰暴落株式の運用	野中春洋	大正九	一	三九五
報德及結社の栞	山田猪太郎	增訂四版 大正二	一	一七
報德教及結社の鑑	石田傳吉	大正二	一	三四九
報德教と片平信明翁	一名 杉山報德社事蹟(喜三郎)	中上信英 大正三	一	三三九
報德研究(精神ノ作興ニ)	岩崎源兵衞	大正一四	一	五三三
報德溯源	井口丑二	增訂再版 大正八	一	三六三
寶德三年以呂波百韻	(續群書類從第一七輯連歌部ノ內 明治四五)			八〇
寶德三年三代集作者百韻	(續群書類從第一七輯連歌部ノ內 明治四五)			八〇
報德修養訓話	花田仲之助	大正一〇	一	三九六
報德實踐修養講話	花田仲之助著 報德塾編	大正二	一	三四三
報德仕法爐邊獨語	金井利太郎(北遠)	大正二	一	三四四
報德社事業年鑑	第一、三至五、一〇、一一編	山田猪太郎 大正五至一五	六	一四四
報德社に關する方法及成績	豐滿市農會編(農村的優良事業の方法成績ノ內)			三五八

報德處世修養新話	井口丑二	大正六	一	三六三
報德清談	井口丑二	大正八	一	三八七
寶德千句	(續群書類從第一七輯連歌部ノ內 明治四五)			八〇
報德と農村	二宮尊親(福島縣農會主催第三回農村經營講習會講話集ノ內)	大正元		三三五
報德之力	內田郁太	大正四	一	三三九
報德の光	岡田淡山	大正一〇	一	三九三
暴徒の子	菊池寬(菊池寬戲曲全集第一卷ノ內)	大正一〇		三九六
同	(現代戲曲全集第五卷ノ內)	大正一三		五二〇
房南捕鯨志	上卷 竹中邦香稿本	寫本 明治二〇	一	一八七
寶女所問經	西晉 竺法護譯 四卷(大正新脩大藏經第一三卷大集部ノ內)	大正一三		四四
同				八六
方法省察原理	デカルト著 出隆譯(哲學名著叢書第一編)	大正八	一	三七九
方法論	デカルト著 牛山元譯(世界名著文庫第一編)	大正八	一	三八九
褒美喜名話	がんろ 寶曆七 三卷(大阪濱芝居子供役者評判記)		一	京
防非鈔	(大日本佛教全書第六八冊ノ內)	大正七	一	三四一
防貧事業概說	齋藤樹(社會事業講演集第一編ノ內)	大正一〇		四五
暴風雨調查報告	大正一〇年九月二五日 奈良縣八木測候所編 九頁		一	一四、六
暴風雨の前	田山花袋(花袋全集第四卷ノ內)	大正一三		五一五
暴風に面せる日本	渡邊小洋	大正九	一	三八七

暴風の話	宮崎地方測候所編	大正四	一	三六三
暴風避航法講話	小金丸增次郎	大正一四	一	五四二
暴風來	上杉愼吉	大正八	一	三六二
防府記勝新詠	大田報助	大正二 一七枚	一	三三五
抱腹絕倒滑稽問答	町田柳塘(源太郎)	大正一〇	一	五〇一
方服圖儀	飲光	大正元	二	二三三
同	(大日本佛教全書第七四冊ノ內)	大正一〇		三五三
同	(日本大藏經第一三卷ノ內)	大正五		三五三
方服圖儀講解玄談	飲光	大正一一(慈雲尊者全集第二輯ノ內)	一	二一二
方府私話	關鼎齋口授	寫本 三卷		四四
謗佛經	元魏、菩提流支譯	(大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ內 大正一四)		八六
同				八六
ハウフ童話集	ハウフ著 藤井昭譯	(世界童話大系第二三卷獨逸、西班牙篇ノ內 大正一五)		五二〇
ハウフの童話	ハウフ著 田中楙吉譯	大正四(獨和對譯獨逸國民文庫第四編)		三三三
邦商業通信活法	岡田市治	大正二		三四九
邦タイピスト手ほどき	日本書字機商會編	大正五 三四頁		三三九
邦文タイプライター解說	日本書字機商會編	大正六		三三九
邦文タイプライター教科書	日本書字機商會編 大正五			四一九
同	甲 日本タイプライター株式會社編	訂再版 大正六		四二九

暴			一	三六三
暴			一	五四二
防			一	三六二
暴			一	三三九
報			一	三三五
報			一	三三九
報			一	三五三
報			一	三四九
報			一	三四四
報			一	三四九
報			一	三四三
報			一	三四四
報			六	一四、四
報			一	三五三
報			一	三六三
報			一	三四三
報			一	三四九
報			一	三四五
報			一	三四五
報			一	三四五

	冊	函	號
邦文タイプライター用文字の索引　日本タイプライター株式會社編訂再版　大正六	一	三三九	九九四
同　一一版　大正一三	一	三三九	九九四イ
邦文圖書分類目錄　大正一〇年三月現在　南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調査局編	一	三一七	一一六
邦文日本外史　上編　賴山陽著　池邊義象譯　大正一五	一	一五六	八六
同　增補　大正一五	一	一五六	八六イ
邦文パンフレット分類目錄　南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調査局編　大正一五	一	一五八	二五九
邦文論語大意　肥田野畏三郎　大正七	一	三七〇	五〇
砲兵馭術論　T、F生　大正五	一	三一八	三三四
砲兵馭法教範草案　陸軍省編　大正九	一	三八八	三五八
砲兵諸教練計畫指導實施上ノ着眼　陸軍士官學校研究會編　大正一一	一	三一九	四三三
砲兵斥候ノ研究　安西理三郎編　大正一三　九四頁	一	三一九	四四四
方便化身土章　慧琳（眞宗全書續編第二三卷ノ內　大正五）	三	四六	七
方便心論　後魏吉迦夜譯（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內　大正一四）	特 四四	三七四	
同		八六	三九一
抱樸園文存　倉田務　大正五		二〇三	四三五
寶墨軒智永千字文　晚翠軒發行　大正七		一〇一	一三八
放牧實施法　淺川喜代丸　大正五		一	三三九
抱朴子內篇　晉葛洪著　小柳司氣太、飯島忠夫譯（世界聖典全集後輯第三道教聖典ノ內　大正一二）	一	三三五	三七三
放牧地火入ニ依ル壁蝨驅除ニ就テ　杉野森夫（（農商務省）林業試驗彙報第一二號ノ內　大正一三）	一四二	イ	一二五
坊保町圖解　大塚嘉樹（國書刊行會本三十輯第二ノ內　大正六）	三三〇	五一	
蓬麻文鈔　松村正一（蓬麻）　大正二	一	三五〇	一七三
寶滿篦門登山の栞　大久保千濤　大正一〇	一	三九三	三〇三
泡鳴全集　大正一〇至一一　岩野泡鳴	一八	五〇〇	一

第一卷
- 藝者小竹
- 老婆日の出前
- 戰話
- 恍溺
- 榮吉結婚
- 篠原先生
- 炭屋の船
- 郊外生活
- 川本氏
- 韃靼海峽
- 乞食の影
- 金
- アポト先生
- 放浪非常時

第二卷
- 踏切番
- 斷橋
- お鳥の苦み
- お鈴の家
- 氷峰の斷片
- 勇の家庭
- 馬鹿と女
- 僞名者
- 發展
- お島と亭主
- 藝者になつた女

第三卷
- 鶴子巡査日記
- 要太郎の夢
- 午後二時半
- 父の出奔後
- 法學士の大藏
- 公爵の氣まぐれ
- お安の亭主
- 家つき女房
- 征服被征服
- お竹婆さん

第七卷
- 部落の娘
- 蜜蜂の家
- わが子のやうに
- 二食主義者
- お常
- 山の總兵衞
- 催眠術師
- 母の立ち場
- お增の信心
- 燃える襦袢
- 難船
- 鐵公
- 孤の皮
- 犧牲
- 渠の舊日記より

第八卷
- 實子の放逐
- 子無しの堤
- あぶら蟲
- 鹽原日記
- お世いの平生
- 或高等學生の親
- 金貸しの子
- 眞理論者
- おせいの失敗
- 山の奥
- 美人
- おせいの巡禮
- 巡禮後のおせい

第九卷
- 夕潮
- 豐太閤（史詩）
- 悲戀悲歌
- 脫營兵
- 海傑技師
- 闇の盃盤
- 戀のしやりかうべ
- 最近の作

第一〇卷
- 日本主義
- 描寫論

第一一卷
- 自傳と追憶
- ぱんち
- 野田新兵
- 正美先生
- 店頭
- 新聞記者
- 小僧
- 玫吉の被り物
- 靈魂の行くゑ
- 脛の肉
- 明巢ねらひ
- 獨り者
- 醜婦
- 人か熊か
- 毒藥女
- お仙
- トンネル狂

第四卷
- 女中の戀
- 藝者あがり
- 津田三藏
- 信より玉江へ
- 懶け者の日記より
- 四十女
- 秘書官
- 女四人と男三人
- 藥人形
- 膝に飛び付く女
- その一日
- 二頭の馬
- 畑の細君
- 繼母と大村夫婦
- お園の家出
- 離婚まで

第五卷
- 冷い月
- 鼻子のかたみ
- 指の傷
- 獨探と二人の女
- 華族の家僕
- 一日の勞働
- 大將の疑惑
- 非凡人の面影
- 强い相手
- 蛇の記憶
- 憑き物
- 空氣銃

第六卷
- 青春の頃
- 猫八
- 淺間の靈

僕の十代の眼に映じた諸人物
初旅の思ひ出
僕が書生時代の事共
反抗的の答案
記憶十想
僕を詩人にした女
我は如何にして詩人となりしか
「白百合」時代
解答
雜誌は大抵電車で讀む
宗教より文藝に
初めて得た原稿料の話
僕の回想
私の生活
僕の見た僕
小品及隨筆
春子と云ふ藝者
比叡山下の日吉祭
僕の娯樂
ロスケ小屋
北海道の天然
讀賣社の時計臺から
車窓四季百觀
滑稽の趣味
東京潜伏時代の黄興
啞の犬
大阪の夏の印象
蜜蜂の話
詩人の養蜂日記
蜂と人
日記の一節
修善寺雜記
月に小便
伊吹山上の記憶
信州行の印象
佐渡の思ひ出
幸福な不幸
ダイヤモンドと侵略の話
夜の虹
揖保川の月夜
湖畔の一年
記行と印象
旅中日記
旅中雜記
日高十勝の記憶
旅中印象雜記
アイノの話
アイノの歌謠
樺太通信

樺太の話
樺太の殘留露人
樺太の花植物
氷上の舞踏會
樺太の女
海豹島の婦人生活
樺太の思ひ出
第一二卷 池田日記
續池田日記
目黒日記
巣鴨日記 第一至三
第一三卷 魂迷月中刄 一名 桂吾良
焰の舌
斧の福松
神樂坂下
佐用姫
閻魔の眼玉
魔の夢
スケチ劇 停電
解剖學者
三角畑
勞働會議
附錄
モナヴナ（メテルリンク）
女優ナナ（ゾラ）
第一四卷 宮古島もの語 嘉播の親
露じも
新體詩作法
新體詩史
第一五卷 半獸主義
新自然主義
悲痛の哲理
近代思想と實生活
第一六卷 近代生活の解剖
古神道大義
惡魔主義の思想と文藝
文藝雜錄
第一七卷 刹那哲學の建設
男女の貞操問題
人物月旦
漫言漫語
海上海底談
時事漫言
東京通信
ハイカラ論
第一八卷 評論と批評
藝術家の態度

文學の新傾向
文藝取締問題と自然主義
語義の混亂
文界私議
「先驅者」の內容
「生」の評
小說讀者と現代文界の缺陷
人生肯定と自然主義三派
近刊「耽溺」の序
主義と國民性
實行文藝とデカダン論
「インキ壺」と「新片町」
僕の用語例
王陽明とエマソン
小說家としての島崎藤村氏
新進作家等の劇と小說
若い人々の文章
大阪の言語と思想
藤村氏と白鳥氏
批評の省察
胃病所產の藝術
生と同一な藝術
表象派の所提
殘存藝術の理想的觀察
內外兩面の誤轉
事實と幻影
星湖氏の作に就いて
戰爭卽文藝
評家數名の批評
谷崎氏の「お才と己之介」
「妻を買ふ經驗」
文壇現狀論
人の主義
僕のイズム觀を述べて諸家のイズム觀を評す
眞實の生活
田山氏の「一兵卒」に於ける描寫上の缺點
獨存孤立の偉大
創作と主義との關係
坪內博士の「星月夜」
有島武郎氏の愛と藝術論
最近の新進作家
用語に無反省な蘇峰氏と井上博士
僕の見たトルストイ
トルストイ論補遺
內部的寫實主義の立脚地
雜纂
樂劇漫語
男女間の趣味
藝者美
大阪の婦人
ホイトマンの詩想
ホイトマンの思想と形式
今の芝居に對する苦情七ヶ條
蒲原氏へ
自由戀愛の語義
米野口氏の發想
卓上問答
愛の本性
散文詩形の創始者
政治小說の出ぬ所以（對話）
如何に小說を讀むべきか
流行と不易
生田長江氏への答
細君操縱策（對話）
西洋の女を妻にした男の告白
外人團の沙翁劇
屁つぴり腰の西洋人
新政論家等の思想程度
充實せぬ新作と俳優今後の努力
公開狀
方面委員研究會梗概 第一回 橫濱市社會課編 一九頁 一 三六八 一八一
方面時報 東京市社會局發行 第六號（大正一三年七月）ヨリ 雜 三三 二五
寶物集 平康賴撰 七卷（大日本風教叢書第一輯ノ內 大正六） 三六九 二
同 三六九 イ二
同（大日本佛教全書第一四七册ノ內 大正二） 三五三 一〇
寶物集 殘缺古本 傳康賴自筆（大日本佛教全書第一四七册ノ內 大正二） 三五三 一〇
訪問販賣註文を取る秘訣 清水正巳 大正一三（クラーク叢書第二編） 一 五一五 一二五
芳容作品集 樋口芳蓉編 大正九 一〇 一九五 二〇八
方輿勝覽集（後陽成—天皇）（列聖全集御撰集第四卷ノ內 大正四） 三二八 三七八
訪餘錄 島田翰 大正一〇 二九枚 一〇 一一 四一三

	函	號	冊
寶萊曾我嶋物語　河竹默阿彌（默阿彌全集第二二卷ノ內　大正一五）	五七	四三	
放浪　岩野泡鳴（泡鳴全集第一卷ノ內　大正一〇）	五〇〇		一
放浪者富藏　宮地嘉六（新進作家叢書第二四編）　大正九	三一	五五四	一
放浪書翰集　牧巻次郎著　牧春子編　大正六	一一	三五一	一〇
放浪の佳人　小田律（西洋講談第四編）　大正一〇	三八九	四九	一
放浪の子エリサビテ　バローハ著　笠井鎭夫譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內　大正一五）	五二〇	四五	一
放浪八年記　石川三四郎　大正一五	五三一	二四一	一
放浪文庫目錄　岡山縣立戰捷記念圖書館編　大正六	三一七	八九	一
放浪漫記　大谷光瑞　大正五	一一	二〇一	一〇
暴力行爲等處罰に關する法律に就て　赤穴保（警察教養資料第一一編）　大正一五	三九三	七七五	一
暴力行爲等處罰法釋義　鹽野季彥　大正一五	五四九	五三	一
同　補一〇版　大正一五	五四九	五三イ	一
暴力否定　ホルムス著　久留弘三譯　大正一三	五二三	七〇	一
訪鄰紀程　圖付　內藤久寬　大正七	三七六	一三六	一
亡靈　モウパッサン著　矢口達譯（モウパッサン全集第一二卷ノ內　大正一一）	三九〇	四一	
暴戾を極めし獨軍の蠻行　敵軍の國際法違犯行爲調査報告　附　白耳義に於ける獨逸の蠻行　佛蘭西政府（ヂエ、ベイエル等）編　大正四　二四頁			
寶曆以來諸山大工代銀調　寫本（佐渡關係書第一册）	一八九	四〇一	一〇
寶曆現來集　山田桂翁（蛇佛）二一卷（國書刊行會本近世風俗見聞集第三ノ內　大正二）	三四三	四	へ
寶曆國民嗷訴記　（國書刊行會本列侯深祕錄ノ內　大正三）	三三〇	四九	は
寶曆四甲戌歲騷動御制詞　（國書刊行會本列侯深祕錄ノ內　大正三）	三三〇	四九	は
寶曆中紙問屋控　寫本	一三	二六六	一〇
寶曆治水工事薩摩義士錄　岩田德義編　四版　大正三	三四四	四一六	一
同　五版　大正五	三四四	四一六	イ
同　六版　大正六	三四四	四一六	ロ
菠蘿草露菌病と雜草との關係　澤田兼吉　大正五	三二六	一六五	一
バウロ　大坪草二郎（聖書の懺悔ノ內　大正一四）	五二六	六四	
バウロ研究　野々村戒三　大正一四	五二三	一二四	一
バウロ傳　ロバート、バード著　高垣勘次郎譯　大正一四	五二三	四九	一
バウロ傳　ロビンソン著　國友忠夫譯　大正一四	五二三	一二八	一
バウロの人格　ジェファソン著　中西貞雄譯　大正一四	五二三	六七	一
同	五二三	六七	イ
バウロの人物と信仰　梶原長八郎　大正六	三二五	五〇三	一
バウロのピリピ書　山谷省吾　大正一〇	三九二	二〇五	一
羽織模樣集　大丸呉服店編　大正一四	二〇三	一三〇	一〇
パオロの悲戀　ダンテ著　木村毅譯（世界短篇小說大系古代篇ノ內　大正一四）	五三〇	四五	
墓　モウパッサン著　前田晃譯（モウパッサン全集第二卷ノ內　大正九）	三九〇	四一	

	函	號	冊
破戒（小一）　島崎藤村　改版　大正二（綠蔭叢書第一編）	九五	五五	イ
「破戒」を許す　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）	三七九	一一	
琶江樓文選　淺井正純　大正一四	五四四	二三四	一
馬學　今井吉平　大正三	三四九	二七五	一
馬學外貌學講義　下卷　附圖付　小澤溫吉　大正三	二三五	一八九	二
葉學者品玉袋　壽達翁　寫本（壽榮錄萬物藏第一〇冊）	二四五	二七	一〇
葉隱（鍋島論語一）　中村郁一郎編　大正五	三五六	二四四	一
「はがくれ」と武士道との關係　湯原元一（明治聖德記念學會紀要第一二卷ノ內　大正八）	一四五	一	
葉隱の雫　古賀說一編　大正九	三八七	一九一	一
覇家臺繼と松居織工場　松居織工場編　大正七	三七三	二二七	一
博多小女郎波枕　近松門左衞門（近松戯曲全集ノ內　大正一四）	五四四	一五八	一
同（近松門左衞門全集第八卷ノ內　大正一二）	五〇五	五八	
同（文藝叢書第一二册世話浮瑠璃名作集ノ內　大正三）	三四五	一	ぬ
同　近松門左衞門著　小林榮子校（近松世話浮瑠璃集成ノ內　大正八）	三七七	二二一	
同　近松門左衞門著　忠見慶造校註（近松浮瑠璃集下卷ノ內　大正一五）	五四三	一三	
同　近松門左衞門著　永谷弓彥註（新釋挿圖近松傑作全集第一卷ノ內　大正一〇）	三二九	四九	イ
葉型壹寫優良桑種解書（全國桑苗（共進會紀念一）　農蠶新報社編　大正一五	一	三三三	一〇九
博多商業會議所統計年報　大正三、四、八、一〇、一二、一三年　同所編　大正四至一三	六	一四八	四八
博多宗湛日記　神谷宗湛　寫本	一	九五	五五
博多通送株式會社十年史　交友會編　大正一〇	一	三九七	一九〇
博多物語　竹田秋樓　大正九	一	三八四	一九七
羽賀寺緣起　（續群書類從第二七輯ノ上釋家部ノ內　大正一四）		八〇	二三
羽賀寺緣起　別本（續群書類從第二七輯ノ上釋家部ノ內　大正一四）		八〇	二三イ
同		八〇	二三ロ
馬鹿と女　岩野泡鳴（泡鳴全集第二卷ノ內　大正一〇）		五〇〇	一
馬鹿鳥の聲　岩村俊武編　大正一一		三九四	一八〇
鋼卸し鐵法及銑卸し鐵法に就て　俵國一　大正元（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第二一）		一四五	三七
鋼の健淬　ライザー著　日野清三郎譯　明治四一		三六一	二〇九
鋼の組織及其處理法　兒玉晉匡　大正一五		五六三	五
鋼の燒入　本多光太郎　大正一〇		三八五	一四一
馬鹿囃子　村松梢風　大正一五		五一七	五一〇
薄伽梵大金剛阿闍梨位法性大日義　妙瑞集（敎主義合纂ノ內　大正一〇）			三二四　六四〇
袴の裁縫　荻森タツノ　大正七			一　一〇　二九六
馬鹿野郎　村上浪六　大正五			一　七一　五四〇

		冊	函	號
秤の使用心得	齋藤祐記　大正六	一	三七	一〇一九
破顔一笑	一寸法師編　明治四四	一	九四	七六四
波木井南部家勤王八世傳	伊藤榮一編　大正一一	一〇	一八六	三五二
萩江	渡邊霞亭　大正六	一	三五七	二四九
萩經濟要務書	寫本	一〇	一二三	一九〇
婆耆沙經	赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ內　大正一三）		五一五	一〇四
萩薄內證話	泉鏡花（鏡花全集第一〇卷ノ內　大正一四）		五二〇	四四
萩町初等教育沿革略	香川政一編　大正一一　一四頁	一	二五五	六三
はぎニ對スル肥料三要素試驗	大迫元雄（（農商務省）林業試驗報告第二五號ノ內　大正一一）		一四、二	一三五
同	（（農商務省）林業試驗報告第六號ノ內　大正一四）		一四、二	一三五
萩の枝折（秋色ノ染話）	南仙笑楚滿人（八情本刊行會（叢書）第九輯ノ內　再版　大正一五）		五四五	二六
脛の肉	岩野泡鳴（泡鳴全集第三卷ノ內　大正一〇）		五〇〇	一
萩之家歌集	落合直文　改版　大正二	一	三〇	三九八
萩原元克（甲斐の國學者）	萩原頼平編　大正一五	一	五二四	二八七
「ハギ」類及ビ「タヒ」類の肝油	辻本滿丸、本村包介（東京工業試驗所報告第一八回第二號ノ內　大正一二）		一四、二	一一七
同			一四、二	一一七
馬琴尺牘集	寫本〔天保中馬琴ヨリ伊勢殿村氏ニ宛テタルモノナリ〕	〇	二四	二五〇

		冊	函	號
馬琴日記	（天保二年）瀧澤解著　和田萬吉校　大正一三	一	五二九	六五
同		一	五二九	六五イ
同		一	五二九	六五ロ
博愛	日本赤十字社發行　第三一五號（大正三年一月）ヨリ（「日本赤十字」ノ改題）		雜三三	一
白聖殿の一夜	モウパッサン著　矢口達譯（モウパッサン全集第一一卷ノ內　大正一〇）		三九〇	四一
白隱和尚	中村吉藏（現代戲曲全集第四卷ノ內　大正一四）		五二〇	三五
白隱和尚（戲曲ノ集）	中村吉藏　大正七	一	三七七	九五
白隱和尚遺墨集	國民新聞社編　大正三	一	三三一	九八
白隱禪師言行錄	高橋竹迷（定坦）　大正五	一	三三五	三八八
白隱禪師語錄	壽潭　大正五	一	三三五	四四一
白隱禪師の言行	壽潭　大正四	一	三三五	三五六
白隱禪師法語錄	森江英二編　大正一一	一	五〇四	一七
白隱珍話	羽場愚道　大正七	一	三一	六六九
白隱と夜船閑話	野村瑞城　大正一五	一	六一	三五三
白隱墨蹟	草村松雄編　大正一一	特一〇	四一三	三七
同		一〇	四一三	三七イ
白雲和尚法語	白雲惠曉撰（大日本佛教全書第九五册ノ內　明治四五）		三五三	一〇
白雲外史妙跡	小林忠次郎編　大正八	帖一	四一八	六五
白雲館文錄	岡濯　大正一三	〇二	一六〇	一九〇

白雲守端禪師廣錄	處凝等編集　海譯錄　四卷（大日本續藏經第五九八册ノ內　明治四五）		三五	二
白雲守端禪師語錄	二卷（大日本續藏經第五九八册ノ內　明治四五）		三五	二
白耀社展覽會畫集	第二回　樋口秀夫編　大正一二	一〇	一〇九	二七九
柏葉集	（清元節語物）六卷（國書刊行會本德川文藝類聚第九俗曲上ノ內　大正五）		三三〇	四九ろ
泊園書院學會々報	第二册　同會編　大正一一	一	一四五	五五
泊翁先生言論叢	西村茂樹述　日本弘道館編　明治四五（泊翁叢書第二輯）	一	三一六	二六
泊翁西村先生	日本弘道會有志青年部編　大正二	一	三五〇	一八
駁尾崎行雄氏著立憲勤王論	後藤武夫　大正七	一	二六三	五七
伯大隈	橫山健堂　再版　大正四	一	三六〇	三三
同	大正四	一	三六〇	三三イ
バクカイ	エウリピデース著　村松正俊譯（古典劇大系第二卷希臘篇ノ內　大正一四）		五三九	一
白崖窟語錄	平松亮卿、井澤宗潤編　大正一一	二	二三五	八イ
薄倖の孤兒	ドストイエフスキイ著　熊澤復六譯　大正一五	一	五一七	三一三
薄荷栽培及製造之榮	鎌田德太郎　大正一一　六三頁	一	三四四	三三五
薄荷ニ關スル調査	農商務省農務局編（農務彙纂第四八）	一	三一一	七五
薄荷油及薄荷腦	村井純之助編（化學工業全書第四册ノ內　五版　大正四）		四五	一九〇ニ
白眼	本間久　明治四五	一	三三三	三三五
麥稈眞田ノ漂白ニ就テ	宇高春風　大正一五（大阪工業試驗所報告第七回第一一號）	一	四二イ	四九八
同		一	四二三	四九八ハ

白鬼	三上於菟吉　大正一四	一	五四四	二一五
白牛酪考	桃井寅（日本衞生文庫第三輯ノ內　大正六）		六一	二〇四
白玉集	海上胤平編　大正四	一	三五七	五五
白禍と日本の將來	日高瓊々彥　大正一〇	一	三九三	一一三
白橋の上に（詩集ノ一）	英美子　大正一四	一	五四四	九〇
白血球殺菌物質ニ關スル研究補遺	丸山芳登（臺灣總督府研究所報告第四回ノ內　大正四）（「クロールカルシユーム」ノ白血球殺菌物質抽出作用		一四、二	二八五
博古奇書	明、曹昭編　三卷	一〇	二一七	二七八
伯國サンパウロ州視察報告	藤田敏郎（移民地事情第一卷ノ內　大正一一）		三七八	二七〇
伯國「サンパウロ」州巡回報告書	藤田敏郎（移民調査報告第九ノ內　明治四五）		三三一	六四
伯國サンパウロ州農園實況	野田良治　大正六	一	三六四	九六
伯國事情	野田書記官（移民地事情第一卷ノ內　大正一一）		三七八	二七〇
白國に於ける獨逸の施政に關する中立國人の所感及獨軍が白國にて犯したる殘虐に關するサキソニヤ王の兄弟マックス、ド、ザックス親王の證言	〔白耳義公使館譯〕	枚一	三三七	二四五
伯國ニ關スル要項集錄	外務省通商局編　大正一一（移民地事情第二卷）	一	三七八	二七〇
伯國の金儲け	古川大斧　大正一四（扉等ノ冠稱ニ「實地經營」トアリ）	一	五三三	三五
白國の義戰	町田梓樓　大正七	一	三五四	二六

	冊	函	號
伯國幣制ノ沿革並ニ外國爲替騰落ノ原因 一ノ宮鈴太郎 大正一〇（横濱正金銀行調査報告第三三號）	一	一四五	二九
伯國棉作事情 岩城重喜知 大正一二	一	五〇七	一四三
白骨觀 源信撰（大日本佛教全書第二四冊ノ内） 大正二	三	五三	一〇
博古圖錄考正 明、魏樸編 三〇卷	特一五	ぬ	四
博採衆方 山田業廣編 寫本	五	二一	三九
白象の國へ 佐藤正 大正一二	一	五二四	一三三
白象王國 山口武 明治四五	一	三四二	一〇二
麥作改良栽培法（天理ー應用ー） 杉山善助 大正一〇	一	三八〇	一五三
麥作九石實收法 河村九淵、矢部伊與之甫 大正五	一	三五八	九七
麥作增收の話（すぐにわかるー） 高橋陸郎 大正五（農家經營叢書第四編）	一	三五	三五一
麥作增收法 村本喜代作編 大正八	一	三八六	八三イ
麥作ノ改良 谷本兵伊三 大正六	一	三三七	一〇三一
麥作の新研究 大杉房吉 大正二	一	三四四	一九四
麥作の手引 大正五年 山梨縣立農事試驗場編	一	三三九	八四〇
白山案內 林藤彌三郎編 大正二	一	三三九	三五六
博山炭田 青島守備軍民政部鐵道部（淺田龜吉）編 大正一一	一	五一八	三 枚
白山登山案內 玉井敬泉、公下桑石製 一三×〇九	一	三三九	一〇四五
白山登山之栞 原昌尙編 大正一一 四三頁	一	三九六	三五四

	冊	函	號
白秋詩歌選 北原白秋 大正一四（代表的名作選集第四二編）	一	七一	六〇〇
白秋詩集 上卷 北原白秋 大正九 五七六頁	一	三八	三四七
白秋小品 北原白秋 大正五	一	五七	一八二
白秋童謠集 北原白秋著並譯 大正一〇至一一	三	五〇五	一八
第二集 兎の電報			
第三集 まざあぐうす			
第五集 祭の笛			
博士梅謙次郎 東川德治 大正六	一	三四九	五〇三
博士人物（批判ー研究ー） 腎科編 井關九郎 大正一四	一	五三四	一三二
白詩選（增ー補ー） 源世昭編 渡邊徹、今村完道補 大正三	一	三四四	四五
白紙戰術之研究 第一至三、五 研究會編 大正五至七	四	三一九	三七〇
白日の夢（夢幻劇） ストリンドベルヒ著 松本武雄譯 大正三	一	三三八	三〇七
薄質和紙ニれじんさいず施工試驗成績 小澤武（東京工業試驗所報告第一三回第五號ノ内 大正七）	一四、三イ	一一七	
同	一四、三イ	一一七ロ	
博士長谷川芳之助 山口正一郎 大正二	一	三四八	七七
伯爵後藤象二郎 大町桂月 大正三 七九三頁	一	三四八	二〇九
伯爵の釵 泉鏡花（鏡花全集第一一卷ノ内 大正一五）		五二〇	四四
同		五二〇	四四イ
白色美顏術 ベアーソン著 矢島茂雄譯 大正六	一	三六四	三四〇
麥食普及の講演集 村本喜代作編 大正八	一	三七三	二九三

	冊	函	號
曝書隨筆 支、楊嘉編（墨香移發編ノ内）	一	六二	八八
白人の世界 安田源四郎 大正一四	一	五四四	一七七
白人の世界か黃人の世界か 中村久四郎（明治聖德記念學會紀要第五卷ノ内 大正五）	一四、五		一
同（蒙古ー研究ー） 大正四	一	三四八	二九二
白醉亭漫記 里見弴 大正一三（感想小品叢書第六編）	一	五二五	二一八
白星 第二至一四集、第二次第一至九、一一、一二集 同會編 大正六至一五	一六	四二九	九六
白石山房印藪 須永金三郎編 大正六	一	六	三四六
白石先生詩範 新井白石著 島山輔堯校（日本詩話叢書第一卷ノ内 大正九）		三三五	三七三
白石先生小品 新井白石（近古文藝溫知叢書第二編ノ内 明治二四）	四三	三イ	
白雪齋帖 元、趙文敏書 加藤登太郎等編 大正一三（題簽ニハ「趙松雪」トアリ）	一	二〇三	一〇四
泊船集 風國編 佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第七册芭蕉翁全集ノ内 六卷 大正五）	三四五	四	
白扇集 各務支考編（古俳書文庫第一八編ノ内） 大正一四）	五一五	二九	
白扇圖案集 高橋白扇編 大正一三	一	一〇九	二八七
白扇圖案集 高橋白扇編 大正一三	一	一六三	九三
白癬之診斷及其療法 山田弘倫 大正元	一	五七	三三
薄層ゴム製造法 ゴム新報社編 大正二	一	三五〇	一
麥叢錄 小杉雅三 二卷	一	一三六	三七
白村隨筆集 厨川白村 大正一五（明治大正隨筆選集第一二）	一	五三九	三六

	冊	函	號
麥堂文集 成同社發行 大正一二、一三	二	五一五	一〇一
第一輯 人間道（蜂屋賢喜代）			
第二輯 佛天を仰いで（同）			
バクダン 內田魯庵 大正一五	一	五五〇	一〇
爆彈 一戶兵衛 大正九	一	三八七	一一〇
爆彈 島津巖 大正一二	一	五二三	一一
爆彈上の日本帝國 樋口龍陽（龍陽集第一ノ内 大正七）		三一	七五五
白痴 ドストエフスキイ著 石濱金作譯（春陽堂譯述叢書ノ内） 大正一三	一	五二七	七〇は
同 ドストイエーフスキー著 細田源吉譯（ドストイエーフスキー全集第四卷） 大正九	一	三七五	四七
同 大正一四（ドストイエフスキー全集第六卷）	一	三七五	四七イ
白晝鬼語 谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第三卷ノ内 大正一〇）	五〇〇	四	
白中黃記 內ヶ崎作三郎 大正三	一	三五〇	二三〇
白癡及低能兒 三宅鐵一 大正三（日本小兒科叢書第一〇編）	一	五六	八七
白痴殺し 津田和也（新民衆劇脚本集ノ内 大正一三）		五二三	一九九
ばくち水ニ及ボス氣溫ノ影響 篠原榮（臺灣總督府中央研究所工業部報告第一號ノ内 大正一一）	一四、二	二八五イ	
バク、ヂャルガル ユーゴー著 古館清太郎譯 大正一〇	一	五〇六	七五
伯亭大師傳記總帙（大日本續藏經第七四六册ノ内 明治四五）		二三五	二
柏亭水繪集 石井柏亭畫 大正一〇（みづゑ畫集第二）	一	三三七	二八三
白鳥 モルナー著 鈴木善太郎譯（モルナー傑作選集第三編） 大正一四	一	五四五	一七

		冊	函	號
白鳥	外二篇　モルナー著　鈴木善太郎譯　大正一三	一	五三	二八〇
白鳥傑作集	正宗白鳥　大正一〇至一五	三	五〇〇	四八
第一卷	微光　二家族			
	夏木立　玉突屋			
	六號記事　五月幟			
	村塾　空想家			
	株虹　凄い眼			
	廃墟　二階の窓			
	好人物			
第二卷	毒　泥人形			
	地獄　徒勞			
	明日　最初の記憶			
	命の網　落日			
第四卷	深淵　たはむれ			
	女家主　乾いた心			
	梅鉢草　伊香保土産			
	藪入　盲目			
	名殘　殘された夫			
幕朝故事談	（近古文藝溫知叢書第二編ノ內　明治二四）	四	三	イ
白鳥隨筆集	正宗白鳥　大正一五	一	五二九	三六
	（明治大正隨筆選集第一七）			
白鳥小品	正宗白鳥　大正元	一	三三八	九七
幕朝典故叢抄	小宮山綏介自筆稿本　寫本	特	一〇	八二六	七一
白鳥の歌	アントン・チエエホフ著　熊澤復六譯	一	五四九	一一一
	（原始社プレイレツト第四）　大正一五			
白鳥の歌	後編　長田幹彥　大正九	一	二九一	三七
白鳥の歌	長田幹彥　大正一四	一	二九一	三七イ
白鳥俳句集	山本梅史編　大正一三	一	五三	一六九
白狄（創作）	口村信郎　大正一三	一	五三	二二九
白頭山植物調査書	朝鮮總督府編　大正七	一	三六八	二五
白熱電燈球及其照明	米國ゼネラル電氣會社編　東京電氣株式會社照明課譯　大正六	一	三三七	一〇三五

		冊	函	號
貘の舌	内田魯庵　大正一四	一	五六	二八三
白馬紀行	明式著　鷲尾順敬等註　二卷（國文東方佛教叢書第七卷紀行ノ內　大正一四）		五三九	六七
白馬集	水田正秀、濱田酒堂撰　安井知之校　大正一五	一	五四五	四
	（雀岡珍書百種第一二編）			
同		一	五四五	四イ
白馬城	杉村廣太郎（楚人冠）　大正一四	一	五四八	一〇
	（湖畔叢書第二編）			
爆發試驗坑道に於ける	火藥實驗成績　第一至三回報告　福岡鑛山監督局編　大正一五	三	三七八	九四
白髮集	宗祇　（續群書類從第一七輯ノ上連歌部ノ內　明治四五）		八〇	三二
白眉音樂辭典	白眉社編　大正一三	一	五二八	一六二
羽咋郡案內	上多津太郎編　大正五　七八頁	一	三三九	七六六
羽咋郡中邑知村農村保健衛生狀態實地調查報告書	石川縣編　大正一五	一	一四六	八 二二
白眉傳記叢書	白眉社發行　大正一四	一	五四五	二九
薄氷を踏みて	第一編　グリーグとその音樂　（小泉浩）			
	沖野岩三郎　大正一二	一	五一四	九八
幕府瓦解	矢島鐵太郎編　寫本	一〇	八三六	三三
幕府瓦解史	上　熊田葦城　大正四	一	二一	三四七
幕府始末	勝安芳　（勤王文庫第四編ノ內　大正八）		三七九	九
幕府衰亡論	福地源一郎　大正一五	一	四三	一七六
幕府征長記錄	第一　日本史籍協會編　大正八	一	三一六	一五〇
同		一	三一六	一五〇イ

		冊	函	號
幕府祚胤傳	竹尾善筑　七卷（柳營婦女傳叢ノ內　大正六）	三	三〇	五〇
博物界の現象	科外教育叢書刊行會編　大正六	一	三五五	八四
	（科外教育叢書第三）			
博物學	（一、鳥類）　トムソン著　古澤瀧太郎譯			
	（科學大系第三卷第一二編　大正一二）			
同	（二、哺乳類）　トムソン著　古澤瀧太郎譯			
	（科學大系第三卷第一三編　大正一二）			
同	（三、昆蟲界）　トムソン著　古澤瀧太郎譯			
	（科學大系第三卷第一四編　大正一二）			
同	（四、植物學）　トムソン著　小倉謙、津崎滿治譯			
	（科學大系第四卷第一七編　大正一二）			
同	（五、下等脊椎動物）　トムソン著　宮下義信譯			
	（科學大系第七卷第三二編　大正一二）			
同				
博物學講義	吉田弟彥　再版　大正二	一	一四	六四二
博物學辭典	東京理科學會編　大正元　八五〇頁	一	二九	四三一
幕府使番中根市之丞長州に於て遭難の始末	江間政發			
	（講演速記錄第六輯ノ內　大正二）			
博物館書目	國典　內務省博物局編　明治一一	二	三三	四五イ
博物館陳列品圖鑒	第一、三輯　朝鮮總督府編　大正七、一一	二	三三三	六二
博物實驗室案內	棚橋源太郎、糟谷美一　大正三	一	二六三	三四
博物辭典	科外教育叢書刊行會編　大正七	一	三五五	八四
	（科外教育叢書第三六）			
博物通論新教科書教授資料	川村多實二　大正一二	一	五二一	二五
幕府法書目錄	寫本　（德川幕府引繼司法省藏、諸刑書類年號分目錄）	特	一〇	八三〇	一八三
幕府釐女傳續編	竹尾善筑　四卷（柳營婦女傳叢ノ內　大正六）	三	三〇	五〇
博文館圖書雜誌總目錄	同館編　大正二	一	八五	二〇六イ
白兵之神髓	飯塚華盛吾　明治四五　六四頁	一	三二八	二四七
薄平板鉛蓄電池	木村介次　大正七	一	一四五	九
	（電氣試驗所研究報告第六五號）			
麥表	明治四四、大正元、一〇年　農商務大臣官房統計課編	三	八三	三
	明治四五至大正一一			
幕末南洲月照投海錄	野田豐實　大正二（奥付ニハ豐美トアリ）	一	三四八	七
幕末亂闘の巷	伊藤鐵世　大正一四	一	五三八	二〇〇
幕末齋藤彌九郎傳	大坪武門　大正七	一	三五四	一二八
幕末異聞熱血の志士	本田活禪　大正一四	一	五四四	六五
（幕末巷談）燃ゆる渦卷	前、後編　前田曙山　大正一三	二	五二二	二三三
同	後編　大正一三	一	五三二	二三三イ
幕末勤王天誅組烈士戰誌	槻谷信平編　大正九	一	二八三	七三
幕末外交史料	寫本　（養源居叢書ノ內）	一〇	一二五	一八四
幕末快舉錄（一波瀾重疊ノ一讀肉躍る）	江東天風　大正一五	一	五五六	三六
幕末見聞錄	安田正秀　大正八	一	二八三	三七
幕末史	小林庄次郎　大正四	一	三三	二六五イ
	（大日本時代史ノ內）			
幕末史譚天野八郎傳	山崎有信　大正一五	一	五三三	二六三
同		一	五三二	二六三イ
幕末下田開港史	石井信一編　大正一四	一	五三四	一三四

		冊	函	號
幕末の奇傑贈正四位清河八郎	山口忠助 大正一二	一	五九	五二
同		一	五一九	五三イ
幕末の外交	田邊太一 明治四四（講演速記錄第一四）	一	一四五	二四
幕末ノ志士松岡梅太郎君詳傳	渡邊靜一 大正五	一	三六〇	四二九
幕末の秘史護國の鬼	青木綠園 大正一四	一	五四九	七二
幕末の秘史落花の舞	後篇 前田曙山 大正一四	一	五四四	六八
幕末美談（趣味國史講座ノ一）	遠藤早泉 大正一五	一	五五六	一三三
幕末の秘譚天狗騷動記	大佛次郎（野尻清彦）編 大正一四	一	五四四	六六
幕末福岡藩の偉材金子才吉事蹟	上、中、下其ノ一至八 大熊淺次郎 大正一三	一〇	三六八	一九六
幕末名家寫眞集		特二帖	さ	六九
幕末の明治志士誠忠錄	皇國修養會編 大正一三 八一五頁	一	五一九	一〇七
幕末明治大正史（波瀾重疊ノ一）	天、地、日、月、風、雲、水、火之卷 原昌通 大正一〇	八	三九四	三三
幕末明治裏面史	藤森政次郎 大正五	一	三六〇	四七七
幕末の烈士劍戟亂星	本田活禪 大正一五	一	五五一	一三三
薄命の花（小說ノ一）	長田幹彥 大正九	一	三九一	一二六
薄明のもとに（「曉」第二卷）	今野賢三 大正一四	一	五四四	一二四
白夜雨稿	有島生馬 大正一三	一	五三五	一八〇
白陽創作圖案集（薰風の卷）	村瀨白陽編 大正一五	一	四三一	八一
白陽山人花鳥眞蹟	明、陳道復畫 大正元	一	四〇七	七三

		冊	函	號
白洋詩濤	土居通豫編 大正一〇 四一枚	一〇	一七一	九〇
白楊樹材中ノ石灰鹽類沈積ニ就テ	（福田八十楠（（農商務省）林業試驗彙報第一〇號ノ內 大正一二）		一四二イ	一三五ロ
爆藥開墾	高松數馬 大正九	一	三九七	三八
舶用加熱蒸氣裝置と實地取扱法	町田久敬 大正一三	一	五一三	三〇〇
舶用機關計算法	手塚謙吉 大正一一（扉ノ題稱ニハ「應用自在」トアリ）	一	三八五	一八八
舶用機關算法講義	瀨戶保 大正一〇	一	三八一	一三〇
舶用機關算法精義	上卷 瀨戶保 大正四	一	三五一	四四
舶用機關士試驗難問詳解	上、下卷 瀨戶保 大正一四	一	五四三	一六五
舶用機關取扱法	海事研究會編 大正八	一	三八五	四一
舶用機關の示壓圖	井上俊治 大正一三	一	五〇七	一六五
舶用汽鑵の取扱	中村太次馬 大正一三	一	五三一	一〇八
舶用機關問題詳解	瀨戶保 大正六	一	三六五	一五
舶用蒸汽タービン機	島谷敏郎 大正四	一	七六	三八一ロ
同 再版	大正八	一	七六	三八一ハ
同 補三版	大正九	一	七六	三八一ニ
舶用石油發動機講義錄	布目孜 大正一三	一	五二四	一四四
舶用蓄電池に就て	槇尾榮 大正一三	一	五二八	一五七
舶用電機	上卷 森延之助編 四版 大正二	一	九九	一八六イ
舶用電氣工學	金山堅吉 大正一五	一	五五三	九四
白樂天詩集（新釋）	井土靈山 大正七	一	三七七	一一一
麥蘿念佛	（仙臺叢書第二卷ノ內 大正一一）		五〇八	一三
白蠟蟲養殖試驗	矢野宗幹（（農商務省）林業試驗報告第一一號ノ內 大正三）		一四二イ	一二五
博覽會協會桑港萬國博覽會事務報告	中里一郎編 大正五	一	三三六	一六六
博覽會協會史	中里一郎編 大正一〇	一	三九七	二四〇
麥粒中ノたるそねーます壁蝨ノ形態	甘利進一（（農商務省）蠶業試驗場報告第三卷第六號ノ內 大正七）		一四二イ	三六九
葉栗村志稿	同編纂委員編 大正六	一	三三七	一〇〇九
暴涼帳	小杉槇邨影寫 寫本〔延曆六年六月、同一二年六月暴涼帳ナリ〕正倉院御物ノ	特二帖	二亥	七九
バクル世界文明史	第一至六卷（ヘンリー・トマス・バクル著 西村二郎譯 大正一二至一三	六	五一五	六五
齒車設計法及表	藤野篤之 大正九	一	三八一	一〇四
齒車の計算法	米村鍵一 大正一五	一	五五二	一三五
齒車の割出方	田所末次郎 大正一一	一	三八五	一七六
齒車表	田島義造編 大正三	一	三七	三三
麥嶺學窓 第八卷	藤森賢吾編 大正六	一	二五八一	四三
白蓮池館詩鈔 第二編	阪本葵園（亮） 大正一一	一	〇	四 五九
白路	吉田絃二郎 大正一一	一	五〇六	一三五
白露遺稿	石井勇 大正六	一	三五六	二六五

		冊	函	號
舶用電氣工學	金山堅吉 大正一五	一	五五三	九四
白樂天詩集（新釋）	井土靈山 大正七	一	三七七	一一一
麥蘿念佛	（仙臺叢書第二卷ノ內 大正一一）		五〇八	一三
白蠟蟲養殖試驗	矢野宗幹（（農商務省）林業試驗報告第一一號ノ內 大正三）		一四二イ	一二五
博覽會協會桑港萬國博覽會事務報告	中里一郎編 大正五	一	三三六	一六六
博覽會協會史	中里一郎編 大正一〇	一	三九七	二四〇
麥粒中ノたるそねーます壁蝨ノ形態	甘利進一（（農商務省）蠶業試驗場報告第三卷第六號ノ內 大正七）		一四二イ	三六九
葉栗村志稿	同編纂委員編 大正六	一	三三七	一〇〇九
暴涼帳	小杉槇邨影寫 寫本〔延曆六年六月、同一二年六月暴涼帳ナリ〕正倉院御物ノ	特二帖	二亥	七九
バクル世界文明史	第一至六卷（ヘンリー・トマス・バクル著 西村二郎譯 大正一二至一三	六	五一五	六五
齒車設計法及表	藤野篤之 大正九	一	三八一	一〇四
齒車の計算法	米村鍵一 大正一五	一	五五二	一三五
齒車の割出方	田所末次郎 大正一一	一	三八五	一七六
齒車表	田島義造編 大正三	一	三七	三三
麥嶺學窓 第八卷	藤森賢吾編 大正六	一	二五八一	四三
白蓮池館詩鈔 第二編	阪本葵園（亮） 大正一一	一	〇	四 五九
白路	吉田絃二郎 大正一一	一	五〇六	一三五
白露遺稿	石井勇 大正六	一	三五六	二六五
破壞より建設へ	伊藤正德 大正九	一	三六二	一七四
はげあたま	コピッチュ著 森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ內 大正一三）	特五一〇	一イ	
同		五一〇	一	

		冊	函	號
はげあたま	田村直臣編　大正一二　七九頁	一	五六	一六五
化銀杏	泉鏡花（鏡花全集第二卷ノ內　大正一五）		五二〇	四四
同			五二〇	四四イ
刷子製造業	鈴木範三（臨時産業調査局）調査資料第三四號ノ內　大正八）		一四二	四一八イ
化鳥	泉鏡花（鏡花全集第二卷ノ內　大正一五）		五二〇	四四
同			五二〇	四四イ
箱入菖蒲木偶	寫本（勝進助芝居臺帳第六一ノ內）		一九一	七六五
筥崎と香椎	中山平次郎（筑前史談會講演集第一輯ノ內　大正三）		三四八	一九一
筥崎の防壘	中山平次郎（筑前史談會講演集第一輯ノ內　大正三）		三四八	一九一
箱清水郷土誌	箱清水青年會編　大正一四	一	五三四	六六
函館	同市役所編　大正一五	一〇	四三三	二三八
函館案內	函館區役所發行　大正一二	一	三三九	二四一
同	大正六	一	三三九	二四一イ
箱館御臺場普請留表	寫本	二〇	一六五	一一三
箱館紀行	乙二著　佐々醒雪（巖谷小波校）（俳諧叢書第六冊俳人逸話紀行集ノ內　大正四）		三四五	四
函館區衞生報告	第三八次　大日本私立衞生會函館支會編（第三九次ヨリ「函館市衞生報告」ト改題）大正一〇　四五頁（第三八次ヨリ「函館區衞生報告」ト改題）	一	一四六	一四六
函館區水道小誌	同區役所編　大正九	一	三五五	一三五
函館區統計	明治四四至大正八（大正三缺）年同區役所編　大正二至一一	八	一四四	四
箱館官曹袖珍	寫本	二〇	一六五	一一〇

		冊	函	號
函館市衞生報告	第三九、四一次　大日本私立衞生會函館支會編（「函館區衞生報告」ノ改題）大正一一、一三	二	一四六	一四六
函館市街之圖	八木勘五郎製　大正八	一枚	一九	六九三
函館商業會議所年報	大正二、四、六、七、九、一三年同所編　大正四至一四	六	一四八	六
函館商工案內	上卷　千葉稻城、福本政一編　大正四	一	三四七	三
箱館出張日記	田村謙三　寫本	一〇	一九一	七六三
函館叢書	紅茶倶樂部發行　大正一二	二	五一五	八八
第一册	小學校建築の不燃化に就て（岡田健藏）			
第二册	大函館論（阿部覺治）			
函館築港工事報告	北海道廳編　大正八	一	三八一	三四
函館地番圖（現在）	大正四年ー）　函館地主協會編　大正四	一	四二一	一〇
函館土地臺帳（現在）	大正四年ー）　久保熊吉編　大正四	一	三三一	六七
函館の栞	末松貞二郎編　大正六	一	三六四	一七八
函館番地明細全圖（實測）	中島三郎製　大正二　三・一×二・一	一枚	三三七	二三
箱根紀行	田山花袋（花袋紀行集第一輯ノ內　大正一一）		五一五	七七
同	（花袋全集第一二卷ノ內　大正一三）		五一五	三六
箱根植物	神奈川縣植物調査會編　大正二	一	三三九	二九三
箱根關所沿革誌		一〇	一三六	三三
箱根に於ける南朝の將裔	新田相州　沼田頼輔編　大正一二　五二頁	一	二九三	五〇三
箱根日記稿	橘守部（國書刊行會本橘守部全集第一二卷ノ內　大正一二）		三三〇	五八
箱根八里	石內爲次郎編　大正二	一	三五〇	一五七

		冊	函	號
箱根宮城野碓氷峠	附　高山圓嶠援詞建設由來　澤田鉌藏編　大正一二　六〇頁　再版	一	三九三	五四一
箱根めぐり	箱根保勝會編　大正七	一	三一	五六二
箱根山合戰	大正一五（珍書大觀金平本全集ノ內）	一〇	一七一	二五五
同		一〇	一七一	二三五イ
箱根山施行之古事	井上孝左衞門編　大正五	一	三二七	八九四
箱根山曾我初夢	河竹默阿彌（默阿彌全集第二六卷ノ內　大正一五）		五二七	四三
箱根山鳥瞰圖	田畑平七製　大正九	一枚	三三九	一〇二三
箱の中の男	チエーホフ著　昇曙夢譯（世界短篇小說大系露西亞篇上ノ內　大正一四）		五二〇	四五
羽衣	菊池寬（日本小說集第一集ノ內　大正一四）		五三九	五六
羽衣	長繩祥之部　本田市次郎編　大正一二	一〇	四三三	一〇八
羽衣石南條記	蘆葉舍似猿人　大正四（因伯叢書ノ內）	一〇	一八八	二四〇
はごろもさうノ飼肥料的價値ニ就テ	大迫元雄（農商務省）林業試驗彙報第二號ノ內　大正九）		一四二	一二五ロ
婆娑府圖	（滿洲歷史地理第二卷附圖ノ內　大正二）		三四八	六〇イ
間貫一（小說ー）	黑法師　明治四五	一	三二八	七三
狹間軍記鳴海錄	河竹默阿彌（默阿彌全集第二二卷ノ內　大正一五）		五二七	四三
挾物之記	（續群書類從第二三輯ノ下武家部ノ內　大正一三）	八〇	二三一	二三一
同		八〇	二三一	二三一イ
波山記事	玉蟲茂誼　大正七	一	三一六	一四七

		冊	函	號
破產管財人ノ地位ヲ論ス	加藤正治（穗積先生還曆祝賀論文集ノ內　大正四）		三五三	七〇
破產者の法律上の地位を論ず	齋藤常三郎（神戸高等商業學校開校二十周年記念講演及論文集ノ內　大正一三）		五三〇	六
破產並に和議手續の實際	尾高武治　大正一四	一	五三〇	一七七
馬產方針概要	農商務省畜產局編　大正一三　三五頁	一	五二四	八七
破產法	（大正一三年度講義）阿部某　謄寫版　大正一三	一〇	一四	七四三
破產法	（舊商法第三編）神谷健夫　謄寫版　大正九	一〇	一四	六七四
破產法	（大正一一年度講義）松岡義正　謄寫版　大正一一	一	一四	六八四
破產法	山內確三郎　大正一〇	一	五一三	二九
破產法案	附　和議法案、借地借家調停法案　清水書店發行　大正一〇	一	三九六	二六一
破產法要覽	普文學會編　大正一三（法律要覽叢書第二三編）	一	三五	二七八
同	大正一五	一	三五	二七八イ
破產法綱要	第一卷　井上直三郎　大正一四	一	五一二	三二九
破產法講義	加藤正治　大正三	一	三五三	二
同	再版　大正三	一	三五三	二イ
同	四版　大正六	一	三五二	二ロ
同	五版　大正六	一	三五三	二ハ
破產法講話	竹野竹三郎　大正一三	一	五三三	六二
破產法研究	第一至三、五卷　加藤正治　大正元至一二	四	三三六	一一七

		冊	函	號
破産法研究	第一至五卷 二至五版 加藤正治 大正八至一三	五	三三六	一一七ロ
破産法原論	上、下卷 竹野竹三郎 大正一二、一三	二	五一二	一七九
破産法說明	青木徹二 大正一二、一三	二	五一二	一五五
破産法和議法概論	岩本勇次郎 大正一五	一	五六一	二三
パシアンス君	モウパツサン著 佐々木孝丸譯（モウパツサン全集第六卷ノ內 大正一〇）		三九〇	四一
箸藏村誌	田村左源太編 大正五	一	三二七	九一三
櫨育口傳試百ケ條	上田春莊 大正五	一〇	一四七	一六八
箸鷹和歌文字抄	（續群書類從第一九輯鷹部ノ內 大正元）		八〇	二二一
同	（續群書類從第一九輯ノ中鷹部ノ內 再版 大正一四）		八〇	二二一ロ
馬事通鑑	根崎浩逸 大正二	一	三四九	七五
橋爪健詩集 午前の愛撫	橋爪健 大正一一	一	五〇六	一六二
馬事提要	陸軍省編 大正三	一	三一八	二九三
橋と塔	濱田耕作（青陵） 大正一五	一	五六四	二三
波斯匿王大后崩塵土坌身經	赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ內 大正一三）		五一五	一〇四
橋の下	ブテエ著 森鷗外譯（泰西名著文庫諸國物語ノ內 大正四）		三四五	一二
同	ボウテツド著 森鷗外譯（鷗外全集第一五卷ノ內 大正一四）		五二〇	一
同		特	五二〇	一イ
橋場暮雪	廣重畫〔隅田川八景ノウチ〕	別	一枚 ゑ	二二七
橋羽屋おみつ（目黑奇談—）	寫本（勝進助芝居臺帳第四五）		一〇 一九一	七六五

		冊	函	號
Pacific South-West（加州及アリゾナ州）の棉花（商品研究第四編）	多田守人 大正一三（横濱正金銀行）調査報告第四九號）	一	一四、五	二九
破十軍修佛道私記	最澄記（日本大藏經第四六卷ノ內 大正九）		三五三	六
始めて確信し得たる全實在	沼波瓊音 大正二	一	三四九	一一七
始めて教壇に立つ教師及教生の爲めに	大谷幸作 大正一四	一	二六四	四八
始めて名古屋城を見て	竹田省（商業經濟論叢第一卷ノ內 大正一三）		五〇七	一五九
始て世に出る青年へ	澁澤榮一 大正八	一	三八七	八
はじめの天皇	菟田茂丸 大正一〇	一	三九四	二七
橋本左內の事蹟	加藤斌（講演速記錄第三輯ノ內 明治四五）		一四、五	二五
櫨紅葉	三田葆光著 同編 明治四五	七〇	二四九	一二〇
馬上集	心敬（續群書類從第一七輯連歌部ノ內 明治四五）		八〇	二二一
波上の日本	佐藤鐵太郎 大正六	一	三六三	一七九
破傷風毒素ノ動物體內ニ於ケル攻擊點並ニ其吸收徑路ヲ論ジテ破傷風血淸療法ニ及ブ	小林六造 大正九	一	五一	三二
灞城明倫館學頭次第	近藤淸石 大正五	一	三二七	八三八
破邪顯正記	眞迢撰 五卷（大日本佛教全書第九七册ノ內 大正三）		三五三	一〇
破邪顯正鈔戊辰記	善導 三卷（眞宗大系第二〇ノ內 大正八）		三六九	一五
破邪問答	三卷（眞宗全書續編第二五卷ノ內 大正四）		三四六	七
馬術	飯村竹次郎 大正一五	一	五六四	一四八

		冊	函	號
馬術及馬事	遊佐幸平 大正一〇	一	三一八	四五三
派出看護婦心得	大關和 六版 大正八	一	六〇	五二七
馬術教育ニ關スル注意	今井義一 大正五	一	三三九	六六三
馬術教範	帝國尙武會編 明治四五	一	三三九	七〇
馬術教範義解	第一、二卷 三岳於菟勝 大正元、二	二	三一九	二七六
馬術教範研究錄	石文堂發行 三版 大正八	一	八二	七〇一イ
馬術教範詳解	太田淳 大正三	一	三一八	二八五
馬術寫眞帖	杉原俊一編 大正一三	一〇	四二三	一四七
馬術通說	今井義一 大正八	一	三八六	一八二
柱ほとけの光	稻葉道意編 大正九	一	三九二	九三
柱源極祕印信	（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三五三	六
柱源正灌頂儀則	（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三五三	六
柱源神法護摩軌	本山相傳（日本大藏經第三七卷ノ內 大正八）		三五三	六
柱源神法大護摩供次第	（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三五三	六
巴人集	寫本〔卷初ハ蜀山人稿本ノ寫ニシテ卷尾ハ同人自筆ノ稿本ナリ〕	特	一〇 八三一	九四
蓮池傳記	中野紹太郎編 大正一一	一〇	一一	五七〇
端數利子計算表	附 日數早見表 日本銀行調査局編 大正九 三九頁	一	三九七	二三
端數利子早見表	日本銀行調査局編 大正一一	一	四二三	一〇二
場末の春	中野實（ふたば集第三卷ノ內 大正一〇）		三九六	三

		冊	函	號
パスカル感想錄	パスカル著 前田長太譯〔大正三	一	三四九	二二五
パスカル感想錄	パスカル著 柳田泉譯（冥想懺悔叢書第二卷） 大正一二	一	五一五	三五ろ
パスカルに於ける人間の研究	三木淸 大正一五	一	五五八	二三
バスク牧歌調	ピオ・バローハ著 笠井鎭夫譯（海外文學新選第一三編） 大正一三	一	五一五	一三〇
バスケツトボール	鈴木精一 大正一四（新體育研究叢書第二）	一	五三九	五九
バスケツトボール	藤山快隆 大正一三（日本體育叢書第一一篇）	一	五〇五	二七
バスケツトボール	三橋義雄 大正一五	一	五六四	七八
バスケツトボール規則	佐藤金一譯 大正六	一	三三九	九二八
パステル畫の描き方と導き方	附 圖畫學習の根本方針 横井曹一 大正一三 六三頁	一	二六三三	二〇二
パステル畫の實驗（美的—陶冶）	中谷芳藏 大正一三	一	二六三三	二一一
パステル畫の新學習（自由—表現）	横井曹一 大正一三	一	二六三三	一九九
斜引外傳釘折の卷	三上雄石 大正五	一	六	三四二
蓮娘	立川昇藏 大正一五（新實演お話集第一集）	一	五五一	一一九
馬政委員會議事錄	第二回 農林省畜產局編 大正一五	一	五二四	四六〇
馬政局事業概要	第四、五次 同局編〔大正四、八〕	一	一四、二ロ	九四
馬政局統計書	第二至七次 同局編 大正二至一〇	四	一四、四	三九七
馬政第二期計畫綱領	農商務省畜產局編 大正一三 八頁	一	五二四	八六
破淸濁	了月撰（淨土傳燈輯要卷下ノ內 大正一〇）		一五九	八九
破青年訓	樋口麗陽 明治四五	一	三三二	二九八

		冊	函	號
馬政ノ現狀	馬政局編　大正一一　二二頁	一	三九七	二七九
芭蕉	吉田絃二郎　大正一二	一	五二二	四二
芭蕉行脚物語	武田鶯塘（櫻桃四郎）編　大正一三	一	五一六	二二八
芭蕉一代集	日本俳書大系刊行會編（日本俳書大系第一卷）　大正一五	一	五五五	七
芭蕉翁一代集	桃李庵編　大正一五	一	五一七	四三〇
芭蕉翁繪詞傳	五升庵蝶夢著　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第七冊芭蕉翁全集ノ內）　大正五		三四五	四
同	五升庵蝶夢著　幸田露伴校（新型袖珍名著文庫第六ノ內　大正一五）		五五〇	六九
芭蕉翁句集評釋	小林一郎　大正一三	一	五二二	二二八
芭蕉翁眞跡集	栗田二三編　大正一四	一〇	一六	二七〇
芭蕉翁全集	佐々醒雪、巖谷小波校　大正五（俳諧叢書第七冊）	一	三四五	四
芭蕉翁全傳	附　芭蕉行狀記（八十村路通）　川口竹人著　樋口功校註　大正一三（古俳書文庫第三篇）	一	五一五	一二九
芭蕉翁附合集評註	飯田篤老著　佐々醒雪、巖谷小波校　三卷（俳諧叢書第二冊俳諧註釋集下卷ノ內　大正二）		三四五	四
芭蕉翁傳	黑田源次　大正一一	一	五〇六	二
芭蕉翁の一生	小林一郎　大正一〇	一	五〇一	三九
芭蕉翁の面影（新らしい研究）	木津碩堂　大正一一	一	五一七	二七
芭蕉翁俳句俳文集	幸田露伴校（新型袖珍名著文庫第六ノ內　大正一五）		五五〇	六九
芭蕉翁發句諸抄大成	佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第一冊俳諧註釋集上卷ノ內　大正元）		三四五	四
芭蕉翁發句評林	曙紫庵杉雨著　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第一冊俳諧註釋集上卷ノ內　大正元）		三四五	四
芭蕉翁略傳と芭蕉連句評釋	岡野幻窓（重成）著　勝峰晋風校　大正一四	一	五四四	一九二
芭蕉を中心として	臼田卯一郎（亞浪）　大正一二（石楠パンフレット第二輯）	一	五一五	四一
芭蕉紀行全集（輯釋）	樋口功　大正一四	一	五三八	一三
芭蕉句集（選評）	樋口功　大正一四	一	五三八	一九九
芭蕉句集講義	冬之部　角田竹冷（眞平）編　大正四	一	一七	四〇四
芭蕉句選講話	沼波瓊音　大正二	一	三三八	一五三
芭蕉句選拾遺	井筒屋寬治編　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第三冊名家俳句集ノ內　大正二）		三四五	四
芭蕉句選略解	春夏、秋冬の部　荻原井泉水編　大正一一（芭蕉文庫第二、四篇）	二	三八九	八六
芭蕉研究	樋口功　大正一二	一	五一九	六二
芭蕉七部集	（新釋日本文學叢書第一二卷ノ內　大正一二）		三四五	一三
芭蕉七部集	文獻書院編　大正一一（世界名著梗概叢書第九編）	一	五一五	八
芭蕉七部集（類題）	伊藤松宇（半次郎）編　大正一〇	一	三九六	二四七
芭蕉七部集定本	勝峰晋風編　大正一四	一	五三八	九八
芭蕉書簡集	俳書堂編　大正五（俳諧名著文庫第六編）	一	三五五	二八
同	四版　大正一五（俳諧古典集第三輯）	一	五四九	一九五
芭蕉選集	附　芭蕉翁終焉記　荻原井泉水編　大正一三	一	五一六	二三四
芭蕉選集	荻原井泉水編　大正八（俳書新選第一）	一	三一	八九六
芭蕉全集	石原健生（萬戶）編　大正一四	一	五三八	一一三
芭蕉全集	沼波瓊音編　大正一〇　一一〇四頁	一	四五	五九三
芭蕉全集	前、後篇　與謝野寬等編　大正一五（日本古典全集第一回ノ內）	二	五五〇	四
同		二	五五〇	四イ
同		二	五五〇	四ロ
芭蕉全集（俳聖）	吉木燦浪校　大正九	一	三九一	七〇
芭蕉と一茶	荻原井泉水　大正一四	一	五四四	一四
芭蕉の遺蹟めぐり	三澤素竹　大正一一	一〇	一八六	三六〇
芭蕉の言葉	荻原井泉水編　大正一〇	一	五〇一	八三
芭蕉の自然觀	荻原井泉水　大正一三（早稻田文學パンフレット第一一編）	一	五一五	九五
芭蕉の生涯	山田愛劍　大正一五	一	五一七	五二〇
芭蕉の葉蔭	下村宏　大正一〇	一	五〇六	八五
芭蕉の臨終	他一編　沼波瓊音　大正二	一	三五〇	一三五
同	他二一編　大正一五	一	五一七	四四二
芭蕉俳諧の根本問題	太田水穗　大正一五	一	五三一	五七
芭蕉俳句研究	幸田露伴等　大正一一	一	五一七	七八
芭蕉俳句集	小澤武二編　大正一五（俳人叢書第一編）	一	五五〇	五五
芭蕉俳句新釋	半田良平　大正一二	一	五一七	一八八
同	大正一四	一	五一七	一八八イ
芭蕉俳句全集（季題別年代順）	長谷川零餘子編　大正一四	一	五三八	八三
芭蕉俳句選評	野口米次郎　大正一五（野口米次郎ブックレット第一一編）	一	五四八	五
芭蕉俳句全錄	荻原井泉水校　大正一一	一	五〇六	四〇
芭蕉蕪村子規三聖俳句選集	木村三樹編　大正一四	一	五四四	一一八
芭蕉文庫	荻原井泉水編　大正一一至一四	六	三八九	八六
第二篇	芭蕉句選略解　春夏の部			
第三篇	野晒紀行評釋　附　鹿島詣詳解			
第四篇	芭蕉句選略解　秋冬の部			
第六篇	芭蕉連句選釋			
第八篇	初懷紙評註　附　續芭蕉連句選釋			
第一一篇	去來抄（向井去來）			
芭蕉名句選集（季題類別）	工藤淳（靜波）編　大正一五（俳諧文庫第一編）	一	五五〇	一三五
芭蕉門古人眞跡集	栗田二三編　大正一四	一〇	一六	二六九
芭蕉流煎茶式講義	上、中、下　手島蕉雨　大正一五	三〇	一七三	九八
芭蕉論	野口米次郎　大正一四（野口米次郎ブックレット第一編）	一	五四八	五
バゼオット英國憲法論	ウオルター・バゼオット著　東京英語學會譯　大正五	一	六八	六五八
長谷川喬君記念錄	飯田敏雄編　大正四	一	三四八	二八三
長谷川準也君	和田文次郎編　大正一〇	一〇	一一	五〇三
長谷川泰翁奇人の奇言	佐藤光峯（獨嘯）編　大正三	一	三七	三四〇
長谷川如是閑創作集	長谷川如是閑　大正一二	二	五一五	四五

第一編　奇妙な精神病者の話
虎使ひ志願
一人の飴屋
京に行つてゐた娘
二人の輕業師
子爵夫人と孤兒
ヘロデのユトウピア　一名　强盜共和國
第二編　お猿の番人になるまで
打ちのめされた男
あたま
虎から豹へ

		冊	函	號
長谷川如是閑創作集	長谷川如是閑 大正一三・一四	三	五二	一八
第一編 象やの粂さん 反抗と否定 或るカフエーの娘 乞食同志の會話 幻覺 めくりあひ 萬人風呂				
第二編 老人形師と彼れの妻 子爵と三人の女 露助の我慢 或る謀殺犯人の陳述				
第三編 その日 馬 蹈んだり蹴たり 秋刀魚先生 奇妙な精神病者の話 虎使ひ志願 一人の飴屋 京に行つてゐた娘 二人の輕業師 子爵夫人と孤兒 ヘロデのユトウピア 一名 强盜共和國				
馬籍一家言	横山榮（盛岡高農同窓會學術彙報第二卷ノ内 大正一四）	一四五	八六	
波瀾郷土史	萩野多三郎編 大正九	一	三九七	五九
葩雪漫錄	大久保葩雪編 寫本	一	三九	特二九〇
長谷寺	田中海應編 明治四五	一	三三	二六四
長谷寺縁起文	菅原道眞撰（大日本佛教全書第一一八册ノ内 大正二）	一	三五三	一〇
長谷寺造供養	菅在鳳撰（大日本佛教全書第一一八册ノ内 大正二）	一	三五三	一〇
長谷寺舞臺供養	（大日本佛教全書第一一八册ノ内 大正二）	一	三五三	一〇
長谷寺靈驗記	二卷（續群書類從第二七輯ノ下釋家部ノ内 大正一五）	一	八〇	三一
同	（大日本佛教全書第一一八册ノ内 大正二）	一	三五三	一〇
破船	前、後編 久米正雄 大正一一、一二	二	五〇六	一五八
破船	モウパッサン著 宮島新三郎譯（モウパッサン全集第四卷ノ内 大正一〇）	一	三九〇	四一
馬賊を夢みて	覆面浪人 大正一三	一	五一四	二六三
馬賊の群より	赤間長太郎 大正一三	一	五一四	二七二
馬祖道一禪師廣錄	（大日本續藏經第五九五册ノ内 明治四五）		二三五	二
「バター」ノ製造ニ關スル研究	藤村儀鑑（〔農商務省〕畜産試驗場報告第一卷第二號ノ内 大正一〇）	一	四、二	四八四
馬體解剖圖譜	第二卷 安藤熙編 大正一三	一	四三	一六八
馬體外貌圖譜	磯邊休之進 大正三	一	三三九	三五〇
馬體外貌圖譜	磯邊休之進 大正六	一	三六四	一三九
馬體内臟採出法	板持慶三郎 大正三	一	三七	三七〇
波濤を越えて	龜岡泰辰 大正一四	一	五三八	六六
罵倒錄	村上浪六 大正三（大正名著文庫第四編）	一	三四〇	三六
同	（浪六全集第二〇編ノ内 大正一二）		七一	四八九
同	（浪六全集第二六編ノ内 大正一五）		五五〇	五七
同			五五〇	五七イ
裸一貫から	實業之日本社編 大正一三	一	五一四	二五六
裸蠟燭	泉鏡花（鏡花全集第四卷ノ内 大正一五）		五二〇	四四
幡多郡郷土史	寺石正路 大正八	一	三七二	二二四
畠山勇子（大津事件の烈女）	沼波瓊音 大正一五	一	五五四	一三〇
果して强國は醒めたりや	杉村陽太郎 大正一一	一	五〇二	一三一
バタ、チーズ簡易製造法	佐野力 大正五	一	三三九	六六五
畑地年六回利用收益法	高田功 大正九	一	三八六	一九四
はたち前	細田源吉 四版 大正一三	一	五三一	二九三
同	大正一四	一	五二二	二九三イ
畑二毛作試驗成績（農商務省指定）	秋田縣立農事試驗場編（大正八（同場）特別報告第六號）	一	一四、二	四四一
畑の細君	岩野泡鳴（泡鳴全集第四卷ノ内 大正一〇）		五〇〇	一
羽田野佐可喜翁小傳	豐橋市教育會編 大正一四	一	五二四	三九八
秦野誌並震災復興誌	落合政一 大正一四	一	五三三	一六三
秦野煙草作ト氣象トノ關係	大正八、一一年 神奈川縣測候所編 大正八、一一	二	三七二	三三八
旗日の話	矢部善三 大正一三 八一頁	一	三九三	七一五
旗本と町奴	栢原昌三 大正一一（文化叢書第五編）	一	五〇五	二六
働き盛りの男	白面人 大正一四	一	五三三	二三七
働け働け飽迄働け	大隈重信 大正一〇	一	三八七	一九九
秦林親日記	（維新日乘纂輯第三安政記事稿本ノ内 大正一五）		六四	二三三
八域誌	朝鮮、李重喚著 清水鐵吉譯（通俗朝鮮文庫第八輯ノ内 大正一一）		五〇〇	三九
爬虫類及ビ兩棲類ノ脂油ニ就テ	辻本滿丸、小林修明（東京工業試驗所報告第一五回第一〇號ノ内 大正九）	一	四、三	一一七ロ
「ぱちおり簿記書」研究	平井泰太郎（會計學論叢第四集ノ内 大正八）	一	三五六	三九
「ぱちおり簿記書」索引	平井泰太郎（會計學論叢第六集ノ内 大正一〇）		三八六	三九
はちかつぎひめ	一〇枚	特	二〇八	七三九
八ヶ年間火災統計表	明治四一至大正四年 農商務省商務局保險課編 大正九	一	一四、四	四三三イ
八吉祥經	梁、僧伽婆羅譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ内 大正一四）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
はちく開花後ニ發生スル變態竹ニ就テ	北島君三（〔農商務省〕林業試驗彙報第四號ノ内 大正一〇）		一四、三	一一五ロ
八月騒動と勞働運動の發達	米田庄太郎（布教研究會講演集第八回ノ内 大正八）		三三四	五九一
八時間勞働の理論と實際	エドナー・エフ・ウイバー著 山田わか譯（活問題叢書第一編） 大正九	一	三九〇	二七
八時間勞働問題	岡野辰之介 大正九	一	三六二	一九二
八十番歌合	近藤芳樹、木居豐顯判 寫本	一〇	一二六	三五九
八十萬年後の社會	黒岩涙香譯 大正二	一	三三八	二一七
八城經	羽溪了諦、甲斐實行譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第一〇卷ノ内 大正一三）		五一五	一〇四
蜂須賀蓬庵	德島縣編 大正四	一	三四八	二五一
蜂須賀蓬庵光明錄	長尾覺 大正六	一	一	三二六
爬虫類及ビ兩棲類ノ脂油ニ就テ	辻本滿丸、小林修明（東京工業試驗所報告第一五回第一〇號ノ内 大正九）	一	四、三	一一七イ

		冊	函	號
八大學と秀才	平元兵吾　大正元	一	二八二	一七
八大教育主張	大日本學術協會編　大正一〇	一	二五三	二一
八の馬鹿	自學教育論（樋口長市） 自動教育論（河野清丸） 自由教育論（手塚岸衛） 一切衝動皆滿足論（千葉命吉） 創造教育論（稻毛金七） 動的教育論（及川平治） 全人教育論（小原國芳） 文藝教育論（片上伸）	一	二五三	二六三
八大教育批判	尼子止水等編　大正一二	一	二五三	二六三
八大山人畫冊神品	小林忠次郎發行　大正八	一帖	四一二	六九
八代集	上、下　佐佐木信綱、芳賀矢一校註　大正二 （校註和歌叢書第三、四册）	二	三四五	三ろ
八代將軍と蘭學輸入	大槻文彦 （日本と和蘭ノ内　大正三）	特	三五九	五
同			三五九	五イ
八大詔勅と小學教育	守中喜一郎等　大正六	一	二七二	三九
八代目團十郎集	（演劇文庫第三編ノ内　大正三）		三四〇	三〇
八大靈塔梵讃	西天戒日王製　宋、法賢譯 藏經第三二卷論集部ノ内（大正新脩大 大正一四）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
鉢扣	森本億麿編 （古俳書文庫第一六篇ノ内　大正一四）		五一五	一二九
八丈ヶ島	薄恕一、青木秀虎　大正三	一	三七	二九二
八陣守護城	寫本 （松島松作芝居臺帳第一九）		八二四	二
爲八條院三位局於笠置修善願文	（大日本佛教全書第一一八册ノ内　大正一二）		三五三	一〇

		冊	函	號
蜂と人	岩野泡鳴 （泡鳴全集第一一卷ノ内　大正一〇）	一	五〇〇	一
八年間米國を視て居た眼で五十日間支那を觀て	上中甲堂　大正一一	一	三九四	一六三
八の馬鹿	鈴木三重吉 （世界短篇小說大系日本篇中ノ内　大正一五）		五二〇	四五
八戸町誌	笹澤魯羊編　明治四五	一	三三九	五七
八佛名號經	隋、闍那崛多譯 經集部一ノ内（大正新脩大藏經第一四卷	特	四四	三七四
同			八六	三九一
八木龍之卷	一名　賣買極秘卷　見機館主人 本德川時代商業叢書第二ノ内（國書刊行會 大正二）		三四三	四ぬ
八木虎之卷	猛虎軒主人（國書刊行會本德川時代商業叢 書第二ノ内　大正二）		三四三	四ぬ
八木の話	北越逸民 （近古文藝温知叢書第一二編ノ内　明治二四）		四三	三イ
八木豹之卷	（國書刊行會本德川時代商業叢書第三ノ内 大正三）		三四三	四ぬ
八枚機織法全書	福井萬次郎　增訂三版　明治四四	一	八五	三イ
八幡宮勸學講一問答抄	二卷（日本大藏經第五卷ノ内 大正四）		三五三	六
八幡宮社制	八幡服忌令（續群書類從第三輯ノ下神祇部 ノ内　再版　大正一四）		八〇	三二ロ
八幡大菩薩御影供養事	（大日本佛教全書第一二三册ノ 内　大正一一）		三五三	一〇
八幡瀧本坊名物記	寫本 （茶道叢書第一九二册）	一〇	八三二	一三六
八幡の神の考	栗田寬 （栗里先生雜著上卷ノ内　明治四三）		三三	二四五イ
八幡祭小望月賑	河竹默阿彌 （默阿彌脚本集第二卷ノ内 大正一〇）		三九〇	二
同	（默阿彌全集第四卷ノ内　大正一三）		五二七	四三
ハヂ・ムラート	トルストイ著　福永挽歌譯 （トルストイ全集第一二卷ノ内　大正八）	一	二七六	二八二
波長計に就て	中井友三　大正一四 （電氣試驗所調査報告第一四號）	一〇イ	二四五	一〇
蜂谷家灶合香式	江田世恭編　寫本	一〇	八三三	二〇
蜂谷流香式	寫本	一〇	八三三	二七三
蜂谷品香集說	江田世恭編　寫本	一〇	八三三	二七一
蜂谷名香集	寫本	一〇	八三三	二六九
八郎湖水面利用調査報告	秋田縣水產試驗場編 大正五	一	三三一	一九五
蜂王國	一名　養蜂眞髓　德田義信　大正三	一	三四九	三三五
八王子	八王子市役所編　大正一五	一	五五六	一一六
八王子案內	宮原倫路編　大正七	一	三七三	二〇三
八王子を中心とせる鄉土偉人傳	清水庫之祐　大正一〇	一	三九四	一一七
八王子織物案內	宮原倫路編　大正九	一	三八八	二八二
八王子根元	寫本	一〇	一二六	二四八
八王子市大正大震災誌	淵江源治編　大正一四	一	五二六	九一
八王子商工案內	田沼久吉編　大正元	一	一四九	四〇
八王子町新舊地番對照反別帳	八王子町大字改稱 田中京二編　大正元	一	九四	七八九
八王子町全圖	田中京二編　〔大正元〕　三・五×二・五	一枚	八九	一八九
八王子名勝志	寫本 〔百枝翁稿本ト云フ〕	特	八三〇	一二〇
バツアラ	ルネ・マラン著　高瀨毅譯　大正一一	一	五一七	二三三
發育概評決定標準の誤謬と不合理を		一	二七六	二八二
難ず	（大正九年七月文）　津田侃二　大正一〇	一	二四五	一〇イ
拔一切業障根本得生淨土神呪	劉宋、求那跋陀羅重譯 寶積部下泥槃部ノ内（大正新脩大藏經第一二卷	特	四四	三七四
同			八六	三九一
初午の日記	荒木田麗女 （女流文學全集第三卷ノ内　大正八）	一	三七一	一六四ろ
發音と ローマ字	近藤光次　增訂再版　大正七	一	三三三	二七一
發音發	佐藤坦編　寫本	一	二〇五	二七〇
發音略	山縣昌貞 （山縣大貳遺著ノ内　大正三）	一	三三八	三八〇ろ
八海含藏	師練撰 （大日本佛教全書第三册ノ内　大正三）	一	三五三	一〇
八海山案內	神田憲次郎編　大正一二　五六頁	一	五一六	一八六
醱酵菌類檢索便覽（袖珍）	齋藤賢道　訂補再版 明治四五	一	九四	四〇一イ
醱酵化學研究法	江守顯　大正一〇	一	三八一	一三三
醱酵總論	丹波敬三編　三版　明治四三 （化學工業全書第一〇册）	一	四五	一九〇ニ
發蛾期日ノ鑑定ト調節早見表	野中幸衛　大正八	一枚	一九	七〇六
はつかすみ	田代城衛　大正三	一	四一九	二五
はつがつほ（落）（話）	富士川吟雪畫　〔安永年間〕　三卷 一五枚	特	二〇八	七三七
發揮九範	藤澤南岳（恒）　大正八	一	一五九	一三
發狂	角田喜久雄 （探偵名作叢書第八編ノ内　大正一五）	一	五四八	五三

		冊	函	號
八曲筐掛繪	竹本播磨少椽追善　竹田小出雲編　延享元　特　一枚	一	京	三八〇
發掘	伊藤靖　大正一一	一	乙	五〇六
バックハンドの研究	岩永孝治編　大正一三	一	乙	五一三
拔苦與樂（信仰ノ修養）	小泉了諦　大正四	一	乙	三六〇
ハックルベリイの冒險	マーク・トウエーン著　邦譯　大正一五	一	乙	五五一
ハックルベリー物語	マーク・トウエーン著　佐々木邦譯　大正一〇（世界少年文學名作集第一九卷）	一	乙	三七五
初懷紙（寛政己ノ酉年）	高井几董編　安井知之校　大正一五（和露文庫第一編）	一	乙	五四九
初懷紙評註	附續芭蕉連句選釋　荻原井泉水編　大正一三（芭蕉文庫第八篇）	一	乙	三八九
八關齋法經	泉芳璟譯　大正一三（現代意譯根本佛教聖典叢書第五卷ノ內）	一	乙	五一五
八景帖	祥啓畫　尚美會發行　大正六	一	乙	四二一
發見	ヴイルドラック著　內藤濯譯　大正一四（世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ內）	三	乙	五二〇
發見	モウパッサン著　安成四郎譯　大正一一（モウパッサン全集第一三卷ノ內）	三	乙	三九〇
八犬傳物語	大町桂月　大正五	一	乙	七一
八軒長屋	前、後、續編　村上浪六　大正一五	三	乙	三五〇
同	後編　四版　大正三（浪六全集第五編）	一	乙	七一
同	前、後編　一三版　大正九（浪六全集第四、五編）	二	乙	七一
同	前、後、續編　大正一五（浪六全集第一〇至一二編）	三	乙	五五〇
同		三	乙	五五〇
發見發明年表（歷史資料ー物理化學ー）	岡田良一　大正六	一	乙	三六五

		冊	函	號
發見王野口英世	渡邊善助（壽樓）　大正一〇	一	乙	三九四
はつ戀	川路柳虹（誠）　大正一四	一	乙	五一六
初戀	ツルゲエネフ著　生田春月（清平）譯　大正七	一	乙	三一
同	ツルゲーニエフ著　小野浩譯（ツルゲーニエフ全集第二卷ノ內　大正一〇）	一	乙	五〇〇
同	ツルゲネーフ著　馬場直美譯編（通俗泰西文藝名作集ノ內　大正一四）	一	乙	五一八
同	ツルゲーネフ著　藤浪由之譯　大正八（「散文詩」ト合綴）	一	乙	三一三
初戀	矢崎嵯峨の屋（鐵四郎）（世界短篇小說大系日本篇上ノ內　大正一四）	一	乙	五二〇
拔根機に關する調査（開墾事業ー參考資料ー）	農商務省食糧局編　大正一〇	一	乙	三九七
八齋戒作法要解	覺深撰　一卷（日本大藏經第一三卷ノ內　大正五）	三	乙	三五三
八齋戒作法得道鈔	通玄述　一卷（日本大藏經第一三卷ノ內　大正五）	三	乙	三五三
八想錄	中外出版株式會社發行　大正一五（石川日出鶴丸）	五	乙	五四九
第一	紙（足利浮圖）			
第二	血			
第三	物（近重眞澄）			
第四	女（高島米峯）			
第五	○（西田天香）			
發散及吸收論	キルヒホツフ著　荒木吉次郎譯　大正二（科學名著集第二冊）	一	乙	三四六
ハッサン・カンの妖術	谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第三ノ內　大正一〇）		乙	五〇〇
八州繪圖	寫本　四九×四·三	一	乙	一九
八宗綱要	凝然撰　二卷（大日本佛教全書第三冊ノ內　大正三）		乙	三五三
八宗綱要講話	境野哲　大正五		乙	一一
八識義章研習抄	珍海記　三卷（日本大藏經第三卷ノ內　大正四）		乙	三五三

		冊	函	號
拔齒術	中川大介　大正一四	一	乙	一五〇
末日聖徒耶蘇基督教會信證講義	ジエームス・イターメージ著　エッチ・グラント・アイビンス等譯　大正四	一	乙	三二四
初しも	京洛圖案會編　大正一四	一	乙	一六二
初霜	大丸呉服店編　大正一一	一	乙	四三三
發射	プーシュキン著　山村巍譯（プーシュキン小說集ノ內　大正一〇）	一	乙	三九六
八正道經	高畠寬我譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第六卷ノ內　大正一三）	五	乙	五五
八正道に就て	野々村梅所（夏期講習會佛教講演集第二回ノ內　大正四）	三	乙	三八
發射兩電波の同時受信に就て	丸毛登（電氣試驗所第二部研究會講演集ノ內　大正三）		乙	三二七
初出家戒儀	〔活字版〕　一三枚	一	乙	一八九
初白髮	山崎紫紅（現代戲曲全集第三卷ノ內　大正一四）	一	乙	五三〇
發疹チフス	志賀潔（北里研究所補修講演錄ノ內　大正四）	一	乙	六〇
發疹チフス	內務省衞生局編　大正三	一	乙	五三
閥人と黨人	鵜崎熊吉　大正二	一	乙	三四九
八水隨筆	（近古文藝溫知叢書第二編ノ內　明治二四）	一	乙	四三
發生學及び發生心理學上の懸案の解決に就いて	鈴木鷲山（得七）　大正九	一	乙	三七二
發生主義心理學	野上俊夫　大正六（夏季講習會心理學講演筆記）	一	乙	三七三
發生的社會學	フランツエス・コ・センチニ著　田邊壽利譯　大正一一（社會學叢書第八）	一	乙	一五一
同		一	乙	一五一

		冊	函	號
發生に就いて	トムソン著　小野寺一男譯　大正一五（科學大系第八卷第三九編）	一	乙	一五五
發生爐瓦斯	井坂義一　大正七	一	乙	三六五
初瀨物語	（續群書類從第一八輯ノ上物語部ノ內　再版　大正一三）		乙	八〇
閥族罪惡史	細井肇　大正八	一	乙	三六二
閥族の解剖	神長倉眞民　大正六	一	乙	三七〇
髮賊亂志	曾根俊虎（通俗二十一史第一二卷附錄　明治四五）	三	乙	三四
八田知紀歌集	八田三郎編　大正三	一	乙	三五六
八秩壽言	國分胤之編　大正六	一	乙	一一
發展	岩野泡鳴（泡鳴全集第二卷ノ內　大正一〇）		乙	五〇〇
發電機及び電機取扱法	刀禰館正已譯　大正九	一	乙	三八五
發電機及び電動機製作法	中島修次譯　大正九	一	乙	三八五
發電機電動機及變壓器大要	中山豐吉編　大正七	一	乙	三七三
發電事業叢書	大同電力株式會社發行　大正一五	二	乙	五五五
「第二　大桑發電事業誌（犬伏篇補編） 第三　西勝原發電事業誌（同）」				
發電子反作用の波形に及ぼす影響	別宮貞俊　大正一〇（電氣試驗所報告大正九年度第一編電氣試驗所研究報告第九四號）	一	乙	一四五
同		一	乙	一四五
發電所及原動機	素木晃治、木多勘一郎　大正四	一	乙	三五一
發電所設計	久保進　大正二	一	乙	三四二

		冊	函	號
發電所設計	久保進 大正二	一	三四二	三五二イ
發電所設計	附 原動機 工業教育會編 大正九 (電氣事業主任技術者資格檢定試驗問題解答集第七輯)	一	三八一	四三
發電所	附 原動機 上卷 久保進 增訂三版 大正七	一	三四九	四一ホ
同	增訂四版 大正八	一	三四九	四一ヘ
發電水量	上卷 眞隅隆介 大正九	一	三八一	一二一
同		一	三八一	七一
發電水力	發電水力研究會發行 第六號(大正四年八月)至第八七號(大正一一年四月)	四	雜三一	七七
發電水力(撮要)	エフ・エフ・フアーグソン著 丸山莠三譯 大正一四 (小型叢書第六編)	一	五四一	二二四
同		一	五四一	二二四イ
發電水力事業槩覽	大正元年 附 一覽地圖 臨時發電水力調査局編 大正二	一	一四、四	一一九
發電水力地點要覽	大正六至(九)年 大正七至一一 遞信省電氣局編	四	一四、四	四四九
發電水力調査概況	遞信省電氣局編 大正九	一	四二二	四二
同	大正一〇	一	四二二	四二イ
同	大正一二	一	四二二	四二ロ
同	大正一四	一	四二二	四二ハ
發電水力調査書	附圖付 臨時發電水力調査局編 大正三	四	三三三	二九
同		四	三三三	二九イ
發電生物と發光生物	トムソン著 宮下義信譯 (科學大系第七卷第三一編 大正一二)		五一五	七
同			五一五	七イ

		冊	函	號
發展的讀方の學習	秋田喜三郎 大正一四	一	二六三ニ	二一五
發展的讀方の實際(讀本—全課)	尋六 秋田喜三郎 大正一五	一	二六三ニ	二四七
發電用水力原動機	蘆葉清三郎 大正一一	一	三八一	一九〇
發電用としてのモンド瓦斯裝置に就て	附 蒸氣タービン及水力とモンド瓦斯との比較研究 廣部德三郎 明治四四 (電氣試驗所第三部研究報告第一〇號)	一	一四、五	七
バット	(蝙蝠) メイリイ・ラインハート著 松本泰譯 大正一五	一	五一七	五〇五
發動機船機關士試驗問答	竹本正文編 大正八	一	三八五	三〇
發動機大意	吉田賢吉 增補改版 大正八	一	六四	九六イ
發動機燃料	三井嗣喜 大正一三	一	五三七	二
發動機の試驗に就て	池下守清 (農業用小型發動機講習會講演集ノ內 大正一二)		三九七	四九〇
發動主義の教育	山本良吉 大正二	一	二五三	一二四
發動主義分團教授一斑	齋藤諸平、兒子喜六 大正八	一	二六三	二七五
八凸社作品集	第三、五回 同社編 大正一四	二	一六二	一〇一
バッドボーイ日記	伊藤六郎譯 大正四	一	三五七	六〇
般泥洹經	二卷 (大正新脩大藏經第一卷阿含部上ノ內 大正一三)	特	四四	三七四
同			八六	三九一
般泥洹後灌臘經	西晉、竺法護譯 (大正新脩大藏經第一二卷寶積部下涅槃部ノ內 大正一四)	特	四四	三七四
同			八六	三九一
初音	金澤市染業組合編 大正一三	一〇	四二〇	七六

		冊	函	號
發賣禁止	長谷川善治 大正一五	一	五一七	五三九
初花魏曾我	(芝居繪本第二〇)	特一〇	京	三七六
バッハよりシェーンベルヒ	大田黑元雄 大正四	一	三六〇	一三五
初春れいわひ	稀書複製會編 大正一二(複製)	一〇	一九九	四一六
はつはるの日記	横山由清自筆 寫本	特五〇	八三〇	一四三
拔陂菩薩經	(大正新脩大藏經第一三卷大集部ノ內 大正一三)	特	四四	三七四
同			八六	三九一
耻づべし	トルストイ著 宮原晃一郎譯 (トルストイ全集第八卷ノ內 大正八)		三九〇	三九
發明家物語	自學奬勵會編 大正七 (家庭自學文庫ノ內)	一	三五五	八五ろ
發明家物語	大日本工業教育會編 大正六 (工業青年叢書第二編)	一	三五五	七二
發明十講	牧野輝智編 大正二	一	三五〇	一五一
發明振興策(名士談叢—)	牧野輝智編 大正元	一	三三三	四〇九
發明と文明(科學世界—)	堀七藏 大正八	一	三八一	三三
同(理科叢話—)	大正二	一	三五〇	一〇八
發明は國產發達の母	清浦圭吾 (國產奬勵會主催比叡山講演集ノ內 大正七)		三七一	一四六
發明はどうすれば出來る	濱地常康 大正一一	一	三九五	二二八
發明品博覽會報告	第三回 七字魁編 大正一三	一	五一八	一一一
發明夜話	槇尾年正 大正一五	一	五六四	一五九
初雪	モオパッサン著 馬場孤蝶譯 (モオパッサン傑作集ノ內 大正三)		三二九	二〇一

		冊	函	號
馬丁	アレクセイ・トルストイ著 森鷗外譯 (泰西名著文庫諸國物語ノ內 大正四)		三四五	一二ほ
破調	內田魯庵 (世界短篇小說大系日本篇上ノ內 大正一四)		五二〇	四五
哈調資料	南滿洲鐵道株式會社哈爾賓事務所調査課發行 大正一二至一五	一一	一四、五	八五
第一號	露西亞社會主義聯邦「ソウエート」共和國民法 (太田某譯)			
第二號	勞農西伯利の近情 (古澤幸吉譯)			
第三號	哈爾賓に於ける日本人關係諸會社商店一覽 (同課編)			
第四號	北滿に於ける小麥と製粉工業 (同)			
第五號	滿蒙の畜產と東支鐵道 (同)			
第六號	東支鐵道哈爾賓營業所第八區案內 (同)			
第七號	東支鐵道附屬地及松黑兩江航行に關する支那法權回收事情 (濱岡福松譯)			
第九號	東支鐵道附屬地問題概要 (同課編)			
第一〇號	大豆油粕の內地に於ける消費の現在と將來 (山口寬雄)			
第一一號	黑龍江口尼港 (クルイニン著 堀內某譯)			
第一二號	東支鐵道土地回收運動に對する考證 (同課編)			
第一三號	中國人の見たる松黑兩江沿岸地方事情 (支、刑契華著 濱岡福松譯)			
第一四號	ツエントロサユーズ(全露消費組合中央聯合會)最近の業績 (同課編)			
第一五號	一九二二年度東支鐵道經濟年鑑 (東支鐵道廳經濟調査局編 同課譯)			
第一六號	北滿洲の林業 (同課編)			
第一八號	勞農露國政治年表 (一九一七年至一九二二年) (同課譯)			
第一九號	勞農政府の運命 (北川鹿藏)			
第二〇號	露國勞農政府組織圖表 (同課編)			
第二一號	東支鐵道沿線に於ける畜產 (同)			
第三〇號	北滿の特產物 (同)			
第三二號	蒙古貿易と東支鐵道 附 呼倫貝爾地方に於ける漁業 (弓場盛吉)			
第三六號	北滿洲の燃料問題 (同)			
第三七號	北滿農村經濟 (堀內竹次郎)			
第三九號	勞農露國と東方貿易之將來 (岡本節三)			
第四〇號	滿洲纖維用亞麻作論 (稻葉豊城)			
第四二號	北滿洲に於ける電氣業 (岡本節三)			

		冊	函	號
第四四號	勞農露國對外貿易政策 （岡本節三）			
第四五號	太平洋岸のソウエート露西亞 （ウラディーミル・ウイレンスキー著 同課譯）			
第四六號	東支鐵道沿線教育施設の現狀 （村邊繁二）			
第四九號	北滿洲に於ける亞麻栽培の將來と其の栽培地方の限定 （ボエイコフ著 同課譯）			
第五一號	ソヴイエット社會主義共和國聯盟鐵道規定 （鈴木三郎譯）			
第五二號	露支國境考 （支、白毅著 濱岡福松譯）			
第五三號	數字上より觀たる浦鹽斯德商港 （同課編）			
第五四號	北滿に於ける漁業 （同）			
第五五號	烏蘇里鐵道の現況 （鈴木三郎）			
破鳥鼠論	日講 （國書刊行會本信仰叢書ノ內 大正四）	一	函	號
同	（日蓮宗學全書ノ內 大正一二）	一	三三〇	四九を
哈調報	南滿洲鐵道株式會社哈爾賓事務所調査課發行 大正一二	一	三五三	三〇り
	第一號 一九二三年私の見た勞農露國の情態 （岡本節三）	一	一四五	九一
姿競春建前	寫本 （勝進助芝居臺帳第二七）	一	一九一	七五
艷姿女舞衣	竹本三郎兵衛等 （世話狂言傑作集第二卷ノ內 大正一四）		五二七	六四
涯なき路	岡田三郎 （新進作家叢書第二六編ノ內 大正一〇）		三一	五五四
破奠記	日講 （日蓮宗宗學全書ノ內 大正一二）		三五三	三〇り
鳩	ゴールスウオージー著 市川又彥譯 （アルス・ポピュラアー・ライブラリー第六ノ內 大正一三）		五二七	八
波動振動及避雷	鳳秀太郎 大正四 （鳳氏交流工學理論階梯第三編）	一	三三一	三七
同	再版 大正一〇	一	三三一	三七イ
同	三版 大正一二	一	三三一	三七ハ
鳩を放つ	藤森成吉 大正一三	一	一五三	二〇三
齒と健康	島峰徹 大正一二 二八頁	一		五五
齒と口腔病	五味芳春 大正八 （續家庭醫學叢書第二篇）	一	函	號
ハドソン河上流の怪異奇譚	ワシントン・アーヴイング著 金子健二譯 （世界奇書異聞類聚第二卷附錄 大正一五）		五四八	三五
ハドソン超六氣筒自動車說明書	梅村英 大正八	一	三八五	三七
鳩のうなづき	三輪田元道 大正三	一	三七	三〇七
鳩のお家	松原至大 大正一二	一	五二三	九三
鳩のお家（冷光童話集一）	大井信勝（冷光） 大正一〇	一	五〇一	四八
鳩の飼方	村瀨吉康 大正二 三三頁	一	三四四	一四九
班制教育	ローランド・フイリップス著 三島通陽譯 （バトロールシステム） 大正一四 （少年團日本聯盟パンフレット第三輯）	一	二七九	五一
鼻	芥川龍之介 大正七 （新興文藝叢書第八編）	一	三一	五五五
鼻	岩野泡鳴（泡鳴全集第五卷ノ內 大正一〇）		五〇〇	一
鼻	スニガ著 永田寬定譯 （世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內 大正一五）		五二〇	四五
花井源兵衛翁	山田元禮（塘水） 大正一四	一	五三三	二五三
花入庵初會會我	（芝居繪本第三一）	一	京	三七六
鼻咽喉氣管食道病學	池田昌克等著 和辻春次編 明治四五 六九〇頁	一	五八	四六
華岡青洲先生及其外科	吳秀三 大正一二	一	五九	七三
花鏡	吉村華芸 大正八	一	四九	一三七
花影	荒木磯吉編 大正五 一三枚	一	四九	七〇
花がた美	西澤笛畝編 大正一一	一	四六	五七

		冊	函	號
花筐	前田漢子 大正一三	一	一六〇	一八五
同		一	一六〇	一八五イ
走奈可太美	山下安貞編 寫本	三	一二六	二二七
花筐（四時遊觀一）	松亭金水 （人情本刊行會叢書第一六輯ノ內 再版 大正一四）		五四五	二六
花かつみ考	藤塚知明 （國書刊行會本三十輯第三ノ內 大正六）		三三〇	五一
花勝見考	藤塚知明 （仙臺叢書第一〇卷ノ內 大正一五）		五〇八	一三
同	（百家叢說第三編ノ內 明治四五）		三三〇	四一
花かつみの考	多賀常政等 （百家叢說第三編ノ內 明治四五）		三三〇	四一
花香安精文庫紀要（北總之和算家）	千葉縣圖書館編 大正一五 （房總算學調査資料第一輯）	一	一四五	一七二
花がるた	島村抱月 （抱月全集第六卷ノ內 大正八）		三七九	一一
鼻ききき	久米正雄、小島政二郎 大正一一 （新しい童話第七編）	一	五〇五	一九
花ぐもり	尾崎紅葉 （尾崎紅葉全集第二卷ノ內 大正一五）		五四八	一七
同	（紅葉全集第二卷ノ內 九版 明治四四）		七四	三四六ハ
同			七四	三四六ニ
花曇朧夜草紙	爲永春水著 國貞畫 一二卷		三〇八	七二九
花供養	仙石盧元坊撰		一〇四	三四一
競伊勢物語	寫本 （勝進助芝居臺帳第三八）		一九一	七六五
花競芝翫話	一名花競二卷ばなし （演劇文庫第六編ノ內 大正四）		三四〇	三〇
花競璃寬話	（演劇文庫第六編ノ內 大正四）		三四〇	三〇
花車	村上浪六 （浪六全集第三編ノ內 三版 大正三）		七一	四九九
同	（浪六全集第三編ノ內 一六版 大正九）		七一	四九九イ
同	（浪六全集第六編ノ內 大正一三）		五五〇	五七
同	（浪六全集第六編ノ內 大正一五）		五五〇	五七イ
同	（浪六全集第六編ノ內 大正一三）		五五〇	五七ロ
花小袖	芸艸堂編 大正一四	特一	四二	四四
花ことば	澤田稔 大正一三 二二頁	一	三九三	六八一
花曆封じ文（於七橘三一）	臘月亭有人 （人情本刊行會叢書第一三輯ノ內 再版 大正一五）		五四五	二六
花咲爺	巖谷小波編 再版 大正一三 （和英對譯日本昔噺第五編）	一	三三八	二八七
はなさく松	搞保己一 （國書刊行會本三十輯ノ內 大正六）		三三〇	五一
話し方教授	飯田恒作 大正七		二六三	二九
話方教授の新主張及實際	田中確治 大正一一		二六三	一六〇
話し方教授の新潮と實際	中井新三郎 大正一二		二六三	一七六
話シ方資料集成（國定準據 人物講話一）	山崎定英 大正四 六八七頁	一	三四八	三二六
話し方と聞かせ方	山內藤馬 大正八	一	二六三	一三〇
話方の經濟	森本厚吉 大正一四	一	五三八	二四七
話方の理論及實際	天野雉彥 （現代社會問題文化大學十六講ノ內 大正一二）		五二五	一七
はなしの庫（金言逸話 珍說奇談一）	辻井亨編 大正元、四	二	三三一	三五一

	冊	函	號
話の種（禪味趣味） 湯淺觀明編 大正六	一	三六三	六七
噺の苗（近來見聞一） 曉鐘成（國書刊行會本新燕石十種第一ノ內 明治四五）	三四三		四ろ
花菖蒲圖譜 解說付 三好學 大正一一	特 五	四三	七
花巡禮（詩集一） 中西悟堂 大正一三	一	五一六	二五
華すがた 中川華邨編 大正五	一〇	四一一	一三
花園院御製法華品釋（列聖全集御撰集第六卷ノ內 大正六）		三二八	三七八
花園院御卽位記（續群書類從第一〇輯ノ下公事部ノ內 再版 大正一五）		八〇	三二ロ
花園院天皇宸記 大正六（列聖全集宸記集下卷）	一	三二八	三七八
花園生活 中村秋人 大正五	一	三六〇	四〇〇
花園學道之御記（花園天皇列聖全集御撰集第六卷ノ內 大正六）		三二八	三七八
花揃戲場の道連 豐國、國久畫	別 五枚	七	六七
花橘 藤田芳邨 大正五	一〇	四一九	六六
花橘（歌集一） 西川義方 大正一三	一	五二九	二六
花束 ズーデルマン著 森鷗外譯（鷗外全集第一二卷ノ內 大正一二）	特	五一〇	一
同		五一〇	一イ
同	特	五一〇	一ロ
同（一幕物ノ內 大正元）		九三	三二イ
鼻提灯 宇野浩二（日本小說集第一集ノ內 大正一四）		五二九	五六
花と人生（田園趣味一） 天野藤男 大正五		三六〇	三二九

	冊	函	號
花と鳥 金井紫雲編 三版 大正一四	一	五四一	五三
花殿御役人傳記 寫本	一〇	一八一	三八二
花と花言葉 橋本墨英 大正一一	一	五〇三	九〇
花と人（現代の麗文集一） 山田草人編 大正五	一	七一	五六六
花と實と棘 佐藤春夫（金星堂名作叢書第一五） 大正一一	一	三八九	七三
鼻と耳の病氣 金杉英五郎（最新衛生叢書第九編） 大正元	一	六一	一〇九
バナヽ吸芽の太さの收量に及ぼす影響 櫻井芳次郎 大正一五（臺灣總督府中央研究所農業部彙報第三九號）	一	一四、三	二八五ハ
ばなゝ（甘蕉）試驗報告 岡田知造、片倉健四郎（印刷局研究所調査報告第一〇號ノ內 大正二）		一四、五	一三
花に川せみの圖（短册繪） 廣重畫	一枚	別七	一〇三
花に小鳥の圖（短册繪） 廣重畫	一枚	別七	一〇一
花に文鳥の圖（短册繪） 廣重畫	一枚	別七	一〇三
花雨濡嫁入（世話狂言傑作集第一卷ノ內 大正一四）		五二七	六四
花の生け方 松平宗圓 大正一二	一	五一三	一三
花江都歌舞伎年代記 立川焉馬著 吉田暎二訂 大正一五	一	五六三	一二
花御江戸將門祭（芝居繪本第六）	特 一〇	京	三七六
花の唉くまで 安倍季雄 大正一四	一	五三八	三三六
花ノ枝折 天、地、玄、黃卷 木原啓作（聽水庵春翁） 大正五	四	二	一七五
同 天、地卷 修正四版 大正八	二	二	一七五イ

	冊	函	號
花ノ枝折 天、地卷 木原啓作（聽水庵春翁） 修正九版 大正一三	二〇	一一	一七五ロ
花の下みち 藤井瑞枝編 大正八	一	三八四	五九
華袖笠（座敷舞臺一） 一〇枚	別 二〇	二〇八	七四三
花の立枝 荒木田麗女（德川時代女流文學麗女小說集上卷ノ內 大正四）		三二九	二三六
花の智慧と蘭 尾澤慶忠譯 大正九	一	三八五	一〇九
花の智慧（メーテルリンク）香料（同）闇の花の受精（ダーウヰン）			
花の作り方 千葉高等園藝學校草人社編 大正一四	一	五四一	七四
花の傳說 武井武雄 大正一五	一	五五一	一四五
花の情 一名 四人比丘尼 寶永五	特 一〇	た	三
華の花 中川華邨編 大正三	一	四一〇	七
鼻の話 星野貞次（印度洋講演集ノ內 大正一〇）		三八七	二一二
鼻の美學 林熊男 大正一一	一	五〇三	一〇五
同	一	五〇三	一〇五イ
花能萬賀喜 宗祇（續群書類從第一七輯連歌部ノ內 明治四五）	一	八〇	二二一
花之素 勅使河原久次 大正一一	一	三九三	三三三
花の物語 內山舜 大正三	一	三五〇	二四〇
塙檢校傳 中山信名（修養文庫第二編賢哲傳下ノ內 大正八）		三七五	三五
塙句當傳 萩野信敏寫本（和學講談所本） 一〇枚	一〇	一六六	三〇四
花は武士 阿部眞一郎 大正九		一	三八四
櫻木			

	冊	函	號
塙保己一 讀本の讀本社編（讀本の讀本第二編） 大正一三	一	五一五	一三四
塙保己一言行錄 下中彌三郎編 大正元（偉人研究第七五編）	一	九五	四五
塙保己一先生 阪本百次郎編 大正元 八二頁	一	三三九	一〇四
煙火製造法方 與田勇次郎 大正二 八八頁	一	三三九	二一〇
煙火の栞 大久保芳治 大正一三 二四頁	一〇	一六〇	一八三
花百首題詠 八田知紀自筆稿本 寫本 一一枚	特 一〇	八三〇	九四
英一蝶 小山內薰 大正七	一	三一	六六六
花吹雪隈手廼塵 恕堂閑人 三卷（國書刊行會本近世風俗見聞集第四ノ內 大正二）	一	三四三	四ヘ
巴奈馬 伊達源一郎編（現代叢書第二冊） 大正三	一	三四〇	四八
同	一	三四〇	四八イ
バナマ運河と南米及墨西哥の富源 松尾音治郎 大正三	一	三五八	九
巴奈馬運河見物 島谷亮輔（時事叢書第二七編） 大正四	一	三五五	一
バナマ運河と日米戰爭 石河駒之助 大正二	一	三四四	二四三
巴奈馬運河と列國貿易競爭 ハツチンソン著 栗山博譯 大正六	一	三五六	二八八
巴奈馬運河ノ開通ガ日本ニ及ボス經濟上ノ影響 農商務省商務局商業課編 大正三	一	三三一	九四
花卷案內溫泉めぐり 齋藤荻風編 大正元 七八頁	一	三三九	一四六
巴拿馬蘇士兩運河口頓數證書交付諸規定 菅野谷甚三郎編 大正五	一	七〇	三六八

		冊	函	號
巴奈馬太平洋萬國大博覽會	第一—三、新世界新開編輯局編 大正二、三	二	三二	二三
巴奈馬太平洋萬國博覽會參同事務報告	農商務省博覽會事務局編 大正六	二	三六七	一五
巴奈馬太平洋萬國博覽會出品	日本帝國人口靜態及人口動態統計圖畫圖竝該描畫圖ノ基ツケル統計表 內閣統計局編 大正四	一	三二	一五八
花見歸り隅田の渡し	溪齋英泉畫	三	枚別七	一五三
花道	上司小劍 大正一〇 六二頁	一	三九一	二五九
花見之圖	上野、隅田川 廣重、國芳畫	別帖	一	二五二
花見の日記	津村正恭自筆稿本 寫本〔江戸近郊ノ花見ノ記ナリ〕	特一〇	八三一	九一
花十産木母寺由來	（芝居繪本第五）	特一〇	京	三七六
花莚檢查所年報	明治四四至大正一四年 同所編 明治四五至大正一五	五	一四二、八	六八
花むすび	太田商店意匠部編 大正二	一〇	四〇七	六四
鼻眼鏡	稻垣足穗（新進作家叢書第四五編ノ內 大正一四）		三一	五五四
花ものがたり	科外教育叢書刊行會編 大正六（科外教育叢書第三一）	一	三五五	八四
花物語	第一、三、五卷 吉屋信子 大正一三至一五	三	三五五	一三
花物語と花言葉（傳說）	內山舜 大正一三	一	五二九	一七
花紅葉	堤品藏編 大正一五	一〇	四三	二三三
花紅葉	林新作 大正六	一〇	四三	二四
花紅葉	山田直三郎編 大正五	一〇	四二一	二七

		冊	函	號
花も實もあるも侠客の戶籍調べ	醍醐惠端 大正九	一帖	三四	一四七
花模樣	小林清親畫 三一枚	一	三四	九八
花もやう	小林友治郎編 大正一二	一〇	四一六	七五
花吉田岩尾松若	寫本 一冊（臺帳叢書ノ內）	一〇	一三五	一八三
花守と二十八宿	橫瀨夜雨 大正一〇	一	五〇一	一九八
むふや	寬永一二年蘿蔔太夫正本 大正一五（珍書大觀金平本全集ノ內）	一〇	一七一	一〇九
華やかなる回想	大田黑元雄 大正一四	一	五四一	四一
花より實を取れ	嘉悅孝子 大正四（細刷名著叢書第二三編）	一	三七	三七六
離るゝ心	德田秋聲 大正一一（金星堂名作叢書第二）	一	三八九	七三
花環、花束、花籠の作り方	千葉胤一 大正七	一	三八六	一三
はなわらひ	笑休庵虛空坊（音曲叢書第三編ノ內 大正三）	二四〇	三〇イ	六
破日蓮義	圓信撰 二卷（大日本佛教全書第九七册ノ內 大正三）	二	五三	一〇
埴生村累譚	寫本（松島松作芝居臺帳第四三ノ內）	八二四		二
ハニヤ	センキウイッチ著 三浦關造譯 大正四	一	三五七	六三
葉のうらの記	田能村竹田（國書刊行會本田能村竹田全集ノ內 大正五）	三三〇	五〇ろ	六
歯の衞生	志村誠麿 大正一〇	一	五八	二三
歯の衞生に就て	渡邊濟 大正一一 四七頁	一	五八	二六
歯の病の全身的影響	遠藤至六郎 大正一一（口腔衞生叢書第一編）	一	五八	一三五
バハイ教	松宮春一郎（世界聖典全集後輯第一五世界聖典外纂ノ內 大正一二）	三三五		三七三

		冊	函	號
母を與へよ	倉橋惣三（婦人問題講演集第八輯ノ內 大正一一）	二	五〇〇	二
母を戀ふる記	谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第五卷ノ內 大正一二）	二	五〇〇	四
母を慕ひて	野邊地天馬（三右衞門） 大正八	一	三七七	一七一
母を尋ねて三千里	附錄 タングルウッド物語 エドモンド・アミチス著 西川勉譯 大正一四	一	五三八	一二三
母親	關口次郎（現代戲曲全集第一六卷ノ內 大正一五）	一	五五〇	三八
同	（現代戲曲全集第一六卷ノ內 大正一五）	一	五二〇	二五
母親遺傳ニ關スル研究	宇田一（〔農商務省〕農業試驗場報告第六卷第八號ノ內 大正一三）	一	四二イ	三六九
母親と子供	藤山豊 大正一二	一	五〇三	二六三
帚木別注	雨夜談抄 宗祇（續群書類從第一八輯ノ下和歌部ノ內 再版 大正一三）		八〇	二二ロ
波ぞその下蔭	伊藤乘興 再版 大正一一 三〇頁	一	一六〇	八六
母と子	下田次郎 大正五	一	三六〇	四五七
母と娘の衞生問答	月經より育兒まで 河島右一、天野馨 大正一〇	一	五六	一六七
母の愛	小栗風葉 大正六	一	三七七	五
母の愛	動物の母と人の母 谷津直秀 大正一四	一	五三六	一四四
母の愛之進化	谷津直秀 大正九	一	三八八	二三六
母のお伽噺	大井光雄 大正一〇	一	五〇一	二〇五
母のおもかげ	安倍季雄 大正一三	一	五二九	一六四
母の死	曉烏敏 大正一四（にほひくさ叢書第二輯第一卷）	一	三三八	三七八
母の立ち場	岩野泡鳴（泡鳴全集第七卷ノ內 大正一〇）	一	五〇〇	一
母の爲の兒童心理	上野陽一（現代文化と教育ノ內 大正一三）	一	三五三	二八四
母の手	長田幹彥（幹彥全集第一卷ノ內 大正一一）	一	五五〇	三八
母の典型	一名 モニカ傳 皆田篤實 明治四五	二	五一五	六〇
母之友叢書	婦女界社發行 大正一二至一四			
第一編	安產と難產（望月寬一）			
第二編	母の手藝（津田敏子）			
第三編	病兒看護の批判（吉田久造）			
第四編	兒童心理（上野陽一）			
第五編	母と子の美術（太田三郎）			
第六編	母と子の科學（深澤幾市）			
第七編	童話（千葉春村）			
第九編	禮儀作法（大妻コタカ）			
第一〇編	育兒の實際（太田孝之）			
第一二編	性病と不姙症（望月寬一）			
	偉人の母（千葉春村）			
母のふところ	上澤謙二 大正一一（物語第九集）	一	三五七	二四八
母之御聲	川田鐵彌編 大正三	一	三三七	六八〇
母の道と育兒	竹中鎧之助 大正五	一	五六	一三
母の零落	細田民樹（世界短篇小說大系日本篇下ノ內 大正一五）		五三〇	四五
同	他三篇 大正一〇	一	三九一	二四〇
ババヤ乳汁ノ利用	萩原昌二（臺灣總督府中央研究所工業部報告第五號ノ內 大正四）	一	四二イ	三五八イ
母より先生へ	青木ゑみ子譯 大正一五	一	三五五	一三六
馬匹改良論	安田伊佐衞門 大正六	一	三三九	八七一

		冊	函	號
馬匹去勢心得	馬政局編 大正六	一	三七三	八二イ
同	農商務省編 大正一三	一	三七三	八二イ
馬匹外貌學	伴仲藏 大正三	一	三四九	四三
馬匹血統登錄書	第一卷 帝國競馬協會編 大正一五	一	四二イ	五六四
馬匹新話	宮本曉誕 大正三	一	三七	二八八
灰と紫	日向きむ 大正七	一	三七七	三七
灰の音	與謝野寬 大正四（現代和歌選集叢書第四編）	一	三五	二五六
灰屋紹益と吉野太夫	江馬務 大正一一	一〇	一二	五三九
灰類と灰釉藥の研究および合成試驗	上田滋穗（陶磁器試驗所報告第四號ノ內 大正一五）		一四二イ	五一七
バビロニヤの神政主義	原田敬吾（明治聖德記念學會紀要第一七卷ノ內 大正一二）		一四五	一
バビロンの城壁と空中園	久保勘三郎 大正一二（扉等ノ冠稱ニハ「世界七不思議」トアリ）	一	五一四	一四七
法醫學	高田義一郎 大正六	一	六〇	三八二
同 再版	大正七	一	六〇	三八二イ
法醫學（臨檢必携ー）	道部辰 大正六	一	六〇	五一九
法醫學鑒定實例	片山國嘉 明治四五（近世醫學叢書第五八編）	一	六〇	三二九
同		一	六〇	三二九ロ

		冊	函	號
法醫學教室	正木不如丘 大正一二	一	五三	九三
法醫學教室の窓から	淺田一 大正一五	一	六〇	八一四
法醫學的血液檢查法	宮永學而 大正一〇	一	六〇	六四五
法醫學と犯罪研究	小南又一郎 大正一四	一	五三五	一八〇
法家	澁川柳次郎（玄耳）（玄耳庵支那叢書ノ內 大正一四）	一	五二七	六〇ホ
法學要論（記憶捷徑ー）	西野雄治 大正三	一	三三六	一九八
法學界	受驗界社發行 第一卷第一至一一號（大正一一年一至一一月）	二	雜	二一
法學概論	中村萬吉、喜多壯一郎 訂再版 大正一三	一	五一二	三五
法學綱要（商業教育ー）	吾孫子勝、烏賀陽然良 明治四三	一	三一〇	六五イ
法學協會雜誌索引	明治一七年三月至大正一〇年一二月（第一卷第一號至第三九卷第二一號）寫本	一〇	雜	二一
法學研究	法學研究會發行 第一卷第一號（大正一一年二月）ヨリ		雜	二一
法學原論	（ソリー・テイー・テリー著 法文館飜譯部譯） 大正三 七四四頁	一	三五三	六
法學指針	雉本朗造 大正九	一	二六二	二二五
法學士の大藏	岩野泡鳴（泡鳴全集第六卷ノ內 大正一〇）		五〇〇	一
法學全書	講法會發行 大正七	一	三五二	一三八
ろ 國際公法	（千賀鶴太郎）			
法學總論	南雲庄之助 謄寫版	一〇	一四	六六七
法學大家論文集	刑法之部 法學大家論文集發行會編 大正元	一	九一	二四八
法學通論	天野德也 大正一三	一	五一二	三三一

		冊	函	號
法學通論	石原雅二郎 大正一一	一	三五二	一八七
法學通論	岡田朝太郎 五版 大正八	一	九〇	二四八イ
法學通論	織田萬 大正六	一	九三	六八ハ
法學通論	金森德次郎 大正一一	一	三五三	一八四
法學通論	中村進午 四版 大正二	一	三三六	一八四
同 一一版	大正七	一	三三六	一八四イ
同 一〇版	大正七	一	三三六	一八四ロ
同 一三版	大正八	一	三三六	一八四ハ
同 二二版	大正一一	一	三三六	一八四ニ
法學通論	中村萬吉 大正七	一	三六六	一一四
法學通論	中村萬吉等 大正一四	一	五三〇	一二九
法學通論	中村萬吉 大正一五	一	五三〇	一二九イ
法學通論	野村信孝 大正一一	一	五〇二	二一二
法學通論	第一分冊（第一、二篇） 孫田秀春 大正一三	一	五一二	二四六
同 第一至四篇	大正一五	一	五一二	二四六イ
法學通論（近世ー）	三潴信三 大正七	一	三六六	一一二
同 訂再版	大正八	一	三六六	一一二イ
同 訂四版	大正九	一	三六六	一一二ロ
法學通論要覽	普文學會編 大正一三（法律要覽叢書第二五編）	一	三五	二七八

		冊	函	號
法學通論講義	石井宗吉 訂六版 大正一〇	一	三五二	五イ
法學通論講義案	石井宗吉 大正三	一	三五二	五
憲法學通論	梶康郎 大正一三（法律經濟研究叢書第一）	一	五一五	一三一
法學の根本に關する一二三の點	岩田新（復興叢書第四輯ノ內 大正一三）		五一〇	三
法學博士阪谷男爵講話	東京女子高等師範學校編 大正五	一	三二七	八八七
法學論集	第一至三編 横田秀雄 大正九、一〇	三	三八二	一〇七
同 （合本）	再版 大正一三 一三頁	一	三八二	一〇七イ
法學論泉	西村信橘編 大正一四	一	五三〇	一七三

		冊	函	號
法學論叢	叢松堂發行 明治四五至大正二	三	三三六	一四
權利質論	第二卷（神戶寅次郎）			
不當利得論	（清瀨一郎）			
法律解釋學	（水口吉藏）			
同	大正九	一	三三六	一四ハ
商法改正案評論	（松本烝治）			
法學論叢	京都法學會發行 第一卷第一號（大正八年一月）ヨリ（「京都法學會雜誌」ノ改題）	雜	二一	一三八ロ

ハフカ

		冊	函號
法規詳覽	刑事訴訟法　小野村幸二編　大正一五	一	一四七　三七四
法禁　二卷（仙臺叢書第二卷ノ內　大正一二）		一	五〇八　一三
埴生郡聞見漫錄　深川元愚（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ內　大正三）		一	三五三　一
土生玄碩先生第百五十年紀念會贈位祝典記事　同會編　大正五		一	一五五　一〇〇
法曹紙屑籠　砂川雄峻　大正七		一	三六三　六三
法窓閑話　末弘嚴太郎　大正一四		一	五三五　三三五
法曹會雜誌　法曹會發行　第一卷第一號（大正一二年四月）ヨリ（「法曹記事」ノ改題）		一	雜二一　二五ロ
法曹公論　日本辯護士協會發行　第三〇卷第一號（大正一五年一月）ヨリ（「日本辯護士協會錄事」ノ改題）			雜二一　二三〇イ
法窓隨筆　北嶋良吉　大正五		一	六八　六五六
法曹珍話閻魔帳　無用學博士　大正一五		一	五三五　二七八
法窓夜話　穗積陳重　大正五		一	六八　六四六
法所得稅ノ研究　西山英治　大正九		一	三六二　三三六
法人の國籍　島本英夫（神戸高等商業學校開校二十周年記念講演及論文集ノ內　大正一三）			五三〇　六
法制を中心とせる江戸時代史論　吳文炳　大正七		一	三五四　八六
法高等試驗叢書　松華堂編　大正一四、一五		七	五三五　三三三
第一編　帝國憲法總覽			
第二編　行政法總論總覽			
第四編　民法總則總覽			
第六編　債權總論總覽			
第一〇編　會社法總論總覽			
第一三編　刑法總論總覽　上、下卷			
法所得稅ノ研究　西山英治　大正九		一	三六二　三三六
法人の國籍　島本英夫（神戸高等商業學校開校二十周年記念講演及論文集ノ內　大正一三）			五三〇　六
法制を中心とせる江戸時代史論　吳文炳　大正七		一	三五四　八六
法高等試驗叢書　松華堂編　大正一四、一五		七	五三五　三三三
法制講話　森莊三郎　大正一四		一	五三五　一〇三

		冊	函號
法制講話　森莊三郎　六版　大正一五		一	一四〇　六五
法制經濟科要論（問題—）（教育學術界臨時增刊）　尼子止對照　大正一四		一	一四、六ハ　一九六
法制經濟教科書　清水澄、八田三喜　大正二		一	一四、二イ　四九八
法制經濟教授要領　日本大學不換會編　大正八		一	一四、二イ　四九八
法制經濟新教科書備考　和田垣謙三　明治四五		一	一四、二イ　四九八
法制經濟大意　野村信孝　大正一一		一	一四、二イ　四九八
法制經濟大資料　實文館編　再版　明治四四		一	一四、二イ　四九八
同　訂五版　大正四		一	一四、二イ　四九八
法制經濟提要　東北財務協會編　大正六		一	三六六　一五
法制史上より觀たる日本農民の生活　律令時代　上　瀧川政次郎　大正一五		一	五三〇　二三七
法制史之研究　三浦周行　大正八		一	三六二　一八
同　五版　大正一四		一	三六二　一八イ
法制上の女子　中村進午　大正一四		一	五三五　一八四
法制史論集　第一卷　相續法親族法　中田薰　大正一五		一	五六一　一
法制の話　宮下文夫（吾等何を學ぶ可き乎第二期第一編）　大正一二		一	五〇五　三五
法治國と臣民の權利　織田萬（朝日講演集第三輯ノ內　大正六）			三三五　三三三
破風造構造法　齋藤龜吉　大正七		一	三三七　二七一
同　五版　大正一五		一	三三七　二七一イ
法定傳染病患死者一覽　內務省衞生局編　大正五		一	四二一　三一
法定傳染病統計　明治三三年至大正八年　內務省衞生局編　大正九		一	四三〇　六五
法定傳染病統計　明治一三年至大正一二年　內務省衞生局編　大正一三		一	一四、六ハ　一九六
法廷に於ける小作爭議　水谷長三郎　大正一五		一	五六四　一六〇
法典叢書　東京國民書院發行		一	三三六　五四
第二卷　言文一致商法（矢部俊治等）			三〇
波浮港村誌　松本國次郎編（大正三）			三二四　二〇四
琺瑯　山口秀雄、大橋平治郎　大正一四		一	五八　一三九
琺瑯鐵器ニ關スル試驗報告　吉川孝藏（東京工業試驗所報告第七回ノ內　明治四五）			一四二イ　一一七
琺瑯用海碧色顏料製造試驗　福堂豐　大正一〇（大阪工業試驗所報告第一回第二號）		一	一四、二イ　四九八
同		一	一四、二イ　四九八イ
琺瑯用乳濁劑ノ研究　第一報　內田十喜治　大正一〇（大阪工業試驗所報告第二回第三號）		一	一四、二イ　四九八
同		一	一四、二イ　四九八イ
法理學（大正一二年度東京帝國大學講義）　筧克彥謄寫版　大正一三		一	一四　七三六
法理學　第二卷　西洋哲理　筧克彥　大正二		一	三二四　二四七
同　大正九		一	三三四　二四七イ
法理學概論　井上周三　大正一五		一	五六一　七七
法理學概論　中島重　大正一四		一	五三〇　一三七
法理學大綱　穗積重遠　三版　大正六		一	三六六　七八
同　七版　大正七		一	三六六　七八イ
同　八版　大正八		一	三六六　七八ロ
法理學の任務　佐々穆（法學論泉ノ內　大正一四）			五三〇　一七三
法律要覽叢書　普文學會編　大正五至一三			二五　三五　二七八
第一編　憲法要覽			
第二編　行政法要覽　上卷			
第三編　同　下卷			
第四編　刑法總論要覽			
第五編　刑法各論要覽			
第六編　刑事訴訟法要覽			
第七編　民法總則要覽			
第八編　物權法要覽			
第九編　債權法總論要覽			
第一〇編　債權法各論要覽			
第一一編　親族相續法要覽			
第一二編　商法總則商行爲要覽			
第一三編　手形法要覽			
第一四編　會社法要覽			
第一五編　保險、海商法要覽			
第一六編　民事訴訟法要覽　上			
同　下			
第一七編　國際公法要覽			
第一八編　國際私法要覽			
第一九編　經濟學要覽			
第二〇編　財政學要覽			
第二一編　警察法要覽			
第二二編　破產法要覽			
第二三編　自治制要覽			
第二四編　法學通論要覽			
第二五編　法學通論要覽			
法律及經濟の一元論的考察　山內正瞭（東京商科大學創立五十周年記念論文集ノ內　大正一四）			五一二　三三七
同　第六、一一、一三編　大正一二至一五			三　三五　二七八イ

		冊	函	號
法律及經濟の文化的觀察	ベロルツハイマー著　中村萬吉譯　大正一一（新早稻田叢書第七編）	一	三九	二
法律及政治	明治大學發行　第一卷（大正一一年七月）ヨリ	二（雜）		一五三
法律解釋學	水口吉藏（明治四五（法學論叢ノ內）	一	三三六	一四
法律解釋論	石坂音四郎（穗積先生還曆祝賀論文集ノ內　大正四）	三五三		七〇
法律講義（朝鮮諸官廳受驗者必携）	坂上綱吉　大正五	一	三五三	一一
法律學經濟學研究叢書	京都法學會發行　明治四五至大正六	一三	七八	九六
第九冊	史的研究日本ノ經濟ト佛教（河田嗣郎、岡本一郎）			
第一〇冊	土地增價稅論（神戶正雄）			
第一一冊	關東州ニ於ケル司法（溝淵孝雄）			
第一二冊	貴金屬之物價ニ近似セル金ト信用ト物價（河上肇）			
第一三冊	分業論（高田保馬）			
第一四冊	法律行爲論（岡松參太郎）			
第一五冊	西陣研究（本庄榮治郎）			
第一六冊	大數法論（高田保馬）			
第一七冊	支那古田制の研究（加藤繁）			
第一八冊	無過失損害賠償責任論（岡松參太郎）			
第一九冊	江戶幕府ノ米價調節（本庄榮治郎）			
第二〇冊	穀價ノ研究（河田嗣郎）			
同　第一〇冊	大正元	一	七八	九六イ
法律學說判例要旨集	第三、四卷　大正一四　法律評論社編	二	一四、七	三一六
法律學說判例總覽	高窪喜八郎編　大正六至一二	一七	三六九	一
第一卷	民法總則編　上、下			
第二卷	同　物權編　上			
第三卷	同　債權總論　上、下			
第四卷	同　債權各論　上、下			
第五卷	同　親族編			
第六卷	同　相續編			
第七卷	商法總則編　上、下			
第八卷	同　會社編　上、下			
第九卷	同　商行爲編　上、下			
第一〇卷	商法保險編			
第一一卷	同　手形編			
第一二卷	同　海商編			
同　第七卷	大正七	一二	三六九イ	一イ
法律學說判例總覽	第一、三、四、七至九、一一卷　高窪喜八郎編　大正七、八	一	三六九	一ロ
法律學說判例評論全集	第一、二、二索引、三、四、五上、下、八至一〇各上下卷　高窪喜八郎編　大正一至一五	一三	三三六	一四
同　第一、二、四卷	大正四、八	三	三三六	一四イ
同　第一、三至七各上、下、一一上卷	大正一五	一二	三三六	一四ロ
同　第一卷	大正一五	一	三三六	一四ハ
法律學叢書	有斐閣發行　大正六至一四（「刑事學叢書」ノ改題）	一八	三七九	五
第一篇	刑法と社會思潮（牧野英一）			
第二篇	行爲の違法（黑田誠）不作爲の違法（牧野英一）			
第三篇	現代の文化と法律（同）			
第四篇	罪刑法定主義と犯罪徵表說（同）			
第五篇	法律に於ける矛盾と調和（同）			
第六篇	刑法研究　第二卷（同）			
第七篇	刑事學の新思潮と新刑法（同）			
第八篇	法律に於ける正義と公平（同）			
第九篇	刑法研究　第三卷（山本龜市、牧野英一）			
第一〇篇	法律裁判及實生活　附　獨逸の陪審制度（小野清一郎）			
第一一篇	犯罪の時及場所			
第一二篇	民法に於けるローマ思想とゲルマン思想（平野義太郎）			
第一三篇	民法の基本問題（牧野英一）			
第一四篇	法律に於ける進化と進步（同）			
第一五篇	法律に於ける意識的と無意識的（同）			
第一六篇	貨幣價値の變動と契約（小町谷操三）			
第一七篇	法律に於ける實證的と理想的（牧野英一）			
第一八篇	法律に於ける具體的妥當性（同）			
同　第一至六、八至一八篇	大正五至一四	一七	三七九	五イ
同　第二、六、八至一〇篇	大正八至一一	一五	三七九	五ロ
法律學に於ける新浪漫主義	末弘嚴太郎（新興文化と法律ノ內　大正一一）	五〇二	三〇〇	
法律家として大阪人へ	毛戶勝元（朝日講演集第二輯ノ內　大正六）	三三五	三三三	
法律經濟研究叢書	松陽堂發行　大正一三	五	五一五	一三一
第一編	法學通論、憲法新釋義（梶康郎）			
第二編	行政法新釋義（同）			
第三編	刑法新釋義（同）			
第五編	民法、商法、民事訴訟法新釋義（同）			
第六編	國際公法、經濟學新釋義（同）			
法律經濟語辭典	高城運七、江花常與　大正一五	一	一五六五	九七
法律經濟熟語辭典	青木隆編　九版　大正六	一	六八	五二九イ
法律經濟新辭典	寶文館編　大正元　八二二頁	一	二九	四二七
法律經濟大辭典	梶康郎編　大正一三	一	三七四	一〇四
同（原理一）	大正一二	二	三七四	一〇三
法律經濟模範解題叢書	文信社發行　大正一五	一	五六五	六四
第一編	憲法基準帝國憲法解題			
法律經濟模範便覽叢書	文信社編　第六、一九編八版、九編一〇版　一六編一一版　大正八至一五	一四	三七五	二九
第一編	帝國憲法便覽（模範）			
第二編	行政法總論便覽（模範）			
第三編	行政法各論便覽（模範）			
第五編	物權法便覽（模範）			
第六編	債權法總論便覽（模範）			
第七編	債權法各論便覽（模範）			
第九編	平時國際公法便覽（模範）			
第一二編	海商保險法便覽（模範）			
第一三編	手形法便覽（模範）			
第一五編	國際私法便覽（模範）			
第一六編	刑法各論便覽（模範）			
第一八編	刑事訴訟法便覽（模範）			
第一九編	財政學便覽（模範）			
第二四編	警察法便覽（模範）			
法律經濟模範便覽叢書	文信社編　訂六版　大正一三	一	三七五	二九イ
第七編	債權法各論便覽　上卷（模範）			
法律研究案內	清水書店編　大正八	一	二六三	九七
法律經濟及社會	松倉慶三郎　大正一一　二四頁	一	二九七	二四四
法律刑事學及刑事辯論	松倉慶三郎　大正一〇　一八頁	一	二九七	二三三
法律正義と法律	松倉慶三郎　大正一〇　一八頁	一	二九七	二三七
法律と生活	松倉慶三郎　大正一〇　一三頁	一	二九七	二〇一
法律原論	ヘンリ・テイー・テリー著　土井寬申譯　大正三　七一九頁	一	三五三	二七
法律顧問（六法詳解一）	岩崎勝三郎　大正四	一	六八	六三三
法律裁判及實生活	山本龜市、牧野英一（法律學叢書第一〇編）　大正一一	一	三七九	五
同		一	三七九	五ロ
法律思想と復興的精神	牧野英一（復興叢書第二輯ノ內　大正一三）	五一〇		三
法律辭書	渡部萬藏　大正一五	一	五六三	三〇
法律質疑應答	刑法、民法之部　平井彥三郎編　大正一三	二	三三六	一七
法律實務叢書	大阪屋號發行　大正一三	一	五二七	五一
第一篇	會社法實務篇（株式會社之卷）（宮田暢）			

		冊	函	號
法律實務叢書	實業之世界社發行 再版 大正五	一	三五	二六六
第一編	株式會社法實務篇 (宮田暢)			
法律詳解(國民處世—)	山崎高敏 大正一五	一	五六五	七七
法律上から見た燒跡借地借家權	借家人同盟會編 大正一三	一	五二三	五四
法律常識佳人と語る	板倉孝 大正一〇	一	五〇二	二二
法律常識郎君と語る	板倉孝 大正一〇	一	五〇二	五三
同	訂五版 大正一一	一	五〇二	五三イ
法律上より觀たる國際聯盟	山川端夫 (啓明會講演集第一回ノ內 大正八)		一四、五	三〇
法律熟語辭典(袖—珍)	大石榮編 大正一三	一	五一六	二三六
法律熟語新辭典	第一至四卷 高井清一等 大正七至八	三	三一	八四四
法律書としての舊約全書	穗積重遠 大正一五 (市立名古屋圖書館講演集第四回)	一	二七八	八一
法律進化論	第一、二冊(原形論 前、後篇) 穗積陳重 大正一三	二	五三〇	一五
法律新報	同社發行 第一號(大正一三年五月)ヨリ		雜二一	一五五
法律小話	穗積重威 大正一四	一	五三五	一八三
法理圖說刑事訴訟法提要	關口志行 大正二	一	三五〇	一六〇
法理圖說刑法提要	森田司樓 大正二	一	三五〇	一六一
法理圖說民法提要	第二卷 債權編 杉一郎 大正元	一	六八	五八四
法律總觀(註解書—式文案—)	林增之丞、南雲庄之助編 明治四五	一	六八	五九三
法律全書(六法—詳解—)	五鬼上堅磐等 大正一四	一	五四六	六五

		冊	函	號
法律的方法ト社會學的方法	織田萬 (穗積先生還曆祝賀論文集ノ內 大正四)		三五二	七〇
法律適用條例	民國七年八月五日教令第三二號 (南滿洲鐵道株式會社)調査資料第七輯ノ內)		一四、五	一七
法律哲學概論	ロスコー・パウンド著 北川淳一郎等譯 大正一五 (哲學名著選集ノ內)	一	五四五	一八
法律と經濟	山脇一次等 大正二	一	三三六	一九一
法律と國民思想	菅原眷二 (現代文化と教育ノ內 大正一三)		二五三	二八四
法律と國民生活	牧野英一 大正一三 (越佐夏季大學講演集第二回第七輯)	一	五〇八	一八
法律と宗教	鵜澤總明 (現代名士十一大家修養講演集ノ內 大正四)		三二四	四七一
法律と人生	第一編 松倉慶三郎 大正一二 三八頁	一	三九七	四二八
法律と生活(法律—研究—)	松倉慶三郎 大正一〇 一三頁	一	三九七	二〇一
法律に現はれたる維新の氣分	穗積重遠 (新興文化と法律ノ內 大正一一)		五〇二	三〇〇
法律に於ける意識的と無意識的	牧野英一 大正一四 (法律學叢書第一五編)	一	三七九	五
同		一	三七九	五イ
法律における階級鬪爭	平野義太郎 大正一四	一	五三〇	一〇八
法律に於ける具體的妥當性	牧野英一 大正一四 (法律學叢書第一八編)	一	三七九	五
同		一	三七九	五イ
法律に於ける實證的と理想的	牧野英一 大正一四 (法律學叢書第一七編)	一	三七九	五
同		一	三七九	五イ

		冊	函	號
法律に於ける進化と進步	牧野英一 大正一四 (法律學叢書第一四編)	一	三七九	五
同		一	三七九	五イ
法律に於ける正義と公平	牧野英一 大正九 (法律學叢書第八編)	一	三七九	五
同		一	三七九	五イ
同	三版 大正一三	一	三七九	五ロ
法律に於ける矛盾と調和	牧野英一 大正八 (法律學叢書第五編)	一	三七九	五
同		一	三七九	五イ
法律に對する世俗の考	吉野作造 (新興文化と法律ノ內 大正一一)		五〇二	三〇〇
法律日常寶典	石角春之助 大正九	一	三六二	二五〇
法律に觸れぬ心得	安達元之助 大正六	一	三六二	四五
法律年鑑	第一、二卷(大正一三、一五年) 法律評論社編 大正一四、一五	二	一四、七	三四五
法律の改正及運用	(其の一) 松倉慶三郎 大正一三	一	五二四	一四六
法律の轍	ゴオルスワアジー著 菊池寬譯 大正一〇	一	三九六	一七二
法律萬解辭典	親族編、相續編、物權法、借地借家法 石角春之助 大正一二 (日常叢書第一至三編)	三	五一五	四三
法律評論	法律評論社發行 第一卷第一號(明治四五年四月)ヨリ		雜二一	一四二
法律百科辭典(日常百般—即時解決—)	附錄付 民衆法律研究會編 大正一一	一	五三五	七五
法律變遷と社會連帶	杉山直治郎 (故天野松子追悼講演集ノ內 大正九)		四五	五五〇
法律問題百般の解說(誰にも分る震災善後—)	大高三千助、小野寺昌雄 大正一二	一	一四、七	二五九
法律論綱(商事—概要—)	高井賢三 大正一〇	一	三五二	一五一

		冊	函	號
法律論集	巖松堂發行 大正一五	二	五三〇	二五三
第一冊	株式引受の性質 (西本辰之助)			
第二冊	株式會社發起人論 (同)			
波夫理和謝	附 眞言葬法密 寫本	一〇	一一三	一五二
法令彙纂	文部大臣官房文書課編 大正三	一	二五六一	七六
同	大正七	二	二五六一	七六イ
法令綱要	神宮司廳官房編 大正四	一	一四、七	一三四
法令輯覽	支、印鑄局編 中華民國六	一〇	一四、七	一八三
法令上及實際上より見たる國定教科書取捨の程度	美島近一郎 (小學校長講習會講演錄ノ內 大正七)		二五九	四〇六
法令全書	第一至四、目錄索引 印刷局發行 大正一三	五〇	一四、七	五三
法令叢書	法令審議會發行 大正二至九	三	三三六	一六八
第一編	不動產登記法正解附錄 (三宅德業)			
第二編	商法正解 (柳川勝二)			
第三編	戶籍法正解 (島田鐵吉)			
同	第一、三編 第一編增訂、第三編訂再版 大正五、一五	二	三三六	一六八イ
馬糞石	葛西善藏 大正九	一	三九一	四八
馬糞錄	海外事情研究會編 大正三	一	三五〇	三八〇
蠅	モウパッサン著 佐々木孝丸譯 (モウパッサン全集第四卷ノ內 大正一〇)		三九〇	四一
蠅を憎む記	泉鏡花 (鏡花全集第四卷ノ內 大正一五)		五二〇	四四
馬癖記料	青山延光自筆稿本 寫本	特一〇	八二七	八一
バベット	モウパッサン著 矢口達譯 (モウパッサン全集第一四卷ノ內 大正一一)		三九〇	四一

		冊	函	號
蠅と蚊と蚤	近森善一 大正一二	一	五二一	四七
蠅と蚤と蚊	石黒退三 大正一三 五六頁	一	三九三	六一七
蠅と蚤と蚊	織田淑子編 大正一二 (文化パンフレット第二二輯)	一	五〇〇	六一
蠅と螢	佐藤惣之助 大正一三	一	五二五	一七七
蠅の害と其豫防	附錄付 小林晴治郎 大正一四	一	五四一	一二六
蠅ノ研究	小林晴治郎 大正五	一	三六五	五
バベルの塔(こども倫理學—)	中島義一 大正一四 (こども哲學叢書第二編)	一	五四五	三
濱方記錄	室谷鐵腸編 大正一五 (近世社會經濟叢書第二卷)	一	五五五	一九
濱方仕入證文錄	寫本 (魚問屋御留書第七冊)	一〇	一八九	三三一
濱口雄幸氏大演說集	大日本雄辯會編 大正一五	一	五六五	四四
濱口大藏大臣財政經濟演說集	大藏大臣官房編 大正一五	一	五六五	二三
濱口梧陵傳	杉村廣太郎編 大正九	一	三九四	一
濱口藏相演說集 雄幸雄辯	青山書院編 大正一四	一	五五一	四
濱田港	舟木孤舟(一義)編 大正三	一	三七	二九四
同	大正一〇	一	三七	二九四イ
濱田測候所氣象年報	大正五年 大正六 島根縣同測候所編	一	一四、六ニ	四八
濱千鳥	荒木田麗女 二卷 (女流文學全集第二卷ノ內 大正七)		三七一	一六四ろ
同	(德川時代女流文學麗女小說集下卷ノ內 大正四)		三二九	二三六
濱寺海水浴二十周年史	大阪每日新聞社編 大正一五	一	五三六	二二五
濱名湖調査報告書	靜岡縣水產試驗場編 大正二	一	三二一	一三〇
濱名湖畔の舊象化石	脇水鐵五郎	一	三七二	二七〇
濱名湖めぐり	山內天快(齋)編 大正七	一	三七三	二一六
濱名之栞	岡田金正(鳴雁)編 大正九	一	三九四	一六
濱之眞砂	須貝惠懷 寫本 〔天保中庄內藩ノ國替一件ノ記錄ナリ〕	一〇	一八九	四二四
芳麻及眞砂	室谷鐵腸編 大正一四	一〇	一六六	三三七
巽泉詠草 麻蔭詠草	(室谷賀世) (室谷賀親)			
濱松風	寫本 〔水野越前守ガ失職ノ際ノ落首、狂歌等ヲ輯ム〕	七〇	一〇二	二一六
濱の松風	(國書刊行會本列侯深祕錄ノ內 大正三)		三三〇	四九は
濱の松風(改訂—增補—)	矢島鐵太郎編 寫本	四〇	八三六	三六
濱ノ目地方ニ於ケル棉作調査	鳥取縣內務部編 大正五 (農事彙纂第四)	一	一四、二イ	三九六
濱松	桑原久治郎編 大正七	一	三七二	一三八
濱松案內	野澤增吉編 大正四	一	三七	四三九
濱松高等工業學校一覽	附第一一臨時教員養成所一覽 大正一三至一五年度 同校編 大正一四、一五	二	二九二	七七
〔濱松高等工業學校圖書館〕和漢書目錄	同館編 大正一五	一	三一七	一五〇
濱松市街明細地圖	松尾泰治製 大正一〇 一・七×二・四	一枚	三三九	一〇二九
濱松侍從審問封書	(國書刊行會本列侯深祕錄ノ內 大正三)		三三〇	四九は
〔濱松商業會議所〕統計年報	第一六至一八、二〇、二二 二三回 同所編 大正八至一五	六	一四、八	八五
濱松中納言物語	四卷 (國書刊行會本丹鶴叢書歌集物語ノ內 大正三)		三四三	四い

		冊	函	號
濱松中納言物語	池邊義象等校註 (校註國文叢書第一二冊ノ內 大正三)		三四五	二
同	石川佐久太郎校註 (校註日本文學大系第二卷ノ內 大正一四)		五四三	一
同			五四三	一イ
濱松六十七聯隊戰記	大石千里(久太郎) 大正四	一	三一八	二九八
「ハム」製造上豚肉ノ鹽漬ニ關スル研究	飯田吉英、角田英二 (〔農商務省〕畜產試驗場報告第一卷第四號ノ內 大正一一)		一四、二イ	四八四
ハムとソーセージ	飯田吉英 大正一二 (子安叢書第九編)	一	三五五	二六
ハムレット	シエークスピーア著 久米正雄譯 大正一一 (泰西戲曲選集第四編)	一	三八九	八三
同	シエークスピヤ著 坪內逍遙譯 一八版 大正一二 (沙翁傑作集第一編)	一	五二二	一七六
同	シエークスピヤ著 戶澤正保、淺野和三郎譯 七版 明治四二 (沙翁全集第一卷)	一	七八	六九ハ
ハムレット及びハムレットの研究	(帝國劇場—上演臺本—) 坪內士行 大正七	一	三一	五七七
破滅より新生へ	守田文治 大正一三	一	五二九	九四
はめ手 はまり手 將棋奇謀	將棋新報社編 大正五	一〇	一八六	一八〇
篏手百番	松、竹、梅、鶴之卷 高木樂山等 大正三至六	一〇	二〇九	七七一
同	梅之卷 三上雄石、高木樂山 大正五	一〇	六	三三八
早步行比法	森友古 明和九	一帖	一六五	一〇七
早起	山本瀧之助 大正七	一	三一	五九一
早川漫々傳	安田登 大正一一	一	五一九	七
囃子合方 謠出諷篏要義	山崎靜太郎 大正一〇	一	三八〇	一七二
囃謠鼓覺集	愛水子編 貞享四	特	五〇	は 八二
(贈從五位)林金兵衛翁	津田應助編 大正一四	一	五三四	一四二
林家神前之書式	源尹祥校 寫本	一〇	一六六	三一〇
林崎村鄕土誌	金井作次郎編 大正八	一〇	一一	三〇七
林氏鹽瀨山城傳來記	鹽瀨一道 寫本 〔菓子舖鹽瀨ノ家記ナリ〕	一〇	一八一	四一〇
林氏鹽瀨山城名跡傳來書	鹽瀨一道 天保九	一〇	二四一	一五イ
林倭衛畫集及批評	小林省一郎編 大正七	一〇	一八六	二四三
林子平上書	林子平 (仙臺叢書第二卷ノ內 大正一二)		五〇八	一三
囃子大成	(大倉流 幸流小鼓、高安流 葛野流大鼓、—觀世流 金春流大鼓手附、觀世流謠曲) 春、夏、秋、冬、別之部 田崎延次郎 大正一一至一五	五〇	一八二	三九九
林に添つた道	田山花袋 (花袋全集第九卷ノ內 大正一二)		五一五	三六
はやま小唄全集	湯朝竹山人 大正一二	一	一八五	一三三
早まつた埋葬	平田元吉 大正一〇	一	六〇	七一六
速水流茶道初心聞書	寫本 (茶道叢書第五八至六〇冊)	三〇	八三二	五〇
流行謠混雜唱舞(ハヤリウタトリコミ)(新—版)	美足齋象睡著 勝川春朗畫 寬政元 二卷	特一〇	二〇八	七七八
はやり小うた	寬永至延寶 寫本 〔式亭三馬ノ識語アリ、延寶ノ寫本ニシテ流布本ノ原本ナリ〕	特一〇	京乙	二四四イ
はやりの紋	尾崎紅葉 (紅葉全作集第三卷ノ內 大正一一)		五一五	一
羽床村誌	秦市郎 大正八	一〇	一一	三二四

		冊	函	號
薔薇	ヴイード著 森鷗外譯（鷗外全集第一五卷ノ内 大正一四）		五二〇	一
同		特	五二〇	一イ
同	（泰西名著文庫諸國物語ノ内 大正四）		三四五	一二ほ
薔薇	モオパッサン著 平野威馬雄譯（モオパッサン選集ノ内 大正九）		三九六	三五
はらあかまひまひノ調査	肱黒友三（〔農商務省〕林業試驗報告第二五號ノ内 大正一四）		一四、二イ	一二五
ばらいた紙研究報告	片倉健四郎（印刷局研究所調査報告第一三號ノ内 大正六）		一四、五	一二
ばら色の家	エレンブルグ著 米川正夫譯（世界短篇小說大系露西亞篇下ノ内 大正一四）		五二〇	四五
薔薇園	サヂ著 加藤朝鳥譯 大正一一	一	三九六	二九六
原應侯	久布白兼武 大正一五	一	五五四	八八
佛郎機考（ハラウシ）	大槻茂質（磐水存響乾卷ノ内 大正元）		三四二	二二六
原敬全傳	天、地編 菊池悟郎、溝口白羊編 大正一一	二	三九四	一九六
原敬と其周圍（平民首相ー）	木舍幾三郎 大正八	一	三八四	六七
ばら護謨	堺利喜太 大正二	一	三四二	三〇八
原宰相を助けたる兒玉亮太郎	沼田日東編 大正一二	一	五一四	五四
薔薇栽培秘法（花の女王ー）	富益義衞 大正二	一	三四四	一四八
薔薇叢書	植竹書院發行 大正四	一	三五	二五五
第六編	湖上の美人（スコット著 馬場睦夫譯）			
パラソル	田山花袋（花袋全集第四卷ノ内 大正一三）		五一五	三六
原田甲斐	前、後、續編 村上浪六（浪六全集第一三編ノ内 六版 大正九）		七一	四八九イ

		冊	函	號
パラチフス	里見三男 明治四四（近世醫學叢書第五〇編）	一	六〇	二三九ロ
パラチフス及日本の熱病	竹中成憲 明治四五	一	五三	八〇
バラツクと其安全生活法	生活改善研究會編 大正一二	一	五二五	二〇
バラツク長屋（震ー作）	寺島泉水 大正一三	一	五二二	一一四
薔薇と眞珠（童話ー戲曲）	佐藤春夫 大正一一	一	五〇六	二五二
原内閣の功罪	須田吉衞 大正九	一	三六二	二三九
原内閣擁護論	高橋鐵太郎 大正一〇	一	三五二	一五九
薔薇の答（コメデイー）	アンナ・スラヴヰーナ、益田太郎 大正一〇	一	五〇一	八六
薔薇の踊子（童ー話）	德永壽美子 大正一〇	一	三九六	七〇
ばらのしらべ	伏木保治郎 大正五	一	三三九	七五〇
ばらの作り方	松長龜夫 大正六（家庭園藝叢書第二編）	一	三六一	七〇
薔薇の作り方に就て	其一 千葉晩香 大正三（家庭園藝叢書第五編）	一	三七	三七八
薔薇の花	千家元麿（現代三十三人集ノ内 大正一一）		五〇六	一二一
薔薇の一株昆蟲世界	名和靖 一二版 大正一一 四四頁	一	四〇	四六二
孕常盤	近松門左衞門（傑作近松時代淨瑠璃集成ノ内 大正一〇）		三七七	二四一
同	（近松門左衞門全集第六卷ノ内 大正一二）		五〇五	五八
同	近松門左衞門著 木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第八卷ノ内 大正一一）		五〇五	三六
同	（解說註釋大近松全集第八卷ノ内 大正一五）		五〇五	三六イ
同	近松門左衞門著 忠見慶造校註（近松淨瑠璃集中卷ノ内 大正一五）		五四四	一六三

		冊	函	號
孕常盤	近松門左衞門著 水谷弓彥註（新釋挿圖近松傑作全集第三卷ノ内 大正一〇）		三二九	四九イ
婆羅門經	赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ内 大正一三）		五一五	一〇四
幌筵島諸港泊地	水路部製 大正五 二・一×一・五	一枚	日	三三五
薔薇王	マクオルラン著 井上勇譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ内 大正一四）		五二〇	四五
パリアス	ストリンドベリ著 森鷗外譯（鷗外全集第一四卷ノ内 大正一二）		五二〇	一
同		特	五二〇	一イ
同	（新一幕物ノ内 大正二）		三三八	一三九
巴里	叛逆者の告白 岡田三郎 大正一三	一	五二三	一六四
巴里繪日記	橋本邦助 明治四五	一	三四二	一七一
巴里講和會議後幕のぞきの記	田村直臣 大正九	一	三八八	二一二
巴里講和會議と私の日記	附錄九篇 蜷川新 大正一五 八一頁	一	五四九	八二
巴里會議後の歐洲外交	芦田均 大正一二 六〇七頁	一	五二三	四二
巴里會議ニ於ケル獨逸賠償問題	長松宗一（〔横濱正金銀行〕調査報告第二二號）	一	一四、五	二九
巴里公娼論（衞生倫理行政上ーより觀察したる）	ジユシヤトレー著 松本惟延、高田似壠譯 大正一一	一	四五	六二一
巴里市肉類價格の騰貴及其の調節策	内務省調査局編（戰時列國地方資料第九輯ノ内 大正七）		三二六	二二一
巴里小曲集	西條八十 大正一五	一	五五〇	七三
巴里の三十年	アルフォンス・ドオデエ著 後藤末雄譯 大正八	一	三八八	四四

		冊	函	號
巴里萬國工藝美術博覽會室内裝飾圖錄	裝飾研究會編 大正一四	一	三三七	三七八
巴里萬國裝飾美術工藝博覽會日本產業協會事務報告	日本產業協會編 大正一五	一	五一八	二三二
同		一	五一八	二三二イ
巴里萬國裝飾美術工藝博覽會の狀況及歐洲に於ける最近意匠の傾向	佐々木茂枝 大正一五	一	五二四	四四一
巴里平和會議	杉村陽太郎 大正一〇（軍備縮少問題研究資料四）	一	三九九	一三
巴里より	與謝野寛、同晶子 大正三	一	三四九	二九四
巴里籠城日誌	舊名 法普戰爭誌略 渡正元 大正三	一	三五四	七
パリ女の冒險	モウパッサン著 安成四郎譯（モウパッサン全集第一一卷ノ内 大正一〇）		三九〇	四一
針金索	山ノ内弘 大正一〇	一	三九六	七五
張替行燈		一〇	一〇六	二七八
針ケ谷悲話	直木三十三（大衆文藝新作仇討全集第二卷ノ内 大正一五）		五四八	一六
パリサイ人の發達と其信仰	宇留賀正果（關西學院、本〔高野山〕大學バンフレットノ内 大正一四）		五二四	三七〇
パリ市街鐵道の現狀	東京市電氣局調査課編（同課調査資料第三卷第七號ノ内 大正一一）		一四、五	七七
パリス夫人	モウパッサン著 佐々木孝丸譯（モウパッサン全集第六卷ノ内 大正一〇）		三九〇	四一
ハリソンと暴力に對する無抵抗	トルストイ著 宮原晃一郎譯（トルスイ全集第八卷ノ内 大正八）		三九〇	三九
罵詈痴團上方見物	濱田專一編 大正一〇	一〇	三九八	三三

				冊	函	號	
磔茂左衞門	附 犠牲	藤森成吉	大正一五	一	五七	三八	
播磨聖人		原松太編	大正八	一	三九二	一六	
張交繪美良	附 繪美良圖譜		大正一一	一	別	七	
播摩路日記	妙海	寫本	三卷（妙海道の記第二〇至二二）	一	二	七	
播磨に於ける特殊部落成立の傳說		藤本政治	大正一三	一	八三六	二六	
播磨國風土記	古典保存會編		大正一五（複製）	一	五三	一六五	
播磨國風土記	藤本政治發行		大正一〇 四七枚	特 一	一三九	三〇〇 イ	
播磨國輿地全圖	寫本	三·四×四·八		一	一	四四	枚
播磨の卷	藤澤衞彥編		大正七（日本傳說叢書ノ內）	一	三五五	七四 ヘ	
播磨風土記	栗田寬注	寫本		一	一〇三	二〇一	
播磨風土記	横山由清自筆校	寫本		特 一	八三〇	一二九	
播磨風土記（三條西家藏）			第一、二回 大正一五 古典保存會編	二	一三九	三〇〇	
播磨美作國村々當申（寶曆二）江戸御廻米御藏納一式入用相對請負爲取替證文		寫本（江戸札差記錄第三冊）		特 一	二〇三	八三	
春江堤防築造沿革略誌	同堤防水害豫防會編		大正二	一	三三九	三一三	
春を待ちつゝ	島崎藤村		大正一四	一	五三八	一〇八	
春霞	田畑清江編		大正七	一	四一三	三八	
春から秋へ	楳茂都陸平（現代劇曲全集第一八卷ノ內）		大正一五		五三〇	二五	
巴爾幹	內藤民治（世界實觀第一〇卷ノ內）		大正五		四〇八	一二〇 ぬ	

				冊	函	號	
巴爾幹外交史論	信夫淳平		大正一〇	一	三八三	一三	
「バルカン」に於ける三王國王室の由來と其國民との關係	堀口九萬一（明治聖德記念學會紀要第二五卷ノ內）		大正一五	一	一四五	一	
巴爾幹の將來	長瀨鳳輔（通俗國際文庫第九卷）		大正九	一	三七九	一七	
巴爾幹の變遷	長瀨鳳輔、內藤智秀		大正三	一	三五六	三	
バルカン發達史	ウイルトン著	長瀨鳳輔譯（興亡史論第二期第二卷史論叢錄前篇）	大正八	一	三五五	八九	
巴爾幹半島	長瀨鳳輔（東西時論第五編）		大正五	一	三五	二六三	
巴爾克戰術書（第四版）		第一至一八卷 大正二至三	司馬亨太郎譯	一八	三四九	七〇	
春景色梅由兵衞	並木五瓶（世話狂言傑作集第八卷ノ內）		大正一五		五二七	六四	
春子と言ふ藝者	岩野泡鳴（泡鳴全集第一一卷ノ內）		大正一〇		五〇〇	一	
バルザック	木村荘太譯（人類の本第一一）		大正一三	一	五一五	一一九 イ	
バルザック傑作叢書	バルザック		大正一二、一三	二	五一五	一〇〇	
第一	ウージェニイ、グランデ（椎名其二譯）						
第三	田舍醫者（和田傳譯）						
バルザック小說集	バルザック著	水野亮譯	三版 大正一三	一	五二三	一九七	
ことづけ							
フイルミアニ夫人							
グランド・ブルテエシュ							
柘榴屋敷							
無神論者の彌撒							
フアチイノ・カアネ							
恐怖時代の一挿話							
沙漠の情熱							
El Verdugo							
起死回生の靈藥							
徵募兵							
知られざる傑作							
フランドルの基督							
海邊の悲劇							

				冊	函	號	
春雨	田山花袋		大正九	一	三九一	一六五	
春雨徒然草	壽達翁（壽榮錄萬物藏第五冊）		寫本	一	二四五	二七	
春雨物語	上田秋成		五卷（國書刊行會本上田秋成全集第一ノ內 大正六）	一	三三〇	五五	
バルタザアル	フランス著	芥川龍之介譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ內 大正一四）			五二〇	四五	
バルチザンと原內閣（尼港虐殺）		三木麟編	大正九	一	三八四	三三〇	
バルチック海及黑海方面諸國の經濟事情	日波協會編		大正一五				
春女報讐記	直木三十三（大衆文藝新作仇討全集第二卷ノ內 大正一五）			一	五二四	四四三	
ハルツの旅（散文詩集一）	ハイネ著	古賀龍視譯	大正一四	一	五四八	一六	
バルト氏教育學概論	バウル・バルト著	林圓應譯	大正一五	一	五一六	三八	
春と修羅	宮澤賢治		大正一三	一	五二三	三三七	
バルナスの巡禮	團伊能		大正一四	一	五三一	一九八	
春なれば	モウパッサン著（モウパッサン全集第一一卷ノ內 大正一〇）	矢口達譯		一	五二九	二〇七	
春錦	第一至六	同會編	大正一三至一五		三九〇	四一	
春鍊搾粕竝ニ鍊油ニ關スル試驗報告	北海道水產試驗場（荒木丑平）編		大正一〇（一三頁）		三〇三	一〇六	
春の誘惑	奥野他見男		大正一五	一	三六八	一二〇	
春のねぼけ	井上春泉編		大正九	一	五五一	一〇四	
春の海	渡邊霞亭（勝）		大正六	一	一九五	一九九	
春の海邊	谷崎潤一郎（現代戲曲全集第六卷ノ內 大正一四）			一	五二〇	二五	
同	（潤一郎喜劇集ノ內 大正一五）			一	五一七	四〇八	
同	（潤一郎戲曲傑作集ノ內 大正一二）				五三三	四九	
同	（潤一郎傑作全集第五卷ノ內 大正一一）				五〇〇	四	
春の外套	佐々木茂索		大正一三	一	五二九	一九三	
春の扉	白鳥省吾（現代詩人パンフレット第二編）		大正一四	一	三九三	七二三	
春の日光山	田山花袋（花袋全集第二二卷ノ內 大正一三）			一	五一五	三六	
春の訪問（創作集一）	長與善郎		大正一〇	一	五〇一	二五五	
春信淸長寫樂論	附 大藏芳年	野口米次郎	大正一五（野口米次郎ブックレット第二〇編）	一	五四八	五	
春信圖錄（展覽會）	笹川臨風編		大正九	一	一九二	一三二	
春信と淸長	野口米次郎（野口米次郎ブックレット第八編）		大正一五	一	五四八	五	
春の文かしくの草子	山東庵京山著	豐國畫	一四卷	三	二〇八	七二六	
春の水	ツルゲーニエフ著	松本苦味譯	大正七	一	三七七	一二九	
はるのみやまち	弘安三年（續群書類從第一八輯ノ下日記部ノ內 再版 大正二三）				八〇	二三一 ロ	
春のめざめ	ヴエデキンド著	菅藤高德譯	（近代劇大系第六卷獨逸篇二ノ內 大正一二）		五一五	二六 イ	
同	（近代劇大系第六卷獨逸篇二ノ內 大正一五）				五一五	二六 イ	
同	ヴエデキント著	野上豐一郎譯	大正一三	一	五二九	二〇三	
同（戲曲一）	ヴエデキント著	柴田咲二譯	大正一三	一	五三三	一六一	

		冊	函	號
春の紅葉	川崎重恭編 三卷（江戸叢書卷の八ノ內 大正六）		三五三	一一
同			三五三	三
春夕美女の湯かへり	外一〇種 豐國等畫 大正六	一帖	特 ゑ	一八八
春の雪解	柳田顯道（ふたば集第二卷ノ內 大正一〇）		三九六	三
春のゆくへ	長田幹彥 大正一一		一五〇六	八七
春の宵	藤井眞澄（現代戲曲全集第一四卷ノ內 大正一四）		五二〇	三五
哈爾賓案內	哈爾賓商品陳列館編 大正一一		三九四	二四七
哈爾賓華人商工名錄	哈爾賓日本商業會議所編 大正一五		一五二四	三〇二
哈爾賓市制問題資料	附青島市制規則 篠岡福松編 大正一五 同館發行 第一號（大正八年一月至八號（同九年三月）〔第九號（大正九年五月）ヨリ「露亞時報」ト改題〕）		一五二四	二三五
ハルピン商品陳列館々報		雜	二	三七 二五
哈爾賓地方に於ける獨米品に關する調査	日露協會「哈爾賓商品陳列館調」編 大正一一 二七頁（日露協會時報第二）		一四五	三三
哈爾賓に於ける金融機關の現狀	南滿洲鐵道株式會社哈爾賓事務所調査課（高久隼）編 大正一二 五六頁		一五〇四	五
哈爾賓ニ於ケル通貨變遷ノ狀況	宗岡保太郎 大正一三（「橫濱正金銀行」調査報告第四七號）		一四五	二九
哈爾賓に於ける諸會社商店一覽	南滿洲鐵道株式會社哈爾賓事務所調査課編 大正一二（哈調資料第三號）		一四五	八五
馬鈴薯に就きての知見	笠井幹夫（農學研究第七卷ノ內 大正一四）	雜	三八	二イ
馬鈴薯飯ノ調理及馬鈴薯米ノ製造方法	農商務省農務局編 大正八（食糧增殖奬勵資料第二號）		一一四二	四六一
哈爾賓日本商業會議所時報	同所發行 第一卷（大正一一年一月）ヨリ		一四五	五三

		冊	函	號
哈爾賓乃概念	哈爾賓日本商業會議所編 補四版 大正一五 三〇頁	一	五三四	四九四
Balfour氏の審美批評	竹友藻風（英文學研究第四册ノ內 大正一一）		三九〇	二四
同			三九〇	二四イ
ハルマヘイラ島生活	江川俊治 大正一〇（南洋研究叢書第三篇）		一五〇〇	三
ハルミデース	プラトーン著 木村鷹太郎譯（プラトーン全集第一卷ノ內 六版 明治四五）		七	二六八イ
同	（プラトーン全集第一卷ノ內 再版 大正一三）		五二〇	八
バルメニデース	プラトーン著 木村鷹太郎譯（プラトーン全集第九卷ノ內 七版 大正一四）		五二〇	八
パレアナ	エリーナア・エチ・ポータア著 弘中つち子譯 大正五		三五七	二〇〇
同	八版 大正一五		三五七	二〇〇イ
馬鈴薯	高橋正男編 大正八		三七三	三二
馬鈴薯澱粉ニ關スル調査	北海道廳編 大正六		三六八	八
馬鈴薯と甘藷の作り方と食べ方	岐阜縣立農事試驗場編 大正九		三七三	四〇
馬鈴薯ニ關スル調査	北海道廳內務部編 大正八		三七八	七五
馬鈴薯の花（歌集）	島木赤彥、中村憲吉（アララギ叢書第一編） 大正二 一四		三五七	一三九
馬鈴薯ノ葉捲病ニ關スル研究	大原奬農會農業研究所（笠井幹夫）編 大正一五（病菌害蟲彙報第一七號）		一四二イ	三六六
馬鈴薯の葉捲病に就きての知見	笠井幹夫（農學研究第七卷ノ內 大正一四）	雜	三八	二イ
馬鈴薯飯ノ調理及馬鈴薯米ノ製造方法	農商務省農務局編 大正八（食糧增殖奬勵資料第二號）		一一四二	四六一

			枚		
馬鈴薯飯ノ調理法	農商務省農務局編 大正八（食糧增殖奬勵資料第一號）	一	一四二イ	洋	四六一
パレスチナ印象記	加藤直士 大正九	一	三九六	洋	六四
パレスチナの面影	黑崎幸吉 大正一四	一	五三三	洋	二四二
ハワイイの土俗に就きて	藤岡勝二（明治聖德記念學會紀要第一九、二〇卷ノ內 大正一二）		一四五	洋	一
ハワイ印象記	上原敬二 大正一三	一	五一四	洋	二五九
布哇事情	山崎馨一（近藤記念海事財團講演第二輯ノ內 大正一四）		一四五	洋	一一七
布哇西方ミッドウエー島	水路部製 大正九 三·二×二·一	一	洋	洋	二九三
布哇西方ミッドウエー島セワード泊地及ウエルス港	水路部製 大正九 二·一×三·二	一	枚	洋	二九四
布哇勞働運動史	前編 一九二〇年度堤隆編 三版 大正一〇	一	三七八	洋	一六四
布哇に於ける衛生狀態	飯島博 大正九	一	一四六ハ	洋	一二二
布哇に於ける日米問題解決運動	奧村多喜衞編 大正一四 八二頁	一	五二四	洋	三四三
布哇に於ける鳳梨罐詰事業	附錄 パインアップル買入契約 高崎達之助 大正一三	一	五一八	洋	一二四
布哇に於ける木瓜	ヒツヂンス等著 櫻井芳次郎譯（南洋叢書第二五卷 大正一二）		一四五	洋	八〇
布哇日本人年鑑	第一八回 布哇新報社編		一四四	洋	五五四
布哇の日本人	淺野孝之（明治聖德記念學會紀要第二六卷ノ內 大正一五）		一四五	洋	一
布哇の鳳梨事業	遠山靜二譯（南洋叢書第二七卷） 大正一二	一	一四五	洋	八〇
布哇保險法	農商務省商務局編 明治四五（「香港生命保險會社令」ト合綴）		一四七	洋	一〇三
覇王樹叢書	紅玉堂發行 「サボテ」ヲ見ヨ				
麵麭	前田河廣一郎 大正一二	一	五三	洋	九七
汎亞細亞運動と汎歐羅巴運動	永富守之助 大正一五	一	五四六	洋	一二六
萬有科學大系	第一、三、五卷 伊藤靖編 大正一四至一五	三	五四〇	洋	六九
同	第一、三至五	四	五四〇	洋	六九イ
萬有科學ノ始原論（萬古不滅）	卷ノ一 小林廣（萬世不變） 明治四五	一	六〇	洋	三〇四
萬有進化論	エドワード・クロッド著 齋木仙醉譯 大正一三	一	五一〇	洋	六六

		冊	函	號
萬有神教詩人ゲーテ	ストロング著　佐藤清譯　大正九（宗教と文藝叢書第二編）	一	三五	九二
萬有叢書	聚芳閣發行　大正一三	四	五一六	一九二
第一編	歐米通選擧史料（綾川武治）			
第二編	社會主義の本體（藤本月城）			
第三編	西洋名曲解說（フォークナー著　高桑清譯）			
第四編	小作爭議と農政（石井勇二）			
第五編	政治家の犯罪（若月保治）			
第六編	宗教と性的迷信の研究（光成信男）			
第七編	日本罪惡史（考察）（飯野哲治）			
第八編	無線電話の知識（松崎英男）			
第九編	賣笑婦の研究（山岡白虹）			
同　第四編		一	五一六	一九二イ
萬有の神秘	マーテルリンク著　栗原元吉譯　大正五	一	三六〇	四八七
槃游餘錄	附錄付　吉田桃樹稿本　寫本	特	七〇	八三〇　二〇一
盤隱山樵集	清、李孚青（廣德壽重光集第九至一〇冊）	二	〇	一七一　九三
麵麭を求めて	シエンキウキツチ著　村上啓夫譯　大正一四（アルス・ボピュラアー・ライブラリイー第一四）	一	五二七	八
範歌	大町壯（五城）編　大正一五	一	五五一	一四一
阪堺電車平野支線沿道名勝記	吉田勇編　大正三	一	三三九	四一九
反抗	豐島與志雄　大正一一	一	五〇六	三四
反抗と否定	長谷川如是閑（長谷川如是閑創作集第一編ノ内）大正一三		五二七	一八
晩學抄	（續群書類從第一九輯蹴鞠部ノ内　大正元）		八〇	三二
同	（續群書類從第一九輯蹴鞠部ノ内　再版　大正一四）		八〇	三二ロ
蠻殼奇人おけらの半生	蚯蚓子　大正六	一	三七六	五一

		冊	函	號
バンガロー式明快な中流住宅	大野三行　大正一一	一	五〇九	二九
樊諫議集	附錄　甲至丙集　支、紹興樊	一	一六三	八一
叛逆（長編小說一）	德田秋聲　大正一四	一	五三八	一一九
叛逆藝術家	藤森成吉　大正一三	一	五二九	一四七
叛逆時代の將門	眞山青果　大正一五（眞山青果戲曲全集第三編）	一	五二九	二八
叛逆者	有島武郎（有島武郎全集第一卷ノ内　大正一三）		五二〇	七
同	大正七（有島武郎著作集第四輯）	一	三二八	三一九
反逆情史	藤田浪人　大正一四	一	五三六	一二五
叛逆の子は語る	山中峯太郎　大正一二　六二五頁	一	五三一	一一
反基督	ニイチエ著　平山良吉譯　大正一一（ロゴス叢書第二編）	一	五〇五	三三
叛逆英國政治思想論	アーネスト・バーカー著　小島幸治譯　大正一三	一	三九〇	七三
叛逆學問論	栗山周一　大正一三	一	五二八	八七
叛近價値學說史	チュールジョン著　山下芳一譯　大正一三	一	五三五	六八
叛近眼科治療法	久保田詢　明治四二（近世醫學叢書第七編）	一	六〇	三九ロ
叛近化學新講義	東辰藏　大正一五	一	四七	二八五
叛近教育事實の進步	乙竹岩造　大正五	一	三五九	三五八
叛近教育施設	加藤成俊　大正六（教育學叢書第三編）	一	三五九	二五
叛近教育思潮の發達及其批判	小西重直（教育學講習會筆記錄ノ内　大正四）		三五九	三四三
叛近の教育思潮	入澤宗壽　大正三	一	三五三	一七五
叛近の公民教育と其方法	千葉敬止　大正一五（題簽等ニハ「內外に於ける」ト冠稱アリ）	一	二七五	三三
叛近の思想	アンリ・ボアンカレ著　岡谷辰治譯　大正一四（フラマリオン社自然科學叢書第二輯）	一	五二〇	二一
叛近の兒童研究	關寬之　大正八	一	五二五	七〇
叛近の社會事業	海野幸德　大正一三	一	五三〇	一八
叛近の社會問題	大林宗嗣（南豫夏季大學講演集ノ内　大正一三）		五三六	三八
叛近ノ水力電氣	岡崎文吉　大正九	一	三八一	一一〇
叛近の地震學	松山基範　大正一四	一	五四二	六八
叛近法制經濟教科書	鳩山秀夫、河田嗣郎　大正四	一	三三〇	二九
叛近哲學大集成	村田豐秋　大正一一　六一二頁	一	五一〇	八
叛近哲學の傾向	倍賞義雄　大正一四	一	五三六	一五九
叛近獨逸社會民主黨運動史	エドウキン、ビーヴアン著　田邊忠男譯　大正九	一	三六二	二〇五
叛近ニ於ケル結核性股關節炎療法	松岡直治（最新結核病論ノ内　大正四）		五三	二一七
叛近ニ於ケル土壤肥料界研究ノ趨勢	小野寺伊勢之助（盛岡高農同窓會學術彙報第一卷ノ内　大正一二）	一	四五	八六
叛近の教育及教育學	吉田熊次　大正一四	一	三五二	三〇二

		冊	函	號
叛近教育問題の研究	吉田熊次　大正八	一	三五三	一七五
叛近實業補習教育研究	菊池良樹等　大正一二　六三三頁	一	二七三	五
同　訂再版	大正一三	一	二七三	五イ
叛近思潮學校教育の社會化	田制佐重　大正一〇	一	三五三	二五七
叛近商業經營	渡部明　大正一四	一	五四一	二一二
叛近社會思想の研究	上、中、上卷別冊（前篇第一、二、後篇第一、二）米田庄太郎　大正八至一五	六	三六二	九九
同	上卷別冊（前篇第二、後篇第一）大正一三	二	三六二	九九イ
叛近心理學大集成	三浦藤作編　大正八	一	三七〇	九六
叛近數學叢書	共立社發行　大正一四	一	五四二	一七三
	第一編　整數論（竹內端三）		三六〇	四七
叛近青年の風潮	平田東助業の選擇ノ内　大正四（十八名士の觀たる學問及職）			
叛近哲學大集成	村田豐秋　大正一一　六一二頁	一	五一〇	八
叛近哲學の傾向	倍賞義雄　大正一四	一	五三六	一五九
叛近獨逸社會民主黨運動史	エドウキン、ビーヴアン著　田邊忠男譯　大正九	一	三六二	二〇五
叛近ニ於ケル結核性股關節炎療法	松岡直治（最新結核病論ノ内　大正四）		五三	二一七
叛近ニ於ケル土壤肥料界研究ノ趨勢	小野寺伊勢之助（盛岡高農同窓會學術彙報第一〇ノ内　大正一二）	一	四五	八六
叛近の教育及教育學	吉田熊次　大正一四	一	三五二	三〇二
叛近教育思潮	入澤宗壽　大正三	一	三五三	一七五
叛近の公民教育と其方法	千葉敬止　大正一五（題簽等ニハ「內外に於ける」ト冠稱アリ）	一	二七五	三三
叛近の思想	アンリ・ボアンカレ著　岡谷辰治譯　大正一四（フラマリオン社自然科學叢書第二輯）	一	五二〇	二一
叛近の兒童研究	關寬之　大正八	一	五二五	七〇
叛近の社會事業	海野幸德　大正一三	一	五三〇	一八
叛近の社會問題	大林宗嗣（南豫夏季大學講演集ノ内　大正一三）		五三六	三八
叛近ノ水力電氣	岡崎文吉　大正九	一	三八一	一一〇
叛近の地震學	松山基範　大正一四	一	五四二	六八
叛近法制經濟教科書	鳩山秀夫、河田嗣郎　大正四	一	三三〇	二九

		冊	函	號
バンク式臨床血液糖測定法、「グリコゲーン」定量法ニ就テ	今村明光 大正一三	一	五二四	一三四
バンクチエイシヤン早わかり	長谷川康 大正一三 六六頁	一	三二三	五四七
版畫を作る人へ	永瀬義郎 大正一一	一	五一三	七九
萬花鏡	室生犀星 大正一二	一	五一七	一三〇
版畫色紙集	其壹 東華堂編 大正一三	一	三三七	三五一
版畫都會夜趣	織田一磨畫 大正八	特一	四二〇	五二
繁花風土記	砭泉 大正一二 〔題簽ノ冠稱ニハ「大阪」トアリ〕	一〇	一六二	八二
版畫禮讃	稀書複製會編 大正一四	一	五三一	一八
判官贔屓	藤村作 大正一一 (明治聖德記念學會紀要第一八卷ノ內)		一四、五	一
磐溪先制	大槻如電(修二)等編 大正一四	二〇	一六二	一四〇
獻芹微衷 昨夢詩曆	(大槻清崇)(同)			
盤珪大和尚(正眼—國師—)	長井音次郎(石峯) 大正一五	一	五三三	一五五
判決言渡の公開と公表	草間豹一郎 (新興文化と法律ノ內 大正一一)		五〇二	三〇〇
判決要錄	第三至九、一三至一六卷 法律新聞社編 大正元至一五	一三	二二	四四八
判決總攬	刑法、續刑法、商法、諸法令、民事訴訟法 半田鍵次郎編 大正五至一五	五	一四、七	一四八
判檢事辯護士試驗及第術	山崎有信編 大正六	一	三六二	三三
判檢事辯護士試驗答案集	山崎有信編 大正六	一	三六二	三四
判檢事辯護士試驗奮鬪錄	金光良純編 大正一一	一	五〇二	五九
判檢事辯護士試驗問題集	渡邊鬼子松編 大正八	一	三六二	一一〇
同	補再版 大正一一	一	三六二	一一〇イ
判檢事辯護士豫備試驗參考論文裁華	坤卷 石河正憲編 明治四四	一〇	二四六	二七三
版權書目	第一號(明治八年一〇月至同九年五月) 內務省編 明治九	一〇	一四 雜	一イ
鈑工法	一名 鈑の取方 民野好 大正一四	一	五四二	二二
萬國郵便聯合各國郵便爲替貯金制度總覽	遞信省爲替貯金局編 大正三	二	三四九	三二四
萬國音標文字	市河三喜 大正九	一	三七二	三五〇
萬國海法會議と國際船主會議	松波仁一郎 大正一三 (近藤記念海事財團講演第一輯)		一四、五	一一七
同		一	一四、五	一一七イ
萬國奇談袋	岳亭春信著 一梅齋芳春畫 文久元	一〇	一五八	八四
萬國共通ことわざ集	神田雄二郎編 大正五	一	三六〇	二八八
同		一	三六〇	二八八イ
萬國式視力表	大西克知編 再版 大正四	一	五五	九七
萬國新話	森島中良 寛政一二	五〇	一三六	二三七
萬國精神總動員(靈的文明の實現—地上の天國建設—)	渡邊大濤 大正一〇	一〇	一一	六〇九
萬國全圖	永田善吉製 文化六	一軸	四 別	三
萬國船舶信號書(改正—增補—)	第一至三編 遞信省編 大正四	三	三一七	四ホ
同	增補 大正一三	三	三一七	四ヘ

		枚	別	
萬國總圖	寛文一一	一	七	五〇九
(第十三回)萬國統計協會々議報告	內閣統計局(柳澤保惠)編 明治四五	一	三二一	一〇七
萬國博覽會參加五十年	平山成信 (明治聖德記念學會紀要第二二卷ノ內 大正一三)		一四、五	一
萬國發音記號手ほどき	加茂正一 大正一三	一	三九三	六九三
萬國聞香	清、凌品山等編 寫本 〔支那製茶ニ關スルコトヲ記ス〕	一〇	二〇五	一〇〇
ばんざい(萬歲＝萬罪)をまんせい(萬歲＝滿聖)にせよ	高田畊安 大正一二 一四頁	一	三九七	四四二
犯罪學者の眼	高橋誠之譯 大正一五 (世界探偵文藝叢書第二)	一	五四五	五七
犯罪學者の眼 苦い巴旦杏 果物屋の殺人 青いキモノ 餘りに多すぎる容疑者 ボヘミヤの國辱				
犯罪科學ノ研究	山田一隆 大正四	一	三六〇	三一六
同		一	三六〇	三一六イ
犯罪教育學	エリヒ・ウルフエン著 清水友次郎譯 大正六	一	二五二五	五六
犯罪者	シルレル著 菅藤高德譯 大正九 (世界名著文庫第七編)	一	三八九	一一
犯罪社會學	上 エンリコ・フエルリ著 山田吉彥譯 大正一二 (社會科學大系第八)	一	五〇八	二〇
犯罪心理講義	寺田精一 大正一〇	一	五〇三	一八
犯罪心理講話	寺田精一 大正七	一	三七〇	五七
犯罪心理學	ハンス・グロース著 寺田精一譯 大正四 (大日本文明協會刊行書第三期ノ內)	一	三四二	四八五ぬ
犯罪心理學	寺田精一 大正一五	一	五五八	九
犯罪精神病概論	杉江董 大正一三	一	六〇	六七三
犯罪徵表論	牧野英一 (穗積先生還曆祝賀論文集ノ內 大正四)		三五二	七〇
萬歲通天進帖	西東書房編 大正一五	一帖	二を	一一一
犯罪手口の研究	佐藤政治 大正一二 (警察叢書第四編)	一	三九〇	一九
半歲で世界一周	武用種吉 大正一三	一	五三二	一六
犯罪と遺傳個性の教育	原名 惡の原因と改善 ロムブロゾー著 三浦關造譯 大正五	一	三五六	二二六
犯罪と家庭	寺田精一 (心理學通俗講話第四輯ノ內 明治四四)		四一	一三四
犯罪と精神病	杉江董 大正元	一	六一	一三三
犯罪と其防止策	輔成會編 大正一一 五六頁	一	三九三	三七四
犯罪と辯護	第一、二輯 山田武雄 大正一四、一五	二	五三〇	一九〇
犯罪人	シルレル著 沙樹山房譯 (世界短篇小說大系獨逸篇ノ內 大正一五)		五二〇	四五
同	シルレル著 野村行一譯 大正一四 (對譯獨逸短篇叢書第二編)	一	三二三	六〇七
犯罪の傾向と搜査の研究	四宮二男 大正一四	一	五三五	二一〇
犯罪ノ現場保存心得		一	五一六	二五四
犯罪の殘影	山田武雄 大正一四	一	五三〇	一六一
犯罪の調節	小河滋次郎 (明治聖德記念學會紀要第一一卷ノ內 大正八)		一四、五	一
犯罪の時及所	附 ドイツの陪審制度 小野清一郎 大正一二 (法律學叢書第一一編)	一	三七九	五
同		一	三七九	五イ

		冊	函	號
犯罪の發生	寺田精一（明治聖德記念學會紀要第一〇卷ノ內 大正七）	一	一四五	一
犯罪問題	阿部眞之助 大正九（現代社會問題研究第九卷）	一	三七五	四九
犯罪倫理	佐々木英夫 大正一五（倫理叢書第四編）	一	五三九	三四
藩札叢	第一編 佐貝虎夫 大正七	一〇	四一九	一〇〇
藩札圖錄	卷一至四、附錄 佐野英山編 大正一〇	〇五	一一	四九〇
飯山遺稿	松林漸 大正八	一〇	六	三六六
蕃山先生書簡集	井上通泰編 大正二（蕃山遺材卷二）	一	三三七	六六
蕃山先生年譜	片山重範編 大正五	一〇	一〇	一七三 イ
樊子	支、胡世安	一〇	一六三	八〇
播州佐用軍記	（續群書類從第二二輯ノ下合戰部ノ內 大正二三）		八〇	三二
同			八〇	三二 イ
晚秋蠶交雜種の飼ひ方	池田榮太郎 大正一〇（通俗養蠶家用全書ノ內）	一	二六九	五五 ろ
播州色夫錄	（國書刊行會本列侯深祕錄ノ內 大正三）		三三〇	四九 は
半獸主義	岩野泡鳴（泡鳴全集第一五卷ノ內 大正一一）		五〇〇	一
播州書寫山緣起	（大日本佛教全書第一一七册ノ內 大正二）		三五三	一〇
播州大觀	同編纂所編 大正七	一	三六七	三四
播州問答集私考鈔	賞山撰 五卷（大日本佛教全書第六六册ノ內 大正五）		三五三	一〇
播州問答領解鈔	景光、廓龍撰 一二卷（大日本佛教全書第六六册ノ內 大正五）		三五三	一〇
半七聞書帳	岡本綺堂 大正一〇		一五〇一	八〇

		冊	函	號
半七捕物帖	第一至五輯 岡本綺堂 大正一三至一四	五	五三	四八
同	第一至四輯 大正一三	四	五三	四八 イ
判事ノ自由裁量論	フオン、ビルクマイヤー著 大場茂馬譯 明治四五	一	三三六	一〇三
斑芝綿及かぽつく綿ノ繊維ニ就テ	服部武彥（臺灣總督府研究所報告第三同ノ內 大正三）		一四二 イ	二八五
晚唱	宇野千代（現代短篇小說選集第二編）	一	五二九	四五
萬象	桔梗屋呉服店編 大正一〇	一〇	四三二	六九
萬祥廻船往來	十返舍一九 文政六 一三枚	一〇	一	京 乙 三六六
繁昌商略叢書	誠進堂發行 大正一四	二	五四五	一四
	第一編 理髮店繁昌策（安藤眞吾）			
	第三編 客は客を集め新開店の商略（同）			
繁昌する小賣店の經營	商店雜誌社編 大正七	一	三一	六三四
繁昌する商店	井關十二郎編 大正六	一	三五八	二〇四
繁昌する商賣振り	（米國ノ見物ノ一） 大塚浩一 大正一五	一	五六四	一六三
繁昌する流行品販賣店	蘆川忠雄 大正一三	一	五一三	二七八
萬象圖譜	玉蘭齋貞秀畫	八〇	一三三	二七一
氾上漫草	（國書刊行會本日本書畫苑第一書部ノ內 大正三）		三三〇	四九 へ
番醬油製造法	賀疑應答 伊藤定治 大正一三（最新釀造叢書ノ內）	一	五一五	八三 ほ
反射カメラ及燒點板シャッター寫眞術	上田編輯部編 大正一〇（最近寫眞術叢書第一編）	一	五〇〇	三八

		冊	函	號
反射する心	中戸川吉二 大正九	一	三九一	三九
反射爐	岡田播陽 大正一五	一	五三六	二三
般舟讚要義釋觀門義鈔	證空撰 七卷（大日本佛教全書第五六册ノ內 大正五）		三五三	一〇
般舟讚懷愧錄	僧叡（眞宗全書第一一卷ノ內 大正四）		三四六	七
般舟讚丁巳錄	龍溫記 二卷（眞宗大系第三〇ノ內 大正一〇）		三六九	一五 ふ
般舟三昧經	後漢、支婁迦讖譯 三卷（大正新脩大藏經第一三卷大集部ノ內 大正一三）	特	四四	三七四
同		帖 二	一三五	一七三
潘孺初先生臨鄭文公碑	油谷博文堂發行 大正三		八六	三九一
播種被土試驗	野路策三（農商務省）林業試驗彙報第四號ノ內 大正一〇）	イ	一四二	一二五 ロ
晚春日記	谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第五卷ノ內 大正一一）		五〇〇	四
萬松老人評唱天童覺和尙頌古從容菴錄	宋、正覺頌古 元、行秀評唱 六卷（大日本續藏經第五八四册ノ內 明治四五）		二三五	二
萬松老人評唱天童覺和尙頌古請益錄	宋、正覺拈古 元、行秀評唱 二卷（大日本續藏經第五八五册ノ內 明治四五）		二三五	二
蕃諸考	青木敦書（昆陽）（國書刊行會本三十輯第四ノ內 大正六）		三三〇	五一
蕃諸考補	青木敦書（國書刊行會本三十輯第四ノ內 大正六）		三三〇	五一
蕃殖及種禽配合法	岩佳良治（個人指導家禽學講習錄第二課 大正一〇）		三九三	一六四
蕃藷錄	松岡成章（國書刊行會本三十輯第四ノ內 大正六）		三三〇	五一
板兒錄拔萃	瀨尾柳齋（國書刊行會本扈瑛十種第二ノ內 大正五）		三三〇	五〇 い

		冊	函	號
蠻人	アルツイバアシエフ著 佐野英譯 大正一四	一	一五四	一六七
阪神沿道地籍圖	西部 前田慶三編 大正九	一〇	四一六	四
阪神沿道名所及實業家寫眞案內（御大典紀念）	御影寫眞研究會發行 大正四	一	四一九	四七
阪神間名勝史	藤井龜若 大正二	一	二一	二八七
阪神社會事業概觀	古澤俊次 大正一〇	一〇	一一	四五七
阪神ダイレクトリー	大阪新報社編 大正九	一	二四七	七三
萬人勞働の敎育	下中彌三郎 大正一二（內外敎育叢書第六卷）	一	二五九 五	五三
幡隨意上人行狀	妙導（淨土宗全書第一七卷ノ內 大正二）		三二四	六三
幡隨院長兵衛	塚原澁柿園（靖） 大正三	一	三二九	二〇五
幡隨院長兵衛	平井晚村 大正八（歷史小說文庫第六編）	一	三一	五五一
幡隨長兵衛精進俎板	（世話狂言傑作集第二卷ノ內 大正一四）		五二七	六四
晚翠居詩草	湯川元臣 大正一四	一〇	一五	四二四
晚翠詩集	土井晚翠（林吉） 大正八	一	二九一	三
磐水存響	大槻磐水肖像 大槻茂質（磐水）著 同茂雄編 大正元	二〇	三四二	三六

乾卷

大槻磐水先生遺德碣（古賀侗庵）
磐水年譜
新元會圖（市川岳山畫）
蘭學階梯 二卷
蘭學佩觿 二卷
蘭說辨惑 二卷
蘭說辨正 二卷、補遺
蘭譯梯航 二卷
金城秘韞 俗贖 蘭譯稱統後存 一、二
銃砲起原考 海岸砲術備要附記

		冊	函	號
仙臺本城銃器佛郎機考案	扇馬譯說			
坤卷	醒世論言 二卷			
	蔫錄 三卷、附圖增補			
	夢遊金華記			
	磐水遺稿			
磐水漫草補遺	附 存響正誤	大槻茂雄編	大正三	一 三四二 三三六
晩菘餘影	坂本三郎	大正三		一 三四四 四〇一
ハンスリックの音樂美論	附小傳	ハンスリック著	大正一三	一 五二〇 一三
		田村寛貞譯		一 三三八 二五三
半生	正宗白鳥	大正三		
萬世家寶	(續入) 復信子 元祿八		五卷	一 へ 五三
反正紀略	超然編	大正二	一三卷	一 三四六 七
	(眞宗全書第三七卷)			
麵麭製造に大豆粉竝に玉蜀黍粉の應用に就て				
	照內豐等	大正一五	一〇頁	一 五二四 五四五
反省と憧憬	稻毛詛風	大正一二		一 五〇三 二三一
半生の懺悔	茅原華山	大正五		一 三六〇 四〇九
萬世百物語	烏有庵 五卷	(國書刊行會本德川文藝類聚		三三〇 四九ろ
	第四怪談小說ノ內	大正四)		
晩晴樓詩鈔	第一至三編	土屋弘	第一編再版 明治四一	三 八 一四九イ
	至大正八			
晩晴樓集	第四編	土屋弘	大正二	一 八 一五三
同	第四、五編一、二	大正一一		三 八 一五三イ
晩晴樓詩文鈔	第三編	土屋弘	大正八	一 八 一七一
晩晴樓文鈔	第二編上、中、下	土屋弘	大正二	三 八 一五〇
同	第一編上、中、下第二編、同附載、第三編卷一至五 第一編			〇 八 一五〇イ
	再版 明治三四至大正六			七 八 一五〇

		冊	函	號
晩靜廬花月集	石井勝美編	大正八		一〇 一五九 九五
翻切要略	大島正健	明治四五	六六頁	一 三四四 三四
反切源流考略	支、姚明煇編			一〇 一六三 七七
	(武昌高等師範學校課本)			
「ハンセン氏」事歷(近世非凡大外交家ノ一)		神藤才一譯	大正二	一 三四四 二六三
番族慣習調査報告書	第二至五卷、一、三至五	臺灣總督府蕃族調査會編		七 三二一 一六五
	大正四至一一(「臨時臺灣舊慣調査會第一部番族慣習調査報告書」ノ改題)			
犯則書類評論	前田龜太郎	大正七		一 三一 八二八
藩祖御事蹟	谷口爲次編	大正五		一 三四六 一三
	(出雲文庫第四編)			
萬代三世相大全(人生一代運勢乃秘訣ノ一)		歌月庵喜笑園	大正一〇	一〇 一四六 三二〇
萬代式木材乾餾窯ニ於ケル燃料節約試驗				
	永井萬吉			一四、イ 一二五 ロ
	(農商務省)林業試驗彙報第二號ノ內		大正九)	
磐梯と猪苗代湖	田子健吉	大正一三		一 五一四 二八一
伴大納言繪詞	「トモノ」ヲ見ヨ			
半太夫節正本集	(國書刊行會本德川文藝類聚第一〇俗曲			三三〇 四九ろ
	下ノ內 大正四)			
汎太平洋學術會議要報	第三回 同會議準備委員會編			一 五二四 二二四
	大正一四			
汎太平洋學術會議農學部會の狀況報告				
	第二回 近藤萬太郎			雜 八 二イ
	(農學研究第七卷ノ內 大正一四)			
汎太平洋通商會議に就て	佐野善作	(神戶經濟會講演		三六六 四三
	集第五ノ內 大正一二)			
万代義勝全集	万代勝栗編	大正八		一 三七〇 一二四

		冊	函	號
番橙集	南瓜菴除風撰 安井知之校	大正一五		一 五四五 四
	(菴門珍書百種第一六編)			
同				一 五四五 四イ
半島同胞の爲に	渡瀨常吉編	大正六		一 三三五 二六七
半島めぐり	小池素康	大正八		一 四一二 六七
半田町	愛知縣同町役場編	大正五		一 三三九 八一五
半田町史	愛知縣同町役場編	大正一五		一 五五四 一〇六
判斷力批判	カント著 齋藤要譯	大正一五		一 五一七 六八
	(社會哲學新學說大系第一七卷)			
番地入最新大阪市街地圖	箕島正夫發行	大正七		一枚 四一三 一四
番地入	五一×六九			
仙臺市全圖	三井乙藏製	大正四	二六×三六	一枚 八九 二九
番地入				
仙臺市明細地圖	三井乙藏製	再版	大正九	一枚 三二九 一〇〇五
番町皿屋敷	岡本綺堂			五二七 一六
	(綺堂戲曲集第二卷ノ內 大正一三)			
番町皿屋敷	藤澤衞彥 大正八			一 一八二 三六八
	(江戶傳說叢書第二編)			
番町夜講	泉鏡花	大正一四		一 五二九 一九九
バンチヤタントラ	松村武雄譯	(世界童話大系第一〇卷		五二〇 一〇
	印度篇ノ內 大正一四)			
汎ツラン民族同盟	パラトン・バログ・ベネデク	大正一〇		一 三九三 三一二
汎獨逸主義	シヤルル・アンドレル著	大原里靖譯	大正五	一 三六〇 三九〇
坂東安房國立山城攻	一四枚(土佐ぶし淨瑠璃本元祿			一〇 一 京 三四三
	比ノ出版ナリ)			
反動運動としてのファシスチー				
	新居格			五〇三 二八二
	(新社會的秩序ヘノ內 大正一一)			

		冊	函	號
坂東俠客陣	吉川英治	大正一五		一 五二七 四二七
阪東武者	松井松翁			五二〇 二五
	(現代戲曲全集第三卷ノ內 大正一四)			
パンドーラの手筐	ヴエデキント著 楠山正雄譯	(近代		三八九 三〇
	劇選集第二卷ノ內 大正一〇)			
パンドオラの箱	フリイマン著 妹尾韶夫譯			五二〇 四五
	(世界短篇小說大系探偵家庭小說篇			
	ノ內 大正一五)			
阪敦運河開鑿計畫案	吉田幸三郎 大正一二	四四頁		一 五〇九 八九
萬納屋利吉	飯沼龍遠編	大正一三	二九頁	一 三九三 六三五
半日	有島武郎			五二〇 七
	(有島武郎全集第一卷ノ內 大正一三)			五二〇 七イ
同				一 三九四 六〇
半日一日一晩泊り一寸した旅	森曉紅	大正一〇		
般若寺教主通解	法瑞			三三四 六四〇
	(教主義合纂ノ內 大正一〇)			
般若心經易解	清、謝承謨註釋	(大日本續藏經第四六〇		二二五 二
	冊ノ內 明治四五)			
般若心經解義	清、徐槐廷解義	(大日本續藏經第四六〇		二二五 二
	冊ノ內 明治四五)			
般若心經解題	田村德海	(第十八回夏期講習會佛教講演		三八 一七
	集ノ內 明治四五)			
般若心經講義	新井石禪	明治四五		一 三三四 二八五
般若心經講義	梅田無學	大正一二		一 五一一 四七
般若心經講義	吉祥眞雄	大正八		一 三九二 三三
般若心經講話	附錄 始終心要講話	加藤咄堂		一 五〇四 五六
	大正一一			
般若心經講話	橫尾賢宗	大正八		一 三九二 二九
般若心經歸一錄	浦上隆應	大正一四		一 五一一 二八

般若心經歸一錄　浦上薩應　大正一四　一　五一　一八イ
般若心經句解易知　清、王澤注註解（大日本續藏經第四六〇册ノ內　明治四五）　一　三五　二
般若心經口譚　性潛撰（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　同　三五　六
般若心經事觀解　清、續法述（大日本續藏經第四六〇册ノ內　明治四五）　一　三五　二
般若心經止啼錢　傳聲講說（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　般　三五　六
般若心經釋　圓珍撰（大日本佛教全書第二八册ノ內　大正七）　同　三五　一〇
般若心經述義　智光撰（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　般　三五　六
般若心經疏　唐、明曠撰（大日本佛教全書第二四册ノ內　大正二）　般　三五　一〇
般若心經註解　圓耳集（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　同　三五　六
般若心經註解　清、敬止撰（大日本續藏經第四六〇册ノ內　明治四五）　般　三五　二
般若心經註解　戶水萬頃編　大正六　同　三五　五七　一
般若心經註講　清、行敏述（大日本續藏經第四六〇册ノ內　明治四五）　般　三五　二
般若心經毒語註　慧鶴頌　圓蓉註（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　同　三五　六
般若心經如是經義　清、行敏述（大日本續藏經第四六〇册ノ內　明治四五）　般　三五　二
般若心經祕鍵開藏鈔　賴瑜記　二卷（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　同　三五　六
般若心經祕鍵開寶鈔　道範記　二卷（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　般　三五　六　一三四
般若心經祕鍵講義　吉祥眞雄　大正八　同　三五　六　一三四
般若心經祕鍵鈔　杲寶述　賢寶記　六卷（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　般　三五　六
般若心經祕鍵略註　覺纘記（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　同　三五　六

般若心經理性解　清、續法述（大日本續藏經第四六〇册ノ內　明治四五）　般　三五　二
般若心經略釋　眞興撰（大日本佛教全書第六册ノ內　大正四）　同　三五　一〇
（日本大藏經第三五卷ノ內　大正七）　同　三五　六
般若心經略疏連珠記　宋、師會述　二卷（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內　大正一五）　般　四四　三七四　八六　三九一
般若心經和解　敬雄著　鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第二卷註釋部ノ內　大正一五）　同　五三九　六七　一〇
般若心經或問　佐藤祖琳　大正一〇　一〇頁　一　一　四九二
般若波羅蜜多心經　唐、玄奘譯（大正新脩大藏經第八卷般若部四ノ內　大正一三）　般　四四　三七四　八六　三九一
同　四四　三七四　八六　三九一
般若波羅蜜多心經　唐、智慧輪譯（大正新脩大藏經第八卷般若部四ノ內　大正一三）　般　四四　三七四　八六　三九一
同　四四　三七四　八六　三九一
般若波羅蜜多心經　清、鄧完白書　大正一五　一〇　四一八　一〇イ
般若波羅蜜多心經　唐、般若等譯（大正新脩大藏經第八卷般若部四ノ內　大正一三）　般　四四　三七四　八六　三九一
同　四四　三七四　八六　三九一
般若波羅蜜多心經　唐、法成譯（大正新脩大藏經第八卷般若部四ノ內　大正一二）　般　四四　三七四　八六　三九一
同　四四　三七四　八六　三九一
般若波羅蜜多心經幽贊　唐、窺基撰　二卷（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內　大正一五）　般　四四　三七四　八六　三九一
同　四四　三七四　八六　三九一

般若波羅蜜多心經贊　唐、圓測撰（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內　大正一五）　特　四四　三七四　八六　三九一
同　四四　三七四　八六　三九一
般若波羅蜜多心經探要鈔　普寂撰　二卷（大日本佛教全書第六册ノ內　大正四）　般　三五三　一〇　三五二　一〇
般若波羅蜜多心經註解　明、宗泐、如玘同註（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內　大正一五）　特　四四　三七四　八六　三九一
同　四四　三七四　八六　三九一
般若波羅蜜多心經略解　慈山撰（大日本佛教全書第六册ノ內　大正四）　般　三五三　一〇　三五二　一〇
般若波羅蜜多心經略疏　唐、洪藏述（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內　大正一五）　特　四四　三七四　八六　三九一
同　四四　三七四　八六　三九一
般若理趣經（梵藏漢一對照一）　栂尾祥雲、泉芳璟編　大正六　一　三三四　五二一
般若理趣經和譯（梵漢對照）　長谷部隆諦編　大正九　一　三九二　一〇八
ハンネレの昇天　ハウプトマン著　小山內薰譯（近代劇大系第五卷獨歐篇一ノ內　大正一三）　五一五　二六イ　五五　二六イ
同　（世界童話大系第二一卷童話劇篇三ノ內　大正一五）　五一〇　一〇　五二〇　一〇イ
同　晚年　菊池寬（菊池寬全集第一卷ノ內　大正一一）　五〇五　二三　一　三六四　一〇二
晚年のトルストイ　ウラヂーミル・グリゴロヴッチ・チェルトコフ著　壽岳文章譯　大正一五　一　五三　二七一　一　三六一　六五
半農生活そのまゝ　五十嵐力　大正三　一　三七　二九五　一　三九五　二一〇
萬能の微分子　一名　內心のさけび　メリー・コレリ著　ボベドノスツェフ露譯　三井道朗重譯　大正三　一　三三九　二三一　一　三九五　二一〇
バンの製造法（誰にも出來る）　青山樹左郎　大正九　一　三七三　三七〇　一　三九五　二一〇

麵麭の智識と製法　土岐章　大正八　一　三八〇　八　七一　五八
伴信友遺書　寫本　特　三〇　セ　七一　五九
國史姓名抄（伴信友、細田多助編）　七一　六〇
地名記（內山眞龍自筆稿本）　七一　六一
斥柳子新編（伴信友編）　七一　六二
倭姬命世記（上田百樹自筆）　七一　六三
禮儀類典抄本（伴信友書入）　七一　六四
輛考補證（同稿本）　七一　六五
產靈佛神論、霧島矛考（同）　七一　六六
疑齋、疑齋辨（同）　七一　六七
古言梯（同書入）　七一　六八
度量考、畫御膳圖、釋典供物圖（同校）　七一　六九
麻々伎考（同稿本）　七一　七〇
古語拾遺（同書入）　七一　七一
常陸豐後肥前風土記（同編校）　七一　七二
續記歷朝詔詞解目錄（同校）　七一　七三
一條氏京合戰次第（同）　七一　七四
神名帳考（同書入）　七一　七五
上宮聖德法王帝說（同校）　七一　七六
販賣及廣告能率の增進　上野陽一（販賣と廣告講演集第一回ノ內　大正一三）　五一三　二一四
販賣學講話　松宮三郎　大正一二　一　五一三　一六〇
販賣が上手になる祕訣　清水正巳　大正一三（クラーク叢書第四編）　一　五一五　一二五
販賣研究　消費者への接觸　ジェー・エフ・ジョンソン著　增子謙譯（商業經濟論叢第四卷ノ內　大正一五）　五〇七　一五九　一　五九七　一五九イ
同　一　五九七　一五九イ
販賣商略（繁昌實例一）　依田信太郎　大正六　一　三六四　一〇二
販賣心理學　フオーバース・リンドセイ著　中村西圃譯　大正六　一　三六一　六五
販賣增進廣告商略　大塚政晨　大正一〇　一　三九五　二一〇
同　增訂　大正一一　一　三九五　二一〇

		冊	函	號
販賣と廣告講演集	名古屋廣告協會編 大正一三	一	五三	二四
第一回	廣告學概論（相良武雄） 販賣及廣告能率の增進（上野陽一） 商店と照明（内坂素夫） 都會の美觀としての店頭裝飾（松宮三郎） 商店工場の經營管理（國松豐） 商店の照明法（石川安太） 廣告を出す前の調べ方（河原良雄）			
販賣と廣告とに就て	藤田篤（商工講座第一輯ノ内 大正二）		五一五	九四
販賣肥料調査展覽會成績報告	第六回 大正五 長野縣農會編	一	一四、イ	二五
販賣力增進策	圓城寺良 大正六	一	三五八	一七
槃礴胜話	森島長志 寫本	一〇	二〇五	一〇六
同	（日本畫談大觀上編畫論ノ内 大正六）		三五六	三一六
蠻舶圖繪	〔當時絶板ヲ命ゼラレシモノ〕	特一帖	ゑ	一六
汎發性腎臟炎	安藤重次郎 明治四三 （近世醫學叢書第二八編）	一	六〇	二九、ロ
番囃子手附大成	第三卷 岩崎菊翁編 大正一五	一〇	一六五	一九
半臂圖	寫本〔附 羽倉在滿稿大嘗會圖式、伊勢貞春考證ノ十德四幅袴圖、同水干考、松岡行義ノ裘代考アリ〕	一〇	二〇五	三四
判比量論	跋文 新羅、元曉述 （大日本續藏經第四七四册ノ内 明治四五）		三五	二
藩風と古城	内田茂文編 大正七	一〇	四一三	四八
萬物の世界（童話集一）	山村暮鳥 大正一一	一	五〇六	一五六
萬物皆戰ふ	長尾宗貽 大正一二	一	五〇四	二三四
漢堡ニ於ケル常設仲裁々判所	オットー・シマチエス著 藤江忠二郎等譯 大正一四（司法資料第七四號）	一	一四、五	五四

		冊	函	號
パンフレット	自然社發行 大正一三	一	三九三	六三〇
一	急進普選即行（布施辰治） 徹底普選即行（布施辰治）	一	二六三	二、九六
範文を基礎としたる鍛錬的綴り方新敎授法	大木喜代之進 大正六	一〇	二三四	一九四
飯峯詩集	淺見資深著 同倫太郎編 大正三	一〇	二三四	一九四
板本東鑑目錄	榊原長俊（國書刊行會本三十輯第二ノ内 大正六）		三三〇	六一
板本は國の寶	栗田寬（栗里先生雜著下卷ノ内 明治四三）		三	二四五、イ
ハンムラビ法典ノ研究	遊佐慶夫 大正一一	一	五一三	四七
斑猫	深尾須磨子 大正一四 （現代詩人叢書第一七編）	一	三八九	七八
煩悶解決法（日常生活）	グランヴイル著 變態心理編輯部譯 大正一二（通俗醫學叢書第三編）	一	五一六	一三
煩悶と自由	丘淺次郎 大正一〇	一	四五	五六八
煩悶と自殺	後藤城四郎 大正一〇	一	三九三	二五四
煩悶の象徵	厨川辰夫 大正一〇 （布教研究會講演集第一〇回ノ内）		三三四	五九一
煩悶病院	村上浪六（浪六全集第一七編ノ内 大正九）		七一	四八九、イ
同	（浪六全集第二五編ノ内 大正一五）		五五〇	五七
同			五五〇	五七、イ
播陽萬寶智惠袋（校訂）	名跡之部 天川友親編 大正七	一	三五四	八一
蠻勇豪語	押川春浪 大正三	一	三五〇	二五九
蠻勇强健法	土居聖軒 大正七	一	六一	三八
蠻勇論	上泉德彌 大正五	一	三六三	四七

		冊	函	號
氾濫	スキターレツツ著 梅田寬譯 （世界短篇小說大系露西亞篇下ノ内 大正一四）		五三〇	四五
萬里の長橋	ジヨウンズ著 宮森麻太郎譯 （英米近代劇一幕物十種ノ内 大正一五）		五一七	三三四
萬里の長城	上卷 中野江漢、小濱民照 大正一二 （支那風物叢書第三編）	一	五〇五	五六
判例及回答集	國民法律社編 大正一五	一	五三〇	二六一
判例及立法に於ける最近の傾向	牧野英一 （國勢院統計講習會講演錄ノ内 大正二）		五八	四八
判例公論	帝國判例公論社發行 第一卷第一號 （大正七年三月）	一	雜二	一五八
判例書式手形法要覽	梶康郎 大正一四	一	五三五	一三五
判例批評民事訴訟法	第一、二卷 山田正三 大正一二、一四	二	五一二	一五七
同	第一卷再版 大正一四	二	五一二	一五七、イ
判例批評錄	第一、二卷 雉本朗造 大正六、七	二	一四、七	一五三
判例民事法	第三、四卷（大正一二、一三年度）民事法判例研究會編 大正一四至一五（「判例民法」ノ改題）	二	五三〇	二四
判例民法	第二卷（大正一一年度）民法判例研究會編 大正一三（「判例民事法」ト改題）	一	五三〇	二四
判例理論ニ顯ハレタル	判例理論ニ顯ハレタル間接國稅犯則者處分法 附 攻究 前田鶴太郎 大正一一	一	五一六	二
販路調査報告書	支那香港比律賓英領海峽殖民地 北海道廳（山田勝伴）編 大正五	一	三三一	一八五
販路調査報告書	臺灣 北海道廳（加藤木保次）編 大正五	一	三三一	一八五

ヒ

		冊	函	號
火	吉田弘（自然界の話第三編ノ内 大正一二）	一	四〇八	一〇一
美	（能樂意匠）美工會編 大正三	一	三三五	三八二
悲哀より歡喜まで	畔上賢造 大正四	一	五一三	二六六
ビアズリ裝畫集	意匠美術寫眞類聚刊行會編 大正一一 （意匠美術寫眞類聚第一期第二輯）	一	五一五	二七
火あそび	ストリンドベルク著 楠山正雄譯 （近代劇選集第三卷ノ内 大正九）	二	八九	三〇
ピアノ演奏法	ヴアンテイン著 馬場二郎譯 大正一三	一	五一三	二六六
ピアノ技術の心理	ヴキリイ・バルダス 大正一四	一	五一八	二〇四
ピアノ敎則本	フエルデナンド・バイエル 大正四	一	三三七	二三
ピアノの構造と知識	附 オルガンの構造 中谷孝男 大正一五	一	五四七	二〇九
ピアノの撰定法并に其手當	福島琢郎 大正九	一	三九三	五六
ピアノの彈き方	ハーリエット・ブロウワア著 服部龍太郎譯 大正一四	一	五一八	一九一
ピアノの彈き方	ヨーゼフ・ホフマン著 牛山充譯 大正一一	一	三九五	二三五
ピアノフォオテ音樂史	蘭城社發行 大正一三	一	五一六	二六〇
第二編	古典曲時代（ウエスタービー著 朝田彰堂譯）			
ピアノ名曲解說	（彈き方と聽き方）白山清太郎 大正一〇	一	三九五	一六九
同		一	三九五	一六九、イ
火あぶり	鈴木泉三郎（現代戲曲全集第一九卷ノ内 大正一五）		五一〇	三五

ビーアド氏政治科學	ビーアド著 高橋清吾譯	大正一一	一	五〇三 三一二
ビーアド氏政治の經濟的基礎	ビーアド著 高橋清吾譯	大正一二	一	五〇三 二〇九
ビーアド博士講演集	東京市政調査會編	大正一二	一	五〇二 三三
同			一	五一〇 三三イ
ビーアド博士東京復興に關する意見	ビーアド著 東京市政調査會譯（市政調査資料第五號）	大正一三	一	一四五 六六
B型「パラチフス」菌ノ溶菌現象ニ關スル一二ノ補遺	丸山芳登（臺灣總督府研究所報告第三回ノ内）	大正一二		一四二イ 二八五
B乾電池	神勇三郎、富迫兼義（電氣試驗所調査報告第二六號）	大正一五	一	一四五 一〇イ
ビーズ手藝全書	安藤復藏	大正一五	一	五五二 一〇三
ビーズノ織り方	野村歌子、同千代	大正一五	一	四三三 二三〇
ビーズの手藝	長井エルザ	大正一四	一	五四〇 四九
ピイタアとアレキシス	メレジュコフスキ著 柳田泉譯（杜翁記念文庫第一五、一六）	大正一一	二	三五五 一〇〇
魚藤（ヒーデン）	「ドクフヂ」ヲ見ヨ			
米粉（ビーフン）ニ就テ	矢次萬六（臺灣總督府中央研究所工業部報告第一號ノ内）	大正一一		一四二イ 二八五イ
麥酒工業に關する化學分析法	大日本麥酒株式會社工務部試驗課編	大正八	一	三七二 三三
麥酒釀造用品評會報告	第三回 大日本麥酒株式會社目黒工場編	大正五	一	三二六 一四〇
火入ニ關スル事例	農商務省山林局編	大正二	一	三四四 一六五
ビウイク自動車操縱法	梁瀬長太郎編（梁瀬叢書第一編）	大正九	一	函 三九五 号 五
日向高千穗舊跡勝地案内	甲斐勝美	大正六	一	三三七 一〇四八
日向地名錄 第一	若山甲藏編	大正八	一	三八四 五六
比叡山延曆寺座主圓珍和尚傳	三善清行撰（大日本佛教全書第二八册ノ内）	大正七		三五三 一〇
比叡山夏期大學講演集（第一回）	木下寂善編	大正一一	一	三九七 四〇五
傳教大師と日本文化	（未廣照啓）			
文明と文化	（藤代禎輔）			
圖書館の最近施設	（和田萬吉）			
比叡山下の日吉祭	岩野泡鳴（泡鳴全集第一一卷ノ内）	大正一〇		五〇〇 一
比叡山元初祖師行業記	圓珍撰（大日本佛教全書第二八册ノ内）	大正七		三五三 一〇
比叡山最澄和尚法門道具等目錄	（大日本佛教全書第二册ノ内）	大正三		三五三 一〇
比叡山七堂伽藍及伽藍法規抄錄	信如述 寫本 五枚		一〇	八三〇 九九
比叡山寫眞帖	延曆寺發行 明治四五		一	九四 七七八
美瑛村史	照井八重治編	大正六	一	三四九 五〇六
比叡と熊野	若山牧水（自然と人生叢書第九編）	大正八	一	三一 六〇三
避疫要法	高野長英（仙臺叢書第七卷ノ内）	大正一三		五〇八 一三
稗草試驗報告	片倉健四郎（印刷局研究所調査報告第一〇號ノ内）	大正二		一四五 一三
日吉社々領注進記	（杉園雜集第四）		特一〇	八三〇 一〇六
日吉神社考證	栗田寬（栗里先生雜著上卷ノ内）	明治四三		三三 二四五イ

日吉神社志	守屋泰編	大正四	一	三七二 二〇九
ピエジンの草原	ツルゲエネフ著 生田長江譯（世界短篇小說大系露西亞篇上ノ内）	大正一四		五二〇 四五
ピエルとリユス	ロマン・ローラン著 野尻清彦譯	大正一三	一	五二九 一五五
美寫眞書集 第一輯	西村壽男編	大正一一	一	四二三 九四
美を味ふ心	森口多里（多利）	大正一一	一	二九五 二九一
炬を翳す人々	井手訶六	大正一四	一	五四四 一三一
火を戀ふ	谷崎精二	大正一五	一	五一七 五六三
美を戀ふものゝ思索	櫻井祐男	大正一五	一	五三六 二四七
火を焚きつける	ロンドン著 木村信兒譯（世界短篇小說大系亞米利加篇ノ内）	大正一五		五二〇 四五
火を等閑にせば	トルストイ著 衛藤利夫譯（トルストイ小說文庫第四編）	大正六	一	三六四 一〇三
美を護るもの	有島武郎（有島武郎全集第六卷ノ内）	大正一三		五二〇 七
火及火災（通俗講話）	日下部四郎太	大正二	一	三四二 三五三
飛行	帝國飛行協會發行 第一卷第一號（大正九年一一月）至第三卷第二號（大正一一年一二月）		四	雜 三二 五九
飛行一寸法師	セルマ・ラーゲルレーヴ著 香川鐵藏譯	大正一〇	一	三七七 二八
鼻腔及ビ副鼻腔疾患	久保猪之吉（日本内科全書卷四第一册ノ内）	大正一四		五三 九四
飛行家武石浩玻三十年の命	金井重雄	大正二	一	三四八 五六
飛行機	スツツケン著 森鷗外譯（鷗外全集第一二卷ノ内）	大正一二）		五一〇 一
同			特	五一〇 一イ
同			特	五一〇 一ロ
飛行機及自動車	上卷 金井武一	大正三	一	三四九 三五五
飛行機及自動車講義	金井武一	大正九	一	三八一 一一三
飛行機及飛行船	日本青年教育會編（青年文庫第三編）	大正七	一	三七五 一四
飛行機及飛行船圖說	河本清一	大正七	一	三六一 二七五
飛行機機體用ひのきノ代用材ニ就テ	森三郎等（（農商務省）林業試驗彙報第一五號ノ内）	大正一四）		一四二イ 一二五ロ
飛行機全書	附錄 京都市聯合飛行記事 武石浩玻	大正二	一	三四二 三七三
飛行機のお話	上甲二郎	大正一一	一	三八五 三三三
飛行機の構造設計及製作法	栗津實（航空叢書第一卷）	大正一五	一	五五五 四二
飛行機の實地設計	金井武一	大正四	一	三五一 八八
飛行機の進歩	仲木貞一譯（新智識叢書第五編）	大正四	一	三五 二四九
飛行機の持ち來りたる日米の親善	渡部一英編	大正五	一	三三三 一二三
飛行機法論	松波仁一郎（穗積先生還曆祝賀論文集ノ内）	大正四）		三五三 七〇
飛行機用發動機	内藤邦策	大正一〇	一	三八一 一四三
飛行機用發動機の原理及構造	淺見富藏	大正一〇	一	三八一 一三八
飛行機用麻布の抗張力のムラ	菱田唯藏（（海防義會）研究報告第五號ノ内）			一四五 一二六
飛行機ルムプラー及其機關	尾崎行輝	大正三	一	三七 三七一
飛行機ロオマンス	倉富砂邱	大正四	一	三六〇 二七一

		冊	函	號
飛行船に就て	濱部源次郎（京都經濟會講演集第六號ノ内 大正七）		三七二	五五
飛行船の話	濱部源次郎（懷德堂百科通俗講演集第一輯ノ内 大正一四）		一四、五	一四〇
同			一四、五	一四〇イ
飛行の女	江見水蔭 明治四五	一	三二九	一四二
鼻腔副鼻腔損傷及外科的疾患	細谷雄太 大正五（日本外科全書第五卷第一三冊）	一	五四	五七
飛行王（驚天動地—）	ハウバアト・ステリング著 高橋幸義譯 明治四五	一	二九	四一二
檜垣寺古瓦記	服部元喬（國書刊行會本三十輻第二ノ内 大正六）		三三〇	五一
美學	阿部次郎 大正六（哲學叢書第九編）	一	三五五	二〇
美學及藝術學概論	上、下卷 黑田朋信（鵬心） 大正六、七（趣味講座第一、六編）	二	三六九	八
美學概論	島村抱月（抱月全集第三卷ノ内 大正八）		三七九	一一
美學概論	パアカー著 柳井和助譯 大正一四	一	五四一	二二七
美學講話	石田三治 大正八（哲學講話第三編）	一	三九〇	八
美學各論	リップス著 稻垣末松譯 大正一一 九〇七頁	一	五一〇	五
比較刑法	小齋甚治郎編 大正一二	一	五〇二	二六四
比較研究歐米及日本の政治	藤原喜代藏 大正三 五〇〇頁	一	三五六	五三
比較研究高僧三傳弘法、親鸞、日蓮	松本露影 大正八	一	三二四	六一六
比較研究最新養蠶秘訣	桑野良夫編 大正九	一	三八〇	六一
比較研究七大健康法	松尾榮編 大正三	一	六一	一五六
比較研究實驗批判心身修養療法	檜山鐵心（鋭） 大正三	一	三四九	三四二
比較研究廿大强健法	加藤美侖編 大正七	一	六一	二二九
比較研究廿大金錢活用法	加藤美侖 大正九	一	三九五	一
比較研究六十三大家生活法	石上錄之助 大正八	一	三八七	一〇
比較憲法	下卷 副島義一 謄寫版 大正一三	一〇	一四	七二四
美學原論	大西克禮 大正六	一	三七〇	三一
美學原論	オスワルト・キユルペ著 藤井昭譯 大正一四	一	五四七	四六
美學草案	三木羅風 大正一三	一	三九三	六五五
比較宗教世界の宗教を觀る	加藤美侖 大正一二（人間叢書第六編）	一	五一五	三二
美學思潮	瀧村斐男 大正一一（最近思潮叢書第七編）	一	五〇〇	三三
美學上の先驗的方法	大西克禮（最近哲學の進歩ノ内 大正九）		三七〇	一三〇
比較人種學的美學藝術の始源	ヱルンスト・グローセ著 安藤弘譯 大正一〇	一	四五	五七一
比較心理學	ロイド・モルガン著 大鳥居弃三譯 大正三（大日本文明協會刊行書第二期第三九編）	一	三四三	五
比較綜合公民科教授の新研究	川本宇之介 大正一四	一	二七五五	二八
美學と生の興味	島村抱月（抱月全集第三卷ノ内 大正八）		三七九	一一
比較農業（農學研究—）	横井時敬 大正一五	一	五六三	一五
美學の根本問題	クライス・キユーン・クリシユタール著 渡邊吉治譯 大正一五	一	五五八	一五
美學の話	安島健 大正一二（吾等何を學ぶ可き乎第二期第五）	一	五〇五	三五
美學汎論	稻垣末松 大正一〇 六二四頁	一	四五	五六二

		冊	函	號
美學未定稿	島村抱月（抱月全集第三卷ノ内 大正八）		三七九	一一
日蔭草	靈玉 大正一四（飜刻）	一〇	一六二	一四四
同	大正一五	一〇	一六二	一四四イ
僻言調	戸田茂睡（國書刊行會本戸田茂睡全集ノ内 大正四）		三三〇	四九ぬ
東アフリカ經濟事情調査報告書	大阪商船株式會社（田島正雄）編 大正一五	一	五一八	二〇九
東磐井郡誌	岩手縣教育會東磐井郡部會編 大正一四	一	五三四	五二
東石見田唄集	三上永人編 大正一五（爐邊叢書第二二編）	一	三八九	二一
東宇和案内記	井尻義雄 大正九	一	三八四	一六〇
東宇和郡多田村保健衛生實地調査報告	附統計表 愛媛縣衛生課編 大正一三	一	一四、六八	一八五
東春日井郡誌	同郡役所編 大正一二 一三七七頁	一	五一九	六六
東葛飾郡案内	椎名宗康編 大正八	一	三八四	八四
東葛飾郡案内記	神田未緑（海之助） 大正三	一	三六〇	一八
東金砂神社志	東金砂神社編 大正八	一	三七二	三〇〇
東倶知安線建設概要	鐵道院北海道建設事務所編 大正八	一	三八〇	二六
東頸城案内	小林牧太編 大正三	一	三五〇	二九〇
東白川郡沿革誌	井上光一 大正一三	二〇	一六〇	一八七
東白川郡鮫川村誌	齋須初吉編 大正七	一	三五四	一一七
東白川村誌	苅田乙三郎等編 大正三 九〇八頁	一	三四九	四一八
東筑摩郡誌	圖付 信濃教育會東筑摩郡會編 大正八	一	三八三	四一
東成郡誌	大阪府同郡役所編 大正一一 一七六〇頁	一	五一九	四
東の子供へ	秋田雨雀 大正一〇	一	五〇一	一一
東房洲案内	龜田英良編 大正六	一	三七三	一一
東は東	エリツヒ・ブランダイス著 松浦美奈子譯 大正一四	一	五四四	一〇三
東伏見宮依仁親王殿下大正七年欽命御渡歐日記	南郷次郎編	一	三九八	九
東普魯西露軍豫定外の退却	昌平會編 大正六（歐洲大戰爭通俗講演集第二卷）	一	三七三	八四
東への道	ジヨーセフ・グリズマー著 岩堂全智、中村剛久譯 大正一二	一	五一七	二五六
東北海道の人物	渡邊源四郎（諤堂） 大正一五	一	五五四	一二六
東本願寺系圖	（眞宗全書續編第二三卷ノ内 大正五）		三四六	七
東松浦郡史	松代松太郎 大正一四	一	五三四	一〇八
東村山郡史	山形縣同郡役所編 大正八	五〇	一一	三〇六
同	續編卷一、二 大正一二	二〇	一一	三〇六
東牟婁郡誌擥要	保田美一編 大正四	一〇	一八六	一七三
東蒙古	同全圖付 關東都督府陸軍部編 大正四	一	三四八	二四七
同		一	三四八	二四七イ
東蒙古及滿洲ニ於ケル獸皮毛	朝鮮銀行調査局編 大正六	一	三二六	二四六
東蒙古天然曹達ニ就テ	牛塚吉次郎（朝鮮總督府中央試驗所報告第二回ノ内 大正六）		一四、二イ	三六二

	冊	函	號
東蒙古ニ於ケル天然曹達調査報告 小原守（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第三輯ノ內 大正五）	一四、二イ	四五一	
東蒙古の眞相 一覽圖（三・三×四・八）付 松本雋 大正二	一枚一	三四八	二三
東八代郡制史 山梨縣同郡役所編 大正一三	一	五一二	二一九
東山義民譽 寫本（勝進助芝居臺帳第三六）	二〇	一九一	七六五
東山畫集 東山書房編 大正一二、一三 第一 花鳥 第二 百虫 第四 流水 第六 百馬 第七 遊戲	五〇	四一六	七七
東山櫻莊子 寫本（臺帳叢書ノ內）	二〇	一二五	一八二
東山殿子日遊 近松門左衞門（近松門左衞門全集第一卷ノ內 大正一一）		五〇五	五八
同 近松門左衞門著 木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第六卷ノ內 大正一一）		五〇五	三六
同 近松門左衞門著 藤井乙男校註（近松全集第一卷ノ內 大正一四）		五二〇	四〇
同	特	五二〇	四〇イ
東山の麓より 成瀨無極（淸） 大正七	一	三七七	一一五
東山万句 各務支考編 藤井紫影校註（古俳書文庫第一三篇） 大正一四	一	五一五	一二九
東山名勝 東山名勝發行所編 大正一〇	一	一八六	三〇四
東山夜話 成瀨淸（無極） 大正一〇	一	五〇一	一八七
東山往來 （續群書類從第一三輯ノ下消息部ノ內 再版 大正一五）		八〇	二二一ロ
ピカソ 神原泰 大正一四（アルス美術叢書第三編）	一	五四一	六一
ピカソ作品集 中央美術社編 大正一五	一	三三七	四一四

	冊	函	號
ピカソと立體派 中川紀元 大正一一（世界現代作家選第七）	一	五〇五	二
鞞訶提經 羽溪了諦、甲斐實行譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第一〇卷ノ內 大正一三）		五一五	一〇四
氷川案內記 氷川村青年會編 大正九 五二頁	一	三九三	五〇
日歸り一二泊氣輕な旅 森曉紅（庄助） 大正一三	一	五一四	二〇一
日かへり一泊二泊近畿の旅と其附近めぐり 近畿遊覽社編 大正一二	一	五一四	一一四
光ある中に光の中を歩め トルストイ著 村山勇三譯（トルストイ全集第三卷ノ內 三版 大正九）		三九〇	三九
光あれ 姉崎正治 大正九	一	三八七	一五一
光を仰ぎて 蓮沼門三 大正一五	一	五三六	一九七
光を掲ぐる者 荒畑寒村 大正一五	一	五五一	二一二
光を慕ひて 妹尾義郎 大正一四	一	五三三	一一五
光りを辿る人々 森友道 大正一五	一	五三六	二一〇
光叢書 短歌研究會發行 大正一二至一四 第九編 綠葉歌集（大橋綠葉） 第一〇編 廣野の草（川島彰） 第一一編 竹聲集（大井田齊） 第一二編 高原の路（今井潔） 第一三編 空の明るみ（松倉水聲）	五	五一五	八五
光、電氣 吉田弘 大正一四（自然界の話第七編）	一	五一五	三四
光と影 正宗白鳥 大正一二	一	五一七	二二二
光と生物 藤浪剛一 大正七	一	三六一	二三八
光と其諧調 福原信三 三版 大正一二	一	五一三	一二一

	冊	函	號
光に背く（創作） 安部賴實 大正一四	一	五二二	一七一イ
光に養はれて 金子白夢 大正一一	一	五〇六	二二
光の畫家モネエ アルセーヌ・アレクサンドル著 村松正俊譯 大正一二	一	五一三	一四一
光の献詞（第一詩集） 竹內勝太郎 大正一三	一	五二九	四二
光の構造 太田代唯六 大正一五 三五頁	一	四六	三〇四
光の世界 柳淸美 大正六	一	三五七	二四二
光の巷（脚本） 佐藤紅綠 大正六	一	三六四	三五一
光の都 エヴリン・アール・ガラット著 廣田花崖譯 大正一五	一	五三三	二五〇
光の門 ダンセニー著 松村みね子譯（近代劇大系第九卷英及愛蘭篇ノ內 大正一三）		五一五	二六
同 （近代劇大系第九卷英及愛蘭篇ノ內 大正一四）		五一五	二六イ
光は東方より 北吟吉 大正七	一	三七六	一九二
光源氏の一生 高須梅溪（芳次郎） 大正六	一〇	一八六	二〇八
光る生物 神田左京 大正一二（自然科學叢書第一編）	一	五一五	四九
彼岸過迄 夏目漱石 大正元	一	三二九	一五〇イ
同 再版 大正元	一	三二九	一五〇
同 （漱石全集第五卷ノ內 大正七）		三六九	一二
同		三六九	一二イ
彼岸鈔見聞 日朝（日蓮宗宗學全書ノ內 大正一三）		三五三	三〇ほ
彼岸通俗辨 玄道	一〇	一〇二	一九八

	冊	函	號
ビガンデー氏緬甸佛傳 ビガンデー英譯 赤沼智善重譯 大正三 五〇六頁	一	三二四	四二四
美感に就いての觀察 高山樗牛（樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內 一四版 大正元）		四五	三一六ヘ
同 （增補縮刷樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內 五版 大正三）		四五	三一六ト
同 （增補縮刷樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內 七版 大正四）		四五	三一六チ
同		四五	三一六リ
彼岸の世界 金子大榮 大正一四	一	五一一	一一五
彼岸の光 マーテルリンク著 木村莊太譯 大正八	一	三八八	一四一
同 マーテルリンク著 鷲尾浩譯（マーテルリンク全集第六卷ノ內 大正一〇）		三九〇	五一
彼岸の夕 額田六福（ふたば集第二卷ノ內 大正一〇）		三九六	三
避寒漫抄 山本北山（信有）自筆 寫本	一〇	二別	七
引菓子畫帖 井上炳司 大正一〇	一	三九五	一五五
批記集 佛書刊行會編（大日本佛教全書第二八册ノ內 大正七）		三五三	一〇
引伸寫眞術 中島謙吉 大正一二	一	五一六	一五五
祕笈 （水戶藩關係文書第一床井親德手記ノ內 大正五）		三二八	三七九ほ
祕笈歌詞 （水戶藩關係文書第一床井親德手記ノ內 大正五）		三二八	三七九ほ
祕笈御廟算高松 （水戶藩關係文書第一床井親德手記ノ內 大正五）		三二八	三七九ほ
祕笈雜錄 （水戶藩關係文書第一床井親德手記ノ內 大正五）		三二八	三七九ほ
祕笈詩歌 （水戶藩關係文書第一床井親德手記ノ內 大正五）		三二八	三七九ほ
引札畫帳（新版） 瀨原捨松編 大正一五	一	四一四	三九

引札見本帳（新版）　瀬原拾松編　大正元　同　大正二

秘笈日錄　（水戸藩關係文書第一床井親徳手記ノ内　大正五）

秘笈筆叢　（水戸藩關係文書第一床井親徳手記ノ内　大正五）

秘笈聞見漫筆　（水戸藩關係文書第一床井親徳手記ノ内　大正五）

飛脚問屋記錄　寫本〔大阪定飛脚仕法書ナリ〕

飛脚仲間惣まくり　寫本

秘曲集要　寫本

卑金屬觸媒に依る「アンモニア」の接觸的酸化　第一、二報　内田俊一　大正一三、一四（臨時窒素研究所報告第七、八號）

飛禽の跡　角張東順（月峰）　大正一三

比丘清經　羽溪了諦、甲斐實行譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第一〇卷ノ内　大正一三）

微苦笑藝術　久米正雄　大正一三（感想小品叢書第三編）

樋口一葉美辭名句集　賣文社編　大正六（内外文豪美辭名句叢書第一六集）

樋口一葉論　湯地孝　大正一五（國文學研究叢書第六編）

比丘聽施經　東晉、曇無蘭譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部ノ内　大正一四）　同　西晉、法炬譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部ノ内　大正一四）

比丘避女惡名欲自殺經　（大正新脩大藏經第一四卷經集部ノ内　大正一四）　同

日暮帖　吉田知光編　大正一一

ピクリン酸の用途　小野安堯（通俗火藥講演會速記錄第四回ノ内　大正八）

比丘六物圖私記　日遠撰（大日本佛教全書第七四册ノ内　大正一〇）

比丘六物圖私抄　仙祐撰　三卷（大日本佛教全書第七四册ノ内　大正一〇）

美光　大阪白木屋吳服店編　大正一一

微光　加能作次郎　大正一一

微光　正宗白鳥（白鳥傑作集第一卷ノ内　大正一〇）

備荒儲蓄沿革　大藏省特別資金課編　寫本

鼻科學　下卷　久保猪之吉　大正二

鼻科學纂錄　岡田和一郎　明治四四（近世醫學叢書第四五編）

砒化水素泉入浴早わかり　中島伴治郎　大正一四　六〇六號浴療法　七一頁

砒化水素泉の新發見　一名　中島伴治郎著　横田敬三等補　大正一〇　同　訂三版　大正一三

悲願千人斬　下村悦夫　大正一五

ひげ　北村箐子　大正一五

非敎育者の敎育論　二荒空山（芳德）　大正六　同　三版　大正四（空山文集第一輯）

悲劇サツフオー　グリルパルツエル著　中島清譯（古典劇大系第一二卷獨逸篇三ノ内　大正一四）

悲劇の出生　ニイチエ著　金子馬治（筑水）譯（現代哲學第三編ノ内　大正四）

册	函	號	
一	四〇七	五七	日
二〇	四〇七	五七イ	同
	三三八	三七九ほ	比
	三三八	三七九ほ	秘
	三三八	三七九ほ	秘
特三〇	一九三	一二七	飛
二〇	二〇五	二七九	飛
一〇	一〇六	二九三	備
一	一四三	四七七イ	鼻
一	一五一	八一	鼻
一	五二五	一〇四	砒
一	五一五	一一八	砒
一	三六四	一二六	微
一	五四五	二三	悲
特	四四	三七四	樋
	八六	三九一	樋
特	四四	三七	比
	四四	三七	比
	八六	三九一	悲

册	函	號	
一〇	四三	八八	日
	三七二	三一九	ピ
	三三五	一〇	比
	三三五	一〇	比
	四三三	八二	美
一	五〇六	一五二	微
	五〇〇	四八	微
一〇	二〇五	一九六	備
一	一五八	三五	鼻
一	六〇	三九ロ	鼻
一	三九三	七二八	砒
一	六〇	七〇九	砒
一	六〇	七〇九イ	同
一	五一七	五六七	悲
一	五三六	一八一	ひ
一	二五三	一六三	非
一	五三九	六四	同
一	五三九	一	悲
	三四五	八	悲

悲劇の眞髓　（カーレン）青山樗堀（現代倫理思潮第一輯ノ内　大正四）

悲劇美の美學　ヨハンネス・フオルケルト著　金田廉譯　大正一四

悲華經　北涼、曇無讖譯　一〇卷（大正新脩大藏經第三卷本緣部上ノ内　大正一三）　同

悲劇論　島村抱月（抱月全集第三卷ノ内　大正八）

火消御役宅日記　内田善右衛門　寫本〔日光山火之番日記ナリ〕

尋題目　泉鏡花（鏡花全集第二卷ノ内　大正一五）　同

非結晶性多孔質無水硅酸（硅酸げる）ノ製法及ビ其ノ應用試驗　中林朝吉、山田漸（大正一四）（大阪工業試驗所報告第六回第七號）　同

秘訣傳授心身健康法の實驗　森田榮太郎　大正六

碑碣法帖談　唐、孫過庭書譜等付　樋口勇夫　明治四五

罷業と怠業　野口直人　大正八（最新學藝叢書第六編）

ビゲロウの性敎育　利光仙譯　大正一三（世界敎育敎授新潮叢書第七編）

飛鴻遺影　藤澤南岳（恒）著　同元造編　大正一一　二二枚

美工會作品展觀圖錄　同會編　大正一〇

飛鴻片影　上野鏖三郎編　大正一二

肥後鹿兒島西南夢物語　（西郷戰爭、神風連等ノ圖）　芳年等畫　明治九至一一　八四枚

肥後金工錄　長屋重名著　小倉惣右衛門編　大正一四

肥後隈本戰記　（國史叢書軍記類纂ノ内　大正五）

肥後國誌（增補校訂）　上　後藤是山編　大正五

彦山大峰葛城峰戶帳札御供覺　宗海記（日本大藏經第三七卷ノ内　大正八）

彦山權現誓助劍　梅野下風、近松保藏（時代狂言傑作集第四卷ノ内　大正一五）

彦山權現誓助劍　梅野下風、近松保藏著　松山米太郎校（淨瑠璃名作集上卷ノ内　大正一一）

彦山修驗最祕印信口決集　（日本大藏經編纂會編　日本大藏經第三七卷ノ内　大正八）

彦山修驗道祕決灌頂卷　（日本大藏經第三七卷ノ内　大正八）

彦山修驗傳法血脈譜　（日本大藏經第三八卷ノ内　大正八）

彦山修驗傳法嗣法譜　（日本大藏經第三八卷ノ内　大正八）

彦山修驗祕決印信集　卽傳撰（日本大藏經第三七卷ノ内　大正八）

彦山勝景詩集　相有編　正德五　七卷

彦山峰中記　有淦記（日本大藏經第三七卷ノ内　大正八）

彦山峰中灌頂密藏　卽傳纂（日本大藏經第三七卷ノ内　大正八）

彦島大觀　加瀨谷彌一　大正一五

彦島下關名勝の栞　田中市之進編　大正一五

肥後書畫名鑑　永田勝馬（竹碧）編　大正一五

肥後眞宗先哲研究叢書　光恩寺發行　大正一五　第一編　肥後桃花派の偉人實道の生涯　（佐々木憲德）　同　第一編　大正一五

册	函	號	
一	四〇七	五七イ	悲
一	五一〇	一二四	悲
特	四四	三七四	悲
	八六	三九一	悲
	四四	三七	悲
	五二〇	四四	火
一〇	一八九	三七四	尋
	五二〇	四四イ	同
	五二〇	四四イ	非
	一三八九	三	ビ
一	二五九	六三	ビ
一〇	一一	五六二	飛
一	六一	二六	美
一	三四二	三六	碑
一	三八九	三	罷
一	二五九	六三	ビ
一〇	一一	五六二	飛
一	六一	二六	美
一	三四二	三六	碑
一	三八九	三	罷
一	五五四	九四	彦
一	五五六	六五	彦
一〇	一七三	七七	肥
一	五四八	五〇	肥
一	五四八	五〇イ	同

		冊	函	號
日ごとの心得	畑銀鷄編	一〇	一五八	九七
肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴	濱田耕作、梅原末治 大正六（京都帝國大學文學部考古學研究報告第一册）	一	一四五	三
彦根案内	彦根實業同志會編 大正六	一	三三九	九三
彦根高等商業學校一覽	第一年度（大正一二年度）至第四年度（大正一五年度）同校編 大正一三至一五	四	二九三	三三
〔彦根測候所〕氣象二十年報	明治二九至大正四年 滋賀縣彦根測候所編 大正六	一	一四、一六	六八 イ
彦根藩制改革條件	寫本	一〇	一二三	一四八
肥後の菊池氏	植田均 大正七	一	三五四	九二
肥後の勤王	後藤是山 大正四	一	三四八	二九四
肥後國宇土郡轟村宮莊貝塚人骨報告	濱野謙次（京都帝國大學文學部考古學研究報告第五册ノ内） 大正九		一四五	三
肥後國宇土郡轟村宮莊貝塚發掘報告	濱田耕作、榊原政職（京都帝國大學文學部考古學研究報告第五册ノ内） 大正九		一四五	三
肥後の四大賢婦人と孝子傳	渡邊尙廣 大正一〇	一	三九六	二六三
肥後の米券倉庫	附 産米販賣時期の研究 山崎豊吉 大正二二	一	五一三	二〇〇
ひこばえ（歌集）	松田常憲 大正一五（水甕叢書第一〇編）	一	五一五	六八
肥後藩國事史料	小橋元雄編 大正二 三五卷	九	三四二	四八三
肥後藩之陽明學	上妻博之 大正一〇	一	三九七	一三

		冊	函	號
彦部村誌	岩手縣紫波郡同村役場編 大正一〇	一	三八三	一二
彦火火出見卓紙	卷一至四 春日光長畫 大正一三（模刻）	一〇	四三三	一六三
肥後物語	龜井道載（日本經濟叢書卷一五ノ内 大正四）		三四六	一八
美桑	第一至八回 美桑會編 大正九至一三	〇 六	四三三	一六
美裝	京染吳服悉皆同業組合編 大正一四	一〇	四一六	一九
祕藏記	空海撰（日本大藏經第四七卷ノ内 大正九）		三五三	六
祕藏記私鈔	杲寶撰（日本大藏經第四七卷ノ内 大正九）		三五三	六
脾臟疾患	中野次郎（内科學第二卷ノ内 大正七）		五三	一三六
同	西川義方（内科學第二卷ノ内 三版 大正一一）		五三	一三六 イ
同	（内科學第二卷下ノ内 四版 大正一四）		五三	一三六 ロ
祕藏傳心	寫本（茶道叢書第七一册）	一〇	八三三	五四
祕藏寶鑰の大綱	金山穆韶 大正一三（密教の教相第一編）	一	五二一	七六
祕藏錄	卷一、二、八至一〇、一五（仙臺叢書第一〇卷ノ内 大正一五）		五〇八	一三
美艸錄	松平賴該（金岳公子著書集ノ内 大正四）		三四八	三〇六
久堅町にて	安井哲 大正四	一	三六〇	一二九
備作農家年中行事	岡山縣農會編 大正九（同會彙纂第一八號）	一	一四、二	四八五 イ
ひさご集	中野いさ子 大正一五	一	五一七	四九七
膝に飛び付く女	岩野泡鳴（泡鳴全集第四卷ノ内 大正一〇）		五〇〇	一
尾參遠郷土史論	日本歷史地理學會編 大正六	一	三四九	四六〇

		冊	函	號
ビザンチン文化と建築	森口多里（多利）、木村幸一郎 大正一四（建築文化叢書第五編）	一	五〇五	三
眉山美文集	川上亮 大正元	一	三三八	九八
非宗教的信仰	檜山鋭 明治四五 八〇頁	一	三三七	六三九
尾州御領分中寺社領附	寫本（天保八年ノ定メナリ）	一〇	一六六	二六九
非修刪阿彌陀經	履善（眞宗全書續編第三卷ノ内 大正五）		三四六	七
尾州宗門改一件書類	寫本	二〇 三〇枚	二〇三	一〇三
肥州名勝略記	寫本	一〇	一二五	二三六
尾州領郷帳	寫本	八〇	一六六	八八
菱川月次乃あそひ	菱川師宣畫 稀書複製會編 大正一〇（複製）	一〇	一四六	一五〇
菱川餘景作り庭北圖	稀書複製會編 大正八（複製）	一〇	一五	三八六
菱刈史	有川國千賀編 大正一三	一	一五九	一三
美識論	ジョーヂ・サンタヤナ著 鷲尾浩譯 大正一〇	一	五〇三	一六
祕事指南車	三卷（國書刊行會本雜藝叢書第二ノ内 大正四）		三三〇	四九 ち
菱田春草	新古畫粹社編 大正八（新古畫粹第八編）	一	四二一	一
ビジネス日記	番頭連 大正五	一	三三九	六四〇
非時文摘紕	橘本稻彦（國書刊行會本百家隨筆第三ノ内 大正七）		三三〇	五三
美辭文範（評釋）	本間久雄 大正九	一	三三八	三六七
祕事法門集	山田文昭編 一二卷（眞宗大系第五ノ内 大正七）	三六九		一五 ほ
秘事末毛之部	壽達翁（壽堂餘錄萬物藏第四五册）	一〇	二四五	三三七

		冊	函	號
非常委員會	ドローズドフ著 梅田寬譯（世界短篇小說大系露西亞篇下ノ内 大正一四）	五二〇		四五
非常時	岩野泡鳴（泡鳴全集第一卷ノ内 大正一〇）	一	五〇〇	一
非常識論	蒼海樓主人 明治四五	一	三四二	一四六
非正統傳	大慶玄智（眞宗全書第三四卷ノ内 大正二）		三四六	七
非常之節御立退	寫本（堀大和守同石見守留書第三）	一〇	一五八	五九
飛錫凌空日記	中里日勝 大正九	一	三九七	四三
眉壽雅集	柳井貴三編 大正八	一〇	一五〇	五〇
美術	七面社發行 第一卷第一號（大正五年一一月）至第一卷第一二號（大正六年一〇月）	二	雜三三	三一
美術行脚	齋藤隆三 大正一〇	一	三九五	一七九
古社寺めぐり	竹内逸 大正一四	一	五四一	一三〇
美術音樂藝術時代	能勢律編 大正七	一	三一	七六一
美術界鵜の目鷹の目總まくり	櫻井恒次郎 大正二	一	三三一	七三
美術解剖學の栞	大正一四 木村莊八（科學文化叢書ノ内）	一	五四七	六九
美術講座	親交研究會編 大正一五	一	五六四	一八三
美術講話集	第一輯 我國に傳へたる支那古代の繪畫（瀧精一）雪舟の話（笹川臨風）書畫骨董に關する雜話（市島謙吉）名物茶器の見方（今泉雄作）繪畫玩賞形式の變遷（大村西崖）埃及の美術に就て（奧田誠一）長次郎と光悦とノンコウの話（松山米太郎）小堀遠州に就て 上（松山米太郎）	一	三九五	九一
美術家の欠伸	山本鼎 大正一〇		三九〇	四一
美術家の妻	モウパッサン著 矢口達譯（モウパッサン全集第九卷ノ内 大正一〇）			

		冊函	號
美術倶樂部目錄	〔大正二年以降七年間〕	三〇	八 三八〇
美術書集	洛陽堂發行 大正一〇	二	五〇九 七
第一篇	セザンヌ（木村莊八編）		
第二篇	デューラー（同）		
美術建築 應用圖集	蘆部米太郎編 大正六	一	四二 四〇
美術建築圖譜	車崎俊藏編 大正四	二	三五九 三八
美術工藝 佐賀錦製織法	東京婦女會編 大正九	一〇	一八六 二七四
美術工藝展覽會圖錄	第一回 京都美術工藝會編 大正一四	一〇	二〇三 一三五
美術工藝名作集	一名美術工藝百科辭典 第一帖 美術工藝新聞社編 大正一二	一	六三 二四〇
美術工藝論	權田保之助 大正一〇	一	三九五 八五
美術工業論	市川數造 大正三（最近經濟問題 第二〇卷）	一	三三〇 四
美術公論	美術公論社發行 第一卷第一號（大正九年五月）至第三卷第一號（大正一一年一月）	二	雜 三三 三六
美術壯觀	小林天風 大正二	一	三四九 四六
美術聚英	第九至一一、一三至二四册 審美書院發行 大正二	一〇	四一〇 六
美術辭典	石井柏亭（滿吉）等編 大正三	一	八五 三三五
同		一	八五 三三五 イ
美術上の基督	加藤一夫譯 大正六	一	三六一 二五三
美術寫眞畫報	博文館發行 第一號（大正九年一月）至第一〇號（大正九年一〇月）	二	雜 三三 三三
美術趣味の常識	加藤美命（日本畫談一） 大正一二 九四頁（人間叢書第一一編）	一	五一五 三三
美術選集	靜岡縣圖書教育研究會編 大正一五	一	五六三 一四
美術年鑑	（大正一四年版） 美術年鑑編纂所編 大正一四	一	五六八 二七
美術の秋	有島生馬（壬生馬） 大正九	一	三九五 六九
美術の鑑賞に就て	濱田耕作（青陵）（京都女子高等專門學校特別講義錄第一、二輯ノ內 大正一〇）	一	三九七 一三〇
美術の都	澤木四方吉 大正六	一	三六一 二一七
同	訂再版 大正一五	一	三六一 二一七 イ
美術寶鑑	法然傳繪詞略 卷一至一〇 田中有美編	二	四二三 七六
美術名鑑	千葉縣圖書教育會編 大正一五	二	三三七 四〇八
美術より觀たる日光	伊東忠太（史蹟名勝天然記念物保存協會第三回報告（日光）ノ內 大正四）		三三五 イ
同			三三五 ロ
避暑案內 夏乃旅	田中秀明編 大正四	一	三三九 五七九
非訟事件手續總攬	谷井辰藏、鹽冶高輝 大正一二 五〇〇頁	一	五一三 一八五
非訟事件ノ概念ヲ論ズ	中島弘道（橫田博士還曆教授二十五年祝賀記念論文集ノ內 大正一〇）		五一三 四三
比色的水素イオン濃度測定法及其實際的應用	附 微生物學と水素イオン濃度 安藤洪次 大正一五	一	五五三 四六
祕書官	岩野泡鳴（泡鳴全集第四卷ノ內 大正一〇）		五〇〇 一
聖親臺	岩尾僧梁 大正六	一	三三五 五〇八
聖遊廓	（國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ內 大正三）		三三〇 四九 ろ
鄙事錄	寫本	一	一八九 三五五
美人	岩野泡鳴（泡鳴全集第八卷ノ內 大正一〇）		五〇〇 一
美人合	豐國畫	三	七別 五
美人合	（平安名家文化畫譜トモ） 南岳豐彥等畫 文化四	特	一〇 へ 五〇
美人繪盡	菱川師宣畫（日本風俗圖繪第一輯ノ內 大正三）	特	一九五 一七六
同			一九五 一七六 イ
美人顏之雛形三十二相（繪本）	上、下 奧村政信畫 〔江戶おやま繪本美人扇德三十二相トモイフ〕	二	別 三 六
美人畫講話	鏑木清方（新日本畫分科講話ノ內）		三五六 一一〇
美人畫帖	〔歌川國直畫〕 二四枚（狂歌集ノ口繪ヲ集メタルモノ）	特	帖 京 三五四
美人畫錦繪帖	歌麿等畫 三四枚	特	軸 四一〇 二〇
非進化論と人生	石川三四郎 大正一四	一	三三五 三三八
美人禪	笛岡清泉 大正四（禪門叢書第二編）	一	三三五 三七八 ろ
美人傳	長谷川時雨（康子） 大正七	一	三七六 一五一
美人の圖	（長繪） 勝川春扇畫	一	軸 別 七 一一三
美人の圖	（うぐひすとすり餌） 北溪畫	一	枚 別 七 八九
美人の圖	（角擂物） 龍齋畫	一	枚 別 七 一〇〇
美人文學（百姿千態）	辻井亨（芝園隱士）編 大正二	一	帖 三三八 二四五
美人名所合	尾形月耕畫 三七枚	一	帖 三三四 九四
翡翠	室生犀星（照道） 大正一四	一	三五八 一八七
非氷一般應用圖案集	杉浦非水（朝武） 大正一〇	一	四三三 五七

		冊函	號
美術叢書	岩波書店發行 大正一三、一五	二	五八 二六
第一編	現代の美術（シュミット著 板垣鷹穗譯）		
第二編	オランダ派フランドル派四大畫家論（ボーデ著 關泰祐譯）		
美術叢書	向陵社發行 大正五	九	三五 三六
い第一輯	印度太古史（ラプソン著 山下祥光譯）		
ろ第二輯	西洋美術史（ブラウン著 石井直三郎譯）		
は第三輯	埃及美術史（ペトリー著 石山徹郎譯）		
に第四輯	日本美術史（ヂック著 姑射若氷譯）		
ほ第五輯	日本版畫史（ザイドリッツ著 蘇武綠郎譯）		
へ第六輯	印象派の畫家（モークレール著 柳澤健譯）		
と第七輯	埃及建築史（ベル著 石山徹郎等譯）		
ち第八輯	立體派と後期印象派（エッヂイ著 久米正雄譯）		
り第九輯	印度美術史（クーマラスワミ著 蘇武綠郎等譯）		
美術叢書	美術叢書刊行會發行 大正五至八	八	三六四 九八
第一編	宗達と光琳（春山武松）		
第二編	圓山應擧（姑射若氷）		
第四編	池大雅（相見繁一）		
第五編	文展十年（青木小四郎）		
第六編	現代美術（笹川臨風）		
第七編	光悅と乾山（春山武松）		
第八編	浮世繪（小林壽一）		
第九編	日本の風景畫（同）		
美術談	島村抱月（抱月全集第三卷ノ內 大正八）	三七九 一一	
美術的建築	サー・ウイリアム・チエンバース著 中村與資平譯 大正六	一	三六五 六五
美術と音樂の知識（趣味叢書）	加藤美命（人間叢書第九編） 大正一三	一	五一五 三三
美術と自然	滯歐手記 石井柏亭（滿吉） 大正一四	一	五三四 八〇
美術と社會	岩村透 大正四（趣味叢書第一二編）	一	三四〇 二九
美術と文學	ラスキン著 澤村寅二郎譯 大正二 六〇八頁	一	三四九 一七四
美術と文藝との暗示による	フランスの修身教授 ミラトンスファーゲ著 大和資雄譯（世界教育教授新潮叢書第九編） 大正一三	一	五 三五九 六三

非水花鳥圖按集	杉浦非水(朝武)	大正六	一	三三三	五八イ
同			一	三三三	五八ロ
非水創作圖案集	杉浦非水(朝武)	大正一五	一	四二	六五
非水圖案集	第一輯 杉浦非水(朝武)	大正四	一	三三三	三七
非水百花譜	第一至三輯 杉浦非水(朝武)	大正九、一〇	特二	四二三	四三
「ヒスチゾン」ニ就テ	第一報 山川洵、關根豐(水產講習所試驗報告第一〇卷第三册ノ內 大正三)		一	四二、イ	四五七イ
同			一	四二、イ	四五七ロ
ヒステリーの研究と其療法	杉江董	大正四	一	六〇	三六〇
ひすてりーノ療法	三宅鐵一	大正七	一	五三	一四一
ビスマーク	肝付兼行、常田宗七(偉人傳叢書第八册)	大正四	一	三四六	一三
ビスマーク(鐵血宰相ノ)	久保天隨(偉人叢書第三編)	大正三	一	三七	三五七
ビスマーク叢島ニューアイルランド諸泊地					
第一	水路部製	大正九	一枚	洋	二七九
ビスマルク逸傳(鐵血宰相ノ)	西澤富則	大正三	一	三五〇	二八一
ビスマルク演說集	上、中、下卷 森孝三編	大正八	三	三七〇	七九
ビスマルクとドイツ帝國の建設	齋藤文藏(時事叢書第五編)	大正三	一	三五五	一
美制會	第一、三至五回 同會編	大正一〇至一三	一	四六	二四三
美聲法及雄辯法	金杉英五郎	大正二	一	三二九	二九九
微笑	佐藤紅綠(治六)	大正九	一	三九一	二九九

微笑	豐島與志雄(傑作叢書第二編)		一	三九〇	四
微笑拒絕	角田竹夫	大正一二	一	五一七	一五四
微笑と嘲笑	(第二譯著集) 大田黑元雄	大正九	一	三八六	三九
非少年法案論	小河滋次郎編	大正九	一	三七二	三四一
微笑の沼(詩集ノ)	中條辰夫	大正一五	一	五一七	三二
ビゼー傳	吉田二郎	大正一一	一	五一三	三六
秘繕日本書紀大觀	大阪每日新聞社編	大正一五(複製)	帖七軸五	ニちニ	
神代卷 上殘卷					四〇
推古天皇紀					四一
仁德天皇紀					四二
應神天皇紀					四三
皇極天皇紀					四四
履仲天皇紀、反正天皇紀、允恭天皇紀、安康天皇紀					四五
神代卷 上、下					四六
應神天皇紀					四七
雄略天皇紀					四八
繼體天皇紀					四九
用明天皇紀、崇峻天皇紀、推古天皇紀					四七
清寧天皇紀、顯宗天皇紀、仁賢天皇紀、武烈天皇紀、繼體天皇紀					四七
微積分概念	微分編 田島正一	大正一四	一	五四二	一五七
同			一	五四二	一五七イ
同	積分編	大正一五	一	五六三	一〇四
微積分學講義	上野清(新撰百科全書第九七編)	大正一	一	七八	九二
備前窯陶誌	岡上爲右衛門(木鹿)編	大正一四	一〇	一六二	一一二
備前織物の今昔	備前織物同業組合編	大正八	一	三八六	五三

肥前崎陽玉浦風景之圖	歌川貞秀畫		一帖	忝	一四八
備前軍記	土肥經平(吉備群書集成第三輯ノ內	大正一一)	一	三九九	一四
同	(國史叢書軍記類纂ノ內 大正五)		二	四〇	三一つ
備前古城繪圖	(吉備群書集成第一輯ノ內 大正一〇)		一	三九	一四
肥前磁器の創業期	鹽田力藏	大正一〇 四三頁	一	三九七	九七
備前常山軍記	(國史叢書軍記類纂ノ內 大正五)		二	四〇	三一つ
肥前陶窯の新研究	上卷 大宅經三	大正一〇	一	三九五	二三五
備前日蓮宗沿革史	沼田賴輔 寫本		一	一〇	一三〇
備前國繪圖	(吉備群書集成第二輯ノ內 大正一〇)		一	三九九	一四
備前國高藏神社新嘗祭の遺風	附、信濃善光寺內年神堂の事 栗田寬(栗里先生雜著上卷ノ內 明治四三)		一	三三	二四五イ
	平賀元義(吉備群書集成第二輯ノ內 大正一〇)		一	三九九	一四
肥前國千々石灘地震略報	大正一一年一二月八日長崎測候所編 大正一二 一二頁		一	一四、六	三二〇
肥前國輿地全圖	寫本 七·二×五·七		一	三九五	二三五
肥前肥後叢書	寫本 〔書中精巧ノ圖畫アリ〕		一	三九七	九七
肥前風土記纂注	糸山貞幹 寫本		一	三〇二	一八三
備前文明亂記	(續群書類從第二三輯ノ下合戰部ノ內 大正一三)		一	八〇	三三
同	大正四、五(飛驒叢書第四、五編)		一	八〇	三三イ
備前文明亂記	目黑祐欣(吉備群書集成第三輯ノ內 大正一一)		一	三九九	一四

備前名所記	土肥經平(吉備群書集成第一輯ノ內 大正一〇)		一	三九九	一四
非會非俗集	高田集藏 大正一一		一	五〇四	四四
飛驒案內	富山縣主催聯合共進會飛驒國出品協會編 大正二		一	三三九	二六一
日田案內記	千原豐太 大正五		一	三三九	八〇九
飛驒遺乘合府	桐山力所(飛驒叢書第三編)	大正三	一	三二六	一二四
譬稻性辨	山田文藏(日本經濟叢書卷二一ノ內 大正五)		二	四六	一八
比島のアバカ(馬尼剌麻)	藤村誠太郎譯編(臺灣總督府商品陳列館報第二號)	大正八	一	四、二	八六
比島の現狀に關する米國特派調查委員の報告	臺灣總督官房調查課譯(南支那及南洋調查第七四輯)	大正一二	一	四、二イ	四七八
比島の製帽業	藤村誠太郎編(臺灣總督府商品陳列館報第六號)	大正一〇	一	四、二ハ	八六
飛驒高原鄉村路次圖	寫本		特軸二	一四三	一七一
日高十勝の記憶	岩野泡鳴(泡鳴全集第一一卷ノ內 大正一〇)			五〇〇	一
日田郡自治民育資料	大分縣同郡役所編 大正四		一	三三七	七八六
飛驒國中案內	上村木曾右衛門編(飛驒叢書第六編)	大正六	一	三二六	一三四
斐太後風土記	上、下 富田禮彥(大日本地誌大系第七、一〇册)	大正四、五	二	三五三	二二
同	大正四、五(飛驒叢書第四、五編)		二	三二六	一二四
飛驒山川	岡村利平 改版 大正一五		一	五五六	五九
飛驒叢書	住伊書院發行 大正三至一〇		五	三二六	一二四
	第三編 飛驒遺乘合府(桐山力所)				
	第四、五編 斐太後風土記 上、下卷(富田禮彥)				

		冊	函	號
第六編　飛驒國中案內（上村木曾右衞門編） 第八編　飛驒編年史要（岡村利平）		一〇	一一	三三一
飛驒探勝	向島璽之助　大正九			
常陸帶	藤田東湖（彪）四卷 （修養文庫第一編覆哲傳上ノ內　大正八）	一	三七五	三五
同	（日本偉人言行資料ノ內　大正六）	一	三五五	八よ
同	（抄）（勤王文庫第四編ノ內　大正八）	一	三七九	九
日立鑛山	綿引遠山、酒井鋒滴　大正四	一	三三九	六〇〇
常陸三濱市街全圖	附　平磯漆磯濱大貫各町村信用家名鑑案內　鈴木藥發行　大正三 一·七×二·五	一枚	八九	二一
常多賀郡史 陸	同郡編　大正一二　七三〇頁	一	五二九	四八
常陸國風土記	狩谷望之（掖齋）自筆書入　寫本	特一	せ	五三
常陸國輿地全圖	寫本　三·四×四·七	一枚	二九	一六四
常陸豐後肥前風土記	伴信友輯校 （伴信友遺書ノ內）	特一〇	せ	六九
常陸名所圖會	松平雪江編並畫　寫本　二卷	特二〇	や	三七
常陸吉田神社事蹟考	同別記　栗田寬（栗里先生雜著上卷ノ內　明治四二）		三	二四五イ
飛驒鐵道之價值	附　雪の中山峽　向島璽之助　大正九	一	三七二	三六三
飛驒國大野郡史	上、中、下　田中貢太郎編　大正一四	三	五三四	一一〇
飛驒國治亂記	飛州千光寺記（續群書類從第二二輯ノ下合戰部ノ內　大正一二）		八〇	二二一イ
飛驒國輿地全圖	寫本　二·四×三·一	一枚	二九	一七七
飛驒之高山	奥田正造編　大正元	一	三三九	一五七
飛驒の鳥	川口孫治郎　大正一〇 （嬬邊叢書第五編）	一	三六九	三

		冊	函	號
飛驒の船津	宮津吉次郎、森本岩治郎編　大正一一	一	三九三	四二
飛驒の山	荻生徂徠（國書刊行會本三十輻第二ノ內　大正六）		三三〇	五一
飛驒編年史要	岡村利平　大正一〇 （飛驒叢書第八編）	一	三一六	一三四
ビタミン（榮養學全書ノ一）	藤巻良知　大正一四	一	五三七	四八
左利と右利	富田精（心理叢書第三册）　大正六	一	三五	六三
左彫京木偶	寫本（勝進助芝居臺帳第六一ノ內）		一九一	七六五
美談逸話全集	江部鴨村（藏園）　大正一四	一	五三	七七
秘中の秘（實庫ノ一）	菊池幽芳（清）　大正三	二	三二九	一九八
肘折溫泉誌	附　大藏鑛山誌　大場重次郎　大正六	一	三三九	九七九
土方敎授在職二十五年記念私法論集	鳩山秀夫編　大正六	一	三六六	五四
同		一	三六八	一〇六
土方伯	菴原鉚次郎、木村知治　大正二	一	三六八	一〇六イ
同　再版	大正三	一	三四八	一〇六イ
土形幣岐葦原君考	高山建吉　大正八	一	三七三	三七九

		冊	函	號
ビヂツトラ美術學校印度畫集	日本美術院編　大正五	一〇	一二	一七九
肘鐵砲	最上白陽譯　大正二	一	三三八	三四
美女（小說ノ一）	宇野浩二（格次郎）　大正九	一	五〇一	八
筆簍師傳相承	（續群書類從第一九輯管絃部ノ內　大正元）		八〇	二三一
ひぢりめん卯月の紅葉（與兵衞おかめノ一）	近松門左衞門（文藝叢書第一二册世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）		三四五	一ぬ
同	近松門左衞門著　黑木勘藏校 （近松名作集上卷ノ內　大正一五）		五四五	三三
同	近松門左衞門著　忠見慶造校註 （近松淨瑠璃集中卷ノ內　大正一五）		五四三	一三
同	近松門左衞門著　永谷弓彥註 （新釋挿圖近松傑作全集第三卷ノ內　大正一〇）		三三九	四九イ
悲痛の哲理	岩野泡鳴 （泡鳴全集第一五卷ノ內　大正一一）		三八八	二六
悲痛三年	鈴木春治　大正八		五〇〇	一
同　他二編	大正九		三九一	一四三
筆耕園	審美書院發行　大正元	特一	四一〇	二一
ピックウイック倶樂部物語	ヂツケンス著　佐々木邦譯 大正二		三三八	二一五
筆禍史	宮武外骨　訂再版　大正一五	一	二四六	二六三イ
筆華舌英	增野悅興　大正九	一	三八七	一七一
筆算と同一形式を探る現代珠算と其敎授	二階源市　大正一五	一	二六三	一三〇
羊飼ひが目にしたこと	ハアデイ著　谷口武譯 （世界短篇小說大系英吉利篇上ノ內　大正一五）		五三〇	四五

		冊	函	號
羊と山羊	小谷武治　明治四五　五一六頁	一	三四三	五五
羊の歩み	谷川義男　大正一五	一	五三六	二六九
羊の怒る時	江馬修　大正一四	一	五四四	一五一
筆跡誌	人倫之部卷之七、釋敎之部卷之四、六寫本	三〇	二一八	一七九
筆洗（美文選集ノ一）	野畑江村編　大正八	一	三八八	七〇
筆道祕傳鈔	小鹽幽照 （國書刊行會本日本書畫苑第一書部ノ內　大正三）		三三〇	四九ヘ
筆彈	鵜崎鷺城　大正四	一	三五〇	五一六
備中諸事巨細導書	（吉備群書集成第二輯ノ內　大正一〇）		三九九	一四
備中國淺口郡大島村津雲貝塚發掘報告	島田貞彥等 （京都帝國大學文學部考古學研究報告第五册ノ內　大正九）		一四、五	三
備中州巡禮略記	三卷 （吉備群書集成第二輯ノ內　大正一〇）		三九九	一四
備中兵亂記	三卷 （吉備群書集成第三輯ノ內　大正一一）		三九九	一四
同	（續群書類從第二三輯ノ下合戰部ノ內　大正一三）		八〇	三二
同			八〇	三二イ
備中村鑑	渡邊正利編　文久元		一九九	三九九
同	（吉備群書集成第二輯ノ內　大正一〇）		三九九	一四
筆陣吾戰（日蓮主義）	加藤文男　大正一一	一	五〇四	七四
ピット	島田三郎、栗原元吉　大正四 （偉人傳叢書第一一册）	一	三四六	一二
ピットマン條例の內容及其の運用	大藏省理財局臨時調査課編 （財政經濟調査第四卷第八號）　大正一一		一四、五	四七

	冊	函	號
ピツパが踊る（硝子工場物語）ゲルハルト・ハウプトマン著 小山内薫譯 大正一五	一	五五一	一二九
同（世界童話大系第二一卷童話劇篇三ノ内 大正一五）		五二〇	一〇
同		五二〇	一〇イ
筆法才葉集（國書刊行會本日本書畫苑第一書部ノ内 大正三）		三三〇	四九ヘ
ヒツポリユトス エウリピデース著 村松正俊譯（古典劇大系第二卷希臘篇ノ内 大正一四）		五三九	一
ひづめの跡 渡瀬常吉 大正三	一	三三九	三五三
蹄の光 山中金次郎 大正一二	一	三一九	四四〇
美的三體記事文 小宮水心 大正七	一	三一	三八四イ
美的陶冶パステル畫の實驗 中谷芳藏 大正一三	一	二六三三	二一一
美的服裝と材料の節約 日本女子大學校家政研究部編 大正一五	一	五五二	二六
秀次公 井村米太郎 大正七	一	三七三	三二五
秀次公緣起（繪卷拾遺第三卷ノ内 大正一二）		一〇九	二八四
秀吉と家康 横山健堂（達三） 大正七	一	三八四	一一
秀吉と醍醐三寶院 黒板勝美（安土桃山時代史論ノ内 大正四）		三四八	三五一
秀吉と淀君 松居松翁（眞玄）（現代戯曲全集第三卷ノ内 大正一四）		五二〇	二五
秀吉の外征 大森金五郎（安土桃山時代史論ノ内 大正四）		三四八	三五一
秀吉の平和的事業 藤田明（安土桃山時代史論ノ内 大正四）		三四八	三五一
秀吉論 室津鯨太郎 大正五	一	三六三	四六
秘傳衛生論 本井了承 二卷（日本衛生文庫第六輯ノ内 大正七）		六一	二〇四
秘傳公開家庭料理の拵へ方 秋穗益實 大正六	一	三六一	一八一
秘傳公開家庭和洋菓子の拵へ方 秋穗益實 大正六	一	三六一	一九〇
人 芳澤喜久（自然界の話第二編ノ内 大正一二）		五一五	三四
人一代の修養（青年—訓話—） 長田成美 大正五（修養叢書ノ内）	一	三五五	五一ヘ
人一代の法律 渡部萬藏 大正元 一四二四頁	一	六八	六〇五
同（六法—解釋—） 大正三 一四二五頁	一	六八	六〇五イ
美と慧智の生活 ニコラス・ロオリツヒ著 竹内逸譯 大正一五（海外藝術評論叢書第六）	一	五四五	二三
人を選んで展開を圖れ 矢野恒太（重大なる結果ノ内 大正一三）		五三三	一〇七
人を殺したが 正宗白鳥 大正一四	一	五四四	一五〇
人を知れ 加藤咄堂（熊一郎） 大正一一	一	三九六	二七七
人を中心として見たる當來の文藝及思潮 エドウイン・ピエルクマン著 益田國基譯 大正六	一	三七七	六〇
人遠茶懸物 一拂齋 大正八	一〇	一五	三七〇
人を人にする人 根岸貫編 大正八〔奏任小學校長事歷〕	一	二五五二	五九
人を導く人 エス・デー・ゴルドン著 千葉勇五郎譯 大正三	一	三三五	二三四
人を見よ山を見よ 山本實彥 再版 大正七	一	三七六	一七四
人及び女として 與謝野晶子 大正五	一	三六〇	三八一
人及び藝術家としての尾崎紅葉 本間久雄 大正七（最近日本文豪評傳叢書第三編）	一	三六四	三六八
人及び藝術家としての國木田獨歩 江馬修 大正六（最近日本文豪評傳叢書第一編）	一	三六四	三六八

	冊	函	號
人及藝術家としてのトルストイ並にドストイエフスキー メレジユコーフスキー著 森田草平、安倍能成譯 大正三 六四九頁	一	三五〇	二一九
人及び藝術家としての正岡子規 西宮藤朝 大正七（最近日本文豪評傳叢書第四編）	一	三六四	三六八
人及教育家としてのパーマー夫人の生涯 ハーバード・パーマー著 杉本勝次譯 大正一一	一	五一四	三九
人及び國家論 矢野政二 大正五	一	三六二	五
人及事業能率之心理 上野陽一 大正八	一	三七〇	七六
人及び思想家としての高山樗牛 赤木桁平 大正七（最近日本文豪評傳叢書第二編）	一	三六四	三六八
人及物象論 第一輯 矢野政二（滄浪） 大正一〇	一	三九七	二〇七
人か熊か 岩野泡鳴（世界短篇小說大系日本篇中ノ内 大正一五）		五二〇	四五
同（泡鳴全集第三卷ノ内 大正一〇）		五〇〇	一
火と劍 前編 シエンキイヰツチ著 福永渙譯 大正九	一	三九一	一九三
人さまざま 正宗白鳥 大正一一（金星堂名作叢書第三）	一	三八九	七三
美と信との生活 渡邊英一 大正一五	一	五三六	一六〇ロ
美と崇高 エドマンド・バーク著 村山勇三譯 大正一五（泰西隨筆選集第二）	一	五二七	六五
一筋の白き道へ 朝日融溪 大正一一	一	五〇四	七五
人、生活及教育 千葉春雄 大正一一	一	二五三	二一九
一つの恐怖 田山花袋（花袋全集第九卷ノ内 大正一二）		五一五	三六
一つの空想 田山花袋（花袋全集第九卷ノ内 大正一二）		五一五	三六
一つの道 武者小路實篤 大正八	一	三九一	二三
一つの芽生 中條百合子（新進作家叢書第一一編ノ内 大正七）		三一	五五四
一橋五十年史 同編纂委員編 大正一四	一	二九三	三八
一橋挿話 清水都代三 大正六（學生生活叢書第二編）	一	二五九五	四〇
一つ二つと唱ふる數へ方及逆の數へ方教授に關する資料 森本宗五郎（兒童教育研究會紀要第二卷ノ内 大正九）		二七一	九一
一坪で出來る家庭園藝 橋本八重三 大正一五	一	五四七	二四二
一坪農業 青木信一、矢部伊與之甫 大正二	一	三四九	五
一坪農法（農村の—大改革—） 織田利三郎 大正一〇	一	三九五	一四五
一坪の庭 津村京太郎（京村） 大正八	一	三七七	二三四
人妻（戯曲—） クレメンス・デーン著 山中峰太郎等譯編 大正一三	一	五二二	二一一
一柳家記 一柳圖書（續群書類從第二〇輯ノ下合戰部ノ内 大正一二）		八〇	二二一イ
人と敎 本多日生 大正六	一	三二五	二六一
人と酒 卜部幾太郎 大正一一	一	五〇三	一一四
人としてのペスタロツチ（戯曲—） 大久保龍 大正一五	一	五五一	五〇
人としての道 子弟教育普及會編（子弟叢書第一） 大正七	一	三七五	一三
人と超人 ショウ著 市川又彥譯（近代劇大系第八卷英吉利篇ノ内 大正一二）		五一五	二六
同（近代劇大系第八卷英吉利篇ノ内 大正一四）		五一五	二六イ
同 ショウ著 堺利彥譯（大正文庫第一〇編） 大正二	一	三五〇	五九
同 ショウ著 細田秀造（枯萍）譯 大正二	一	三三八	二四〇

		冊	函	號
人と共に生くる道（公徳―讀本―）	片岡源之助　大正一三	一	五五	一四五
人となるまで（教育と―修養―）	大鳥居弄三　大正一二	一	五〇三	二七七
人となる道	飲光（慈雲尊者全集第一三輯ノ内　大正一三）	一	五一一	八
人と人	ジョン・リイチ著　柳田泉譯　大正一〇	一	三五五	一〇三
一握の藁	田山花袋（花袋全集第四巻ノ内　大正一三）	一	五一五	三六
人に知られない教會堂の話	モリス著　松原至大譯（世界短篇小説大系英吉利篇上ノ内　大正一五）	一	五二〇	四五
人に好かれる談話術	樋口龍陽（破魔弓）　大正八	一	三八七	一三
一直會	期米小巾測定極秘　阿部薫作　大正五	一	三六四	五三
人の垢	村上浪六　大正五	一	三二九	二六三
人のアラ	世間のアラ　生方敏郎　大正六	一	三六四	三二六
同	大正八	一	三六四	三二六イ
人の一生	足立栗園（四郎吉）大正三（大正布教文庫第一編）	一	三四〇	四四
人の一生	アンドレーエフ著　米川正夫譯（近代劇大系第一五巻露西亞篇三ノ内　大正一三）	一	五一五	二六
同	（近代劇大系第一五巻露西亞篇三ノ内　大正一四）	一	五一五	二六イ
人の運	大町桂月　大正二	一	三五〇	一二六
同	大正一五	一	三五〇	一二六イ
人の親	（立志小説―）　堀内文麿（新泉）　大正九	一	三九一	一四六
人の垢	村上浪六　大正五	一	三二九	二六三
人のアラ	世間のアラ　生方敏郎　大正六	一	三六四	三二六
同	大正八	一	三六四	三二六イ
人の一生	足立栗園（四郎吉）大正三（大正布教文庫第一編）	一	三四〇	四四
人の一生	アンドレーエフ著　米川正夫譯（近代劇大系第一五巻露西亞篇三ノ内　大正一三）	一	五一五	二六
同	（近代劇大系第一五巻露西亞篇三ノ内　大正一四）	一	五一五	二六イ
人の運	大町桂月　大正二	一	三五〇	一二六
同	大正一五	一	三五〇	一二六イ
人の親	（立志小説―）　堀内文麿（新泉）　大正九	一	三九一	一四六
人の心	小林久太郎　大正一〇	一	五一五	一四五
人の子の悩み	森山寅之助　大正一二	一	五〇四	三三五
人の子の前に立たむとする人々へ	師範教育振興會編　大正一三	一	三五九	四八五
同	初等教育刷新會編（再版　大正一五）（題簽等ノ「冠稱ニ「教育創造」トアリ）	一	三五九	四八五イ
人の子耶蘇	二瓶要藏　大正一〇	一	三九二	二六〇
人の今昔	澤本孟虎　大正元	一	三三三	二四五
人の主義	岩野泡鳴（泡鳴全集第一八巻ノ内　大正一一）	一	五〇〇	一
人の身體（兒童の―疑問―）	堀七藏　大正三	一	三四九	二一九
同	補一八版　大正一四	一	三四九	二一九イ
人の妻（立志小説―）	堀内新泉　大正三　五三八頁	一	三三九	二一三
人の統御	マンソン著　佐久間秀雄編　大正一一　二八頁	一	三九七	二七六
人の道	社會教育學會編　大正三	一	三五〇	四二一
人は何時覺醒するか	ウヰルソン著　高橋五郎譯　大正六	一	三七六	四四
人は岐路に立つ	佐川眞宰　大正一四	一	五三三	七九
人柱	田中治五平　大正一三	一	五二九	五五
人は何によつて生きるか	トルストイ著　昇曙夢譯（トルストイ文庫第一）　大正一〇	一	三八九	六四
人法人及物	松本烝治　明治四五（註釋民法全書第一巻第二册）	一	三三六	七
人々の死	曉鳥敏　明治四五	一	三四四	二

		冊	函	號
人の心	小林久太郎　大正一〇	一	四五	五四
人の子の悩み	森山寅之助　大正一二	一	五〇四	三三五
人の子の前に立たむとする人々へ	師範教育振興會編　大正一三	一	三五九	四八五
同	初等教育刷新會編（再版　大正一五）（題簽等ノ「冠稱ニ「教育創造」トアリ）	一	三五九	四八五イ
人の子耶蘇	二瓶要藏　大正一〇	一	三九二	二六〇
人の今昔	澤本孟虎　大正元	一	三三三	二四五
人の主義	岩野泡鳴（泡鳴全集第一八巻ノ内　大正一一）	一	五〇〇	一
人の身體（兒童の―疑問―）	堀七藏　大正三	一	三四九	二一九
同	補一八版　大正一四	一	三四九	二一九イ
人の妻（立志小説―）	堀内新泉　大正三　五三八頁	一	三三九	二一三
人の統御	マンソン著　佐久間秀雄編　大正一一　二八頁	一	三九七	二七六
人の道	社會教育學會編　大正三	一	三五〇	四二一
人は何時覺醒するか	ウヰルソン著　高橋五郎譯　大正六	一	三七六	四四
人は岐路に立つ	佐川眞宰　大正一四	一	五三三	七九
人柱	田中治五平　大正一三	一	五二九	五五
人は何によつて生きるか	トルストイ著　昇曙夢譯（トルストイ文庫第一）　大正一〇	一	三八九	六四
人法人及物	松本烝治　明治四五（註釋民法全書第一巻第二册）	一	三三六	七
人々の死	曉鳥敏　明治四五	一	三四四	二

		冊	函	號
一幕物	森鷗外譯　大正元　二巻（合本）	一	九三	三三イ
	正編　猛者（シュニッツレル） 短劍を持たる女（同） 奥底（バアル） 我君（ショルツ） 出發前半時間（エデキンド） 花束（ズウデルマン） 僧房夢（ハウプトマン） 痴人と死と（ホフマンスタアル） 續編　サロメ（ワイルド） 奇蹟（マアテルリンク） 債鬼（ストリンドベルク） 秋夕夢（ダンヌンチオ） 家常茶飯（リルケ）			
一幕物十種（英 米 近代劇）	宮森麻太郎譯　大正一五（細目ハ「エイヘ」ヲ見ヨ）	一	五一七	三三四
一幕物叢書	同刊行會發行　大正一〇 第一輯　第一編　夜（ショロム・アッシュ著　伊藤松雄譯） 第二編　見捨てられて（アルフレッド・スウトロ著　室淳譯）	二	三八九	五七
人麿と其歌	樋口功　大正一四	一	五四三	一七四
人身御供の話	加藤玄智（心理學通俗講話第五輯ノ内　大正二）	一	四一	一二四
ひとみの旅	杉村廣太郎（楚人冠）（大正文庫第八編）　大正二	一	三五〇	五九
一目千軒	斜天、呑獅等　天明四	一	〇	二四五
一目玉鉾	井原西鶴（江戸趣味文庫第四編）　大正六	一	三五五	四九
同		一	三五五	四九イ
ひともと草	大田覃編（國書刊行會本新燕石十種第二ノ内　明治四五）	一	三四三	四ろ
ひと夜さ	モウパッサン著　平野威馬雄譯（モウパッサン全集第九巻ノ内　大正一〇）	三	九〇	四一
一人歩む	吉田絃二郎（源次郎）　改版　大正一五	一	五一七	三一七
ひとりゐみ	鴨齋散人輯　寫本	一	五一七	三三四
獨草	十時虎雄　大正一一	一	五〇六	二二九
ひとりごと	木下東作　大正三	一	三七	三三七
獨琴	北村季吟	特	三〇	一二二　一七三
一人兒と長子の育て方	三田谷啓　大正一二　四〇頁（兒童教養叢書第一〇編）	一	二七一	一〇三
一人凝る（詩集―）	佐々木秀光　大正一五	一	五一七	五一五
ひとりしづか	神谷尚志　大正一三	一	五二九	四一
獨道中五十三驛	鶴屋南北（歌舞伎脚本傑作集第六巻ノ内　大正一一）		五〇〇	二六
ひとりで できる家庭の美顏術	マリイ・ルウヰズ、千葉ます子　大正六	一	三六四	三六六
一人と千三百人（創―）	平澤計七　大正一五	一	五五一	一二七
一人の飴屋	長谷川如是閑（長谷川如是閑創作集第一編ノ内　大正一二）	一	五五五	四五
同	（長谷川如是閑創作集第三編ノ内　大正一四）		五二七	一八
一人の女	新渡戸稻造　大正八	一	三八七	四三
一人の思想より（詩集―）	正富汪洋（由太郎）　大正一四	一	五一六	三七九
一人の力	稻毛詛風（金七）　大正九	一	三八八	三三九
ひとりの部屋	廣津和郎　大正一四（短篇シリイズ第八編）	一	五二七	四〇
一人一人の體力精力能力增進法	伊藤尚賢、森繁吉　大正一〇　八二一頁	一	六一	三一〇
一人舞台	ストリンドベリ著　森鷗外譯（鷗外全集第一四巻ノ内　大正一二）	五二〇		一

		冊	函	號	
一人舞台	ストリンドベリ著　森鷗外譯（鷗外全集第一四卷ノ内　大正一二）	特	五一〇	一	イ
同	（新一幕物ノ内　大正二）		三三八	一三九	
火取り虫	楳茂都陸平（現代歌曲全集第一八卷ノ内　大正一五）		五二〇	二五	
獨り者	岩野泡鳴（泡鳴全集第三卷ノ内　大正一〇）		五〇〇	一	
一人者の死	シュニッツラー著　森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ内　大正一三）		五二〇	一	イ
同		特	五二〇	一	イ
皮内及皮下注射法	渡邊房吉　大正一二		一	五三	二〇五
雛一件寫控帳	寫本　〔寛政度記錄ナリ〕		一〇	二〇五	二一〇
悲慘の王者	寺川信　大正一一		一	五〇六	二四四
雛かゝ美	杉山壽榮男編　大正一二	帖	二	四三三	一三
ひながた	寫本		一〇	二四〇	五九
雛暦	小杉天外　大正九		一	三九一	一九一
日夏耿之介定本詩集	日夏耿之介（樋口國登）　大正一五		一	五六二	四四
第二卷	黒衣聖母				
雛燕	マロ著　五來素川（欣造）譯　大正七		一	三一	五五九
雛人形問屋仲間公開帳	附　組合入用帳　寫本〔寶暦、安永中拾軒店其他ノ諸記錄ナリ〕	特	一〇	二四〇	七〇
雛の圖	清水晴風自筆寫　寫本	特	一〇	さ	五二
雛の名殘	永田龍雄編　大正六		一〇	一〇	三七
雛百種	久保田米齋編　大正四		三〇	四二九	五四

		冊	函	號	
日なみがた	久保田米僊（寛）畫　明治四〇	帖	一	四二〇	五五
日次紀事	第一至五册　黒川道祐		二〇	一〇三	三八二
鼻奈耶	姚秦、竺佛念譯　一〇卷（大正新脩大藏經第二四卷律部三ノ内　大正一五）	特		四四	二七四
美男かづら	（公武合體篇）　本山仲造（荻舟）　大正一二		一	五一四	一八二
備南之名勝	濱本鶴賓　大正五		一	三六〇	三九一
皮肉觀察街頭警語	三四郎　大正一五		一	五二五	三〇一
毘尼母經	八卷（大正新脩大藏經第二四卷律部三ノ内　大正一五）	特		四四	二七四
泌尿器科學	上、下卷　カスペル著　本間俊譯　大正三、六		二	五四	五六
泌尿器疾患	土屋岩保（内科學第四卷ノ内　四版　大正八）			五三	一三六
同	（内科學第四卷ノ内　四版　大正一五）			五三	一三六
泌尿器病纂錄	阿久津三郎　明治四三（近世醫學叢書第二二編）		一	六〇	三九
泌尿科診斷療法	北川正惇　大正一二　五八四頁		一	五七	六〇
泌尿生殖器疾患	（福岡醫科大學雜誌特別號）　九州帝國大學醫學部雜誌部編　大正一四		一	五七	六九
同			一	五七	六八
ピネロ作「二度目のタンカレー夫人」	島村抱月（抱月全集第七卷ノ内　大正九）			三七九	一二
簸の河上	辨入道眞觀著　佐佐木信綱、芳賀矢一校註（校註和歌叢書第七册和歌作法集ノ内　大正四）			三四五	三
簸川郡偉人篤行者傳	同郡私立教育會編　大正八		一	三八三	一七
〔簸川郡教育研究會〕研究報告	第一、四輯同會編　大正四、五		二	三五九	三四八

		冊	函	號	
簸の上案内	石橋喜市編　大正五		一	三三九	八〇五
檜山騷動	春光舍風窩編（近世實錄全書第一七卷ノ内　大正六）			三五五	七九
火の國めぐり	上篇　北島磯次（磯舟）編　大正一五（九州行脚第二卷）		一	五五六	一五〇
日野郡史	上、下卷　日野郡史編纂委員編　大正一五		二	五五四	二
美の形而上學	ショペンハウエル著　景山哲雄譯　大正一五		一	五四七	一一七
美の研究	アロイシウス・ロオザア著　陶山務譯　大正一一		一	五〇三	一〇六
美の原理	（ソリー・マーシヤル著　相良德三譯　大正一〇（大村論文叢書第八）		一	五〇〇	五
肥の後州名所名物數望附	松本恒正　寫本		二	二〇五	一三五
日の下に	細田民樹　大正一一		一	五〇六	一三五
美の哲學	クロオチエ著　鵜沼直譯　大正一〇		一	三八七	二三四
日の出前	岩野泡鳴（泡鳴全集第一卷ノ内　大正一〇）			五〇〇	一
火の鳥	與謝野晶子　大正八		一	三七七	二一三
美の廢墟に起ちて	高須梅溪　大正九		一	一八六	二七〇
日ノ光ヲ失フ悲ミ	山口直編　大正一二		一	五一〇	三四
美の本躰及藝術の本質	猪野範俊　大正一〇		一	三九七	二二八
火の元心得附飯賣下女奉公人請狀之事	八枚〔嘉永五年ノ諸掟ナリ〕		一〇	一八九	三四三
日下野乘	松本愼　寫本		一〇	八三三	二四七
火の用心と消防の話	大脇藤一　大正一一		一	五〇三	八三

		冊	函	號	
枇杷	恩田織彌（通俗園藝講話第二ノ内　大正一五）			五六〇	六
ひば、あかまつ、くろまつ、このてがしは、たうひ、かうやまき枝葉油ノ性狀ニ就テ	辻行雄（農商務省）林業試驗彙報第二號ノ内　大正九）			一四、三	イ 一三五 ロ
祕方集驗	明、王夢蘭編		四	二一	三三九
琵琶歌辭典	藪内程二　大正四		一	七〇	三三三
美貌の友	（ベラミイ）　モオパッサン著　廣津和郎譯（世界文藝全集第一九編）　大正一三		一	五〇〇	一五
枇杷園句集	並　後編　井上士朗　大正一五		四	一六三	一二八
枇杷園士朗傳	朱樹會編　大正一五		一	一六三	一二九
日は落ちる	第一、二卷　長馬圭之　大正一〇		二	五〇一	一二五
琵琶記	元、高明著　鹽谷溫譯註（國譯漢文大成文學部第九卷ノ内　大正一〇）			三九九	二
同	元、高明著　宮原民平譯（古典劇大系第一六卷支那篇ノ内　大正一四）			五三九	一
比婆郡郷土軍記	白根陸一編　大正一五		一	一八七	五一一
比婆郡ノ畜産	比婆郡産牛馬畜産組合編　大正六		一	三六一	一二九
琵琶劇十曲（新作）	森富夫　大正元		一	三三八	一〇六
琵琶血脈	（藤木流）寫本	軸	一	八三三	三〇四
陽は煙らふ	薄田清　大正一三		一	五三一	一五三
琵琶湖水產增殖事業成績報告	第一卷　滋賀縣水產試驗場編　大正一二		一	一四、二	イ 五三九
琵琶湖水產調查報告	第一至三卷　滋賀縣水產試驗場編　明治四五至大正四		三	一四、二	イ 二八三

	冊	函	號
琵琶湖疏水誌 田邊朔郎 大正九 (京都都市計畫第一編)	一	三三一	一五四
琵琶湖治水沿革誌 附圖付 清水保吉編 弓削正雄等補 大正一四	二	五五三	一八
ひば材ノ揮發油ニ關スル調査 内田壯 (〔農商務省〕林業試驗報告第一五號ノ内 大正六)	一	一四、二イ	一二五
ひば材干割防止試驗 大西偉太郎、林唯雄 (〔農商務省〕林業試驗彙報第六號ノ内 大正一一)	一	一四、二イ	一二五ロ
ひば枝葉蒸餾試驗 鈴木賢司、西田紀元 (〔農商務省〕林業試驗彙報第二號ノ内 大正九)	一	一四、二イ	一二五ロ
毘婆尸佛經 宋、法天譯 二卷 (大正新脩大藏經第一卷阿含部上ノ内 大正一三) 特		四四	三七四
同		八六	三九一
鞞婆沙論 尸陀槃尼撰 符秦、僧伽跋澄譯 一四卷 (大正新脩大藏經第二八卷毘曇部三ノ内 大正一五) 特		四四	三七四
同		八六	三九一
琵琶新曲溫折錄 田尻稻次郎 訂增再版 大正六	一	九七	三一九ロ
ひば立木卷枯試驗 鈴木賢司、山内五郎 (〔農商務省〕林業試驗彙報第六號ノ内 大正一一)	一	一四、二イ	一二五ロ
非八分結字法 松田南溟 大正一一	一〇	一三八	二四一
美髮醫學新書 田中實義 大正八	一	六〇	六一四
同 修正版 大正一五	一	六〇	六一四イ
琵琶傳 泉鏡花 (鏡花全集第二卷ノ内 大正一五)		五二〇	四四
同		五二〇	四四イ
琵琶と文藝 小山敏 大正一二	一	五一七	一一一
火華 菊池寛 大正一一 五三二頁	一	五一七	四一
枇杷の栽培 吉澤兼太郎 大正六	一	三七二	五
ひばノ單木幹材材積表及單木幹材材積計算補助表ノ改訂 寺崎渡 大正九 (〔農商務省〕林業試驗報告第一九號)	一	一四、二イ	一二五
枇杷の花(歌集—) 伊藤哲雄、荒木幸雄 大正一四 (玉梓短歌會叢書第一編)	一	五四四	一二三
琵琶撥附 (國書刊行會本三十輻第二ノ内 大正六)		三三〇	五一
陽は循る 薄田清 大正一二	一	五二二	七七
檜原軍物語 菊池研介 三卷 (會津資料叢書第一冊ノ内 大正六)		五	二二五
雲雀 廣瀨操吉 大正一五	一	五五一	二〇四
雲雀 藤森成吉 大正一一 (金星堂名作叢書第一四)	一	三八九	七三
ひばりの歌(學校家庭實演童話劇と對話—) 樋口紅陽 大正一一	一	五一七	九三
鸝山姫捨松 庵室の場 寫本 (勝進助芝居臺帳第五五)	一〇	一九一	七六五
批判研究博士人物 醫科編 井關九郎 大正一四	一	五三四	八一
批判主義に基く哲學的教育學 ゲルハルト・パウル・ナトルプ著 稻垣末松譯 大正一三	一	二五二	二九七
批判的教育學の問題 篠原助市 大正一一	一	三五二	二六一
批判的法律哲學の研究 恒藤恭 大正一〇	一	三五二	一九五
同	一	三五二	一九五イ
批判的倫理學に於ける幸福と人格 ブルノー・バウフ著 岩崎英恭譯 大正一五	一	五二五	二八六
響かぬ鐘 加藤一夫 大正一〇 (加藤一夫著作集第三編)	一	三七五	四六
日比野式走り方 日比野寛 大正七	一	三一	八〇九

	冊	函	號
批評集 小宮豐隆 大正一二	一	五二二	二
批評的倫理學 渡邊龍聖 大正一〇	一	四五	五六四
同 訂再版 大正一一	一	四五	五六四イ
批評と添刪(作歌捷徑—) 若山牧水 大正一〇	一	三九六	二五二
批評の意義 紀平正美 (現代批判第一輯ノ内 大正五)		三五三	二〇
批評の省察 岩野泡鳴 (泡鳴全集第一八卷ノ内 大正一一)		五〇〇	一
批評論 稻毛詛風 大正五	一	三六〇	四八八
日比谷公園音樂堂演奏曲目解說集 第一輯 門馬直衞 大正一五	一	五四七	二五八
日比谷圖書館東京誌料展覽會圖書目錄 同館編 大正一一	一	三一七	一二六
柊の花(藝術家の生活—) 中村亮平 大正一〇	一	三九五	一一八
微風 島崎藤村 大正二一 (綠蔭叢書第四編)	一	九五	五五
微風の歌 近藤榮一 大正一五	一	五五一	二〇二
皮膚及花柳病講義錄 小池正晁 大正一四	一	六〇	六七七
被服手入保存法 陸軍省編 大正六	一	三一八	三六五
同 大正七	一	三一	五六五
皮膚科學 下卷 土肥慶藏 大正三	一	五七	一八
同 再版 大正五	一	五七	一八イ
同 上卷 增訂三版 大正二	一	五七	一八ロ
同 四版 大正四	一	五七	一八ハ
皮膚科學 九版 土肥慶藏 大正一〇	一	五七	一八ニ
皮膚科學(袖珍—) 坂口勇 大正元	一	五七	五〇一
同 再版 大正六	一	五七	五〇一イ
皮膚科學(獨和對譯—) 花田邦彥 大正四	一	五七	三九
皮膚科學概論 岩崎豐治 大正一五	一	五七	七一
同 大正一五	一	五七	七一イ
同	一	五七	七一ロ
同	一	五七	七一ハ
皮膚科紀要 西浦綱一 大正一四	三	五三	二三〇
第六卷第二號 「レントゲン」照射ニヨル皮膚變化ノ實驗的研究			
第三號 「レントゲン」線ニヨル毛ノ變化ノ實驗的研究			
第四號 「レントゲン」線ト末梢神經			
皮膚科の新境地 賀川哲夫 大正一五 (研究より實地へ第九編)	一	六〇	七四一
皮膚科泌尿器科臨牀寶典 梅津小次郎編 明治四五 六四九頁	一	五七	三一
皮膚結核ノ診斷及治療法 土肥慶藏 (最新結核病編ノ内 大正四)		五三	一一七
皮膚疾患の療法と其手技 上林豐明 大正一四	一	五七	六五
皮膚と毛髮の新しい衞生 岡村龍彥 大正一五	一	六一	三五五
皮膚の衞生 古宇田傚太郎 大正三	一	三七	三二九
Hifubyôgaku 櫻根孝之進 大正二	一	五七	三五
同 再版 大正一一	一	五七	三五イ

			冊	函	號
Hifubyôgaku	櫻根孝之進	大正一一	一	五七	三五ロ
皮膚病診斷及治療法	山田弘倫、旭憲吉	七版 大正二	一	五七	三五ニ
同 八版	大正五		一	五七	三五ホ
同 九版	大正八		一	五七	三五ヘ
同 一〇版	大正一二		一	五七	三五ト
皮膚病圖譜（彩色ノ）	上卷 土肥慶藏	大正七	一	五七	四九
皮膚病之話	岡村龍彦（家庭醫學叢書第六編）	大正四	一	六〇	五二
皮膚病黴毒學纂錄	土肥慶藏（近世醫學叢書第四〇編）	明治四四	一	六〇	三九ロ
皮膚病泌尿生殖器病醫典（袖珍ノ）	旭憲吉	再版 大正一五	一	五七	二七イ
祕府本萬葉集抄	佐佐木信綱編（萬葉集叢書第九輯）	大正一五	一	五〇八	一〇
碑文	横光利一（日本小說集第一集ノ內）	大正一四）	一	五三九	五六
美文韻文 續花紅葉	武島羽衣	大正六	一	七一	三四六
微分學問題詳解（受驗參考ノ）	山崎榮作	大正一五	一	三四一	四九三
同 訂再版	大正一五		一	三四一	四九三イ
美文消息 女子新書翰文	坪內孝	大正七	一	三七一	一〇〇
微分積分及ビ其ノ應用	松本敏三	大正一五 七八頁	一	五二四	四三五
微分積分學	オスグート著 樺山董譯	大正一四	一	三三三	四四三
微分積分學（理論應用ノ）	前、後編 佐野榮治	大正一〇、一一	二	三八一	一六一
同 後編	大正一一		二	三八一	一六一イ

			冊	函	號
微分積分學	上、下卷 下田叨市	大正一〇、一一	二	三八一	一三
微分積分學講義	刈屋他人次郎	增補四版 大正三	一	四三	二九ハ
同 改增七版	大正八		一	四三	二九ニ
同 八版	大正九		一	四三	二九ホ
同 改增一一版	大正一三		一	四三	二九ヘ
微分積分學教科書	長澤龜之助編	大正三	一	三四一	九三
微分積分學の初步	馬杉肇	大正一二	一	三四一	四一五
微分積分の講義	根津千治	大正一二	一	三四一	三九五
微分積分早わかり	秋山武太郎	九版 大正八	一	三四一	三〇五
碑文全集	和歌山縣西牟婁郡役所編	大正元 四七頁	一	三三九	一八九
美文と戲文（名句ノ傑作ノ）	小林鶯里編	大正一四	一	五四四	七三
碑文の聲	エイ・バジエット・ウイルクス	大正一〇	一	二九三	三〇四
美文評解叢書	菊池曉汀編	大正一〇	五	三八九	五三
い 第一	紅葉傑作文集				
ろ 第二	浪六傑作文集				
は 第三	歌石傑作文集				
に 第四	鴎外蓬花傑作文集				
ほ 第五	秋聲花袋傑作文集				
ヒポクラテース	吉田顯三編	大正三	一	六〇	三四三
非凡人の面影	岩野泡鳴（泡鳴全集第五卷ノ內）	大正一〇）	一	五〇〇	一
祕本玉くしげ	本居宣長著 同豐頴校 同清造再校（增補本居宣長全集第六ノ內）	二卷 大正一五）	一	四一	九八イ

			冊	函	號
閑ある人々の話	トルストイ著 村山勇三譯（トルストイ全集第三卷ノ內）	三版 大正九）	一	三九〇	三九
靱靡那修經	鳥越道眼譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第三卷ノ內）	大正一三）	一	五一五	一〇四
向日葵	武者小路實篤	大正四 六四〇頁	一	三五七	七九
向日葵草栽培並綠肥製法（最新發見効能莫大金肥無用ノ）		岡部久四郎 大正八	一	三七三	二七五
ヒマラヤ行	鹿子木員信	大正九	一	三八四	二二七
美味求眞	木下謙次郎	大正一四	一	五八六	一五〇
同 五〇版	大正一四		一	五八一	一五〇イ
秘密	谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第一卷ノ內）	大正一〇）		五〇〇	四
秘密	近松秋江	大正八	一	三七七	二〇六
同	（世界短篇小說大系日本篇下ノ內）	大正一五）		五二〇	四五
秘密安心又略	法住（眞言宗安心全書卷上ノ內）	大正二）		三二四	三六五
秘密安心略章	法住（眞言宗安心全書卷上ノ內）	大正二）		三二四	三六五
秘密安心往生要集	蓮體二卷（國書刊行會本近世佛教集說ノ內）	大正五）		三三〇	四九た
同	（眞言宗安心全書卷下ノ內）	大正三）		三二四	三六五
秘密安心往生法話	法住（眞言宗安心全書卷上ノ內）	大正二）		三二四	三六五
秘密因緣管絃相成義	法住（教主義合纂ノ內）	大正一〇）		三二四	六四〇
秘密香料配合諸化粧品製造實地講習實用全書	岡田房謙	大正一五	一	五五〇	一八
秘密儀軌目錄	（大日本佛教全書第二册ノ內）	大正三）		三五三	一〇

			冊	函	號
秘密教義の一端	和田大圓（夏期講習會佛教講演集第一八回ノ內）	明治四五）	一	三八	一七
秘密結社「ロス・チヤベラウンデイス・デル・ビダソア」結黨祭開	バローハ著 笠井鎭夫譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內）	大正一五）		五二〇	四五
秘密三昧耶佛戒儀	空海集（日本大藏經第四七卷ノ內）	大正九）		三五三	六
秘密宗念佛鈔	道範（眞言宗安心全書卷下ノ內）	三卷 大正三）		三二四	三六五
秘密辭典	自笑軒主人	大正九	一	三八八	二八五
秘密莊嚴傳法灌頂一異義	權田雷斧（雷斧叢書第三編）	大正六	一	三二四	三一〇
秘密辭林	富田幾純編	明治四四 一一三四頁	一	七三	三四ロ
秘密念佛廣話	法住（眞言宗安心全書卷下ノ內）	大正三）		三二四	三六五
秘密念佛私記	曇寂（眞言宗安心全書卷下ノ內）	大正三）		三二四	三六五
秘密念佛鈔	道範撰 三卷（大日本佛教全書第七〇册ノ內）	大正八）		三五三	一〇
秘密念佛略話	法住（眞言宗安心全書卷下ノ內）	大正三）		三二四	三六五
秘密の庭	バーネット著 田中純譯（世界少年文學名作集第五卷）	大正八	一	三七七	三九
秘密の花園	バアネット著 岩下小葉（天年）譯	大正六	一	三七七	一六
秘密百話	富田幾純	大正二	一	三六〇	一〇三
秘密佛教講話（史的ノ研究ノ）	守山聖眞（退耕）	大正一一	一	三二四	三四一
秘密曼荼羅教付法傳	空海撰 二卷（大日本佛教全書第一〇六册ノ內）	大正六）	一	五〇四	六五
同	（日本大藏經第四七卷ノ內）	大正九）		三五三	一〇

		冊	函	號
秘密曼荼羅宗教主義	弘道撰（教主義合纂ノ内 大正一〇）	一	三四	六四〇
美味で經濟な和洋料理四百種	附 食用化學の常識 磯野忠雄 大正一三	一	五一三	二六五
非無漏毛理	〔古刊本〕	三〇	せ	一三〇
碑銘考	度會正兌編 寫本 一五枚	一〇	二〇五	一四六
微妙公御夜話	（日本偉人言行資料ノ内 大正五）		三五五	八と
比賣鑑	中村湯齋 一二卷（婦人文庫第二回傳記ノ内 大正三）		三四〇	三七ろ
同	後編 一九卷（婦人文庫第七回傳記ノ内 大正三）		三四〇	三七と
姫藏大黒柱	近松門左衞門（近松門左衞門全集第三卷ノ内 大正一二）		五〇五	五八
姫競双葉草紙	寫本（勝進助芝居臺張第五七）	一〇	一九一	七六五
姫島日記	野村望東尼（勤王文庫第四編ノ内 大正八）		三七九	九
秘めたる戀	德田秋聲 大正七	一	三一	七一
姫路高等學校一覽	第一年度（大正一三年）至第三年度（大正一五年）		三八三	四八
姫路紀要	姫路紀要編纂會編 大正元	一	三三四	二三四
姫路市	附 商工人名錄 田中愼造編 大正一〇	一	三九三	一六三
姫路市及其附近	野澤謙輔製 再版 大正三（一九×一·五）	一枚	八九	二一五
姫路市街	郡部編入（社寺明細一） 菊池榮助製 大正九	一枚	三三九	一〇二五
姫路市史	（市制施行三十年記念） 播磨史談會編 大正八	一	三八三	四
姫路市新地圖	大淵善吉製 大正九	一枚	三三九	一〇二三
姫路市統計書	大正一〇年 同市役所編 大正一一	一	一四四	五三九

		冊	函	號
姫路城案内	姫路市役所編 明治四五 九頁	一	三三九	一八二
姫路場圖	砂川雄健製 大正元 一·二×一·七	一枚	一九	六五六
姫路名所案内	稱本政次編 大正二	一	三四九	一六一
日女山城史	高濱信民（書山） 大正一三 五八頁	一	三九三	六九七
紐鏡	伴信友自筆 寫本	特一〇	わ	一三
緋文字	ナタネール・ホーソン著 佐藤清譯 大正六	一	三七七	二五
病友	小山內薰（世界短篇小說大系日本篇中ノ内 大正一五）		五二〇	四五
病院	島崎藤村（世界短篇小說大系日本篇中ノ内 大正一五）		五二〇	四五
病院要覽	大正一〇年六月一日現在 青島守備軍民政部總務部編	一	一四六	一四四
病因精義	小森玄良 文政一〇	四	二二	三二
病院横町の殺人犯	ポー著 森鷗外譯（鷗外全集第一五卷ノ内 大正一五）		五三〇	一
同		特	五三〇	一イ
病因論	縣公器編 寫本	一〇	三四五	一二ほ
同	（泰西名著文庫諸國物語ノ内 大正四）	一	三一七	三〇七
病害蟲驅除豫防奬勵資料	農商務省農務局編 大正一三·一四	四	一四三	五四三
第三號	果樹類ノ根頭癌腫病ノ豫防			
第四號	紫雲英ノ腐敗スル病害（菌核病）豫防奬勵ノ急務			
第六號	麥類ノ黑穗病及斑葉病豫防風呂湯浸法			
第七號	矢根介殼蟲「ルビー」臘蟲及「イセリヤ」介殼蟲驅除豫防指針			
同	第六、七號 大正一四	二	一四二	五四三

		冊	函	號
病害蟲驅除豫防資料	福岡縣編 大正一五	一	五二四	五二三
第一五號ノ二	鎭蟲驅除豫防ニ關スル法規 福岡縣產業部編 大正一二 九八頁	一	三九三	五七四
病害蟲の驅除豫防	鹿兒島縣立農事試驗場編（明治四五）	一	三三九	一九一
同	大正六	一	三三九	一九一イ
病家三不治	大槻茂質（磐水）（日本衞生文庫第一輯ノ内 大正六）		六一	二〇四
病家須知	〔抄〕 擇善居主人（先哲呼吸强健術ノ内 明治四五）		六一	一二〇
病間長語	井上金峨（近古文藝溫知叢書第一一編ノ内 再版 明治四三）		四二	二三イ
病間錄	生方敏郎（名著評論文集第一輯ノ内 大正八）		三	八五六
病間錄	綱島梁川（榮一郎）大正二三（「病窓雜筆」ト合綴）		九八	一八五イ
病氣と養生	菊池米太郎 大正六		六一	二三三
病氣の事は何でも分る（字典）	伊藤尙賢編 大正九		六〇	四九二
病菌害蟲彙報	農商務省農務局編 大正五至一五		三九九	一四
第一號	柿實蟲蛾ニ關スル調査（長野菊次郎）		三九九	一四イ
第二號	浮塵子注油驅除ニ關スル調査成績（農商務省農事試驗場編）		三九九	一四ろ
第三號	べだりあ瓢蟲及いせりや介殼蟲ニ關スル研究（靜岡縣立農事試驗場編）		三九九	一四と
第四號	柑橘類潰瘍病（農商務省農事試驗場編）		三九九	一四ほ
第五號	蜜柑蠅ニ關スル調査（三宅恒方）		三九九	一四イ
第六號	農作物病害蟲驅除豫防奬勵ニ關スル參考資料（農商務省農務局編）		三九九	一四ろ
第七號	甘藷ノ害蟲「イモハムシ」ニ關スル研究（東京帝國大學農學部高木三郎編）梨姫心喰蟲（桃心折蟲ニ關スル研究（大原奬農會農業研究所春川忠吉）編）		三九九	一四と
病害蟲驅除豫防資料	福岡縣編 大正一五	一	五二四	五二三
第一五號ノ二	鎭蟲驅除豫防ニ關スル法規 福岡縣產業部編 大正一二 九八頁	一	三九三	五七四
病害蟲の驅除豫防	鹿兒島縣立農事試驗場編（明治四五）	一	三三九	一九一
同	大正六	一	三三九	一九一イ
病家三不治	大槻茂質（磐水）（日本衞生文庫第一輯ノ内 大正六）		六一	二〇四
病家須知	〔抄〕 擇善居主人（先哲呼吸强健術ノ内 明治四五）		六一	一二〇
病間長語	井上金峨（近古文藝溫知叢書第一一編ノ内 再版 明治四三）		四二	二三イ
病間錄	生方敏郎（名著評論文集第一輯ノ内 大正八）		三	八五六
病間錄	綱島梁川（榮一郎）大正二三（「病窓雜筆」ト合綴）		九八	一八五イ
病氣と養生	菊池米太郎 大正六		六一	二三三
病氣の事は何でも分る（字典）	伊藤尙賢編 大正九		六〇	四九二
病菌害蟲彙報	農商務省農務局編 大正五至一五		三九九	一四
第一號	柿實蟲蛾ニ關スル調査（長野菊次郎）		三九九	一四イ
第二號	浮塵子注油驅除ニ關スル調査成績（農商務省農事試驗場編）		三九九	一四ろ
第三號	べだりあ瓢蟲及いせりや介殼蟲ニ關スル研究（靜岡縣立農事試驗場編）		三九九	一四と
第四號	柑橘類潰瘍病（農商務省農事試驗場編）		三九九	一四ほ
第五號	蜜柑蠅ニ關スル調査（三宅恒方）		三九九	一四イ
第六號	農作物病害蟲驅除豫防奬勵ニ關スル參考資料（農商務省農務局編）		三九九	一四ろ
第七號	甘藷ノ害蟲「イモハムシ」ニ關スル研究（東京帝國大學農學部高木三郎編）梨姫心喰蟲（桃心折蟲ニ關スル研究（大原奬農會農業研究所春川忠吉）編）		三九九	一四と
第八號	桃炭疽病ニ關スル研究（末松直治、鍬塚喜久治）		三九九	一四ほ
第九號	果樹類ノ根頭癌腫病（農商務省農務局編）		三九九	一四イ
第一〇號	矢根介殼蟲及「ルビー」臘蟲ニ關スル研究（桑名伊之吉）		三九九	一四ろ
第一二號	農作物病蟲害豫防事務要覽（農商務省農務局編）		三九九	一四と
第一三號	貯穀害蟲及其ノ驅除豫防ニ關スル調査研究成績第一報（同）		三九九	一四ほ
第一五號	稻熱病ニ關スル研究（大原奬農會農業研究所（西門義一）編）		三九九	一四イ
第一六號	病菌害蟲驅除豫防主任技術官協議會要錄（大正一四年七月開催）（農林省農務局編）		三九九	一四ろ
第一七號	馬鈴薯ノ葉捲病ニ關スル研究（大原奬農會農業研究所（笠井幹夫）編）		三九九	一四と
同	第八號 大正九		三九九	一四ほ
病苦に惱む青年に與ふ	羽太鋭治 大正八		三九九	一四イ
病源研究	木村天眞 大正三		三五〇	二六七
病原細菌學	佐々木秀一 再版 明治四四		三五四	二七り
病原絲狀菌及病原醱酵菌學	里見三男編 大正三		三五九	四八
病源調査報告書	廣島市役所編 大正九		六一	二三三
病原微生物學	上、下卷 綿引朝光 大正二、六		三五九	四五
備陽國誌	和田正尹等（吉備群書集成第一輯ノ内 大正一〇）		三九九	一四
兵庫縣明石郡役所事績綱要	同郡役所編 大正一五		六〇	四七五
兵庫縣地方改良講演集	第一回 同郡役所編 大正六		三五〇	二六七
兵庫縣朝來郡統計書	明治四三至大正元年 明治四五至大正三 同郡役所編		三五七	一〇七
兵庫縣會史	第二輯上、下 同縣編 大正一三		三九四	九へ
			三四三	一七

	冊	函	號
兵庫縣管內圖　同縣製　大正一三　三·三×二·五	一	八九	三九
兵庫縣產貝類目錄　兵庫縣(矢倉和三郎)編　大正五	一〇	三五九	五一
〔兵庫縣〕產業組合要覽　大正八年度　兵庫縣編　大正一〇	一	一四、二	一六〇
〔兵庫縣立原蠶種製造所〕事績報告　第一號(大正七、八年度)　同所編　大正九	一	一四、二	一八一
〔兵庫縣蠶業試驗場〕事績報告　第六、七號(大正一三、一四年度)　同場編　大正一四、一五	二	一四、二	一八一
〔兵庫縣〕產業調查彙纂　大正一〇年　兵庫縣產業部編　大正一一	一	一四、二	五九
兵庫縣蠶業統計　大正三至五年　同縣編　大正四至六	一	一四、二	八六
兵庫縣飾磨郡飾磨町志　同町役場編　大正九	一	三九七	六六
兵庫縣史蹟名勝天然記念物調查報告書　第一至三輯　同縣編　大正一二至一五	二	一四五	七九
同　第三輯　大正一五	一	一四五	七九イ
兵庫縣人口統計　大正四年　同縣編　大正五	一	一四四	四三五
兵庫縣人物列傳　山內青溪(直一)編　大正三	一	三三一	一一三
兵庫縣統計書　明治四三至大正一四年　明治四五至大正一五　同縣編	二七	一四四	九
兵庫縣ニ於ケル蚕種類竝其驅除法ニ就テ　內務省衛生局編　大正七	一	二七三	二六八
兵庫縣之尙齒會　片岡源之助編　大正五	一	三三七	八五一
兵庫縣師範學校主催小學校理科教授研究會報告書　同會編　大正八	一	二六三	七 六三
兵庫縣米穀檢查報告　明治四四至大正八、一〇年度　米穀檢查所編　大正元至一一　同縣	五	一四三	イ 三三
兵庫縣米穀檢查滿十五週年記念誌　手島康夫編　大正一二	一〇	五一八	七九

	冊	函	號
兵庫縣米麥統計　大正三至五年　同縣編　大正四至六	二	一四、二	八五
兵庫縣ペスト流行誌　同縣編　明治四五	一	一四、ハ	六九
〔兵庫縣立原蠶種製造所〕事績報告　第一號(大正七、八年度)　同所編　大正九	一	一四、二	イ 一八一
〔兵庫縣立農事試驗場〕業務功程　大正六年度　同場編　大正七	一	一四、二	イ 四五四
兵庫縣尋常高等小學校沿革史　大西直三編　大正八	一	二七二	四四
兵庫電氣軌道會社沿線名勝案內　遊覽の日本社編　大正六	一	三六四	一三六
兵庫ヒ築島　大正一五　(珍書大觀金平本全集ノ內)	一〇	一七一	一三〇
同	一〇	一七一	イ 一三〇
兵庫名所記　神戸史談會編　再版　大正七	一〇	二五六	一〇
病窓雜筆　綱島梁川(榮一郎)　大正一三　(「病間錄」ト合綴)		九八	八五イ
病兒及虛弱兒の養育法　瀨川昌耆　大正五	一〇	五六	二七
病兒看護の批判　吉田久造　大正一二　(母之友叢書第三編)	一	五一五	六〇
尾陽戲場事始(シバヰコトハジメ)　寫本　(元文三年迄尾張國ノ演劇年表ナリ)	三〇	二一八	一七
病床を道場として　大谷信夫　大正一三	一	五〇四	二七〇
病床所感(自問自答)　村山淸作　再版　大正四　三三頁	一	三三九	六一四
評釋十六夜日記(嚴密對照)　鈴木等三郎　大正一四	一	五四四	一三七
評釋詠史歌選　物集高見　大正一三	一	五三三	二六一
病弱を轉じて健康へ　額田豐　大正八	一	五三	一六三

	冊	函	號
評釋女大學　棚橋絢子　大正二	一	三九	二五
評釋國文史　五十嵐力　大正八	一	三八	三八
病弱者の力　(強壯微動術)　肥田春充　大正一五	一	六〇	八六
病弱の友に　安松長一編　大正九	一	六〇	四九〇
病苦の幻想　谷崎潤一郎　(潤一郎傑作全集第四卷ノ內　大正一〇)		五〇〇	四
兵主大明神緣起　近江國野洲郡(續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ內再版　大正一四)		八〇	二二 ロ
評壇　大阪出版社編　(扉等ノ冠稱ニハ「大阪每日」トアリ)　大正一四	一	五三八	二三
病蟲害豫防概說　神奈川縣內務部編　大正三	一	三四四	四八
病蟲害豫防奬勵要報　農商務省農務局編　大正一二、一三	二	一四、イ	五三二
第一號　二化性螟蟲驅除豫防指針		三四	三六五
第四號　浮塵子驅除豫防指針			
病中修行記　實範　(眞言宗安心全書卷下ノ內　大正三)	一	七一	四九〇
評註名詩新選　久保天隨　大正三　五五〇頁	一	七一	四九〇
病中用心抄　知道　(眞言宗安心全書卷下ノ內　大正三)		三三四	三六五
病的材料檢查指針　里見三男　大正八	一	五一	二六
平等覺(戲由)　他一編　高木久沙彌　大正一一	一	五〇六	六〇
平等因幡堂緣起　淨巖摸寫本　一七枚　(原本ハ觀智院所藏)	特一	八三	二四九
病人食物調理法並ニ糖尿病其他治病料理　宇野彌太郎　大正一一	一	六〇	七八
病人と健康者　菊池寬　(菊池寬全集第一卷ノ內　大正一一)		五〇五	三

	冊	函	號
病人用食物料理法　上、中卷　服部茂一　大正八、九	二	六〇	四七六
病人用心　上田照遍　(眞言宗安心全書卷下ノ內　大正三)		三三四	三六五
病馬治驗錄　第二輯上、下卷　陸軍獸醫學校編　大正三	二	七四	四〇三
評判鶯宿梅　(國書刊行會本德川文藝類聚第一二評判記ノ內　大正三)		三三〇	四九ろ
評判うそ咄　二卷　(蜀山人自筆奧書アリ)　(題簽ニハ「能評判」トアリ)	特一	〇	京　三三三
評判千種聲　蜂萬舍自蟲　(國書刊行會本德川文藝類聚第一二評判記ノ內　大正三)		三三〇	四九ろ
評判筆果報　(國書刊行會本德川文藝類聚第一二評判記ノ內　大正三)		三三〇	四九ろ
兵部卿護良親王　木村鷹太郎、淸水孝教　明治四五　五七〇頁	一	三三四	一七六
屛風物語　加宮貫一　大正一三	一	五二九	一五一
屛風物語　善男善女　炎　醉感			
病魔退治養生哲學　上卷　藤岡了空　大正八	一	六一	二七三
病魔と享樂者　高田浩藏　大正九	一	三九一	一二八
評彌陀經義　了祥　(眞宗全書續編第二一卷ノ內　大正四)		三四六	七
病名沿革攷　(癩痲痿攣)　多紀元簡　(醫聖堂叢書ノ內　大正一二)		五三	一九七
同		五三	イ 一九七
病名集　田中尙房自筆稿本　寫本　(田中叢書第五至七冊)	特二	〇 八三一	五
病理解剖學提綱　田中祐吉　增補五版　明治四五、大正元	二	四九	一四 ニ
病理解剖各論　上卷　木村哲二　大正一五	一	五一	四六
病理解剖各論　上、下　佐藤淸　大正一四	二	五一	四三

		冊	函	號
病理解剖術式(圖說)	柏木正俊 大正一一	一	五一	三八
病理學纂錄	佐多愛彥 明治四五 (近世醫學叢書第五九編)	一	六〇	二三九
同		一	六〇	二三九ロ
病理學總論	上卷 木村哲二 大正一三	二	五一	四二
病理學總論	上、下卷 速水猛 大正八、九	二	五一	二八
病理學總論教科書	(點字) 川越源治 大正五	二	二三一	二五二
病理學圖譜	木村哲二 大正一五	一	五一	四五
病理總論	上卷 川村麟也、草間滋 大正一一 五二一頁	一	五一	三六
病理總論	田中祐吉 上、中六版 下五版 明治四五至大正元	二	五一	一五ヨ
同	中八版、下六版 大正五至七	二	五一	一五タ
病理總論講義	卷之中、下 山極勝三郎 九版 大正四、五	二	五一	五ソ
病理組織學圖譜(標本圖說)	前編 今村隼稻 明治四五	一	四九	五六
病歷文選(獨和對譯)	野田政治 再版 大正四	一	六〇	四一七
評論講座	中村星湖 大正一五	一	五五〇	二三
百友硯譜	晚翠軒發行 大正一一	一〇	一八二	一四四
百臼之圖	臼氷臼麿撰 寫本	一〇	一五八	八六
百詠詩集	慧鐺 (眞宗全書第四八卷ノ內 大正三)		三四六	七
白衣の女	ウイリアム・ウイルキイ・コリンス著 田中豐松(早苗)譯 大正一〇	一	五〇一	一七〇
白衣の夫人	リルケ著 森鷗外譯 (鷗外全集第一三卷ノ內 大正一三)		五二〇	一
白衣の夫人	リルケ著 森鷗外譯 (鷗外全集第一三卷ノ內 大正一三)	特	五二〇	一イ
同	(森林太郎譯文集卷二 墺太利劇篇ノ內 大正一一)		三八九	八〇
白衣方記錄	(大日本佛教全書第一一八冊ノ內 大正二)		三五三	一〇
百香樓雜記	寫本	一〇	一二五	二〇一
百家隨筆	國書刊行會編 大正六、七 (國書刊行會本ノ內)	三	三三〇	五三
第一	九桂草堂隨筆 九卷 (廣瀨旭莊) 蘿月庵國書漫抄 七卷 (尾崎雅嘉編) 閑室漫錄 五卷 (山崎美成) 敗箒添塵 三卷 (多田義俊) 園の池水 二卷 (伴林光平) 落栗物語 二卷 (藤原家孝)			
第二	況齋雜話 三卷 (岡本況齋) 楓軒偶記 六卷 (小宮山楓軒) 月齋雜考 五卷 (清水濱臣) 南窻筆記 五卷 (加藤宜樹) 高ねおろし 二卷 (穗井田蓼莪)			
第三	海西漫錄 三卷 (鶴峯戊申) 喪志編 二卷 (楫取魚彥) 多氣窻螢 二卷 (北畠材親編) 活版經籍考 (吉田篁墩) 清水千清遺書 (清水千清) 非時文摘紕 (橘本稻彥) たかはゝき (齋藤彥麻呂) 蕉齋筆記 四卷 (小川白山) 能樂考 (瀧澤解) 文教溫故批考 二卷 (狩谷望之、屋代弘賢) 北窻雜話 二卷 (片山松齋) 傍廂糾繆 (岡本況齋)			
百家小品畫集	花之瓢六編 大正一一	一〇	一〇九	二六一
百家叢說(珍書文庫)	梅園謙編 井上賴閑校 明治四五	一	三三〇	四一
第三編	三種神器名考 (伊勢貞丈) 勾玉考 (谷川士清) 神功皇后攝政考 (坂上康敬) 本朝世記考 (伴信友) 新國史考 (伴信友) 舊事紀僞書明證考 (多田義俊) 日本紀の御局の考 (藤井高尙)			

朝鮮官員考 稻負鳥考 (藤原善一) 木文考 (速水行道) 橡考 かつみの考 (狛諸成) かつみ考 (屋代弘賢) 花かつみの考 (多賀常政等) 花勝美考 (藤塚知明) 冠位通考 (石原正明) 陸奧國軍團舊地考 (櫻戶櫻翁) 押字考 (伊勢貞丈) 栞、歌袋、秘閣考 (清原經賢) 僧官位服制考 (小野高潔) 辨國號考 (田澤義章) 武藏野地名考 歌謠作者考

		冊	函	號
百歌二格調	中野泰行 大正三	一〇	一二八	二六四
百家百扇畫譜	花之屋瓢六編 大正九	一〇	一九五	二〇九
百騎行軍		一軸	ん	一二二
百戲述略	齋藤月岑(幸成) 五卷 (國書刊行會本 新燕石十種第三ノ內 大正二)		三四三	四ろ
百會道具會席扣	寫本 (茶道叢書第二五三冊)	一〇	八三二	一八六
百會留帳	安永七年 寫本 (茶道叢書第二三六冊)	一〇	八三二	一七一
百花俱樂部	金井紫雲 大正六 (家庭自學文庫ノ內)	一	三五五	八五い
百科集錄	第一至三輯 石川眞琴編 大正一三、一四	二	四二一	二五
百科說林(現代碩學)	菊地甚兵衞編 大正七	一	三七〇	一七
百科大事彙(最新知識)	一誠社編 大正七	一	三四七	五五
百活矣	田能村竹田 (國書刊行會本田能村竹田全集ノ內 大正五)		三三〇	五〇ろ
百華帖(製菓見本)	橋本彌五郎 大正二	二〇	二一三	五六三
百菓の圖	良尙親王御筆 (繪卷拾遺第二卷ノ內 大正一二)		一〇九	二八四
百花培養集	松平菖翁 寫本 〔弘化四年ノ自序アリ〕	二〇	二〇五	一二六
百花村物語	支、抱甕老人編 佐藤春夫譯 (世界短篇小說大系支那篇ノ內 大正一五)		五二〇	四五
百官和祕抄	(續群書類從第一〇輯ノ上官職部ノ內 再版 大正一五)		八〇	二二一ロ
百景百句むさし野の一角	西原幸三 大正七	一〇	六	三五一
同	三版 大正八	一〇	六	三五一イ
百傑美談	第一編 伊藤仁太郎(痴遊) 大正六 (修養文庫ノ內)	一	三六四	七六
百故障失策	第一、二輯 廣田精一編 大正七、九	二	三七三	一〇二
白虎隊	岡本綺堂 (綺堂戲曲集第八卷ノ內 大正一四)		五二七	一六
白虎隊	平井駒次郎 大正六 (歷史小說文庫第一編)	一	三一	五五一
白虎隊(武士道之精華)	杉山夷山 大正元	一	三三三	三六三
白狐の湯	谷崎潤一郎 (現代戲曲全集第六卷ノ內 大正一四)		五二〇	二五
百歲の老母	ドストエーフスキイ著 米川正夫譯 (世界短篇小說大系露西亞篇上ノ內 大正一四)		五二〇	四五
百歲不老	ラプソン・スミス著・武者金吉譯 大正一二	一	三九〇	五八
百艸	芥川龍之介 大正一三 (感想小品叢書第八編)	一	五一五	一一八
百醜千拙	鈴木大拙 大正一四	一	五三三	九三
百姿千態美人文學	辻井亨(芝園隱士)編 大正二	一	三三八	二四五
百日紅	田山花袋 大正一二 (近代名著文庫第一四篇)	一	三八九	八二
辟支佛因緣論	二卷 (大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內 大正一四)	特	四四	三七四
同			八六	三九一

	函	冊	號	
辟支佛義集　圓珍撰　二卷（大日本佛教全書第二六册ノ內　大正六）	三五	一	一〇	五四
百姓一揆（長篇歌曲）　高橋季暉　大正一五　百姓一揆坑夫の唄　移住民	一	五五一	四六	同
百姓が二人の將軍を養つた話　シチエドリン著　米川正夫譯（世界短篇小說大系露西亞篇上ノ內　大正一四）	五二〇	四五		同
百姓盛衰記　四卷（國書刊行會本江戸時代文藝資料第三ノ內　大正五）	三三〇	五〇	は	同
百姓道　志澤光郎　大正八	一	三八七	一四	同
百姓だつて人間だ　古瀨傳藏　大正一四	一	五四七	五一	同
百姓の子（歌集）　野田蒿石　再版　大正一二	一	五一六	一六六	同
百姓嚢　西川如見（忠英）五卷（大日本風教叢書第九、一〇輯ノ內　大正一〇）	三六九	二	イ	同
同	三六九	二	イ	同
同（日本經濟叢書卷五ノ內　大正三）	三四六	一八		同
同（改訂日本經濟叢書第五卷ノ內　大正一二）	四四	三七三		同
百姓文學　山田不川（律之助）編　大正四　〔田園ニ關スル格言、俚諺、詩歌佛句、文章、俗謠、名家ノ家憲ヲ蒐集分類ス〕	一	三五六	一〇九	同
百姓分量記　常盤貞倚　再版　安永六　五卷	〇五	一八九	四〇七	同
同（通俗經濟文庫卷八ノ內　大正六）		三五五	五三	同
百姓マレー　ドストエーフスキイ著　米川正夫譯　短篇小說大系露西亞篇上ノ內　大正一四（世界）		五二〇	四五	同
百姓娘　モウパッサン著　矢口達譯（モウパッサン全集第四卷ノ內　大正一〇）		三九〇	四一	同
百姓話訓　吉本伍篤（通俗經濟文庫第二卷ノ內　大正五）		三五五	五三	同

	函	冊	號	
百手次第　（續群書類從第二三輯ノ下武家部ノ內　大正一三）	八〇	三	イ	二三六二
同	八〇	三	イ	二三六二
百首之狂歌　永雄著　中院通勝評點　寫本　二一枚	一〇	一二六	二六	同
百穗書集　平福百穗　大正七	一〇	一四三	二二	同
同	一〇	一四三	二二	特
飛躍する才魂　池田林儀　大正一五	一	五三六	二三	同
百世集　杉浦芳文（三圃）編　大正一二	一〇	一五八	一〇三	同
百選會圖錄　第一九回　同會編　大正一一	一〇	四三三	八〇	同
同　第二三回　大正一三	一〇	四三三	八〇	イ
同　第二四回　大正一三	一〇	四三三	八〇	ロ
百選會標準圖案集　第二五回　同會編　大正一四	一	四三三	八〇	ハ
百千頌大集經地藏菩薩請問法身讚　唐、不空譯（大正新脩大藏經第一三卷大集部ノ內　大正一二）	特	四四	三七四	
同		八六	三九一	
百撰飛那形　竹內孤堂編　大正七	二	一四七	二〇五	
百撰百笑（日本萬歲一）　小林清親畫　明治二八	一〇	二三四	八三	
百宋一廛書錄　清、黃丕烈（適園叢書第一册）	一〇	一七五	六九	
百則百話（碧巖書解一）　池上文彌　大正五	一	三二四	四九三	
百大音樂家の生涯と藝術　服部龍太郎　大正一四	一	五四一	五一	

	函	冊	號	
白道をふむ人　佛教協會編　大正一二（佛教文學叢書第三編）	一	五〇五	五四	西
百蟲畫　附　百蟲詩　山本復一	一	八三二	二五四	西
百丈懷海禪師廣錄　（大日本續藏經第五九五册ノ內　明治四五）		三二五	二	西
百丈懷海禪師語錄　（大日本續藏經第五九五册ノ內　明治四五）		三二五	二	西
百椿集　（續群書類從第三二輯ノ上雜部ノ內　大正一五）		八〇	三二	イ
同		八〇	三二	イ
百日咳　吉田久造（日本小兒科叢書第一四編）	一	一五六	八七	西
百日咳及其療法　笠原道夫編　明治四五（近世醫學叢書第二四編）	一	六〇	三九	西
同	一	六〇	三九	ロ
百日咳最新治療法　（生物學應用指抗菌療法）　渡口精鴻　大正一五	一〇	一五三	三七	西
百日曾我　近松門左衛門（傑作近松時代淨瑠璃集成ノ內　大正一〇）		三七七	二四一	西
同　近松門左衛門著　木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第三卷ノ內　大正一一）		五〇五	三六	西
同　近松門左衛門著　三木竹二、水口薇陽校（原作近松全集前編ノ內　大正一一）		二七	二六六	イ
同　一名　團扇曾我　近松門左衛門著　忠見慶造校註（近松淨瑠璃集上卷ノ內　明治四五）		三三八	九一	西
百日百題　天籟のさけび　（時勢大觀）　西師意　大正一四	一	五一〇	一五七	特
百人一首　（櫛川和尚百人一首）（續群書類從第二二輯ノ上文筆部ノ內　再版　大正一五）		八〇	三三	ロ
百人一首（北齋遺稿一）　大正一〇　四枚	一	四一六	三〇	西
百人一首一夕話　尾崎雅嘉　大正一一　七七二頁	一	五〇六	二三六	西
同　（日本歷史圖會第一二輯ノ內　大正一〇）		二九九	三	西

	函	冊	號	
百人一首改觀抄　契沖（契沖全集第六卷ノ內　大正一五）		五二〇	五三	西
百人一首講義　寫本　六枚（加茂眞淵ノ眞跡ヲ摸セルモノ）	特	一〇	や	四五	西
百人一首雜談　戸田茂睡（國書刊行會本戸田茂睡全集ノ內　大正四）		三三〇	四九	ぬ	西
百人一首初學抄　寫本（加茂眞淵ノ初學ヲ底本トシテ諸家ノ說ヲ記入セルモノ）		一〇	二三	一五五	西
百人一首富士百首　附　富士探勝案　安達健造　大正一五		一〇	一六三	二四	西
百人一首新釋（詳傳精註一）　新井誠夫　大正一〇		一	五〇一	二九	西
百人一首抄　中院通勝自筆　寫本	特	一〇	八三二	二七	西
百人一首抄（後陽成天皇一）（列聖全集御撰集第三卷ノ內　大正五）		三二八	三七八	別	西
百人一首之內大江千里（吉原土手の秋月）　國芳畫		一	七	五二七	枚	西
百人一首之內能因法師（三島明神の雨）　國芳畫		一	七	五二八	別	枚	西
百人一首評釋　中島悅次　大正一四（題簽等ノ冠稱ニハ「小倉」トアリ）		一	五五〇	一四	西
百人一首譯詩（紀傳一）　及川陳平　大正一〇		一	五〇一	一八八	西
百人一首山彥抄　物集高見　大正一四		一	五五一	一三	西
百人一首夜話（新釋一）　吉井勇　大正一五		一	五一七	五四四	西
百人女郎品定　西川祐信畫（日本風俗圖繪第三輯ノ內　大正一三）	特	一九五	一七六	イ	西
同		一九五	一七六	イ	西
百人百癖（人間一百種一）　堀內新泉（文慶）　大正三		一	三五〇	三四四	西
百年後の醫學　附　僕等の先生　堤友久（無醉）　大正一一		一	六〇	七三	西
百方口訣集　津田玄仙　寫本		二〇	二一	三〇六	西

		冊	函	號
百發百中趣味の銃獵	日本銃獵會編 大正一一	一	五六	一〇
百富士之圖	長谷川雪旦自筆畫 寫本 文政六	一	七別	五六
百瓶華序	月溪聖澄（續群書類從第一九輯遊戲部ノ內 大正元）		八〇	三二
同	（續群書類從第一九輯ノ下遊戲部ノ內 再版 大正一五）		八〇	三二ロ
百法小解	石川舜台 大正六	一	三二四	五五二
百法問答抄	九卷（日本大藏經第九卷ノ內 大正四）		三五三	六
百魔	並續篇 杉山茂丸 大正一五	二	五五六	三五
同	上卷 大正四（其日庵叢書第三編）	一	三二九	一〇二
百萬の慈父と仰がるゝまで	（澤野民治先生立志傳）小西忠雄 大正一二	一	五一六	一四三
百萬法	モウパッサン著 平野威馬雄譯（モウパッサン全集第二二卷ノ內 大正一一）	一	三九〇	四一
百萬遍知恩寺誌要	百萬遍編（淨土宗全書第二〇卷ノ內 大正三）		三二四	六三
百面相	小林清親畫（明治一六）	一帖	三三四	八四
百物語評判	山岡元隣 五卷（國書刊行會本德川文藝類聚第四怪談小說ノ內 大正四）		三三〇	四九ろ
百問百答信仰問題	伊藤證信 大正八	一	三九二	五六
白夜	カーメンスキイ著 昇曙夢譯（世界短篇小說大系露西亞篇下ノ內 大正一四）		五二〇	四五
白夜	ドストイエーフスキー著 市橋善之助譯（ドストイエーフスキー全集第一二卷ノ內 大正一一）		三七五	四七
同	ドストイエフスキー著 三宅賢譯（ドストイエフスキー全集第一卷ノ內 大正一五）		三七五	四七イ
白夜作品集	第二回 山田江秀編 大正四	一〇	四一九	五〇
百喩經	僧伽斯那撰 蕭齊、求那毘地譯 四卷（大藏經第四卷本緣部下ノ內 大正一三）	特	四四	三七四
百喩經	僧伽斯那撰 蕭齊、求那毘地譯 四卷（大正新脩大藏經第四卷本緣部下ノ內 大正一三）	特	四四	三七四
白蓮紅蓮	上、下 菊池幽芳（溥） 大正一一	二	五〇六	一五
同	〔全〕大正一三（幽芳全集第一二卷）	一	五一五	二七
同		特 一	五一五	二七イ
白蓮華	島村抱月（抱月全集第六卷ノ內 大正八）	特 一	五一五	二七ロ
毘耶娑問經	元魏、罽賓般若流支譯 二卷（大正新脩大藏經第一二卷寶積部下涅槃部ノ內 大正一四）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
日柳燕石全集	梶原猶之松（竹軒）編 大正一二	一	五一〇	五一
檜山式正坐法	（心身圓滿一達一）一名心身修養療法 檜山銳（鐵心） 大正一二	一	六二	一四七
ピユキス、ド、シャヴンヌ	大隅爲三 大正一〇（泰西名畫家傳第七）	一	五〇〇	一四
譬喩因緣活用說教	黑木顯道 大正一〇 五四八頁	一	三九二	三三
譬喩因緣實驗說教	黑木顯道 大正五	一	三三五	四三四
非ゆうくりつど幾何學	梶島一郎 大正一一	一	三八一	一八三
非ゆうくりつど幾何學	西內貞吉 大正一三	一	三三三	三六六
非ユウクリッド幾何學の論理的意義と數學の公理に就て	渡邊孫一郎（復興叢書第五輯ノ內 大正一三）		五二〇	三
非ゆうくりつど幾何の入門	河合熊太 大正一三	一	五三八	一四四
非ゆうくりつどと相對性（誰にもーわかる）	河合熊太 大正一三	一	四六	二五八
ヒューブ海上保險	ソロモン・ヒューブナー著 田中德次郎譯 大正一四	一	五三〇	一一七
ヒユーマン、インターコース講義	井上磯吉、矢口達 大正一〇	一	三三七	三七
ヒユーマン、インタコース講義	井上歐郎、中村宗雄 大正六	一	三三三	二五〇
比喩的形象主義之世界文字論概要	附 ローマ字排斥に付いて同派との論難 大正一四	一	三九三	七四九
ビユビユ、ドウ、モンパルナツス	フイリップ著 井上勇譯 大正一五（現代佛蘭西文藝叢書第七）	一	五一五	七四
氷河時代と埃及藝術	中井宗太郎 大正一四（歐洲藝術精華第一編）	一	四一四	一九
眉用集	道蓮（仙臺叢書第一一卷ノ內 大正一五）		五〇八	一三
氷上の舞踏會	岩野泡鳴（泡鳴全集第一一卷ノ內 大正一〇）		五〇〇	一
被用者ノ行爲ニ對スル事業主ノ責任	梅原錦三郎（橫田博士還曆教授二十五年祝賀記念論文集ノ內 大正一〇）			
美容術講習錄	第一卷 高等美容學院編 大正一四	一	五四三	四三
氷島の漁夫	附 埃及行 ピエル・ロチ著 吉江孤雁譯（近代西洋文藝叢書第二一冊） 大正五	一	三四五	六
氷島のハン	ユーゴー著 早川善吉譯 大正一〇 五五七頁	一	五〇六	七六
美容の仕方（誰にも出來る）	成瀨慶子 大正七	一	三六一	一九六
美容法講義	島田艷子（實際生活修養と技藝家庭女學講習錄下卷第一三編 大正一四）		五四三	二一〇
美容法の極意	高橋毅一郎、伊藤尙賢 大正五	一	三三九	七七九
氷峰の斷片	岩野泡鳴（泡鳴全集第二卷ノ內 大正一〇）		五〇〇	一
憑靈と豫言者	加藤玄智、中村古峽 大正九	一	三七三	三八九
鵯越將軍出世物語	岡田定信編 大正一一	一	五一四	四〇
日和下駄	永井荷風（荷風全集第六卷ノ內 大正九）	一	三八	八三四
日和下駄（諸國一拜見一）	吉野臥城（甫）編 大正九	一	三六四	二一七
平井教授退職記念編輯京都帝國大學醫學部小兒科教室原著論文抄錄集	同教室編 大正一四	一	五六	三八
平井權八吉原街	演藝圖書同好會編 大正六	一〇	一九八	三七三
避雷裝置に就て	密田良太郎 大正二（電氣試驗所第三部研究報告第一六號）	一	一四、五	七
開いた處	大谷繞石（正信） 大正三	一	三三八	二七二
平泉舊蹟志	相原友直（仙臺叢書第一卷ノ內 大正一五）		五〇八	一三
平泉藤原秀衡情史	藤原相之助 大正六	一	三二九	二八一
平泉藤氏榮華物語	春田爲吉 大正一四	一	五三二	一三八
平泉めぐり	千葉青花、矢野北虹編 大正一〇	一	三九三	三三六
平井復齋詩稿	平井松二郎編 大正二	一〇	二四九	一五六
疲勞と練習	千輪浩 大正六（心理叢書第四冊）	一	三三五	六三
疲勞の心理	松尾長造（工業能率研究ノ內 大正一二）		五一三	一六五
疲勞の生理	勝沼精藏（工業能率研究ノ內 大正一二）		五一三	一六九
平穩溫泉之栞	丸山福松編 大正五	一	二一	四六一
平賀鳩溪實記	（近古文藝溫知叢書第四編ノ內 明治二四）		四三	三イ
平賀源內集	平賀源內著 塚本哲三校 大正一一（風來六々部集 風流志道軒傳 神靈矢口渡 根南志草 そしり草）		一五〇六	一八二

		冊	函	號
平賀源内集	大正一五（有朋堂文庫ノ内）	一	五三	一五
平賀源内傳	西澤米二郎著　同笛畝編（仙湖遺稿集ノ内　大正九）		一	三四〇
枚方みやげ	平田良太郎　大正二	一	三三九	二一
ひらかな盛衰記	（淨瑠璃名作集下卷ノ内　大正一一）		五四三	三五
ひらかな盛衰記	寫本（松島松作芝居臺帳第三七ノ内）		八二四	二
ひら假名太平記	近松門左衞門著　藤井乙男校註（近松全集第四卷ノ内　大正一五）		五二〇	四〇
同		特	五二〇	四〇イ
平賀本土寺繼圖次第	日晴（日蓮宗宗學全書ノ内　大正一四）		三五三	三〇ぬ
平賀元義歌集（標ー）	尾山篤二郎　大正一二		五一七	二〇〇
平賀元義集	平賀元義（近世萬葉調短歌集成第一卷ノ内　大正一四）		五四四	四二
開かれざる抽出し	井川滋（二田文選ノ内　大正八）		三二九	二九一
同			三二九	二九一イ
開かれぬ扉	坂本石創　大正一〇		五〇一	一二三
同　大正一三			五一三	一八〇
開增梅愷樂	（芝居繪本第一）	特	一〇 京	三七六
平澤均治君を憶ふ	山本邦之助編　大正一一		三九四	一六一
平清水陶磁器調査及試驗報告	西山貞（東京工業試驗所報告第七回ノ内　明治四五）		一四二イ	二一七
平瀨貝類博物館案内	加藤延年編　大正三		三一七	三一七

		冊	函	號
平瀨貝類博物館寫眞帖	平瀨與一郎編　大正四	一	一八六	一六六
平瀨本源氏物語	（桐壺、槇柱）解說付　京都帝國大學文學部發行　大正一〇（複製）（同部叢書第五）	〇	二四九	二九
平田篤胤翁講演集號外	平田篤胤著　平田學會編　大正四	一	三四二	三四三
出定笑語原本伊吹於呂志	二卷　悟道辨　二卷			
平田篤胤全集	平田篤胤著　宮松岩雄編　明治四五至大正七	一	三三五	一五五
第　四	每朝神拜詞記		五一〇	四〇イ
	大鏡君御一代略記			
	天津祝詞解			
	神拜詞考			
	本教玄妙篇　上卷（未完）			
	古學諍辭集　二卷			
第　五	三易由來記　二卷			
	夏殷周年表			
	前漢曆志辨			
	金置玉函經解　三卷			
	老子集註			
第　六	弘仁歷運記考　二卷			
	赤縣太古傳　三卷			
	太昊古易傳　四卷			
	葛仙翁傳　二卷			
第　七	古史傳　第一至九卷			
第　八	同　第一〇至一九卷			
第　九	同　第二〇至二九卷中			
第一〇	同　第二九卷下至三七卷			
第一一	天朝無窮曆　六卷			
第一二	古史徵　四卷			
	古史本辭經　四卷			
第一四	密法修事部類稿　四卷			
	葛仙翁文粹　四卷			
	赤縣太古傳成文			
	太昊古易傳成文			
	童蒙入學門			
	天柱五嶽餘論			
第一五	神字日文傳　附錄　疑字篇　二卷			
	印度藏志未定稿　一〇卷			
	三五本國考　二卷			
	宮比神御傳記			
	入學問答			
	玉手襷　一〇卷			
	玉襷總論追加			
	祝詞正訓　二卷			
	古史傳外篇　上卷（未完）			
	神道玄妙論			
	三曆由來記　三卷			
	春秋曆本術編			
	醫宗仲景考　二卷			
	孔子聖說考　二卷			
	春秋命歷序考　二卷			
	黃帝傳記　三卷			
	太昊古曆傳　四卷			
	古史年曆稿			
	神代系圖			
	大扶桑國考　二卷			
	皇典文彙　三卷			
	太昊古曆傳成文			
	古易大象經成文			
	說文解字序			
	三神山餘考			
	舊事記疑問			
	赤縣度制考　三卷			

		冊	函	號
平田篤胤門人姓名錄	寫本	三	一二六	二四九
平田翁講演集	平田篤胤著　宮松岩雄編　大正二	一	三四三	三四三
	古道大意　二卷　俗神道大意　四卷			
	歌道大意　二卷　志都の石屋　二卷			
	西籍慨論　三卷　出定笑語　三卷			
	出定笑語附錄　三卷			
平田貞子	指田和郎　大正一二	一	五一四	六九
平田のしをり	來間泰三郎　大正一一	一	三九三	四一三
平出修遺稿	平出修著　與謝野寬編　大正六	一	三五七	二〇四
平戶鄉土誌	圖付　長崎縣北松浦郡平戶尋常高等小學校編　大正六	一	三四九	四九三
平戶まるべ	加藤三吾　明治四五　四九頁	一	三四四	七三
同	再版　大正五	一	三四四	七三イ
平戶圖幅	地質說明書付　地質調查所製　大正二、六	一枚	一三	一三五
	○·九×一·五			
平戶圖幅（地形詳圖ー）	地質調查所製　明治四五　一·三×一·七	一枚	一三	二三〇
平野國臣傳記及遺稿	平野國臣顯彰會編　大正五	一	三四八	三九二
平野祭繪卷		軸一	ん 一八	三九二
平野庸修翁傳	龜田次郎　大正六	一	一五	三三五
平林甚左衞門之傳	森本省一郎　大正六	一	六七	三七〇
比良暮雪	（近江八景之內）　柳齋辰齋畫	別一枚	ふ	三三四
平山子龍印譜	大正一二（藝苑叢書ノ内）	一〇	一九八	四三九
びりたー式電解苛性曹達製造ニ關スル研究	山崎甚五郎（東京工業試驗所報告第一〇回ノ内　大正五）	一四、二イ	一一七	
ビリチスの唄	附　愛撫の園　ビリチス著　川路柳虹譯　大正一五（世界奇書異聞類聚第六卷）	一	一五四八	三五
比律賓	日本移民協會調查部編　大正七（海外叢書ノ内）	一	三二七	九五六う
比律賓（南隣の友邦ー）	正木吉右衞門　大正一五　四四頁	一	五二四	三一九
比律賓概觀	朝倉政次郎（南洋に於ける鐵道調查報告書ノ内　大正四）		三二六	八九
比律賓紀行	小林淺吉　大正九	一	三八四	三三六
比律賓群島	元田作之進　大正五	一	三三九	八四四
比律賓群島外國貿易一覽表	臨時產業調查局第四部第二課編	一枚	一九	七一四
比律賓群島に於けるコプラと椰子油	藤井爲次郎（海外旅行調查報告大正六年夏期ノ内　大正七）		三二六	三五七
比律賓群島に於ける護謨栽培	ウエスター著　村社新譯　大正七（南洋叢書第一卷）	一	一四、五	八〇
比律賓群島ニ於ケル日本商品ノ聲價及ビ其將來	元吉光大　大正九（（横濱正金銀行）調查報告第四號）	一	一四、五	二九
比律賓群島の衞生狀況	內務省衞生局（齋藤馨次）編　大正一〇	一	一四、六	一三六
比律賓群島ノ開發	村社新　大正八（南洋叢書第三卷）	一	一四、五	八〇
比律賓群島の米作	南洋協會臺灣支部編　大正一一（南洋叢書第二〇卷）	一	一四、五	八〇
比律賓經濟的視察一斑	松岡富桂　大正二	一	三三七	一四八
比律賓產木材ノ解剖的識別ニ關スル研究	臺灣總督府中央研究所編　大正一三（臺灣總督府中央研究所林業部報告第二號）	一	一四、二イ	八五へ
比律賓史	小林德治　大正一〇	一	五一四	一五一

	冊	函	號
比律賓視察所感　鎌田正威　大正一一（南支那及南洋調査第一〇輯）	一	イ	一四、三
比律賓事情　三神敬長　大正一一	一		三九八
菲律賓諸島カタンヅァネス島附近諸港泊地　水路部製　大正九　三・二×二・一	一枚	洋	二八九
菲律賓諸島コロン灣西口　水路部製　大正九　二・一×三・一	一枚	洋	二七三
菲律賓諸島クーヨー諸島　水路部製　大正八　三・一×二・一	一枚	洋	三三一
菲律賓諸島クリオン島至パラワン　水路部製　大正九　二・一×三・一	一枚	洋	二八七
菲律賓諸島サマル島西岸サンヽペドロ灣至リブカン諸島　水路部製　大正八　三・一×二・一	一枚	洋	四四 ロ
菲律賓諸島サマル島北部　水路部製　大正七　二・一×三・一	一枚	洋	二一一
菲律賓諸島サマル東岸及西方近海　水路部製　大正七　二・一×三・二	一枚	洋	二一〇
菲律賓諸島サマル東岸及南岸諸港泊地　水路部製　大正一〇　二・一×三・二	一枚	洋	三三六
菲律賓諸島サマル東岸諸港泊地　水路部製　大正九　二・一×一・五	一枚	洋	二七三
菲律賓諸島サマル北岸諸港泊地　水路部製　大正九　二・一×三・二	一枚	洋	二九一
菲律賓諸島諸港　第一　水路部製　大正四　二・一×一・六	一枚	洋	二四 ハ
菲律賓諸島諸港　第九　水路部製　大正八　二・一×一・五	一枚	洋	二三三
菲律賓諸島諸港　第七　水路部製　大正二　二・五×一・七	一枚	洋	三七 ハ
菲律賓諸島諸港　第一〇　水路部製　大正八　二・一×一・五	一枚	洋	二三四
菲律賓諸島諸港第四　南岸ソルゴン港及附近　水路部製　明治四五　一・七×二・三	一枚	洋	三四 ハ
同　大正九　三・二×二・一	一枚	洋	二四 ニ
菲律賓諸島諸錨地第二　東岸カシグラン灣　水路部製　大正四　一・五×二・一	一枚	洋	六五 ロ
菲律賓諸島水路誌　上、下巻　水路部編　大正一一、一五	二	水	二八
菲律賓諸島シアシ島及ラバク島近海　水路部製　大正九　二・一×三・二	一枚	洋	八六
菲律賓諸島スールー叢島北東部　水路部製　大正八　二・一×三・一	一枚	洋	二三九
菲律賓諸島スル一名ミンドロ海東部　水路部製　大正二　二・一×三・四	一枚	洋	五六 ニ
菲律賓諸島セミララ、イリン及アムボロン島　水路部製　大正五　二・一×三・三	一枚	洋	一三〇 ロ
菲律賓諸島ベルデ、アイランド水道附近諸港泊地　水路部製　大正九　二・一×三・二	一枚	洋	二九〇
菲律賓諸島マスバテ諸港泊地　水路部製　大正九　三・二×二・一	一枚	洋	二六八
菲律賓諸島マリヅケ島諸分圖　水路部製　明治四五　二・三×一・七	一枚	洋	一五〇
菲律賓諸島ミサミス港至コロナド角　水路部製　大正九　二・一×三・一	一枚	洋	三六八
菲律賓諸島ミンダナオ南岸シブラン港　水路部製　大正八　二・一×一・五	一枚	洋	三三五
菲律賓諸島諸港　第一〇　水路部製　大正八　二・一×一・五	一枚	洋	三七 イ
菲律賓諸島ミンダナオ南岸ヅマンキラス灣　水路部製　大正八　二・一×一・五	一枚	洋	九五 イ
菲律賓諸島ミンダナオ南岸ヅマンキラス灣至ツナ灣　包有イルラナ灣	一枚	洋	二三〇
菲律賓諸島ミンダナオ北岸諸港泊地　水路部製　大正八　三・一×二・一	一枚	洋	一八七
菲律賓諸島ミンドロ海峡　水路部製　大正六　三・一×二・一	一枚	洋	二〇四
菲律賓諸島呂宋島西岸ベルデ、アイランド水道　水路部製　大正五　二・一×三・二	一枚	洋	一六七
菲律賓諸島呂宋島西岸リンガエン海灣至スビク灣　水路部製　大正八　三・一×二・一	一枚	洋	二九
菲律賓諸島呂宋島東岸諸港泊地　第一　水路部製　大正九　二・一×三・一	一枚	洋	二四〇
菲律賓諸島呂宋島東岸諸港泊地　第二　水路部製　大正九　二・一×一・五	一枚	洋	二六五
菲律賓諸島呂宋島南東岸諸港泊地　水路部製　大正八　一・五×二・一	一枚	洋	一七八
菲律賓諸島呂宋島北部附近諸港泊地　水路部製　大正九　二・一×三・二	一枚	洋	二六八
菲律賓諸島馬尼刺灣　水路部製　大正二　一・九×二・七	一枚	洋	二九二
同　大正九　二・一×三・二	一枚	洋	洋 ホ 二
菲律賓諸島レーテ諸港泊地　水路部製　大正九　二・一×一・五	一枚	洋	洋 ニ 二
比律賓總督施政　臺灣總督官房調査課譯　大正一二（南支那及南洋調査第七九輯）	一	イ	一四、三
比律賓地方行政法典　小室誠編　大正一一（南支那及南洋調査第四五輯）	一	イ	一四、三
比律賓統計要覽（一九二一年分）　臺灣總督官房調査課編　大正一二（南支那及南洋調査第七一輯）	一	イ	一四、三
比律賓と日本　松波仁一郎　大正一〇	一		三九八
比律賓に於けるカボック事業　臺灣總督官房調査課譯　大正一五（南支那及南洋調査第二一七輯）	一	イ	一四、三
比律賓ニ於ケル銀行券增發問題　横濱正金銀行調査課編　大正九（同課調査資料第二號）	一		一四五
比律賓に於ける眞珠貝、椰子、水稻　東洋拓殖株式會社編　大正七	一		三七二
比律賓の麻栽培　龍江義信（海外移住ノ内　大正一二）	一		五二
比律賓農業銀行　東郷實　大正三（殖産局出版第二八號）	一	イ	一四、三
比律賓のブリ椰子　後藤隆　大正一〇（南洋叢書第一八卷）	一		一四五
比律賓跋渉　土屋元作　大正六	一		三四九
ピリピ書註解　ウイリアム・イムブリー著　井深梶之助譯　大正一二	一		一五二
同　大正一四	一		一五二
ピリピの鬪技者　ニューベリー著　揮旗富美子等譯　大正一一	一		一五一七
微量分析化學　中瀨古六郎　大正一五	一		四七
蛭飼考　前田夏陰著　岡本保孝補　寫本（況齋隨筆第一一册）	一	特	一〇
ひるぎの一葉　岩崎卓爾編　大正九	一		三八三
ピルグリム祖先物語　海老澤亮　大正九	一		三九二
毘盧敎主義　慧光（敎主義合纂ノ内　大正一〇）			三三四
ピルケー氏新榮養學說　宮崎三郎　大正一三	一		六〇
畫御膳圖　伴信友書入（伴信友遺書ノ内）	一	特	せ

毘盧遮那經教主古今異說集附指瑕	亮海（教主義合纂ノ內 大正一〇）	一	三二四 六四〇
毗盧遮那別行經	（日本大藏經第三六卷ノ內 大正七）	一	三五三 六
毗盧遮那別行經鈔	慈圓傳 二卷（日本大藏經第三六卷ノ內 大正七）	一	三五三 六
ひるねの種	荷谷撰 安井知之校 大正一四（蕉門珍書百種第七號）	一	五四五 四 イ
同		一	五四五 四 イ
ヒルベリッヒ	ワッセルマン著 北村喜八譯（世界短篇小說大系獨逸篇ノ內 大正一五）	一	五二〇 四五
ビルマ事情	南洋協會臺灣支部編（南洋叢書第五卷） 大正九	一	一四五 八〇
比例代表制度論	附 各國選擧の現狀 ワイツシャー・ウイリヤムス等著 井關忠正譯	一	三九〇 八三
比例代表法	外三題 野村淳治 大正一四（島田夏期講座筆錄第二回第二編）	一	五四五 八
比例代表法の研究	森口繁治 大正一四	一	五三〇 一七九
肥料	九州鐵道管理局運輸課編（九州重要貨物調査第一卷） 大正四	一	一四二 ロ 九五
肥料異說一百題	鈴木璣水、渡邊致山 大正三	一	二四九 三九八
肥料一般成分表	岐阜縣立農事試驗場編（「依賴分析結果表」ト合綴） 大正四		三二七 七〇二
肥料要說	內山定一（西ヶ原叢書第一一卷） 明治四五	一	七八 九五
同	訂五版 大正三	一	七八 九五 イ
肥料要談三百題	（質疑—應答—） 齋藤萬吉、鈴木千代吉 大正四	一	三五八 三一
肥料要覽	農商務省農務局編（農務局報第一六、一九、三三、四〇號） 大正一〇至一四	四	一四二 イ 三七三
肥料概覽	農商務省農務局編（農務彙纂第六〇） 大正五	一	三三一 七五

肥料改良奬勵規則及關係通牒	農商務省農務局編 大正一一 一八頁	一	三九三 三六二
肥料改良奬勵事業ニ關スル調査	農林省農務局編（農務局報第四七號） 大正一五	一	一四二 イ 三七三
肥料改良奬勵資料	愛知縣產業部編 大正一三	一	五二四 一〇一
肥料講習會講義錄	三 ザートウキツケン 第一回 內山定一 大正六	一	三七二 四二
肥料學	川瀨惣次郎 大正一〇	一	三八〇 二六
肥料學	新潟縣農會編 大正二	一	二四四 二六九
肥料學講話（實驗—應用—）	鶴田萬平、廣瀨素行 大正一三	一	五三七 一八
肥料學教科書	澤村眞 訂四版 大正五	一	九三 一五 イ
肥料學最近の研究	大工原銀太郎（道府縣農會技師技手講習會講演集第二回ノ內 大正八）	三	七一 九八
肥料鑑定法	今關常次郎 七版 大正五（西ヶ原叢書第二卷）	一	七八 九五 ロ
肥料計算の話（わかりやすい—）	工藤齋 大正四（農家經營叢書第一編）	一	三五 二五三
肥料研究界	肥料研究會發行 第一八卷第一號（大正一三年一月）ヨリ	雜	三八 一〇四
肥料相談役（農家必備—）	今井桂一郎 大正四	一	三五八 五一
肥料自家配合便覽	鈴木千代吉 大正七	一	三七一 四七
肥料試驗成績集	群馬縣立農事試驗場編（同場成績要報第八） 大正六	一	四二 イ 三一五 イ
肥料施用法講義	梅邑右源治 大正七	一	三七一 一〇五
肥料新說	第二編 鈴木千代吉編 明治四五	一	三三七 五三三
肥料製造學	上卷 木田芳三郎 大正一四	一	五四三 四九

肥料製造論	上木田芳三郎 大正五	一	三五八 一一九
肥料成分改算要覽	矢崎亥八 大正五	一	三二九 七三五
肥料成分表	岐阜縣立農事試驗場編 大正六	一	三二九 九五七
肥料成分表	京都府立農事試驗場編 大正七	一	三七二 一六六
肥料的稻作改良法	鈴木千代吉 大正三 六〇六頁	一	三四九 三三七
肥料的麥作改良法	鈴木千代吉 大正五 七〇二頁	一	三五八 九六
肥料展覽會說明書	岐阜縣農會編 大正八	一	三七三 二一八
肥料ト土壤	大工原銀太郎 大正五	一	三二七 九二七
肥料取締關係法規	農商務省農務局編 大正一二	一	五一六 八七
肥料取締關係法規ト營業者ノ注意	茨城縣內務部編 大正一一 六一頁	十一	三九七 三六〇
肥料ニ關スル事項	東京府立農事試驗場編 大正一一（同場）農事試驗成績特別報告第四報）	一	一四二 イ 三三〇 イ
肥料ニ關スル調查書	大正四年度 神奈川縣內務部編 大正六	一	一四二 ロ 一三
肥料の選み方	鈴木千代吉 大正六	一	三三九 九六五
肥料ノ改良增殖奬勵指針	農商務省農務局編 大正九（食糧增殖奬勵資料第四號）	一	一四二 イ 四六一
肥料の買ひ方と見分け法	靜岡縣富士郡農會編 大正八	一	三七三 三八一
肥料ノ計算	岐阜縣編 大正六	一	三七三 六一
同	大正七	一	三七三 六一 イ
肥料の研究	都乃田桂一編 大正一四（農藝叢書第二編）	一	五四一 一八五

ヒレウ―ヒロオ

肥料の栞	岐阜縣立農事試驗場編 大正一〇	一	三九三 一七五
肥料の栞	宮崎縣編 大正七	一	三七三 一三一
肥料之栞	小松佐一編 大正一一	一	三九五 二四〇
肥料のしるべ（農家必携—）	宮村進	一	三二七 九四七
肥料の配合	角替利策 大正八（神奈川縣立）農事試驗場通俗出版第一號）	一	一四二 イ 四四六
肥料の話	愛知縣立農事試驗場編 大正五	一	三三九 六五四
肥料配合鑑定便覽	遠藤孝太郎 大正五	一	三三九 七四三
肥料配合法（應用—自在—）	鈴木千代吉 大正元	一	三四二 三五三
肥料分析法	附錄 肥料分析用表 農商務省農事試驗場編 大正二	一	三三七 一三
肥料分析法詳解	角田資道 大正五	一	三五八 一二九
肥料問題	大工原銀太郎 大正一一（越佐夏季大學講演集第一回第五輯）	一	五〇八 一八
肥料用諸法（應用—自在—）	金澤重編 大正一五	一	五四七 一五〇
肥料用方七日講話	鈴木千代吉 大正六	一	三五八 二〇五
飛礫（教壇—回顧—）	爲藤五郎等 大正七	一	二六四 四二
悲心中ケ丘	（西南役祕話） 沼田藏六 大正一五	一	五一七 四二
戀の曲	クロイツエル・ソナタ トルストイ著 米川正夫譯 大正一一（全譯名著叢書第三）	一	五一五 四
悲戀悲歌	岩野泡鳴（泡鳴全集第九卷ノ內 大正一〇）	一	五〇〇 一
天鵞絨	松本泰 大正二	一	三三八 二九
ビロード及其染色	桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第一〇ノ內 大正一五）	一	三八〇 一六五

	冊	函	號
天鵞絨の薔薇　ノブオク著　小山内薫譯（世界近代劇叢書第一輯ノ内　大正一三）	一	三八	二九七
天鵞絨の夢　谷崎潤一郎　大正九	ヒロサキ　棟方德衛　大正五	一	三六四	三五
弘前高等學校一覽　大正一二至一五年度　同校編	大正一二至一五	四	二八三	四四
廣重近江八景　廣重畫　八枚	別	一帖	ゐ	一二七
廣重近江八景　廣重畫　安政四	別	一帖	ゐ	二〇八
廣重遺稿東海道餘興と成田道中　解說付　酒井好古堂編	大正八	一〇	四一六	一
廣重團扇繪　東都月の三景（仲洲夏の月、高輪秋の月）　廣重畫	別	二枚	ゐ	二四九
廣重魚撰　廣重畫　一七枚	別	一帖	ゐ	一三三
廣重畫本曾富士川雪景　廣重畫	別	一枚	ゐ	二四〇
廣重畫五拾三次現狀寫眞對照　東海道　秋好善太郎編　大正七	別	一〇	四二	三七
廣重畫猿若町三芝居圖　廣重畫	別	九枚	ゐ	二三九
廣重畫集（若書之卷）　中村集一編　大正一四	別	一〇	二〇三	一二九
廣重畫帖　廣重畫〔江戸名所ノ畫ナリ〕　五四枚	別	一軸	ヘ	二三
廣重原圖　廣重畫寫本〔東海道五十三次ノ下圖數葉ト江戸名所ノ下圖ナリ、柳下亭種員ノ珍藏セルモノ〕	別	一帖	ヘ	四九
廣重四季江都名所　夏雨國之月、秋潤案寺紅楓　廣重畫	別	二枚	ゐ	二三八
廣重外櫻田圖　廣重畫〔東都名所外櫻田辨慶堀櫻の井の圖〕	別	一枚	ゐ	二〇二
廣重田每の月　廣重畫	別	一帖	ゐ	一七八
廣重短册繪　廣重畫	別	一帖	ゐ	二〇三

	冊	函	號
廣重東海道五十三次縮刻　廣重畫　古吾妻錦繪保存會編	帖	二	二〇一	二七九
廣重東都坂盡　廣重畫	別	七枚	ゐ	二三〇
廣重東都名所　廣重畫	別	一帖	ゐ	一四六
廣重江戸百景　廣重畫筆	別	二帖	四〇五	四四
廣重東海道五十三次　廣重畫筆　榮文堂發行　大正九	別	二帖	四四	三七六
廣重六十回忌追善記念遺作展覽會目錄　渡邊庄三郎編　大正六		一〇	一四七	一九四
同		一〇	一四七	一九四
廣島案内（教育家必携）　柏四郎九編　大正四		一	二一	三三九
廣島案内記　附嚴島名勝案内　吉田直次郎編　大正二		一	三三九	一七九
廣島降水量表　明治一二至大正一一年　廣島測候所編　大正一三　二六頁		一	一四六	三三一
廣島高等學校一覽　大正一三至一五年度　同校編　大正一三至一五		三	八三	四七
廣島高等工業學校一覽　大正九至一五年度　同校編　大正一〇至一五		七	二九二	六八
廣島高等師範學校一覽　明治四四至大正一二、一四、一五年度　同校編　明治四四至大正一五〔大正一一年度ヨリ「第二臨時教員養成所一覽」ト合綴〕		一五	二七四	一七
廣島高等師範學校附屬小學校　研究要報　第二卷　同校編　大正一〇		一	二五九 五	四七
廣島高等師範學校附屬中學校一覽　同校編　大正七		一	二七三	一九
廣島高等師範學校附屬中學校諸規程　同校編　大正九		一	二七三	三三
廣島高等師範學校附屬中學校統計　同校編　大正八		一	二七三	二〇

廣島高等師範學校　和漢書分類目錄　大正一二年度末現在　同校編　大正一四		二	五四〇	七
廣島瓦斯電軌株式會社經營電車沿線案内　同社編　大正一五〔題簽等ニハ「廣島市内宮島線電車沿線案内」トアリ〕		一〇	五五六	一五八
廣島罐詰業沿革誌　松岡福松編　大正一二　五五頁		一	五一三	二九
廣島氣象三十五年報　明治一九至大正九年　廣島測候所編　大正一一　二一頁		一	一四、六 ニ	一七 イ
廣島氣象三十年報　明治一九至大正四年　廣島測候所編　大正七		一	一四、六 ニ	一七 イ
廣島縣安藝郡統計書　明治四三至大正二年　同郡役所編　大正元至四		二	一四、四	六三
廣島縣安佐郡伴村安村各村山崩大水害寫眞帖　大正五年九月上旬　河野九助　大正五		一〇	三六四	二五
廣島縣偉人傳　手島益雄　大正一四（偉人傳第三編）		一〇	一六三	八八
廣島縣衛生年報　明治四三至大正九、一二年　同縣編　明治四五至大正一四		二	一四、六 ハ	三八
廣島縣尾道市是調査資料　同市役所編　大正七		一	二七二	九七
廣島縣高僧傳　手島益雄　大正一四（偉人傳第四編）		一〇	一六三	八八
廣島縣學事年報　明治四三年度　同縣編　明治四五		一	二五八 ニ	八七
廣島縣下教育家研究錄（御大典記念）　藤川芳舟（貞光）編　大正四		一	二五九	三五三
廣島縣賀茂郡商工案内　同郡商工會聯合會編　大正七		一	三七三	九〇
廣島縣氣象年報　大正二至一三年　廣島測候所編　大正五至一四		九	一四、六 ニ	一四三
廣島縣勤王家傳　手島益雄　大正一四（偉人傳第八編）		一〇	一六三	八八
廣島縣會、市部會、郡部會沿革誌　同縣縣治課編　大正二		一	三五六	七五

廣島縣警察統計書　明治四三、大正二至八、一二年　同縣警察部編　大正元至一四	六	一四、六 イ	二七
廣島縣教育一斑　同縣内務部學務兵事課編　大正三	一	二五〇	五
廣島縣教育概要　同縣内務部學務兵事課編　大正四	一	二五八 ニ	七
同　大正六、八年　大正六、八	二	二五八 ニ	七 イ
廣島縣公益家傳　手島益雄　大正一四（偉人傳第九編）	一〇	一六三	八八
廣島縣佐伯郡平良村是　同村役場編　大正一五	一	一五六 一	四四
廣島縣産業概覽　同縣編　大正六	一	二三七	九八六
同　大正七	一	二三七	九八六 イ
同　大正九	一	二三七	九八六 ロ
同　大正一一	一	二三七	九八六 ハ
〔廣島縣〕産業組合要覽　第九至一一次　廣島支會編　産業組合中央會　大正四至六	三	一四、二 ロ	九六
同　大正六至八、一〇、一一年度　廣島縣編　大正八至一三	五	一四、二 ロ	九六 イ
〔廣島縣〕産業調査書　廣島縣沼隈郡役所編　大正一〇	一	二七八	一四九
〔廣島縣繭業取締所〕事務成績　明治四四、大正二至八、一〇、一一年度　同所編　大正元至一二	一〇	一四、三 イ	一三六 イ
廣島縣史　同縣編　大正一〇至一三	三	三九八	五〇
第一編　地志			
第二編　社寺志			
第三編　史蹟名勝天然記念物志　附藝文			
廣島縣慈善團體事績概況　同縣編　大正三	一	三四四	三八八
廣島縣市町村資力調　大正三、四、六至一〇、一三、一四年　同縣編　大正三至一四	九	三三七	二六七

		冊	函	號	
廣島縣商業會議所報告	大正六、七年 同所編 大正六、七	二	一四八	三六	
廣島縣城主傳	手島益雄 大正一四 (偉人傳第二編)	一〇	一六三	八八	
廣島縣儒者傳	手島益雄 大正一四 (偉人傳第一編)	一〇	一六三	八八	
廣島縣種畜場要覽	同場編 大正六	一	三三九	九二	
〔廣島縣種畜場〕業務功程報告書	第一至九回 同場編 大正六至一四	三	一四二	四三	イ
廣島縣書畫家傳	手島益雄 大正一四 (偉人傳第七編)	一〇	一六三	八八	
廣島縣人口統計書	大正三至六、八、九年 同縣編 大正四至一〇	六	一四四	三六〇	
廣島縣神石郡生產調查書	同郡役所編 大正八	一	三七八	五八	
廣島縣人物評傳	續編 藤木瀧溪編 大正一四	一	五三四	六三	
廣島縣水產試驗場報告	第一至三卷 同場編 大正一三至一五	三	一四二	五四四	イ
廣島縣青年團體狀況取調書	同縣內務部學務兵事課編 大正二	一	三二七	三五五	イ
廣島縣稅務監督局統計書	明治四三至大正一二年度 同局編 明治四五至大正一四	一四	一四八	三六三	
廣島縣小誌	中國六縣聯合畜產馬匹共進會廣島協贊會編 大正元	一	三三四	二〇九	
廣島縣施肥標準調查成績	第一號 廣島縣立農事試驗場編 大正一四	一	一四二	五七〇	イ
廣島縣續儒者傳	手島益雄 大正一四 (偉人傳第一〇編)	一〇	一六三	八八	
廣島縣畜產案內	廣島縣產牛馬畜產組合聯合會編 大正六	一	三七三	二七	
同	廣島縣畜產組合聯合會編 大正一〇	一	三七三	二七	イ
同	大正一一	一	三七三	二七	ロ
廣島縣地方行政施設概況	同縣編 大正三	一	三四四	三八七	

		冊	函	號	
廣島縣統計書	明治四四至大正一四年 同縣編 大正二至一五	一	一四四	六三	
廣島縣豐田郡川源村ノ現勢	同村編 大正三	一	三四四	三九七	
廣島縣ニ於ケル地方病	日本住血吸蟲病俗稱片山病概要 廣島縣地方病撲滅組合編 大正一五	一	一四六	二一七	ハ
廣島縣沼隈郡誌	同郡役所編 大正一二 一一六三頁	一	五二九	九二	
廣島縣沼隈郡水產品計會報告書	大正一〇年一〇月開會 同郡水產會編 大正一一 二四頁	一	三九七	二七三	
廣島縣年報	明治四三年 同縣編 明治四五	一	一四四	六三	
〔廣島縣農會〕調查	同會(中村越郎)編 大正一四 第一輯 農業倉庫に關する調查 附 平均會安全論の是非	一	一四五	一三四	
廣島縣農事成績要覽	同縣內務部編 大正六	一	一四三	四三	イ
〔廣島縣〕農事調查	第一號 同縣內務部編 大正六	一	三六八	九	
廣島縣百人物評論	手島益雄 大正四	一	三六〇	一三五	
〔廣島縣廣島工業試驗場〕事業報告書	大正一二至一四年度 同場編 大正一三至一五	三	一四三	五四九	イ
廣島縣副業狀態調查	同縣編 大正八	一	三七八	五九	
廣島縣副業品展覽會報告	廣島縣出品協會編 大正七	一	三六八	三六八	
廣島縣武將傳	手島益雄 大正一四 (偉人傳第五編)	一〇	一六三	八八	
廣島縣武術家傳	手島益雄 大正一四 (偉人傳第一二編)	一〇	一六三	八八	
廣島縣婦人傳	手島益雄 大正一四 (偉人傳第一一編)	一〇	一六三	八八	

		冊	函	號	
廣島縣物產共進會審查報告	廣島縣物產共進會協贊會編 大正五	一	三六	一八三	
廣島縣物產陳列館報告	同館發行 大正五	一一	一四三	七七	ハ
廣島縣米穀檢查成績	第一至六輯 同縣穀物檢查所編 大正三至九	六	一四二	三六六	イ
〔廣島縣立農事試驗場〕業務功程	明治四四至大正二、四、一一至一三年度 同場編 大正元至一五	七	一四三	二七四	イ
廣島縣和歌俳人傳	手島益雄 大正一四 (偉人傳第六編)	一〇	一六三	八八	
廣島侯家藏書幅目錄	寫本 (茶道叢書第一八四冊)	一〇	八三三	二八	
廣島市街新地圖	大正六年調查 一七×一二 植村日進堂製 大正六	一	一九	六六一	枚
廣島市史	第二至四卷、社寺誌、附圖 同市役所編 大正一一至一四	五	三九八	一二五	
廣島市商工案內	廣島商業會議所編 大正五	一	三三九	八六六	
同	大正一二	一	三七四	九六	
廣島市商工人名錄	廣島商業會議所編 大正七	一	三七三	二五五	
廣島商業會議所半年報	大正六年上半期 同所編 大正六	一	一四八	三六	イ
廣島商工案內	大正一四年版 廣島商業會議所編 大正一四	一	三七四	九六	イ
廣島商工興信錄	廣島興信所編 大正三	一	三五〇	三五二	
〔廣島稅務監督局〕稅務統計書	大正一一年度 廣島稅務監督局編 大正一二	一	一四四	三六二	
〔廣島測候所〕特別氣象調查報告	同所編 大正八至一四	四	一四六	一七四	ニ
第二號	大正七年七月十二日の颱風				
第三號	大正八年七月上旬九月中旬の豪雨				
第六號	大正一二年の晩霜				
第七號	大正一三年の晩霜				

		冊	函	號	
廣島圖幅(地質詳圖)	地質調查所製 一:二×一:八 明治四五	一	一二	一二四	
廣島遞信局管內航通運輸ニ關スル報告	大正一〇年分 遞信省管船局編 大正一二	一	一四四	五五二	
〔廣島遞信局〕管內電氣事業要覽	同局編 大正一五	一	一四四	五四九	イ
〔廣島遞信局〕管內電氣事業概要	大正一一年一月現在 同局編 大正一二	一	一四四	五四九	
ひろすけ童謠集 小鳥と花と	濱田廣介 大正一四	一	五三八	二四四	
廣瀨町沿革概要	石飛佐一郎編 大正九	一	三七三	四八七	
廣部農具論	耕製器篇 廣部達三 大正二	一	三四二	三九七	
日和佐町勢一斑	德島縣同町役場編 大正五	一	三三七	八七九	
干割防止試驗	森三郎ノ內 (〔農商務省〕林業試驗彙報第七號 大正一一)	一	一四四	五五三	
豕菴集	木蛇詩筆部ノ內 江西龍派 (續群書類從第一二輯ノ上文 大正一五)	一	一四三	一一五	イ
濱江證券粮食交易所(小冊子)	滿鐵哈爾賓事務所調查課編 大正一五 七〇頁	一	一四四	五二四	ロ
品行論	福澤諭吉 (福澤全集第六卷ノ內 大正一五)	一	五二〇	四九七	
同		一	五二〇	五二	ハ
賓客禮俗式	中川忠英 (國書刊行會本三十輯第二ノ內 大正六)	一	五二〇	五二	イ
貧か富か	安達憲忠 大正一一	一	三三〇	五一	
貧窮百首	木下幸文著 佐佐木信綱、芳賀矢一校註 (校註和歌叢書第六冊近代名家歌選ノ內 大正三)	一	五〇三	二一七	
ピンクの珠	附 熊襲 横山三四吉 大正一〇	三	三四五	三	
貧血症及其療法	石谷兵九郎 明治四五 (近世醫學叢書第六五編)	一	三九六	二二三	
貧血ノ病理及療法	佐藤清 大正一二	一	六〇	三三九	ロ
		一	五一	四一	

	冊	函	號
ヒンケマン　エルンスト・トウラア著　田村俊夫譯　大正一四	一	五三八	九九
備後商工史　得能正通等編　大正七	一〇	四二〇	四二
備後帝釋風景利用策　帝釋保勝會發行　大正八	一	三七二	二五一
備後の山中　田山花袋（花袋全集第一二卷ノ內　大正一三）		五一五	三六
備後本場最新蘭草栽培法　平賀竹堂編　大正一四	一	五四二	九八
備後名勝巡覽大繪圖　萬延元　四・七×四・〇	一枚	二四〇	五七
瀕死の土耳古　重德來助　大正三	一	三四八	一三六
瀕死の琉球　新城朝功　大正一四　四七頁	一	五二四	三五〇
貧者の一燈　江部鴨村（藏圓）　大正八	一	三八七	三八
貧者の寶　メエテルリンク著　吉江喬松譯　改版　大正六	一	三一	六五七
同　マーテルリンク著　鷲尾浩譯（マーテルリンク全集第一卷ノ內　大正九）		三九〇	五一
品種改良掛合養蠶法　高見竹次郎　大正五	一	三五八	一二七
品種改良蠶の遺傳講話　外山龜太郎　大正七	一	三六一	二三七
品種改良實驗養蠶法　石川直胤　大正八	一	三八六	一三一
品種改良と飼育法　下井盛夫　大正九（蠶業講義第八編）	一	三七二	一八〇
品種改良ニ關スル理論ノ摘要　山口縣內務部編　大正五	一	三二七	九二一
品種改良法　宗正雄　大正五	一	三五八	一三六
品性研究指紋上の個人　兒島三郎　大正一〇	一	三九七	一二五
品性論　スマイルス著　高井貞吉譯註　大正五	一	七一	五七五
貧道集　藤原教長（續群書類從第一六輯ノ上和歌部ノ內　大正一三）		八〇	二二一ロ
賓頭盧突羅闍爲優陀延王說法經　宋、求那跋陀羅譯（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內　大正一四）	特	四四	三七四
同		八六	三九一
貧と母と子　フイリップ著　井上勇譯　大正一四（フイリップ傑作集第一卷）	一	五四四	一三
貧の研究　日吉明助　大正三	一	三五〇	三九六
品梅記　彙文堂編　大正八	一	三八六	一三〇
貧乏を救ふ道　賀川豐彥　大正一五（學藝講演通信パンフレット第二編）	一	五二四	三八九
貧乏紳士　ギッシング著　幡谷正雄譯註　大正一五（英文學名著第六）	一	五一六	三七七
貧乏物語　河上肇　大正六	一	三六二	一三
頻鞞娑羅王迎佛經　宇野圓空、林五邦譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第二卷ノ內　大正一三）		五一五	一〇四
頻毘娑羅王詣佛供養經　西晉、法炬譯（大正新脩大藏經第二卷阿含部下ノ內　大正一三）	特	四四	三七四
同		八六	三九一
貧富一新　福澤桃介　大正八	一	三七三	三〇六
貧富一新論　宇野宙人　大正八（平民叢書第六編）	一	三八九	一二
貧福太平記　平安堂菓林翁、洛東まぬけ庵（通俗經濟文庫卷一〇ノ內　大正六）		三五五	五三
貧福辨　（通俗經濟文庫卷三ノ內　大正五）		三五五	五三
貧富問題　田島錦治（金井教授在職二十五年記念最近社會政策ノ內　大正五）		三六五	五
貧富裸記　（通俗經濟文庫卷七ノ內　大正六）		三五五	五三
Ping pong　（ピンポン）　伊東卓夫編　大正一三	一	五一三	三〇二
貧民窟と少數同胞　井上貞藏　大正一二	一	五一二	一四五
貧民詩歌史論　八光社發行　大正一三	一	五三九	二〇
第一卷　貧民詩譯論（井上增吉譯）			
貧民心理の研究　賀川豐彥　大正四　六五四頁	一	三五六	一四五
貧民制度並救濟事業　廣中佐兵衞　大正二	一	三四四	二五三

フ

	冊	函	號
フアーマゾール（Fermasol）に就て　桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第七ノ內　大正一二）		三八〇	一六五
フアイドーン　プラトーン著　木村鷹太郎譯（プラトーン全集第一卷ノ內　六版　明治四五）		七七	二六八イ
同　（プラトーン全集第二卷ノ內　七版　大正一三）		五二〇	八
フアイドロス　プラトーン著　木村鷹太郎譯（プラトーン全集第三卷ノ內　明治四一）		七七	二六八イ
同　（プラトーン全集第五卷ノ內　七版　大正一三）		五二〇	八
フアウスト　ギヨオテ著　森鷗外譯　大正二	二	三五〇	六
同　大正一二（鷗外全集第一〇卷）	一	五二〇	一
同	特	一 五二〇	一イ
同　ゲエテ著　秦豐吉譯　大正一五	一	五一七	五九二
同　大正一五（ゲーテ全集第一三卷）	一	五二〇	一二
フアウスト　ゲーテ著　町井正路譯　明治四五	一	三三八	一〇九
同　ゲーテ著　松山悅三編　大正一五（兒童圖書館叢書第二二編）	一	五一五	一二一
同　第一、二部　ゲエテ著　村上靜人譯（ゲエテ傑作集ノ內　大正六）		三五五	八七
同（譯註—）　ゲーテ著　森田草平、東新譯　大正七	一	三七七	七六
フアウスト考　森鷗外　大正二	一	三五〇	六一
同　（鷗外全集第一一卷ノ內　大正一二）		五二〇	一
同	特	五二〇	一イ
同	特	五二〇	一ロ
フアウスト梗概　文獻書院編　大正一一（世界名著梗概叢書第一一編）	一	五一五	八
フアウスト評論（ゲエテ作—自傳劇詩—）　鼓響谷（常良）　大正二　八二八頁	一	三三八	一六〇
フアウスト物語　茅野蕭々　大正一五	一	五四四	二二〇
武奧增補行程記　淸水秋全　寫本〔江戶ヨリ南部ニ至ル道中繪圖ナリ〕	一二〇	八三〇	一七九
フアチイノ・カアネ　バルザック著　水野亮譯（バルザック小說集ノ內　大正一三）		五二二	一九七
フアブル科學智識叢書　フアブル　大正一四	二	五二七	七二
第一　家畜の歷史（安成二郎譯）			
第二　田園の保護者（平野威馬雄譯）			
フアラデーの傳（電氣學—の泰斗—）　愛知敬一　大正一二	一	五一四	九九
フアン・アイク兄弟　木村莊八編　大正九（繪畫叢書第八編）	一	三五	二七三と
普菴印肅禪師語錄　卷上（大日本續藏經第五九八冊ノ內　明治四五）		二二五	二
同　卷中、下（大日本續藏經第五九九冊ノ內　明治四五）		二二五	二

		冊	函	號
不安定なる社會相と猶太問題	藤原信孝 五版 大正一三 八四頁（現實叢書第一編）	一	五一五	一一七
不安なる世界相	稻原勝治 大正一二	一	五二三	五
ファン、ホッホ論	赤松義麿 大正一四	一	五四一	一〇五
フィールド、ホッケイ講話	荒木直範 大正一四	一	五四一	九一
浮游生物學	小久保清治 大正一二	一	五二一	三六
浮游生物檢索圖解	第一、二冊 水産講習所編 大正三、一〇	二	三三七	一八七
フイガロの結婚	ボオマルセエ著 井上勇譯 大正一三	一	五二三	二〇七
フイガロの結婚 セギルの理髮師				
同	（古典劇大系第九卷佛蘭西篇三ノ内 大正一四）		五三九	一
Ficus Retusa（溶樹）ノ乳汁中ノ酵素ニ就テ	田中庄助（臺灣總督府中央研究所工業部報告第九號ノ内 大正一四）		一四、二イ	二八五イ
フイスク氏商業政策	フイスク著 松崎壽譯編 明治四五	一	三四二	一二三
フイツシヤー氏網狀電極ニヨル各種亞鉛定量法ノ比較	中尾万三（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第三輯ノ内 大正五）		一四、二イ	四五一
フイヒテ知識學序說及基礎	近藤哲雄譯 大正九（哲學名著叢書第二編）	一	三七九	一三
フイヒテの哲學	久保正夫 大正一五	一	五五八	七
譜入校正箏曲歌全集	箏曲普及會編 大正七	一〇	一八六	二二二
フイリップ傑作集	フイリップ 大正一四	一	五四四	一三
第一卷 貧と母と子	（井上勇譯）			

		冊	函	號
フイリップ全集	フイリップ 大正一五	一	五四五	四〇
第一輯 シヤルル、ブランシヤアル	（小牧近江譯）			
フイリッポヴイッチ氏經濟政策	後篇 下卷フイリッポヴイッチ著 氣賀勘重解說 明治四五	一	九一	二三六
フイルヅシ童話集	フイルヅシ著 山崎光子譯（世界童話大系第一一卷土耳古、波斯篇ノ内 大正一四）		五二〇	一〇
同	（世界童話大系第一一卷土耳古、波斯篇ノ内 大正一五）		五二〇	一〇イ
フイルミアニ夫人	バルザック著 水野亮譯（バルザック小說集ノ内 大正一三）		五二二	一九七
フイルム撮影寫眞術	ベスト寫眞協會編 大正一〇	一	三九六	五〇
フイルム寫眞術	續篇 寫眞問答 高桑勝雄 大正一二	一	三九六	三三
フイルム寫眞の撮り方	ベスト寫眞協會編 大正九	一	三九六	一五
フイルムになつたアインスタイン相對性理論の基礎	ハンス・ワルテル・コルンブリユム著 松本健譯 大正一一	一	四六	二四九
フイレーボス	プラトーン著 木村鷹太郎譯（プラトーン全集第九卷ノ内 七版 大正一四）		五二〇	八
風雨の夜	田山花袋（花袋全集第五卷ノ内 大正一二）		五一五	三六
風雲偉觀	（大隈侯八十五年史別冊）史編纂會編 大正一五 大隈侯八十五年	一〇	四一七	二三イ
風雲感會	廣瀨嘉六編 大正一一 三四頁	一	三九三	四〇二
風雲回顧錄	岡本柳之助著 平井駒次郎編 大正元	一	三三二	三二八
佩蘅詩鈔	清、寶鋆 二卷（滿蒙叢書第二卷ノ内 大正八）		三七九	七
同			三七九	七イ
富家語談	（續群書類從第三二輯ノ上雜部ノ内 大正一五）		八〇	二二一

		冊	函	號
富家語談	（續群書類從第三二輯ノ上雜部ノ内 大正一五）		八〇	二二一イ
風雅娘	尾崎紅葉（紅葉全集第一卷ノ内 一二版 明治四五）		七四	三四六ハ
同			七四	三四六ニ
風雅和歌集	花園院御撰（二十一代集第八ノ内 大正一四）		五三九	五三
富貴草	早川賢當（日本經濟叢書卷五ノ内 大正三）		三四六	一八
同	（改訂日本經濟叢書第五卷ノ内 大正一二）		四四	三七三
富貴自在魁曾我	寫本（松島松作芝居臺帳第三三ノ内）		八二四	二
富貴自在集	大關爲孝 二卷（通俗經濟文庫卷五ノ内 大正五）		三五五	五三
富貴談	海保青陵（續日本經濟叢書第四卷ノ内 大正一二）		四四	三七三
富貴地座位	三卷（國書刊行會本德川文藝類聚第一二評判記ノ内 大正三）		三三〇	四九ろ
富貴長命丸（工—夫）	近藤清春著幷畫〔享保年間〕七枚〔三馬自筆ノ序文アリ〕	一〇	京	三四九
諷經	寫本 一・五六×一・七五	一枚	八三二	二八六
風狂文艸	田中友水子著 佐々醒雪、巖谷小波校 五卷（俳諧叢書第五冊名家俳文集ノ内 大正三）		三四五	四
風外禪師傑作集	井原雲涯編 大正九（日本南畫集覽別刊）	一〇	四二〇	五九
風景畫を描く人へ	鍋井克之 大正一一	一	五一三	五四
風景畫の描法	川合玉堂（新日本畫分科講話ノ内）		三五六	一一〇
風景雜記	上原敬二 大正一四	一	五四四	二四
風景心經	荻原井泉水 大正一一（層雲第四句集）	一	五〇六	一九〇
風景人物皕詠	菊池晩香（三九郎） 大正九	一〇	一一	三八三
風景地計畫	田村剛（高等林野講習會講演集ノ内 大正一五）		五一八	二六一
風景の科學	渡邊十千郎 大正一三	一	五二八	三七
風景は動く	北原白秋 大正一五	一	五一七	三三〇
楓軒紀談	小宮山昌秀（楓軒） 寫本	特一六〇	八二六	八五
楓軒偶記	小宮山昌秀 六卷（國書刊行會本百家隨筆第二ノ内 大正六）		三三〇	五三
楓軒先生秘錄	小宮山昌秀編 寫本〔天保前後ニ於ケル水戸藩ノ御用書附ナリ〕	特六〇	八二六	八七
楓軒先生密策	小宮山昌秀編 寫本〔水戸藩ニ關スル楓軒ノ意見書ナリ〕	特二〇	八二六	八六
風災救護誌	岡山縣農會編 大正六	一	三二六	二八九
風草及壺中句集	岡西惟中編 佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第三冊名家句集ノ内 大正二）		三四五	四
風箏誤	清、李漁撰 宮原民平譯（支那文學大觀第四卷） 大正一五	一	五五五	六
風藻餞言集	敬光編（大日本佛教全書第二八冊ノ内 大正七）		三五三	一〇
封事	藤田幽谷 四編（日本經濟叢書卷二〇ノ内 大正五）		三四六	一八
諷刺諧謔先生樣と生徒	奥野他見男 大正五	一	七一	五九九
諷刺畫	〔幕末ニ於ケルモノ〕	別二帖	ゑ	一一二
諷刺畫（ちりめーんずり）		特一帖	ぬニ	二九
諷刺滑稽趣味修養日々の慰安	加藤美侖編 大正一五	一	五三六	二〇二
楓仔精油ノ研究報告	加福均三（臺灣總督府研究所報告第四回ノ内 大正四）		一四、二	二八五
諷刺玉手箱を開くまで	生方敏郎 大正八	一	三八八	三〇
諷刺評論粹な親鸞樣	加藤美侖 大正一一（ゼントルマン叢書第五編）	一	五一五	二一

		冊	函	號
プーシュキン小說集	プーシュキン著　山村魏譯　大正一〇	一	三九六	九三
ドウブロフスキー				
令嬢田舍娘	ペートル大帝の黑奴			
驛長	發射			
吹雪	キルヂヤリ			
スペードの女王	エヂプトの夜			
	棺桶屋			
プーシュキンに及ぼせるシエークスピヤの影響				
に關する新論據	ワノーフスキイ著　杉木喬譯（外國文學研究第一輯ノ內　大正一二）	一	三五九	三四
諷誦章講義	坂本日桓　大正一五	一	五五九	六
開祖日什大正師御遺文				
諷誦章講義				
信行要道義講錄				
如實我此土安穩義講錄				
小子問題正錄				
ブース大將言行錄	西川光次郎編　明治四五（偉人研究第七〇編）	一	九五	四五
フースヒー（當面の人物）	高橋鐵太郎（縫洋）　大正二	一	三五〇	一七三
風船紛失記	正岡容　大正一五	一	五一七	三七
風俗	同社發行　第一卷第一號（大正五年九月）至第二卷第六號（大正六年八月）	二	雜三三	五一
風俗吾妻錦繪	國芳等畫	一帖	別ろ	三三
風俗鏡見山	（日本風俗圖繪第三輯ノ內　大正三）	特 一九五		一七六
同		一九五		一七六イ
風俗畫報索引	第一至四七八號（明治二二年二月至大正五年三月）寫本	〇五	雜三三	八
風俗研究	芸艸堂發行　第一號（大正五年三月）ヨリ		雜三三	五三
風俗三十二相	月岡芳年畫	特一帖	二三四	八三
風俗史研究指針	森德太郎　大正一二	一	五一三	三五

風俗習慣と隨神の實修	寬克彥　大正七	一	函三五	號三〇六
風俗粹好傳	鼻山人（人情本刊行會叢書第一六輯ノ內　大正一四）		五四五	二六
風俗叢書	文華堂發行　大正九		一〇	一八八
	第一輯　繪本艷庭訓（窓梅舍可耕）			
同	大正一〇	一	三九九	一三
	第三輯　日本風俗全史（江馬務）　卷一　結髮化粧史上			四
風俗通	金錦　大正八		二〇	一五
風俗通（大磯ノ新話）	松風亭如琴〔寬政中〕	特一	京	三六九
風俗圖說	此花社發行　第一集第一號（大正三年一一月）至第二集第四號（大正四年八月）（「此花」ノ改題）	二	雜三三	三六四
風俗文選	森川許六編　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第五冊名家俳文集ノ內　大正三）	一〇	一八	一八八
同	森川許六編　藤井紫影、武笠三校訂　大正一一	一	三四五	四
風俗文選拾遺	山崎北華　佐々醒雪、巖谷小波校　二卷（俳諧叢書第五冊名家俳文集ノ內　大正三）	一	五一七	八四
風俗問題	建部遯吾、鷲尾浩　大正一〇（現代社會問題研究第一一卷）	一	三四五	四
風塵錄	東武　大正五	一	三七五	四九
風通絣織教範	福井萬次郎　大正元	一	七〇	三六三
封筒繪（北齋畫）		一	三四四	六六
		別一枚	ふ	三九
風土心理學	（ルパッハ著　渡邊徹譯　大正四（大日本文明協會刊行書第三期ノ內）	一	三四二	四八五わ
ブートン島農業經營論	芳賀鍬五郎　大正一〇（南洋叢書第一七卷）	一	一四五	八〇
夫婦	菊池寬（菊池寬戲曲全集第三卷ノ內　大正一四）		三九六	二九

夫婦	長田秀雄（ラヂオドラマ叢書第三編ノ內　大正一四）			五四八
夫婦大學	宇野共次　大正一五	一	五二六	二一
同		一	五二六	二一イ
夫婦讀本	第一、二、三卷　越智眞逸　大正一四、一五	二	六〇	八〇九
夫婦者と獨身者	佐々木邦　大正一四	一	五四四	一六
風味のよい果實栽培法（宅地明地利用收益多く獲れて高く賣れる）	齋藤容一　大正九	一	三八六	一九三
風來紅葉金唐革	（國書刊行會本德川文藝類聚第一事實小說ノ內　大正三）		三三〇	四九ろ
風來六々部集	平賀源內（平賀源內集ノ內　大正一一）		五〇六	一八三
風羅念佛	久村聽臺撰　星野麥人校註（古俳書文庫第一七篇ノ內　大正一四）		五一五	二九
風流謠年代記	稀書複製會編　大正八（複製）	一〇	一五	三七七
風流後妻打	泉鏡花（鏡花全集第四卷ノ內　大正一五）		五二〇	四四
風流門出加增藏	五卷（國書刊行會本江戶時代文藝資料第三ノ內　大正五）		三三〇	五〇は
風流五節句遊	柳谷書	特一枚	ふ	二四
風流仕形舞	寶永三〔卷之二缺〕	特四〇	京乙	三五七
風流志道軒傳	平賀源內（平賀源內集ノ內　大正一一）		五〇六	一八三
風流書簡抄	桑田春風編　大正八	一	三八八	二一〇
風流眞顯記	（國書刊行會本德川文藝類聚第一二評判記ノ內　大正三）		三三〇	四九ろ
風流線	泉鏡花（鏡花全集第五卷ノ內　大正一五）		五二〇	四四イ
風流線	泉鏡花（鏡花全集第五卷ノ內　大正一五）		五二〇	四四イ
風流懺法	高濱虛子（世界短篇小說大系日本篇中ノ內　大正一五）		五二〇	四五
同　他二編	大正一	一	五〇一	二七
風流俗謠集	湯朝竹山人（觀明）編　大正一〇	一	五〇一	八四
風流對面會我譚	寫本（勝進助芝居臺帳第五八）	一	一九一	七六五
風流手摺と持送圖案	帝國建築協會編　大正一三	一	四三三	一七三
風流手拭合	江戶時代納涼會編　大正一四	一	一六二	一三二
風流蝶花形	泉鏡花（鏡花全集第二卷ノ內　大正一五）		五二〇	四四イ
同			五二〇	四四イ
風流の友茶道美談	熊田葦城（宗次郎）　大正一〇	一	三九五	八七
風流敗毒散	夜食時分　五卷（國書刊行會本江戶時代文藝資料第二ノ內　大正五）		三三〇	五〇は
風流比翼鳥	東の紙子　六卷（國書刊行會本江戶時代文藝資料第三ノ內　大正五）		三三〇	五〇は
風流佛	幸田露伴（明治文學名著全集第二卷ノ內　大正一五）		五九八	二四
同	附　一口劍　大正八（明治傑作叢書第二編）	一	三六四	三七八
風流反故集	壽達翁　寫本（壽達翁雜錄萬物藏第九冊）	一〇	二四五	二二七
風流夢浮橋	雨滴庵松林　六卷（國書刊行會本德川文藝類聚第一事實小說ノ內　大正三）		三三〇	四九ろ
風流四方屛風	上、下　稀書複製會編　大正一一	一〇	一四六	二九〇
風流和田酒盛	（國書刊行會本德川文藝類聚第八淨瑠璃ノ內　大正三）		三三〇	四九ろ
風林新葉集	寫本	二〇	一六三	八七

		冊	函	號
風鈴叢書	東條風鈴事務所發行 大正一〇	一	五〇五	六
第一篇 檀信統一策及び寺院と財政	（東條風鈴編）			
不運から幸運へ	石川武美 大正一五		一五〇	九五
同			一五〇	五七イ
無遠慮に申上候	福澤桃介 大正元		一三二	三八二
フオイエルバツハ論	エンゲルス、マルクス著 佐野文夫譯 大正一四		一五三六	五七
フォード自動車學	簗瀬幸三郎 大正一三		五二〇	一〇
フォード自動車會社職工待遇梗概	（南滿洲鐵道株式會社）調査資料 大塚素（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第七輯ノ內 大正八）		一五八	四九
フォード自動車の操縦と修繕	松平義雄 大正一四		一四五	一七
フォード自動車分解圖	カリユー編 大正一〇		一四一	一五〇
フオトタイムス寫眞選集	一九二五年 木村專一編 大正一五		一四三	四六
ふおるまりんヲ加ヘタル蒸氣消毒ニ就テ	（農商務省）釀業試驗場報告第一卷 石渡繁胤（農商務省）釀業試驗場報告第五號ノ內 大正五）		一五六三	六六
ふおるまりん稀釋液撒布ヨリ發散スル蟻酸あるでひーど瓦斯量及ビ之レガ消毒力	石渡繁胤（農商務省）釀業試驗場報告第四卷第四號ノ內 大正九）		一四二イ	三六九
ふおるまりんノ應用ニ就テ	第一、二報 下光太郎（大阪工業試驗所報告第五回第七號、第七回第二號ノ內 大正一三）		一四二イ	三六九
ふおるむあるでひど、ゆれあ縮合物ニ關スル研究	第一報 門脇博明、橋本勇次 大正一五（大阪工業試驗所報告第七回第六號）		一四二イ	四九八イ
不慍錄	德川齊昭（國書刊行會本史籍雜纂第五ノ內 明治四四）		四一	一九イ
不改庵遺稿	荒瀬信泰編 大正三		一二八	二七九

		冊	函	號
無遠慮	村上浪六 大正一五（浪六全集第一〇編）	一	五五〇	五七
同			一五〇	五七イ
無遠慮に申上候	福澤桃介 大正元		一三二	三八二
フオイエルバツハ論	エンゲルス、マルクス著 佐野文夫譯 大正一四		一五三六	五七
フォード自動車學	簗瀬幸三郎 大正一三		五二〇	一〇
フォード自動車會社職工待遇梗概	（南滿洲鐵道株式會社）調査資料 大塚素（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第七輯ノ內 大正八）		一四五	一七
フォード自動車の操縦と修繕	松平義雄 大正一四		一五四一	一五〇
フォード自動車分解圖	カリユー編 大正一〇		一四三	四六
フオトタイムス寫眞選集	一九二五年 木村專一編 大正一五		一五六三	六六
ふおるまりんヲ加ヘタル蒸氣消毒ニ就テ	（農商務省）釀業試驗場報告第一卷 石渡繁胤（農商務省）釀業試驗場報告第五號ノ內 大正五）		一四二イ	三六九
ふおるまりん稀釋液撒布ヨリ發散スル蟻酸あるでひーど瓦斯量及ビ之レガ消毒力	石渡繁胤（農商務省）釀業試驗場報告第四卷第四號ノ內 大正九）		一四二イ	三六九
ふおるまりんノ應用ニ就テ	第一、二報 下光太郎（大阪工業試驗所報告第五回第七號、第七回第二號ノ內 大正一三）		一四二イ	四九八イ
ふおるむあるでひど、ゆれあ縮合物ニ關スル研究	第一報 門脇博明、橋本勇次 大正一五（大阪工業試驗所報告第七回第六號）		一四二イ	四九八イ
不慍錄	德川齊昭（國書刊行會本史籍雜纂第五ノ內 明治四四）		四一	一九イ
不改庵遺稿	荒瀬信泰編 大正三		一二八	二七九

		冊	函	號
不幸	久保田万太郎（現代戲曲全集第一一卷ノ內 大正一四）		五二〇	三五
同	（日本戲曲集第一輯ノ內 大正一三）		五二七	六一
不幸女の救護	山室軍平 大正六		一三七三	二九
武江鐘銘集	寫本		一〇八	一二五
武江圖說	（圖入）寫本（江戸外郭市街地誌ノ沿革ヲ說ク）	特	五	一〇七
不幸な偶然	里見弴 大正七（新興文藝叢書第九編）		一	三一
不幸な戀人	小川未明 大正九		一	三八八
武江年表	齋藤月岑（幸成）編 一二卷（江戸叢書卷の一二ノ內 大正六）		一	三五三
同	（增訂）武江年表 齋藤月岑編 朝倉龜三校 大正元（國書刊行會本ノ內）		一	三四三
武江年表補正略	喜多村信節編 三卷（江戸叢書卷の一二ノ內 大正六）		三五三	二
同			三五三	三
富豪の積富策（進取？—守成？—）	岩崎徂堂 大正四		一三六〇	一七
不幸之同胞	寺田蘇人 大正八		一三六七	七六
（異本）武江披砂	大田南畝編 七卷（江戸叢書卷の一一ノ內 大正六）		三五三	二
同			三五三	三
武江扁額集	齋藤月岑編 稀書複製會編 大正八（複製）		一〇	一五
不幸者（英和對譯—）	岸田文雄 大正八		一	三八八
福江圖幅	地質調査所製 大正二 二·〇×一·五		一枚	一二

		冊	函	號
福江圖幅（地形—詳圖—）	地質調査所製 大正二 二·〇×一·五		一枚	一二
福江圖幅地質說明書	地質調査所編 大正二		一	一二
深川區史	上、下卷 同編纂會編 大正一五		二	五五四
同			二	五五四
深川區勢比較要覽	大正元至四年 東京市同區役所編 大正五		一	三六四
深川土功組合紀要	同組合編 大正一一		一	五〇七
深川の秋	小林宗吉（ふたば集第二卷ノ內 大正一〇）		一	三九六
深川の唄	永井荷風（荷風全集第三卷ノ內 大正八）		一	三一
富賀川拜見	蓬萊山人歸橋（國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ內 大正三）		一	三四三
深川八幡社（江戸名所—）	廣重畫		一	三三〇
深川元木橋掛替御普請繪圖面	寫本 九·〇×一·三		一枚	一五九
深川靈巖寺志	撫門（淨土宗全書第二〇卷ノ內 大正三）		一枚	二三四
普覺宗呆禪師語錄	法宏、道謙編 二卷（大日本續藏經第六〇一册ノ內 明治四五）		一枚	二三五
富嶽卅六景	從千住花街眺望之不二 北齋畫 大正一四		一枚	一三
富嶽詩集	小西理兵衛編 大正五		一〇	二〇三
舞樂小錄	（續群書類從第一九輯管絃部ノ內 大正元）		一〇	八〇
富岳雪譜	和久田寅、高田與清 寫本		三〇	二〇五
傀樂圖	田中尚房模寫 寫本（原圖ハ御厨子所預紀宗直ノ畫）	特	一軸	ん
富嶽に登りて	柴田孫太郎（明治聖德記念學會紀要第二二卷ノ內 大正一三）		一四五	一〇七

深く廣き基礎に　大塚小一郎　大正六　一　三六四　一三〇
不學無知章　慧淑撰（日本大藏經第一五卷ノ內　大正五）　一　三五三　六
深澤城矢文　（續群書類從第二一輯ノ上合戰部ノ內　大正一二）　一〇　八〇　三二イ
不可說　レニエ著　森鷗外譯（鷗外全集第一五卷ノ內　大正一四）　一　五二〇　一
同　（泰西名著文庫諸國物語ノ內　大正四）　特　五二〇　一イ
同　（泰西名著文庫諸國物語ノ內　大正四）　一　三四五　二ほ
不可說轉の記　曉鳥敏　大正一二（にほひくさ第九卷）　一　三三八　三七八
武甲駿遠巡回日誌　平尾猶之吉　寫本　一〇　一二五　二三五
符合泉志　一瓢舍山孔章　大正五　一〇　二一　二〇四
附加保險料を再論して龜田理學士に答ふ　磯野正登（矢野恒太君保險關係二十五年記念報告ノ內　大正四）　三二七　七五二
附加保險料に就て　磯野正登（矢野恒太君保險關係二十五年記念報告ノ內　大正四）　三二七　七五二
深見草　芸艸堂編　大正六　一〇　四八　三一
深みの凝視　國語鑑賞の心境　加茂學而　大正一四　一　五二八　一六六
深谷案內　大谷高重良編　明治四四　四八頁　一　三二九　二八
深谷町案內　高田晴司　大正一二　一　五六九　三〇
武漢三鎭游記　後藤朝太郎（東亞研究講座第一一輯ノ內　大正一五）　三九三　七五六
ふきあげ　稀書複製會編　大正一〇（複製）　一〇　一五　四〇九
吹上秀衡入　大正一五（珍書大觀金平本全集ノ內）　一〇　一七一　一二九
不規則脈と强心劑　額田豐　大正一二（研究より實地へ第四編）　一　六〇　七四一
武器陳列寫眞帖　田畑庄三郎編　大正九　一〇　一二　三九八
武器圖札　正木輝雄　寫本　特　二帖　二亥　九三
武器と人　ショー著　坪內逍遙、市川又彥譯　大正二　一　三三八　一五九
不義の蠟燭　グウルモン著　井上勇譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ內　大正一四）　五二〇　四五
不及先生千里善走法　岡伯敬編（國書刊行會本雜纂叢書第二ノ內　大正四）　三三〇　四九ち
富强　第一集　川崎茂助編　大正四　一　三一八　三〇六
不況期の海運と前途觀　千葉直俊　大正一五　一　五四〇　一二九
不況時代の株式投資と向後の株式趨勢　松尾克己等　大正一一　一　三九五　二七三
武經七書合解大成俚諺抄　上、下卷　神田白龍子著（漢文叢書第五、六冊）　久保天隨校　大正二　二　三四五　五
武奇陽集　第二編　靜間密　大正二　一〇　六七　三四九
武經射學正宗　三輪閑水（善輔）　大正一五（題簽等ノ冠稱ニ和訓トアリ）　一〇　八八　五九一
富强六略　高野昌頴（日本經濟叢書卷一七ノ內　大正四）　三四六　一八
ぬきよを　大丸吳服店意匠部編　大正一五　一〇　三〇三　一五五
富貴與世　幽夢卷了甫寫　寫本　特　一〇　せ　七五
復齋覺句圖題詠　支、徐珂編（天蘇閣叢刊二集六ノ內）　一六三　九七
福井案內　福井市役所編　大正一三　一　五一四　二六三

福井縣足羽郡全圖　同郡教育會製　大正八　一・三×一・五　一枚　三六四　三八一
福井縣遠敷郡熊川村ノ產業　同村役場編　大正五　一　三二六　一九三
福井縣大野郡誌　同郡教育會編　明治四五　二　三四二　一六四
福井縣學校衞生統計表　大正六年　同縣編　大正七　一　二七六　三三九
福井縣絹織物同業組合創立三十五周年記念三十五年史　同組合編　大正一〇　一　五〇九　四
福井縣管內全圖　木崎盛政製　大正六　三・六×四・二　一枚　一二　五〇八
福井縣教育概要　大正（二）、五年　同縣內務部編　大正三、六　二　三五八　六
福井縣教育の概況　同縣教育會編　大正一五　一　三五五　七七
福井縣工業講習所一覽　大正三年　一　一四、イ　三三イ
福井縣工業講習所業務功程　明治四四年度　同縣工業講習所編　大正元年度　同縣工業講習所編　明治四五年度　一　一四、二　三三イ
福井縣工業講習所業務成績表　大正三年度　大正四年度　同所編　一　一四、イ　三三イ
福井縣工業試驗場一覽　大正三、八年　二　一四、二　三三イ
福井縣工業試驗場〔福井縣工業試驗場〕業務工程報告　明治四四年度　大正元年度　同縣工業試驗場編　大正二年度　同縣工業試驗場編　大正三年度　〔福井縣工業試驗場〕業務工程報告ト合綴　二　一四、二　三三イ
福井縣工業試驗場一覽　大正三年ハ〔福井縣工業講習所一覽〕ト合綴　二　一四、二　三三イ
〔福井縣工業試驗場〕業務工程報告　明治四四年度ヨリ〔福井縣工業試驗場〕業務工程報告ト合綴　三　一四、二　三三イ
〔福井縣工業試驗場〕業務工程報告　明治四四至大正三年度ハ〔明治四四至大正三年度福井縣工業講習所業務功程ト合綴　三　一四、二　三三イ
福井縣穀物檢查報告　大正一一年度　同檢查所編　大正一二年度　七三頁　〔福井縣米穀檢查報告ノ改題〕　一　一四、二　二七イ
福井縣坂井郡農村保健衞生狀態實地調查報告　同縣衞生課編　大正一五　一　一四六、ハ　二一

福井縣坂井郡誌　同郡教育會編　大正元　五七七頁　一　三三四　二三八
〔福井縣坂井郡農會〕農事試驗成績及業務報告　第一八、一九報　同郡農會編　大正七、八　二　一四、二　四三三
福井縣產業概要　同縣編　大正三　一　產　二〇四ロ
福井縣產業組合概況　大正六年一一月　同縣編　大正六　一　一四、二ロ　一三三
〔福井縣蠶業試驗場〕事業成績　第七號　同場編　大正一四　一　一四、二　五六一
福井縣管內產業提要　同縣編　大正五　一　三二六　一四三
〔福井縣〕蠶業取締事務成績　大正（二）、五年　同縣內務部編　大正元、五年度　同縣蠶業取締所編　大正二、六年度　〔福井縣蠶病豫防事務成績〕ノ改題　二　一四、二　一六一
〔福井縣蠶業取締所〕事務成績表　大正三年度　大正四年度　同所編　一枚　一四、イ　一六イ
〔福井縣〕蠶病豫防事務成績　明治四四年度　同縣蠶業取締所編　明治四五年度ヨリ〔福井縣〕蠶業取締事務成績ト改題　一　一四、二　一六一
福井縣史　第一至三冊　同縣編　大正九至一一　三　三八三　一〇一
福井縣史蹟勝地調查報告　上田三平編　大正九、一〇　二　一四、二　三三イ
第一冊　若狹及び越前に於ける古代遺跡　二　一四、二　三五
第二冊　若狹及び越前に於ける奈良朝以後の主なる史蹟
〔福井縣〕史蹟名勝天然紀念物調查報告　第一號　同縣編　大正一三　一　一四、五　一二〇
福井縣自治民政資料　木戶正榮編　明治四五　七六二頁　一　三四三　三〇
福井縣社會事業一班　同縣內務部編　大正一〇　一　三九三　一五七
同　大正一一　一　三九三　一五七イ

		冊	函	號	
福井縣社會事業概要	同縣編 大正一三 九三頁	一	五一	八	
福井縣人 樺太經營史	日露交渉年表付（研究叢書第一編） 高島正編 大正元	一	三四六	三	
福井縣重要物産馬匹畜産共進會報告（第二）	同會事務所編 明治四五	一	一四、三	二五	
福井縣治概要	同縣編 大正一三	一	五三四	二一	
福井縣地方種繭審査會事蹟報告	第二報 同縣內務部編 大正五	一	一四、三	三八	
福井縣統計書	明治四三至大正一三年 同縣編〔缺アリ〕	一五	一四、四	三七	
福井縣丹生郡人物誌	山田秋甫 大正元	一	三四四	二四	
福井縣丹生郡統計書	大正元至三、五、六、九年 同郡役所編 大正三至一一	三	一四、四	四一四	
福井縣農家副業	同縣農會編 大正六	一	三七一	三三	
〔福井縣農會農事試驗場〕農事試驗成績報告	大正四至八年度 同場編〔大正九年度ヨリ「福井縣立農事試驗場」農事試驗成績報告」ト改題〕	二	一四、三	四〇三	
福井縣の水產	同縣編 大正七	一	三七三	二四三	
福井縣の羽二重精練沿革誌	桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第六ノ內） 大正一一		三八〇	一六五	
福井縣米穀改良事業報告	明治四四至大正二年度 同檢查所編 大正元至三	二	一四、三	二七一	
福井縣米穀檢查報告	大正三至七年度 同檢查所編 大正四至九〔「福井縣穀物檢查報告」ト改題〕	二	一四、三	二七一	
福井縣三方郡是（大典記念）	同郡役所編 大正五	一	三六〇	三八五	
福井縣立小濱水產學校成績摘要	麗水會報記念號 同校麗水會編 大正五	一	三九六	一四	

		冊	函	號	
福井縣立種畜場業務功程報告書	大正一四年度 同場編 大正一五	一	一四、三	五七四	
〔福井縣立農事試驗場〕農事試驗成績報告	大正九年度 同場編〔「福井縣農會農事試驗場」農事試驗成績報告」ノ改題〕	一	一四、三	四〇三	
福井侯行實	（修養文庫第一編賢哲傳上ノ內） 大正八	三七五		三五	
福井市教育五十年史	同市役所編 大正一二 八八頁	一	二五五	六九	
福井市商工人名錄	荒木善太郎編 大正一一	一	三七四	七八	
福井市新地圖	大淵傳次郎製 大正八 一·六×一·二	一枚	一九	六九三	
福井市統計一班	大正一一年分 同市役所編 大正一三	一	一四、四	二六三	
福井市の三十年	同市役所編 大正八	一	三七三	三五五	
福音書は如何に讀むべき乎併に其の本質如何	西川松子譯（トルストイ著 トルストイ全集第六卷ノ內 大正八）		三九〇	三九	
福音宣傳者	ホワイト著 山崎鐵松譯 大正九	一	三九三	一五七	
不空三藏行狀	唐趙遷撰（大日本續藏經第七四六册ノ內 明治四五）		三三五	二	
福翁自傳	福澤諭吉（福澤全集第七卷ノ內 大正一五）		五三〇	五一	
同			五三〇	五一	
福翁百餘話	福澤諭吉（福澤全集第七卷ノ內 大正一五）		五三〇	五一	
同			五三〇	五一	
福翁百話	福澤諭吉（福澤全集第七卷ノ內 大正一五）		五三〇	五一	
同			五三〇	五一	

		冊	函	號	
福翁漫言	福澤諭吉 大正六	一	一八六	一九七	
福岡高等學校一覽	大正一一至一五年度 同校編 大正一一至一五	二	二八三	三七	
福岡氣象參拾年報	明治二四至大正九年 福岡一等測候所編 大正一一	一	一四、六	四六	
福岡氣象貳拾五年報	明治二四至大正四年 福岡一等測候所編 大正六	一	一四、六	四六	
福岡縣山鑛勢要覽	大正一三年 同局編 大正一四〔「福岡鑛務署鑛勢要覽」ノ改題〕	一枚	一四、四	三七〇	
福岡鑛山監督局鑛勢要覽	大正一四、二五年各七月一日現在〔「福岡縣鑛山監督局鑛勢要覽」ト改題〕	一	一四、四	三七〇	
福岡縣山鑛區一覽	大正一四、二五年各七月一日現在〔「福岡縣鑛山監督局鑛區一覽」ノ改題〕	二	一四、四	三六九	
福岡鑛山監督署管內鑛區一覽	明治四五年七月一日現在 同署編 大正元〔「福岡鑛務署管內鑛區一覽」ト改題〕	一	一四、四	三六九	
福岡鑛務署管內鑛區一覽	大正八、一〇至一二年〔「福岡鑛山監督局鑛勢要覽」ト改題〕 同署編	一枚	一四、四	三七〇	
福岡鑛山監督署管內鑛區一覽	大正二至一三年各七月一日現在 同署編〔「福岡鑛山監督局管內鑛區一覽」ノ改題、「福岡鑛山監督局管內鑛區一覽」ト改題〕	一三	一四、四	三六九	
福岡縣衛生統計書	大正九年 同縣警察部編 大正一〇	一	一四、六	一五	
福岡縣學事一斑	大正三年四月三〇日現在 同縣知事官房統計係編 大正三	一	三五、二	六、二	
福岡縣企救郡勸業統計書	第七、八（明治四四至大正二年） 同郡役所編 大正二、四	一	一四、二	五四	
福岡縣氣象年報	大正三至五、七、九至一三年 福岡一等測候所編 大正四至一四	九	一四、六	四六	
福岡縣漁具調查報告	河川漁具之部 同縣水產試驗場編 大正八（同場）漁業基本調查第二報）	一	一四、三	四〇八	
福岡縣漁村調查報告	同縣水產試驗場編 大正六（同場）漁業基本調查第一報）	一	一四、三	四〇八	
福岡縣漁具調查報告	第一報 福岡縣漁村調查報告 第二報 福岡縣漁具調查報告	一	一四、三	四〇八	
福岡縣雨量報告	明治二七至大正二年一〇年間平均 福岡一等測候所編 大正五	一	一四、六	二五〇	

		冊	函	號	
福岡縣氣象參拾年報	明治二七至大正一二年 福岡一等測候所編 大正一四	一	一四、六	四六	
福岡縣管內圖	大正一〇年一〇月現在 林田清雄製 二五×二三	一枚	八九	二九九	
福岡縣管內雷雨報告	明治三一至大正六年 福岡一等測候所編 大正八	一	一四、六	一七五	
福岡縣管內氣象參拾年報	明治二七至大正一二年 福岡一等測候所編 大正一四	一	一四、六	四六	
福岡縣原蠶種製造所）事績報告	第一號（大正六年度）至第五號（大正一〇年度） 同所編 大正七至一一〔第六號ヨリ「福岡縣蠶業試驗場）事績報告」ト改題〕	二	一四、三	一七一	
福岡縣米統計	大正二至六年 大正三至七 同縣知事官房統計係編	四	一四、二	四三	
福岡縣虎列刺病流行誌	大正八年 同縣編 大正一〇	一	一四、六	一四〇	
〔福岡縣蠶業試驗場〕事績報告	第六號（大正一一年度）至第九號（大正一四年度） 同場編 大正一二至一五〔「福岡縣原蠶種製造所）事績報告」ノ改題〕	一	一四、三	一七一	
福岡縣實業團體聯合會主催九州沖繩物產共進會事務報告書	稻益一義編 大正七	一	三六八	四八	
福岡縣人口靜態統計書	大正五至七、一〇年 同縣知事官房統計係編 大正六至一二	一	一四、四	三八	
福岡縣水產要覽	同縣水產試驗場編 大正九	一	三九五	六四	
同 第一輯 法規集	大正一五	一	三九五	六四	
〔福岡縣水產試驗場〕漁業基本調查	同縣水產試驗場編 大正六至八	二	一四、三	四〇八	
第一報 福岡縣漁村調查報告 第二報 福岡縣漁具調查報告		二	一四、三	四〇八	
福岡縣水產試驗場）業務功程報告	大正四、六至一四年度 同場編 大正六至一五	二	一四、三	八五	
福岡縣水產試驗場事業報告	明治四三至大正三年度 同場編 明治四五至大正五	四	一四、三	八五	

	冊	函	號
福岡縣田川郡統計要覽　大正二年　同郡役所編　大正四	一	一四	三八イ
福岡縣田川郡統計書　大正二年　同郡役所編　大正三	一	一四	三八イ
福岡縣統計書　明治四三至大正一三年　同縣編　明治四五至大正一〔缺アリ〕	一八	一四	三八
福岡縣に於ける螟蟲驅除豫防の沿革　附　益田素平翁遺稿螟虫實驗說　同縣內務部編　大正一五	一	五三	四四五
福岡縣の園藝　日本園藝會福岡縣支會編　大正四	一	三五	八九
福岡縣の氣候と風土　福岡一等測候所編　大正一二	一	一四、六ニ	二三七
福岡縣の產業と氣象　福岡一等測候所編　大正一三	一	一四、六ニ	二四〇
福岡縣の竹林　同縣編　大正八	一	三七三	三四一
福岡縣ノ副業　同縣產業部編　大正一〇	一	三九五	一三七
〔福岡縣〕病蟲害豫防事業成績　大正九年度　同縣產業部編　大正一一	一	一四、二イ	五一四
福岡縣米穀檢查報告　大正七至一一年度　大正八至一三　同檢查所編	二	一四、二イ	四七〇
福岡縣三瀦郡誌　同郡役所編　大正一四	一	五三四	三八
福岡縣麥統計　大正三至六年　大正三至六　同縣知事官房統計係編	一	一四、二ロ	四三
〔福岡〕縣立中學傳習館創立二十五週年記念號　岡茂政編　大正八	一	二七三	二一
福岡縣立圖書館報　大正〔六〕至一二、一四年度年報　同館編　大正七至一五	二	二七八	五四
福岡縣立圖書館和漢圖書分類目錄　文學語學歷史地誌之部、法制經濟統計社會理學醫學工學兵事之部、美術諸藝產業之部、總記哲學宗教教育之部　同館編　大正七至一二	四	三一七	九八

	冊	函	號
福岡縣立圖書館和漢圖書分類目錄　文學語學之部　同館編　大正一五	一	三七	九八
福岡縣立農事試驗場一覽　同場編　大正六	一	三七三	五四
〔福岡縣立農事試驗場〕業務功程報告　大正元至四年度　同場編　大正二至五	一	一四、二イ	三三
〔福岡縣立農事試驗場〕業務年報　大正七至一一、一三、一四年度　同場編　大正八至一五	三	一四、二イ	三三イ
〔福岡縣立農事試驗場〕試驗成績報告　第二五號　同場編　大正七	一	雜	二六
福岡、佐賀、熊本、鹿兒島、愛媛、高知及鳥取七縣ニ於ケルワイル氏病調查報告　內務省衞生局編　大正八	一	一四、六ハ	一二
福岡、佐賀、熊本、長崎各縣下ニ於ケル勞働事情　中央職業紹介事務局（酒井利男）編　大正一四	一	五一八	一三九
福岡市　清原伊勢雄編　大正五	一	三六三	一六
福岡市出入貨物調查（大正一一年中）　博多商業會議所編　大正一三　二四頁	一	一四、二ロ	三〇三
福岡市の上水道　村瀨時男編　大正一二　四〇頁	一	二九三	四七九
福岡塾卒業記念圖案展覽會作品集　福岡玉屏編　大正八	一	四一九	一三六
福岡博多及郊外地圖　大淵善吉製　大正九　（帝國都會地圖九）　一七×二四	一枚	三二九	一〇〇一
福岡附近の史蹟　殊に元寇の史蹟　中山平次郎著　曾田共助編　大正二	一	三四八	三三
福岡夢物語　（國書刊行會本列侯深祕錄ノ內　大正三）		三三〇	四九は

	冊	函	號
腹蓋及腹膜の外傷及び諸病　關場不二彥　大正四　（日本外科全書第八卷第一九冊）	一	五四	五七
福蓋正行所集經　龍樹集　宋、日稱等譯　一二卷　（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內　大正一四）	一	四四	三七四
同		四〇	一六一　六
福雅堂詩鈔　支、林鶴年　中華民國五　一六卷	一	八六	三九一
服假沿革略考　關義臣　大正二	一	二四二	三七四
福來る神の傳受　脇坂義堂　（通俗經濟文庫卷九ノ內　大正六）	一	三五五	五三
副漁具之圖解　農商務省水產局編　大正三	一	三四四	三九九
服忌令　寫本　（養源居叢書ノ內）	一	二五	一八四
復活　トルストイ著　アンリ・バタイユ脚色　島村抱月再脚色　大正三	一	三三八	二八〇
同　（抱月全集第五卷ノ內　大正八）	一	三七九	一イ
復活　前編　トルストイ著　內田魯庵（貢）譯　五版　大正二	一	九三	二九七イ
同　前、後編　大正九	二	九三	二九七ロ
同　大正一五　（世界文豪代表作全集第一七卷）	一	五五五	一七
同　トルストイ著　高野槌藏譯　（トルストイ全集第七卷ノ內　大正八）	一	三九〇	三九
同　トルストイ著　中島清譯　大正一〇　八三〇頁	一	五〇一	一三三
同　トルストイ著　古館清太郎譯　大正一三　七四二頁	一	五三三	一三九
同　大正一四　（トルストイ全集第八卷）	一	三九〇	三九イ
同　トルストイ著　村上靜人譯　（トルストイ傑作集ノ內　大正六）	一	三五五	八七
復活（創作）　江原小彌太　大正一〇　五五九頁	一	五〇一	二七八
復活、教養神學の批評　トルストイ著　古館清太郎等譯　大正一四　（トルストイ全集第七卷）	一	三九〇	三九イ
復活祭　ストリンドベルヒ著　早川孝之、齋藤日向譯　大正一一	一	五一七	五九
復活祭　降臨節　クリスマスおめでたう　コロレンコ著　中村白葉譯　小說大系露西亞篇上ノ內　大正一四）	一	五二〇	四五
復活祭の前夜　島村抱月　（抱月全集第一卷ノ內　大正八）	一	三七九	二
「復活」私議　蜂川新　大正九	一	三六二	一八八
復活の巴里より　イブセン著　中島清譯　大正二	一	三三八	一二
復活の日　堀內新泉（文鹿）　大正一〇	一	三二九	一九二イ
復活の人（小說）　前編　シエンキエヰッチ著　松本越譯　大正元	一	三三八	二八〇
復活乃武士　（二葉のかたみ）　新井滿之助編　大正一三	一	五二六	五三
復活への犧牲　富山縣內務部編　大正一二　（富山縣副業資料其三）	一	五八	一五
副業組合に關する調查　香川縣編　大正一三　三〇頁	一	五二四	七八
副業經營の實例　農商務省農務局譯編　大正八至一四	一四	一四二イ	四五三
副業參考資料　第一　露國ノ手工業　第二　獨逸ニ於ケル諸種ノ小產業　第三　獨逸ニ於ケル農民工藝ト教育　副業的農產製造及家畜飼養　第四　藥工品ニ關スル調查　第五　漁家副業ニ關スル調查　第六　餘剩勞力調查事例　第七　竹製品ニ關スル調查　第八　副業的季節移動勞力ニ關スル調查　第九　副業經營ニ關スル共同組織調查			

		冊	函	號
第一三	大阪市及神戸市ニ於ケル貝釦取引狀況調査			
第一四	東京、大阪、横濱、神戸各市場ニ於ケル鷄卵取引狀況調査			
第一五	加工的副業生産品一覽	一	三七一	二七
第一六	副業ニ關スル優良組合事例	一	三七三	三八五イ
第一七	副業生産品ニ關スル調査	一	五二四	一九〇 枚
第一八	副業生産品々目別調査表	一	五二四	一三七
副實驗養鷄法	副業養鷄奬勵會編 大正六	一	三七三	七
副業奬勵金交付關係要覽	農林省農務局編 大正一五	一	五一八	一五九
副業奬勵費補助金交付一覽	大正一三年度 農商務省農務局編 大正一四	一	五二四	一三七
副業奬勵費補助關係要覽	農商務省農務局編 大正一三	一	三七三	三八五
同		一	五一八	一五九
副業主任官會議要錄	大正一三年六月開催 農林省農務局編 大正一四	一	五一八	一五九イ
同	大正一四年五月開催 大正一五	一	三四四	一五三
副業資料	農商務省山林局編 大正二			
第一	露國ノ手工的木工業ノ必要事項ニ關スル會議々事錄ノ一部 伯林、ドレスデン、ニューレンブルグ及シウトガルトニ於ケル小生産業製作品博覽會幷木工業ノ改良方法			
第二	モスコー縣籃製造物及同技師養成方法 露國ノ手工業 手工業ノ發達ニ關スル施設			
副業叢書	三學社發行 大正八、九	二	三九〇	一四
第五編	養豚利殖と兎の飼方 (櫻井米州)			
第六編	落花生と蒟蒻薯 (荒井傳次郎)			
副業蔬菜園藝	沖繩縣農事試驗場編 大正一一 二四頁	一	三九七	三九〇
第四號	都市計畫ニ關スル佛國法制及行政 (同)			
第一〇號	都市計畫ニ關スル米國法制及行政 (ホイットン著 同課譯)			
第一一號	交通問題ニ關スル調査 (同課編) 道路名街路名地番ニ關スル調査 (同)			
第一二號	火災ト都市計畫其ノ他 (同) 地方計畫衞星都市及田園都市 (同)			
復興金融の諸問題	松崎蕊編 大正一三 (大阪高等商業學校銀行業務研究室)調査報告第六册)	一	一四五	三九
	津田武二 大正一三 (神戸高等商業學校)商業研究所講演集第一二輯)	一	一四五	四一
復興景氣と戰爭經濟學	布施辰治 大正一四	一	五三五	二〇九
復興計畫と住宅對策	東京市編 大正一三 (帝都復興叢書第二輯)	一	五三三	一〇四
復興財政及金融	細矢祐治 大正一三	一	五三三	一三三
經濟				
復興後の市街電車に就て	入江弘 (市民賞論文集ノ内 大正一五)	一	五四六	一九三
復興市民要覽	島經辰 大正一五	一	五六一	五九
復興市民要覽	岩波書店發行 大正一二、一三	一	五四六	一九三
復興叢書		一	五三三	一三三
第一輯	震災に由る戒嚴令の施行 (美濃部達吉) 住居費の一研究 (高田保馬) 帝都復興と東京築港 (堀光龜) 帝都食糧品市場の復興と革新 (内池廉吉) 新興經濟恢復の若干問題 (山内正瞭) エコノミックデモクラフキーより見たる震災前の東京市 (福田德三)	一	五四一	一〇三
	經濟政策より見たる火災保險問題 (上田貞次郎) 火保問題の解決と地震約款に對する時論の批判 (青山隼司)	一	五四一	一〇三
	地震約款論 (藤本幸太郎) 復興資金の調達と金融制度の改善 (内藤草) 東京市の復興計畫とパーナムの桑港市改造計畫 (田川大吉郎) 復興側面觀 (井浦仙太郎) 法律思想と復興的精神 (牧野英一)	一	五四六	一九三
復興叢書	岩波書店發行 大正一二、一三	一	五三三	一三三
第一輯	震災に由る戒嚴令の施行 (美濃部達吉) 住居費の一研究 (高田保馬) 帝都復興と東京築港 (堀光龜) 帝都食糧品市場の復興と革新 (内池廉吉) 新興經濟恢復の若干問題 (山内正瞭) エコノミックデモクラフキーより見たる震災前の東京市 (福田德三)	一	五四一	一〇三
	經濟政策より見たる火災保險問題 (上田貞次郎) 火保問題の解決と地震約款に對する時論の批判 (青山隼司)	一	五四一	一〇三
	地震約款論 (藤本幸太郎) 復興資金の調達と金融制度の改善 (内藤草) 東京市の復興計畫とパーナムの桑港市改造計畫 (田川大吉郎) 復興側面觀 (井浦仙太郎) 法律思想と復興的精神 (牧野英一)	一	五四六	一九三
第二輯	公園及休養娯樂施設論 (ウイリアム・ベンネット・マンロー著 同課譯)	一	五一五	一二四
第七號	地方計畫及大都市計畫 (ジョージ・ビー・フォード著 同課譯)	一	五一五	四一
第八號	紐育及附近の地方計畫 (同課編)	一	五一五	一〇七
第九號	獨逸ニ於ケル都市計畫法制及行政(續) (ザクセン一般建築法) (同)	一	三九三	六九六
第一〇號	都市計畫ニ關する佛國法制及行政 都市計畫ニ關する米國法制及行政 (ホイットン著 同課譯)	一	五三三	一三三
第一一號	交通問題ニ關する調査 道路名街路名地番ニ關する調査 (同)	一	四三三	二三七
第一二號	火災と都市計畫其の他 (同) 地方計畫衞星都市及田園都市 (同)	一	四三三	二三七
復興金融の諸問題	松崎蕊編 大正一三 (大阪高等商業學校銀行業務研究室)調査報告第六册)	一	一四五	三九
	津田武二 大正一三 (神戸高等商業學校)商業研究所講演集第一二輯)	一	一四五	四一
復興景氣と戰爭經濟學	布施辰治 大正一四	一	五三五	二〇九
復興計畫と住宅對策	東京市編 大正一三 (帝都復興叢書第二輯)	一	五三三	一〇四
復興財政及金融	細矢祐治 大正一三	一	五三三	一三三
經濟				
復興後の市街電車に就て	入江弘 (市民賞論文集ノ内 大正一五)	一	五四六	一九三
復興市民要覽	島經辰 大正一五	一	五六一	五九
復興叢書	岩波書店發行 大正一二、一三	一	五四六	一九三
第一輯	震災に由る戒嚴令の施行 (美濃部達吉) 住居費の一研究 (高田保馬) 帝都復興と東京築港 (堀光龜) 帝都食糧品市場の復興と革新 (内池廉吉) 新興經濟恢復の若干問題 (山内正瞭) エコノミックデモクラフキーより見たる震災前の東京市 (福田德三)	一	五四一	一〇三
	經濟政策より見たる火災保險問題 (上田貞次郎) 火保問題の解決と地震約款に對する時論の批判 (青山隼司)	一	五四一	一〇三
	地震約款論 (藤本幸太郎) 復興資金の調達と金融制度の改善 (内藤草) 東京市の復興計畫とパーナムの桑港市改造計畫 (田川大吉郎) 復興側面觀 (井浦仙太郎) 法律思想と復興的精神 (牧野英一)	一	五四六	一九三
第二輯	公園及休養娯樂施設論 (ウイリアム・ベンネット・マンロー著 同課譯)	一	五一五	一二四
第七號	地方計畫及大都市計畫 (ジョージ・ビー・フォード著 同課譯)	一	五一五	四一
第八號	紐育及附近の地方計畫 (同課編)	一	五一五	一〇七
第九號	獨逸ニ於ケル都市計畫法制及行政(續) (ザクセン一般建築法) (同)	一	三九三	六九六
第一〇號	都市計畫ニ關する佛國法制及行政 都市計畫ニ關する米國法制及行政 (ホイットン著 同課譯)	一	五三三	一三三
第一一號	交通問題ニ關する調査 道路名街路名地番ニ關する調査 (同)	一	四三三	二三七
第一二號	火災と都市計畫其の他 (同) 地方計畫衞星都市及田園都市 (同)	一	四三三	二三七
復興金融の諸問題	松崎蕊編 大正一三 (大阪高等商業學校銀行業務研究室)調査報告第六册)	一	一四五	三九
	津田武二 大正一三 (神戸高等商業學校)商業研究所講演集第一二輯)	一	一四五	四一
復興景氣と戰爭經濟學	布施辰治 大正一四	一	五三五	二〇九
復興計畫と住宅對策	東京市編 大正一三 (帝都復興叢書第二輯)	一	五三三	一〇四
復興財政及金融	細矢祐治 大正一三	一	五三三	一三三
經濟				
復興後の市街電車に就て	入江弘 (市民賞論文集ノ内 大正一五)	一	五四六	一九三
復興市民要覽	島經辰 大正一五	一	五六一	五九
復興の列國	國際問題研究會編 大正一三	一	五三三	一三三
福嚴寺記並蒼官餘韵拾遺	瀧宜睦編 大正九	一	四三三	二三七
帛紗	荒川商店編 大正一五	一	一四六	二五七
福齋物語	(國書刊行會本德川文藝類聚第一事實小說ノ内 大正三)	一	三三〇	四九ろ
服裝改善の方針	生活改善同盟會編 大正九 一五頁	一	三九七	一九
福澤全集	福澤諭吉著 時事新報社編 大正一四、一五	九	五三〇	五一
第二卷	電銃操法 條約十一國記 訓蒙理圖解 西洋旅案內 西洋衣食住 洋兵明鑑			

		冊	函	號
副業的畜産	北村大作編 大正七			
副業としての飼鳥	古川龍城 大正一五 (趣味の副業叢書第二篇)	一	五四八	六〇
副業にして實收本位の鷄の飼方	月湖園主人 大正一五	一	五四七	三三五
副業之研究	同社發行 第二卷第八號(大正六年八月)至第五卷第二號(大正九年二月)	五	雜 三八	七〇
副業養鷄法	仁部富之助、千葉幸藏 大正五	一	三五八	一三七
副業養豚法	芝田清吾 大正一四	一	五四一	七五
覆元槧古今雜劇三十種	京都大學藏版 〔大正三〕 (京都帝國大學文科大學叢書第二)	一〇	五四九	二九
福建事情	外務省通商局編 大正六	一	三四九	四八七
福建省事情	外務省通商局編 大正一〇	一	三六八	一六三
復權ニ關スル佛國法令	デラキー編 大正一一 (司法省調査課譯 司法資料第九號)	一	四五	五四
復興	同社發行 第一卷第一號(大正一三年一月)	一	雜 三	四三イ
復興亞細亞の根本精神	安岡正篤 大正一四 (社會教育研究所リーフレット第四)	一	三九三	七三七
復興亞細亞の思想的根據	安岡正篤 大正一一 二五頁	一	三九三	四六七
復興亞細亞の諸問題	大川周明 大正一一	一	五一〇	一
復興局調査彙報	同局計畫課發行 大正一三至一五	二	一四五	九六
第一號	都市計畫ノ財政 (ウヰリヤムス著 復興局計畫課譯)			
第二號	歐洲ニ於ケル超過並ニ地帶收用及土地區劃整理 (同)			
第三號	受益者負擔ニ關スル外國法制及實際ニ就テ (同課編)			
第四號	都市計畫ニ關スル獨逸法制及行政 (同)			
第五號	都市計畫ニ關スル道路施設の財源に關する調査 (同) 地方制發			

		冊	函	號
	掌中萬國一覽	清英交際始末	五三〇	四五
	英國議事院談	世界國盡 附錄付		
	啓蒙手習之文			
第三卷	學問のすゝめ	童蒙教草	五〇〇	五一
	寓言かたわ娘	改暦辨		
	帳合之法	文字之教 附錄 手紙之文		
	會議辯			
第四卷	文明論之概略 六卷	學者安心論	五三〇	四五
	分權論	民間經濟錄 二編		
	福澤文集 二編			
第五卷	通貨論	通俗民權論	二	五五四 一八九
	通俗國權論 二編	民情一心		
	時事小言	時事大勢論	三九〇	四一
	帝室論	德育如何		
	兵論	學問之獨立	五二〇	一
	全國徴兵論	通俗外交論		
第六卷	日本婦人論	日本婦人論 後編	五二〇	一
	品行論	士人處世論		イ
	男女交際論	日本男子論	五二〇	四五
	尊王論	國會の前途		
	國會難局の由來	治安小言	三四五	二 ほ
	地租論	實業論		
	明治十年丁丑公論	脊我慢の說		
	女大學評論	新女大學	三五三	一〇
	福澤先生浮世談	舊藩情		
第七卷	福澤翁百話	福翁百餘話	三七九	七
	福翁自傳			イ
	時事論集 第一至三		三七九	七
第八至一〇卷	福澤全集 第二至一〇卷 福澤諭吉著 時事新報社編 大正一四、一五		九	五二〇 イ
福澤先生と小川武平翁	增島信吉 大正元		一	三四四 一二九
福澤先生の手紙（修養叢訓）	鈴木梅四郎編 大正七		一	三七〇 四三
福澤諭吉	田中王堂（喜一） 大正四		一	三六〇 二八六
復讐	岡本綺堂（龍女集ノ內 大正一〇）		三九六	九七
復讐	島村抱月（現代戲曲全集第二〇卷ノ內 大正一五）		五二〇	二五
同	（抱月全集第六卷ノ內 大正八）		三七九	一
複式和文獨譯	大津康 大正三		一	三三三 五四
同	改訂 大正一三		一	三三三 五四 イ
復習のさせ方	加藤美侖編 大正九		一	二七九 三五
福島案內	同市役所編 大正五		一〇	一八六 二八五
福島案內	富士崎放江編 大正八		一	三八八 一三
福島高等商業學校一覽	大正一一、一二、一五年度 同校編 大正一一至一五		二	二九三 三
福島縣案內	同縣編 大正三		一	三三九 四〇〇
福島縣石川郡石川町附近長石及石英調查報文	北條敬太郎（工業原料用鑛物調查報告第三號ノ內 大正一〇）		一四、二 イ	五〇〇
〔福島縣石川郡農會〕農事調查	同會編 大正一三		一四、二 イ	五〇〇
福島縣偉人事蹟	同縣教育會編 明治四五 九六頁		一	三二七 六二七
福島縣石城郡大野村粘土調查報文	木村六郎（工業原料用鑛物調查報告第一三號ノ內 大正一二）		一四、二 イ	五〇〇
福島縣石城郡平町附近耐火粘土調查報文	北條敬太郎（工業原料用鑛物調查報告第三號ノ內 大正一〇）		一四、二 イ	五〇〇
福島縣岩瀨郡長沼町陶土調查報文	北條敬太郎（工業原料用鑛物調查報告第三號ノ內 大正一〇）		一四、二 イ	五〇〇
福島縣衞生年報	大正三、四、六至八、一〇、一一年 同縣編 大正三至一三		七 一四、ハ六	二〇九 三
福島縣大沼郡尾岐村陶土調查報文	北條敬太郎（工業原料用鑛物調查報告第一號ノ內 大正一〇）		一四、二 イ	五〇〇
福島縣大沼郡中ノ川村陶土調查報文	北條敬太郎（工業原料用鑛物調查報告第一號ノ內 大正一〇）		一四、二 イ	五〇〇
福島縣大沼郡本郷山陶土調查報文	北條敬太郎（工業原料用鑛物調查報告第一號ノ內 大正一〇）		一四、二 イ	五〇〇
福島縣河川の研究	田子健吉 大正一三		一	五一三 二三三
福島縣氣象三十年報	明治二四至大正九年 福島測候所編 大正一二		一	一四、六 ニ 五九 イ
福島縣氣象年報	大正二至四、八至一四年 福島測候所編 大正三至一五		一〇	一四、六 ニ 五九
福島縣警察統計書	大正四、六、七、一二年 大正六至一三 〔大正一三年ヨリ「福島縣統計書（警察及衞生）」ヲ見ヨ〕 同縣警察部編		四	一四、六 イ 三五
〔福島縣原蠶種製造所〕事績報告	第一號 大正四 同所編		一	一四、二 イ 三六三
福島縣穀物檢查所事業報告	大正七至一四年度 同所編 大正九至一五		二	一四、二 イ 四七四
福島縣桑園基本調查成績書	大正一三年 同縣內務部編 大正一四		一	五一八 一四八
福島縣相馬郡及雙葉郡粘土及石英砂調查報文	木村六郎（工業原料用鑛物調查報告第九號）		一	一四、二 イ 五〇〇
福島縣產業組合要覽	大正五年度 同縣內務部編 大正八		一	一四、二 ロ 二三九
〔福島縣〕產業調查書	同縣編 大正八		一	三七一 一七一
福島縣蠶業取締事務成績	大正七至一一、一三年度 同取締所編 大正九至一四		六	一四、二 イ 一四七
福島縣蠶絲業寫眞帖	同縣編 大正九		一	一四三 二〇
福島縣產馬案內	同縣編 大正三		一	三三九 五三一
福島縣信夫郡飯坂町附近浮石砂調查報文	北條敬太郎（工業原料用鑛物調查報告第一號ノ內 大正一〇）		一四、二 イ	五〇〇

		冊	函	號
福島縣信夫郡信夫山陶土調査報文	北條敬太郎（工業原料用鑛物調査報告第一號ノ内 大正一〇）	一	四二	五〇〇 イ
福島縣主要物産統計	大正一三年（第二四回）同縣内務部編 大正一五	一	一四二	二〇九 ロ
福島縣水産試驗場事業報告	明治四三至大正九年度（大正三年年度缺）同場編 明治四四至大正二	五	一四二	九四 イ
福島縣地誌	同縣教育會編 大正五	一	三四八	三六五
福島縣女子師範學校一覽	同校編 大正一五	一	二七四	二五
福島縣通史	池内儀八 大正一五	一	五五四	四
福島縣東海岸之人物	太田櫻洲（勝衛） 大正四	一	三四八	二六七
福島縣統計書	第三三、三七、三八至四〇回（缺アリ）同縣編 大正六至一四	四	一四四	四一
福島縣統計書	（警察及衛生）大正一三年 同縣警察部編 大正一五	一	一四四	四一
福島縣第三回農村經營講習會講話集	明治四五	一	三三五	一三三 ロ
	（横井時敬）農業經濟			
	（山崎延吉）農村自治			
	（堀田英治）農村經營と林業に就て			
	（二宮尊親）報德と農村			
福島縣農會主催第四回農村經營講習講話集	同縣農會編 大正二	一	三三五	一三三 ハ
	（澤村眞）農村と食物問題			
	（中川庄司）農村と肥料問題			
	（月田藤三郎）農村經營と耕地整理事業			
	（同）産業組合談			
	（津田元德）農村經營の大本			
	（横井時敬）農村經營の要諦			
	（齋藤萬吉）農家經濟			
	（辻保次郎）米價に就いて			
	（堀田英治）農村と釀業			
	（石山騰太郎）農村經營と山林			
	（井口丑二）農事に就いて經營の方針			
福島縣之產業	同縣編 大正三	一	八二	六一七 イ
福島縣之產業	附 合理的栽桑并育蠶法 大日本蠶絲會福島支部第二回蠶絲類品評會編 大正一二	一	五一三	一九三
福島縣暴動紀事	寫本（大審院調書ナリ）	一	一八九	四一八
福島縣名勝舊蹟抄	同縣教育會編 明治四五 八六頁	一	三二七	六三六
福島縣名勝誌	第一編 福島市、信達、安達長澤慶治編 大正二	一	三三九	三五
福島縣耶麻郡翁島村陶土調査報文	北條敬太郎（工業原料用鑛物調査報告第一號ノ内 大正一〇）	一	四二	五〇〇 イ
福島縣耶麻郡誌	同郡役所編 大正八	一	三八三	八
福島縣立蠶業學校試驗成績要報	同校編 大正四	一	三三六	二二
福島縣立蠶業學校年報	第一八、二〇、二一、二七號同校編 大正五至一五	四	二九一	三 五
福島縣立農事試驗場要覽	同縣農事講習會同窓會編 大正一〇	一	三九五	一四四
福島市勢一斑	第五至九回 同市役所編 大正二至一〇	二	一四四	四二五
福島市立福島圖書館圖書分類目錄	第三卷 大正四 同館編	一	三三七	八二
福島大將講演 剛健主義	綿貫仁門編 大正八	一	三八七	三二
福島正則家中分限帳	（纖群書類從第二五輯ノ上武家部ノ内 大正一三）		八〇	三二 イ
同			八〇	三二 イ
福島正則傳	田部井鉚太郎 大正六	一	三三七	九五九
福壽海無量品玉	曲亭馬琴著 勝川春朗畫 寛政六 三卷	一	二〇八	七七 特
服飾沿革圖	高橋健自 大正一二	一	五一四	一五九

		冊	函	號
服飾雜稿々本	田中尚房自筆稿本 寫本（歷世服飾考原本）	一	八三一	二
福御手富貴之栞	小田德治郎 大正元	一	四一九	一六
福神教訓袋	鈴木以敬 五卷（通俗經濟文庫卷一〇ノ内 大正六）	一	三五五	五三
福神惠比須と大黑研究	長沼賢海 大正一〇	一	三九二	一六六
福神幷狂言圖	寫本 一一枚	一〇	一〇四	三五二
服制の研究	關根正直 大正一四	一	五三五	一九三
復昔話	寫本（養源居叢書ノ内）	一〇	二三五	一八四
福田米子先生	黑川龍編 大正五	一	三二七	八〇〇
福太郎と幸兵衛の對話	生方敏郎 大正一三（早稻田文學パンフレット第一三編）	一	五二五	九五
福田最新指紋學	福田常水 大正二	一	三四四	二八五
福田會育兒院概要（社團法人）	同院編 大正四	一	七〇	三一
福は内鬼は外	大村民藏 大正一四	一	六〇	八〇四
福博の道しるべ	附 案内圖 九州帝國大學耳鼻咽喉科教室編 大正八	一	三六四	三九四
福原傳染病及血清學各論	福原義柄 大正二	一	五九	四四
同 再版	大正六	一	五九	四四 イ
福原傳染病及血清學總論	福原義柄 大正二 六五三頁	一	五九	四四
同 訂四版	大正一五	一	五九	四四 ロ
福原の都	淺井虎夫 大正四	一	二	三九六
副鼻腔蓄膿症及其療法	赤松純一（明治四三（近世醫學叢書第一八編））	一	六〇	二三九 ロ
腹膜疾患治療法	楠本長三郎（治療全書卷三ノ内 大正三）		六〇	三三五
伏明語錄	長島淳心、竹中彗照 大正四	一	三三五	三八五
ふくみ笑ひ	（繪行脚繰物語）服部四郎 大正一四	一	五四四	五三
覆面の義人	前、後編 前田曙山 大正一四	二	五四四	一八八
覆面の肖像	マックガウン著 北村喜八譯（世界短篇小說大系英吉利篇上ノ内 大正一五）		五二〇	四五
福山案内	鳥山一郎編 再版 大正六	一	二五	六六八 イ
福山市街明細地圖	得能正通製 大正三 二・五×一・七	一	八九	二〇九
福山の今昔	濱本鶴賓編 大正六	一	三六三	一四八
福利施設資料	協調會發行 大正一五	一	一四五	一八八
第二工場鑛山圖書閱覽施設並教科書概況	（協調會編）			
（復利增進）資金運用論	興梠本太郎 大正六	一	三六一	一二五
腹力體育法	一名 强健術練修法 川合春充 明治四五	一	二七六	一五三
袋織法集	福井萬次郎 大正三	一	三三九	五八
袋草紙遺編	（纖群書類從第一六輯ノ下和歌部ノ内 再版 大正一四）		八〇	三二 ロ
ふくろと子供	久保田万太郎 大正一。（赤い鳥の本第五册）	一	三九〇	四八
梟日記	各務支考 大正一五（蕉門珍書百種第一〇編）	一	五四五	四
同		一	五四五	四 イ
梟物語	泉鏡花（鏡花全集第三卷ノ内 大正一四）		五二〇	四四
同			五二〇	四四 イ

フクロ―フケウ

		冊	函	號
嚢物逸品集	井戸文人編 大正七	一	三七一	六四
同				特一
袋物細工のしるべ	上、下 三村多嘉子 大正六、八	二	三三三	一四五
袋物細工法	寺西絲子 大正一一（手藝叢書第二編）	一	三四六	六（イ）
普光觀智國師	大谷愚成編 大正八	一〇	一二	二九八
普勸坐禪儀	道元撰（九一）堂叢書第二編ノ内 大正一五）		五四九	八一
同	（先哲呼吸強健術ノ内 明治四五）		六一	一二〇
同	（大日本風教叢書第二輯ノ内 大正六）		三六九	二（イ）
同			三六九	二（イ）
同	（日本大藏經第八卷ノ内 大正四）		三五三	六
普勸坐禪儀開解	瑞方著 鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第二卷註釋部ノ内 大正一五）		五三九	六七
不換紙幣下の國際貿易	ジエームス・ウオーターハウス・エンゼル著 大阪高等商業學校銀行業務研究室譯（同室）調査報告第七册） 大正一三	一	一四五	三九
武勳大山公	明治功臣錄刊行會編 大正六	一	三六三	七九
府郡合併朝鮮新地圖	朝鮮總督府製 大正三 四・六×二・四	一	枚 八九	二一〇
不景氣回復の根本策に就て	武藤山治 大正一四（（全國經濟調査機關聯合會）彙報別册第二〇號）	一	一四五	五三
不景氣時代の殖利法	野村龜藏 大正一〇 四五頁	一	三九七	一二
不景氣襲來の用意	佐藤密藏 大正九（經濟及社會叢書第六編）	一	三九〇	六
不景氣にも儲かる仕事	佐瀬文哉 大正九	一	三九五	一六
布教要領	松浦百英（教導講演集ノ内 大正一〇）		五一	九
布教講習會講演錄	第一回 日蓮宗宗務院編 大正六、七	二	三三四	五四七
第二篇	今後の實踐倫理問題（中島力造）近代文明と宗教問題（姉崎正治）宗教意識の發達（高島平三郎）婦人問題と宗教（和田鼎）			
第四篇	歐洲近世思想の變遷（桑木嚴翼）活ける思想主義（建部遯吾）帝國憲法大意（上杉愼吉）國民指導の方針（田中義一）感化法要義（小河滋次郎）			
布教講習會講義錄	（第一一回） 大谷派本願寺文書科編 明治四五	一	三三四	二九一
武教講義	吉田松陰 大正五	一	二〇三	四三三
同	（乃木將軍愛讀の書ノ内 大正元）		九四	七八六
布教研究會講演集	本願寺教務部編 大正八至一〇	三	三三四	五九一
第八回	同化教育と創造教育（小西重直）文藝の創作と鑑賞（厨川辰夫）外交問題に就て（高石眞五郎）佛教初期の傳導（薗田宗惠）八月騷動と勞働運動の發達（米田庄太郎）軍人の訓育に就て（廣瀨季彥）自然主義と理想主義（朝永三十郎）淨土眞宗異安心略史（是山惠覺）俗諦教義の必要（赤松連城）			
第九回	京都宗學史に於ける能化時代信願の開展（鈴木法琛）宗教行政（織田萬）青年指導に就て（野上俊夫）歷史觀と教育（小西重直）國際聯盟に就て（末廣重雄）性慾と宗教（宇野圓空）社會問題の梗概（大河原一行）大戰に始終して最近の「ロシヤ」（加藤直士）（黒田乙吉）福岡眞諦と俗諦（松島善海）			
布教の心理	平田華藏 大正四	一	三三五	三六九
布教文庫	鴻盟社發行 大正五至一一	三	三三五	三九三
第一編	曹洞宗宗意私見（忽滑谷快天）			
第二編	曹洞宗綱要（新井石禪）			
第三編	修證義講話（大內青巒）			
布教文庫	住山長左衛門發行 大正一三、一五	二	一五八	一六
第三編	源氏五十四帖短歌集（住山長左衛門）			
第五編	梨園歌集（同編）			
布教雄辯集	太藤順海（太藤順海遺稿全集ノ内）	一	三九二	一一五
武家義理物語	井原西鶴 六卷（西鶴文集ノ内 大正二）		三四五	一（ハ）
武家興亡觀（書簡集錄）	中村孝也編 大正八（興亡史論第二期第一〇卷）	一	三五五	八九
武家御八講部類	（續群書類從第二六輯ノ下釋家部ノ内 大正一四）		八〇	三二（イ）
同			八〇	三二（イ）
普化宗問答	鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第一卷宗義部ノ内 大正一五）		五三九	六七
武家事紀	上、中、下卷 山鹿素行（山鹿素行先生全集） 大正四至七	三	三三五	三七〇
同	上、中卷 大正四、五	二	三三五	三七〇（イ）
武家時代に於ける皇室の絶對的地位	中村孝也（新しき愛國論ノ内 大正一三）			五三
武家時代之研究	第一卷 大森金五郎 大正一二	一	五九	九
	五四二頁		九四	七八六
武家七德	後編 正司考祺 八卷（日本經濟叢書卷二三ノ内 大正五）		三四六	一八
武家諸法度之奥書	久世廣之（國書刊行會本三十輯第一ノ内 大正六）		三三〇	五一
武家百面相	棒棒山自筆稿本 寫本	一	三五	二七（別）
布教叢書	佛教學會發行 大正五		七	三三
第一編	自然と佛教（石川成章）			
布教實歷談	服部遯海（眞言宗安心全書卷下ノ内 大正三）			三六四
布教資料十三佛講話	荒井淚光 大正六			三六五
武教小學	山鹿素行（高祐）（乃木將軍愛讀書ノ内 大正元）			七八六
同	（山鹿素行全集ノ内 大正二）			九九
同	（山鹿素行全集ノ内 大正五）			一五六
同	（山鹿素行全集ノ内 大正一三）			七
布教叢書	佛教學會發行 大正五			二七九
第一編	自然と佛教（石川成章）			
神道と佛教	（花田凌雲）			
民衆教化の方法	（加藤熊一郎）			
應用化學に就て	（西川虎吉）			
生理及解剖に就て	（櫻井恒太郎）			
花柳病に就て	（旭憲吉）			
出獄人保護會に就て	（伊藤俊光）			
歐洲戰亂に於ける獨逸敗戰の理由	（齋藤晴二郎）			
勞働問題	（兒島庄吉）			
自治問題	（伊東喜八郎）			
金澤勞働問題	（田島錦治）			
佛教の史的研究	（薗田宗惠）			
軍事問題	（川島義之）			
第一〇回				
宗教家の使命	（藤井健次郎）			
勞働と資本との協調	（田島錦治）			
煩悶の象徵	（厨川辰夫）			
三帖和讃の大綱	（是山惠覺）			
日本國民道德に就て	（高瀨武次郎）			
社會問題一般	（財部靜治）			
眞俗二諦	（雲山龍珠）			
男女の區別	（石川日出鶴丸）			
社會問題に就いて	（海野幸德）			
日蓮上人の立正安國論に就て	（竹內正策）			
戰後に於ける世界の大勢	（安原瀧藏）			
外交問題	（大河原一行）			
米國の事情一般に就いて	（澤木幸雄）			
社會教育の一部	（井戸經平）			

		冊	函	號
武俠世界	同社發行 第六卷第一號(大正六年一月)至第一二卷第四號(同一二年三月)	二七	雜 五二	二三
武俠探偵古城の祕密	前編 モリス・ルブラン著 三津木春影譯 大正元、二	一	三三八	一一三
深與三玉兎横櫛(フケルヨサツキノ)	岡鬼太郎 (現代戯曲全集第三卷ノ內 大正一四)		五二〇	二五
普賢延命法日記	(延久—長承) 雲寛 (續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內 大正一四)		八〇	二二一
同			八〇	二二一イ
府縣及郡有林ノ造林計劃及施業調	農商務省山林局編明治四五 二七頁	一	一四、二ロ	六七
普賢講作法	源信撰 (大日本佛教全書第三三冊ノ內 大正五)		三五三	一〇
府縣鄕社明治神社誌料	同編纂所編 明治四五	三	三三四	一六三
普賢行願讚梵本聞書	飲光 一〇卷 (慈雲尊者全集第九輯下ノ內 大正一五)		五一一	八
府縣勸業費豫算表	明治四五、大正二、四、六至九年度 農商務大臣官房統計課編 明治四五至大正九 (明治四五、大正二年度ハ「府縣稅勸業費豫算表」トアリ、大正一〇年度ヨリ「道府縣勸業費豫算表」ト改題)	五	八三	一一七
府縣原蠶種製造所配付原蠶種ニ關スル調査	大正一〇年 農商務省農務局編 大正一二	一	一四、二ロ	一八五
府縣市執行復興事業大要	大正一四年二月一五日現在 復興局長官々房文書課編 大正一四 二二頁	一	三三七	三五五
富源實査南洋西ボルネオ	多田惠一 大正六	一	三六三	二〇〇
府縣社以下神社法講義	西野雄治 明治四五	一	三四二	一〇七
府縣稅戶數割規則に就て	橋井政吉 大正一一	一	五〇二	八七
府縣制ト改正理由	五十嵐鑛三郎 大正四	一	三六四	二七七
富源叢書	新富源社發行 大正三	一	三四〇	三三
第一編	致富成功南米移住法 (大森春圃)			
同 第一編	六版 大正七	一	三四〇	三二イ
府縣に於ける米麥多收穫共進會に關する規則一覽	農商務省農務局編 大正八 (農務局報第一一號)	一	一四、二イ	三七三
府縣費及北海道地方費歲出豫算表	大正二至五年度文部大臣官房文書課編 大正二至五	二	八三	三一六
府縣別種類別工場用汽罐個數調査表	大正九年一〇月調農商務省工務局編	一枚	三三九	一〇四六
府縣北海道對照町村制	北海道行政時報社編 大正八	一	三七二	二三三
普賢菩薩行願讚	唐、不空譯 (大正新脩大藏經第一〇卷華嚴部下ノ內 大正一四)	特	四四	三七四
同			八六	三九一
富源保存論	チヤールズ・リチヤード・ヴアン・ハイズ著 笹川潔譯 大正六	一	三七一	一
府縣立圖書館長會協定要項	同會編 大正七	一〇	二七八	五六
府縣林業奬勵施設概要	農商務省山林局編 大正四	一	三三六	一〇三
府縣聯合共進會審査復命書	第六回中國六縣聯合畜產共進會 農商務大臣官房文書課編 大正二	一	七九	六八ワ
府縣聯合畜產共進會審査復命書	農商務省商工局編 大正三	一	三四四	三七九
普公原理	一名 聖公會論 ウエストコツト著 菅寅吉譯 明治四五	一	三三四	二八三
不苟書室日錄鈔	藤澤南岳 大正一〇	一〇	一七一	九二

		冊	函	號
富國強兵燻炭肥料栽培之指導其他燻炭應用法	檜山政德 大正二	一	三三九	一六六
普國官營勞働者植民概要	臺灣總督府殖產局編 大正三 (殖民局出版第五〇號)	一	一四、二イ	二九八
富國策	林子平 (日本經濟叢書卷一二ノ內 大正四)		三四六	一八
富國雜議	龜田翼 (日本經濟叢書卷一九ノ內 大正四)		三四六	一八
普國產業組合中央金庫	カヒル著 手島孫三郎、戶田保忠抄譯 大正一二 (產業組合調査資料第二)	一	一四、二イ	五三三
富國產業教育策	安富衆輔 大正四	一	二五九	三一九
普國水利法解釋	農商務省食糧局編 大正一二	一	五一八	六四
普國政府ト產業組合	小野義一 (金井教授在職二十五年記念最近社會政策ノ內 大正五)		三六六	五
富國叢書	明治四五	一	三四〇	五
第一編	財政整理論 (小林丑三郎)			
富國存念書	仁井田好古 (日本經濟叢書卷三二ノ內 大正六)		三四六	一八
富國論	アダム・スミス著 神永文三譯 大正一四 (社會哲學新學說大系第五卷)	一	五二七	六八
同	アダム・スミス著 三上正毅譯 訂三版 大正元	一	三二八	三三八イ
同		一	三二八	三三八ロ
負債	モオパツサン著 馬場孤蝶譯 (モオパツサン傑作集ノ內 大正三)		三二九	二〇一
同	モウパツサン著 矢口達譯 (モウパツサン全集第四卷ノ內 大正一〇)		三九〇	四一
普濟法話集	第一輯 道重信教 大正一五	一	五一一	一三五
扶桑	同社發行 一二六號(大正二年三月)至一八六號(同六年一二月)	一〇	雜 四四	一一
扶桑印集	第一 同印社編 (大正九)	一〇	一八六	二九二
撫箏雅譜集(改訂—)	小松景和編 大正四 (「箏曲殘りの花」ト合綴)		二〇二	三二九
扶桑寄歸往生傳	獨湛性瑩撰 二卷 (大日本佛教全書第一〇七冊ノ內 大正五)		三五三	一〇
武相鄕土史論	日本歷史地理學會編 大正六	一	三四九	五一五
扶桑皇統記圖會	前、後編 山田桂藏 五、六卷 (日本歷史圖會第一、二輯ノ內 大正九、一〇)		三九九	三
扶桑禪林書目	(大日本佛教全書第一冊ノ內 大正二)		三五三	一〇
扶桑禪林僧寶傳	性澂撰 一〇卷 (大日本佛教全書第一〇九冊ノ內 大正六)		三五三	一〇
扶桑大觀	吉田潮舟編 大正二	一	三三一	八三
武相豆名山勝概圖	谷文晁原圖 野村文紹寫 寫本	特 一〇	さ	六三
浮繰ト沈繰の比較	三室戶善光 (東京高等蠶絲學校學術報告第五一號ノ內 大正四)		一四、二イ	七二
武相の古代文化	石野瑛 大正一三	一	五三四	四
扶桑名公畫譜	淺井不舊 大正七 (藝苑叢書ノ內)	一〇	一九八	三八三
腐造豫防酒造早わかり	鹿又親 大正五	一	三三九	八一一
扶桑略記校譌	寫本	一〇	八三〇	一二三
武左衞門翁傳(殺身—成仁—)	附 宇和史ノ概要、外五種 井谷正命編 大正六	一	三七二	二五
ふさぎの虫	二葉亭四迷 (二葉亭全集第三卷ノ內 明治四五)		三三九	四六
不作爲債權論	中島玉吉 大正八	一	三八二	四七
不作爲の違法性	牧野英一 (法律學叢書第二編ノ內 三版 大正一三)		三七九	五
同	(刑事學叢書第二編ノ內 大正五)		三七九	五イ
同	(刑事學叢書第二編ノ內 再版 大正九)		三七九	五ロ

不作知らず金肥いらず	坂田式米麥增收法	坂田寅治郎	大正五	一 三五八 二七
布薩戒講義	大玄 二卷（續淨土宗全書第一五ノ内）		大正一四）	三二四 六三
布薩戒便蒙	岸了（續淨土宗全書第一五ノ内）		大正一四）	三二四 六三
武雜記	伊勢貞久（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ内		大正一四）	八〇 三一
同				八〇 三一ィ
布薩式辨正	南楚撰（續淨土宗全書第一五ノ内）		大正一四）	三二四 六三
布薩式辨正返破論	輪超撰 四卷（續淨土宗全書第一ノ内）		大正一四）	三二四 六三
布薩帳中箋	要信撰（續淨土宗全書第一五ノ内）		大正一四）	三二四 六三
布薩傳時處年號相違決	岸了撰（續淨土宗全書第一五ノ内）		大正一四）	三二四 六三
布薩翻名義	敬首撰（續淨土宗全書第一五ノ内）		大正一四）	三二四 六三
布薩橫竪譜脈璽書	了吟撰（續淨土宗全書第一五ノ内）		大正一四）	三二四 六三
釜山案內記	志田勝信、北原定正編		大正四	一 三六〇 三
釜山要覽	釜山商業會議所編		大正元	一 三二六 三七
釜山港	中野忠雄編		大正九	一 三八四 二五八
釜山港經濟概覽			大正一〇至一二年 大正一〇至一三）	釜山經濟調查會編 一 一四四 五四六
釜山港通貨貿易の趨勢	若井雄二（海外旅行調查報告		大正七年夏期ノ内	大正八） 三二六 三五七
釜山港貿易概覽			大正九、一一至一四年 大正一二至一五	釜山稅關編 五 一四三 八八
武山閣圖錄	鈴木吉兵衞編		大正一五	一 五二四 四二四
賦山何連歌	（國書刊行會本三十輯第四ノ内		大正六）	三三〇 五一
豐山玉石集	綱代智明編		大正六	一 三五三 一〇
豐山蒐粹	伊藤憲興編		大正一三	一〇 四三三 一八〇
豐山聲明大全				一 一五六 八七
豐山小史	田中海應編		大正一三	一 五二一 六九
同				一 五二一 六九ィ
豐山傳通記	隆慶撰 三卷（大日本佛教全書第一〇六册ノ内		大正六）	三五三 一〇
不算得失	長島仁左衞門 五卷（日本經濟叢書卷二九ノ内		大正五）	三四六 一八
豐山派講演集	同派宗務所教學部編（傳道叢書第七編）		大正一四	一 三九〇 二八
豐山派法規類纂	久保埜太運編		大正九	一 一四七 一九一
豐山派法則集	同派宗務所教學部編		大正八	一〇 一五九 一四四
布薩最新日本地圖	冨山房發行 訂補一五版		大正二	一 八九 二〇三
不二	同社發行 第一年五月號（大正一三年）ヨリ			雜 八 七六
富士（小說）	第二卷 德富健次郎、同愛		大正一四、一五	二 五三八 一五五
不二庵詩存	第一、二 日野居龍（珠堂）		大正一一	二〇 三三五 二九八
不二庵詩存別集	卷之二		大正四	一〇 三三五 三九八
富士案內（靈山）	林治一		大正四	一 二二 三七五
不銹鋼に對する混合酸の影響に就て	齋藤眞（海防義會研究報告第一一號）			
武州金澤八景	（日本八景づくしの内）	五雲亭貞秀畫		特 三 枚 別 七 一四五 一六

武州梅園梅林弘報	一名 梅花の栞	武內久雄編	大正二	一 三四四 一三七
武州八王子十五宿地誌搜索	筒井元恕等稿本	寫本		特 三〇 八三四 一
武州御嶽山	三崎民樹編	明治四五	六五頁	一 三三九 四三
富士行	大町桂月	大正八		一 三八八 八五
富士講唱文獨見祕書	（國書刊行會本信仰叢書ノ内		大正四）	三三〇 四九を
武士鏡忠義の礎	寫本（勝進助芝居棄帳第五）			一〇 一九一 七六五
富士川下りと身延參詣	山梨教育會南巨摩支會編		大正一〇	一 三九六 一二八
父子合集經	宋、日稱等譯 一〇卷（大正新脩大藏經第一二卷寶積部上ノ内			大正一四） 特 四四 三七四
同				八六 三九一
不思議	良遍撰（大日本佛教全書第八〇册ノ内		大正四）	三五三 一〇
伏木港統計表	大正六至一〇年度 久々湊龜次郎編		大正七至一一年度	一一四、四 四五九
不思議光菩薩所說經	後秦、鳩摩羅什譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ内			大正一四） 特 四四 三七四
同				八六 三九一
不思議な原稿	ラルゼル著 木村信兒譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ内			大正一五） 五二〇 四五
不思議な卵	今永茂、青山捨夫（支那の童話第一編ノ内		大正一五）	五四九 三七
不思議な犯罪の話	大森洪太	大正一五		一 五六五 一四
不思議な繭（英文お伽噺）	蘆谷重常	大正九（英語練習叢書第一編）		一 三三三 三三八
不思議に藥草藥木療法	松島種美	大正一〇		一 五〇 三三三
不思議の國	ルイス・カロル著 楠山正雄譯（世界少年文學名作集第九卷）		大正九	一 三七五 三九
不思議の旅（瑞典のお伽話）	セルスラゲルウ著 小林哥津子譯	大正八		一 三九一 三三
不思議物語	ホーソン著 吉竹愼一郎譯	大正二		一 三三八 二一四
不二行者食行錄	北行鏡月編（信仰叢書ノ内		大正四）	三三〇 四九を
富士郡概觀	太田大藏編	大正六		一 三三九 九〇〇
父子相迎	向阿 二卷（大日本風教叢書第一輯ノ内		大正六）	三六九 二
同				二六九 二ィ
同	向阿著 鷲尾順敬等註 二卷（國文東方佛教叢書第三卷法語部ノ内		大正一四）	五三九 六七
父子相迎並諺註	湛澄撰 四卷（大日本佛教全書第六二册ノ内		大正六）	三五三 一〇
富士山	地圖研究會製	大正一一二	二·四×一·五	枚 八九 二九八
富士山案內	品川文太郎編	大正三		一 三七 二九六
富士三兼助（血涙の一生活）	三好政八編	大正一二		一 五一四 一七三
富士山國境爭論誌	靜岡縣編	大正一〇	七六二頁	一 三九八 六一
富士三十六景	廣重畫 複製			帖 四二〇 三〇
富士山植物誌	梅村甚太郎	大正一二		一 三八五 二八六
富士山天龍川寫眞帖	大塚稔編	大正一一		一〇 四一六 四四
富士山と富士講	スタール（明治聖德記念學會紀要第一七卷ノ内		大正一二）	一四、五 一
富士山の自然界	附圖 山梨縣編	大正一四		一 五三三 一六六
富士山明細圖	官幣大社淺間神社發行	大正三		枚 八九 二〇七
富士山麓あかまつ造林不成績ノ原因ニ就テ	北島君三（農商務省山林業試驗彙報第一〇號ノ内			大正一二） 一四、三 ロ 二三五

富士山麓と御嶽　附 富士川下り　山梨縣編　大正一三　一冊　函 五三　号 三

富士寫眞帖　柳川平助　大正一〇　一〇　四三　七〇

富士教神韻靈語　高橋鶏明彦　大正一二　一〇　一六〇　一一一

父子道　附 枕塊記等　山鹿素行　大正二　一　三四九　二〇

武士道　前、後編　村上浪六（浪六全集第一三編ノ内　六版　大正九）　七一　四八九　イ

武士道と佛教　中谷渡月　大正二　一　三三五　二〇三

武士道の權化赤穂義士　岩崎元一　大正一五　一　五五六　一三三

武士道の權化快傑内藏助　安場末喜　大正六　一　三六三　二一三

武士道の精華偉人風丰錄　石井曲江編　大正五　三　七〇　五三九

武士道之精華白虎隊　杉山夷山　大正元　一　三三二　三六三

武士道之典型乃木大將　河野正義編　大正二　六〇四頁

武士道の華　箕作元八（西洋史新話第六册）　大正三　一　三四八　七〇

武士道之花乃木大將　人見鐵腸　大正元　一　三三〇　三一

武士道物語　樋渡海門　大正二　一　三三二　四三

武士道論　附 顯示錄　山邊泰正　大正四　一　三五六　一四四

富士筑波隅田川の圖　（藍摺團扇繪）筑波山遠望、眞乳山望富岳、且霞畫　特　二　別　七　一六二

不死鳥　久米正雄　大正九　一　三九一　二一〇

富士と足柄　（最新富士登山案内記）　横井春野　大正二　一　二一　三〇七

武士と敬神　芳賀矢一（文化問題十五講ノ内　大正九）　三八七　一三八

武士と敬神　芳賀矢一（明治聖德記念學會紀要第一卷ノ内　大正三）　一　三八八　八三

富士登山案内（ボケーツト）　永井繁太郎　訂三版　大正八　一　三三九　四六六

富士登山紀念誌　一名 登山案内　門齋新作　大正三　一　三四九　二〇　枚　別　七　三

富士登山諸講中之圖　國芳畫　七一　四八九　イ

富士登山の栞　木本初藏　大正三　一　三三五　二〇三

富士登山之栞　靜岡縣駿東郡教育會　大正二　一　二　三二〇

富士登山吉田口案内　渡邊清孝編　大正一〇　三〇頁

富士と日本アルプス　横井春野　大正八　一　三九六　一七六

富士と箱根　登山研究會編　大正七　一　三八四　七五

富士三升扇會我　河竹默阿彌（默阿彌脚本集第六卷ノ内　大正一〇）　一　三七六　一七〇

同　（默阿彌全集第五卷ノ内　大正一三）　一　三九〇　二一

富士梨之概要　新井誠一郎編　大正八　一　五五七　四三

（南朝忠臣贈正四位）富士名判官義綱公傳　宮崎幸麿　三版　大正七　一　三一　六九六

富士に立つ影　白井喬二　大正一四、一五　六　五四四　九八

裾野篇　江戸篇　主人公篇　新關篇　神曲篇　歸來篇

富士の岩屋　荒木田麗女　二卷（女流文學全集第一卷ノ内　大正七）　三七一　一六四　ろ

不死の女王　（ソリイ・ヲイダー・ハッガード著　三好十郎譯　大正一四（アルス・ポピュラアー・ライブラリー第一五）　一　五二七　八

武士の敵　山上貢一（ふたば集第五卷ノ内　大正一四）　三　三九六

富士は三角　上、下卷　岡本一平　大正一四　二　五三八　一六九

富士額男女繁山　河竹默阿彌（默阿彌脚本集第二一卷ノ内　大正一一）　三九〇　二一

同　（默阿彌全集第一二卷ノ内　大正一四）　五三七　四三

富士百景　今尾掬翠撮影　明治四五　一　四〇八　五八

不二百首　小林茂雄　一一枚　一　二四九　五六

富士百首（百人一首初句讀入）　附 富士探勝菜　安達健造　大正一五　一　一六三　一三四

富士百勝景　前集　尾形月耕畫　明治四〇　五〇枚　帖　四〇八　八五

部執略記　（日本大藏經第二九卷ノ内　大正五）　三五三　六

富士文庫　第一卷　同庫編　大正一五　一　五二〇　五五

富士文庫　第一卷　同庫編　大正一五　三二八　三七八

伏見院御記　（列聖全集宸記集上卷御記纂ノ内　大正六）　八〇　三一　イ

伏見院御落飾記　（續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ内　大正一四）　八〇　三一　イ

同　三〇

富士見西行繪盡（新版）　山本重春畫　一五枚　三〇八　七四一

伏見市制問題研究　高橋眞一　大正一〇　四一頁　一　三九七　一八一

伏見ニ於ケル酒造業　日本銀行京都支店（志方書記）編　大正九（酒造業ニ關スル調査）　一　三七八　一〇〇

伏見桃山　大日本史蹟研究會編　大正元　一　三三三　三六四

伏見桃山古圖并伏見町市街圖（豐臣秀吉）　日下伊兵衛發行　大正元　一二×一七　枚　一九　六五四

伏見桃山乃木將軍舊邸の記　濱田篤三郎　訂二版　大正八　一　三七三　三九六

富士は日本一　上、下卷　岡本一平　大正一四　一　三三九　一五三

富士脈溫泉案内　上條勝太郎編　大正元　一　七〇　三一

富士みやげ　神戸徒歩會編　大正四　一　三四八　一〇

武將言行錄　山鹿高祐　大正二　一　三九三　七五六

武昌滄桑記　笹川臨（東亞研究講座第一一輯ノ内　大正一五）　一　三三五　三一五

不惜身命　吉倉水央（清久）　大正七　一　六　三六七

不惜身命日經上人　野口日主　三版　大正八　三三〇　三五

不恤緯　蒲生秀實（國民道德叢書第二編ノ内　明治四五）　一　三六四　三〇

武術極意膽練法（心身修養）　森野雪男　大正五　一　三三〇　四九　ろ

武術叢書　國書刊行會編　大正四（國書刊行會本第四期ノ内）　本朝武藝小傳　一〇卷　日本中興武術系譜略　武術流祖錄　五卷　擊劍叢談　（源德修）　不動智　（澤庵）　太阿記　兵法三十五箇條　五卷　五輪の書　（宮本武藏）　圓明流劍法書　劍法夕雲先生相傳　一刀齋先生劍法書　（古藤田俊定）　柳生流新秘抄　四卷　天狗藝術論　（佚齋樗山子）　本識三問答　附 運劍流劍術要領　劍術不識篇　（木村久甫）　劍說　（平山潛）　劍徵　（同）　常靜子劍談　劍玅　四卷　（窪田清音）　劍法略記　劍法擊刺論　（森景鎭）

不受不施禁止二百五十二年紀念　花房清香　大正五　一　三三九　七三七

		冊	函	號
撫順炭低溫乾餾試驗成績報告	鈴木庸生、小原守（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第四輯ノ內 大正七）	一	四二、イ	四五一
撫順炭の販路	阿部勇編（南滿洲鐵道株式會社）調査報告書第二四卷） 大正一四	一	四五	一九
撫順瀝青貢岩研究報告	片山嵩、小原守（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第一輯ノ內 大正四）	一	四二、イ	四五一
富士餘葩	池田喜太郎 大正一一	一	〇	六七 三八一
婦人優秀論	市川源三（婦人問題講演集第六輯ノ內 大正一〇）	一	五〇〇	二
婦人運動	エレン・ケイ著 本間久雄譯 大正七（大日本文明協會刊行書第三二卷）	一	五三五	三六
同	エレン・ケイ著 原田實譯 大正一三 第一編 運針から袴まで 附錄 メートル鯨尺對照表（ライト學術研究會編）	一	三五	三一
婦人運動と現行法律	宮本英雄（婦人文化講座第一輯ノ內 大正一二）	一	五〇〇	五七
婦人運動の諸相	原田實 大正一二（早稲田文學パンフレット第一輯第五）	一	五一五	九五
婦人運動の發達史	野上俊夫（婦人文化講座第二輯ノ內 大正一二）	一	五〇〇	五七
婦人運動の樣相と其の趨勢	原田實（最近思潮教育夏季講習錄大正一一年度ノ內 大正一二）	一	二五八	三九
婦人衞生	原田隆 大正一四（家庭醫學講話第一編）	一	六〇	八〇三
衞生姙娠十月と其手當	長濱繁 大正九	一	五六	一六三
婦人及兒童の夜業問題並兒童の最低年齡	外務省臨時平和事務局譯 大正一一 四一頁	一	三九三	四七〇
婦人界	東京社發行 第一卷第二號（大正六年一〇月）至第六卷第一〇號（同一一年一〇月）（缺アリ）	一六	雜 五一	三〇
婦人解放と家庭の聖化	帆足理一郎、同みゆき 大正一五	一	五四六	二〇六
婦人解放と性の壞滅	アラベラ・ケネーリー著 大鳥居辨三譯 大正一一	一	四二、イ	四五一
婦人解放の原理	ジョン・スチューアート・ミル著 野上信幸譯 大正一〇	一	五〇三	五四
婦人解放の悲劇	エンマ・ゴルドマン等著 伊藤野枝譯 大正三	一	九四	八八
婦人解放よりの解放	生田長江 大正一〇	一	三九三	二七
婦人解放論	西川文子 大正三	一	三五〇	二三九
婦人解放論	ジョン・スチューアート・ミル著 大內兵衞譯 大正一二（同人社社會問題叢書第二册）	一	五〇五	六三
婦人講座叢書	ライト社發行 大正一四 第一編 運針から袴まで 附錄 メートル鯨尺對照表（ライト學術研究會編）	一	五三五	三八
婦人向上の史的考察	金子直一 大正一五（新時代に處する—）	一	五四六	一七一
婦人家庭衞生講話	村田龜太郎 大正六	一	六一	二〇七
婦人家庭衞生學	緒方正清 補八版 大正五	一	五六	二八
婦人家庭内職	高橋桂二編 大正八	一	三八六	一八四
負薪記	日辰著 鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第四卷隨筆部ノ內 大正一五）		五三九	六七
婦人グラフ	國際情報社發行 第一卷第一號（大正一三年五月）ヨリ	一	雜 五一	三八
婦人倶樂部	大日本雄辯會發行 第四卷第七號（大正一二年七月）ヨリ		雜 五一	三四
婦人會關西聯合大會講演集	第四回 大阪朝日新聞社編 大正一一	一	五五	一三
婦人科學	安藤畫一 大正九	一	五六	一六〇
婦人科學	前、後編 白木正博 大正一四	二	五六	二三
婦人科學紀要	卷七、九、一〇 緒方正清 大正二至四	三	五六	五三

		冊	函	號
婦人科學叢書	教育研究會發行 大正一一 第一編 實愛兒の育て方と病氣の手當（竹內薰兵）	一	五六	一八〇
婦人科手術	安藤畫一 大正七	一	五六	一四一
婦人科診斷及治療學	上、下卷 緒方十右衞門 再版 大正二、三	二	五六	八〇イ
同	三版 大正五、六	二	五六	八〇ロ
同	前編 四版 大正八	一	五六	八〇ハ
同	六版 大正一四	一	五六	八〇ニ
婦人科理學的療法	古屋清 大正四	一	五六	一二三
婦人科レンチエン學	水口耕治編 大正三	一	五六	一〇七
婦人經濟學	中村弘毅（婦人パンフレット第七號） 大正一一	一	五〇〇	五九
婦人教化	田村支詳 大正一一	一	五〇四	六九
婦人結髮術（詳解）	上編 山崎清吉、同信子 大正六	一	三七六	六
同（髮の結方獨りまなび）	再版 大正八	一	三七六	六イ
同	三版 大正九	一	三七六	六ロ
同	六版 大正一四	一	三七六	六ハ
不盡言	堀景山（日本經濟叢書卷一一ノ內 大正四）		三四六	一八
婦人健康增進法	吾妻勝剛、小野震 大正一一	一	五六	一八五
婦人健康增進法の話	衞生新報社編 大正六（家庭醫學叢書第四二編）	一	六〇	五二一
婦人公論	中央公論社發行 第一卷第一號（大正五年一月）ヨリ	一	雜 五一	三三
婦人科學叢書	教育研究會發行 大正一一 第一編 實愛兒の育て方と病氣の手當（竹內薰兵）	一	五六	一八〇
婦人科手術	安藤畫一 大正七	一	五六	一四一
婦人科診斷及治療學	上、下卷 緒方十右衞門 再版 大正二、三	二	五六	八〇イ
同	三版 大正五、六	二	五六	八〇ロ
同	前編 四版 大正八	一	五六	八〇ハ
同	六版 大正一四	一	五六	八〇ニ
婦人科理學的療法	古屋清 大正四	一	五六	一二三
婦人科レンチエン學	水口耕治編 大正三	一	五六	一〇七
婦人經濟學	中村弘毅（婦人パンフレット第七號） 大正一一	一	五〇〇	五九
婦人教化	田村支詳 大正一一	一	五〇四	六九
婦人結髮術（詳解）	上編 山崎清吉、同信子 大正六	一	三七六	六
同（髮の結方獨りまなび）	再版 大正八	一	三七六	六イ
同	三版 大正九	一	三七六	六ロ
同	六版 大正一四	一	三七六	六ハ
不盡言	堀景山（日本經濟叢書卷一一ノ內 大正四）		三四六	一八
婦人健康增進法	吾妻勝剛、小野震 大正一一	一	五六	一八五
婦人健康增進法の話	衞生新報社編 大正六（家庭醫學叢書第四二編）	一	六〇	五二一
婦人公論	中央公論社發行 第一卷第一號（大正五年一月）ヨリ	一	雜 五一	三三
婦人、子供服講習錄	第一、二卷 大正一四	一	五三七	八
婦人子供洋服裁縫大全	西島芳太郎 大正一四	一	五三七	八六
婦人雜誌	婦人評論社發行 第四卷第七號（大正四年七月）至第六卷第一二號（同六年一二月）	八	雜 五一	二八
婦人參政權運動	福永渙譯 大正四（新智識叢書第四編）	一	三五	二四九
婦人參政審判の日	姬野德一 大正一五	一	五四六	二〇八
婦人參政の理想と實際	永井柳太郎（婦人問題講演集第三輯ノ內 大正一〇）		五〇〇	二
婦人週報	同社發行 第二卷第一號（大正五年一月）至第五卷第二七號（同八年七月）	七	雜 五一	二九
婦人修養小學訓	棚橋絢子 大正七	一	三七六	二〇九
婦人式服髮結方雛形之卷	寫本 一三枚〔德川齊昭ノ訓令ニ基ク水戶藩ノ制度〕	一	一二三	一四三
婦人實生活叢書	綠蔭社發行 大正一五 第一 新しい四季の野菜料理（村田孝子）	一	五六〇	七
婦人何から何まで	婦人教育會編 大正一四〔題簽等ノ冠稱ニハ「婦人の新智識」トアリ〕	一	五四七	四七
婦人常識百話	堀內新泉 大正一（家庭百科全書第五〇編）	一	二一六	二九六
婦人社交名簿	大正七年三月調 日本婦女通信社編 大正七	一	三七四	一二
婦人職業問題	增井光藏 大正一二	一	五二	一五四
婦人食物の研究	伊藤尚賢編 大正九（飲食物研究叢書第五編）	一	六〇	五六
婦人自立の道	東京市社會局編 大正一三（東京市公刊圖書第八號）	一	一四五	二二四
婦人生活の改善	鳩山春子 大正九	一	三八七	二一九
婦人生活の創造	三角錫子著 小野秀雄編 大正一〇	一	五〇三	三三

		冊	函	號
婦人生殖器結核	今淵恒壽（最新結核病論ノ内 大正四）	七	五二七	五三 一一七
婦人知識叢書	實業之日本社發行 大正一三至一五			
い	心理學と兒童心理（多田不二）			
ろ	進化と遺傳（大久保昶彦）			
は	生理と榮養（横山敏夫）			
に	天象と地象（長谷川折夫）			
ほ	經濟と消費（稻葉文四郎）			
へ	文藝と美術（青山爲吉）			
と	宗教と宗門（富田彬）			
婦人に勸めて	新渡戸稻造 大正六	一	三四二	三〇〇
婦人と家庭	高島平三郎 大正元	一	二七一	七三
婦人讀本	尾崎行雄 大正一五	一	五三〇	二九一
婦人と經濟	上村熊雄 大正八	一	三八六	一七〇
婦人と子供の權利	平塚明子 大正八	一	三八七	九〇
婦人と自治	後藤新平（婦人問題講演集第五輯ノ内 大正一〇）		五〇〇	二
婦人と社會事業	吳なへ（社會事業講演集第一編ノ内 大正一〇）		四五	五九四
婦人と社會主義	弘文堂發行 大正一二	二	五一五	五九
第二編	現代の婦人 上、下（ベーベル著 牧山正彦譯）			
婦人と新社會の建設	帆足理一郎 大正一三（東京市公刊圖書第三號）	一	四五五	一三四
婦人と道德	エレン・ケイ著 本間久雄譯 大正二	一	三五〇	一九六
婦人と犯罪	大日本文明協會編 大正五（大日本文明協會第四期刊行書ノ内）	一	三五五	三一
婦人と文化	下田次郎（文化講演集ノ内 大正一二）		五三四	三
婦人に榮光あれ	小島清友 大正一五	一	五四六	一三六
婦人に勸めて	新渡戸稻造 大正六	一	三六三	一五〇
婦人日常座右銘	高須芳次郎編 明治四四（家庭百科全書第三五編）	一〇	一二六	二九六
婦人日常の心得	某女史 大正三	一	三五〇	三七八
婦人に味方して	石井滿 大正一〇	一	三八七	一九四
婦人年鑑	大正九年 佐藤順造、内田茂文編 大正九	一	一四四	四七九
婦人農業問題	稻田昌植 大正六	一	三五六	二八九
婦人農事講習要項	大分縣農會編 大正一〇 四〇頁	一	三九六	一八八
婦人農事講習要錄	新潟縣農會編 大正七	一	三七二	一八六
婦人農事講習會講義錄	阿野仁平編 大正一〇	一	三九七	一二三
婦人農事講習會講義錄	愛媛縣越智郡農會編 大正九	一	三七三	三七五
婦人の覺醒	椎尾辨匡（共生叢書第一） 大正一一	一	五一五	三三
婦人の國	新潮社發行 第一卷第一號（大正一四年五月）		雜 五一	三九
婦人の科學叢書	新生社發行 大正一二	一	五一五	五四
第二編	婦人の法律（片山哲）			
婦人の過去現在未來	ベーベル著 山川菊榮譯（世界婦人文獻第七卷） 大正一四	一	五四五	七
婦人の健康	柏原長弘 大正一三 五〇頁（兒童教養叢書第一七編）	一	二七一	一〇三
婦人の後援事業	內務省地方局編（戰時列國地方資料第七輯ノ内 大正七）	三	三六	二一
婦人の心得べき經濟常識	河田嗣郎（婦人文化講座第一輯ノ内 大正一二）		五〇〇	五七
婦人の心得べき建築の智識	藤井厚二（婦人文化講座第二輯ノ内 大正一二）		五〇〇	五七
婦人之相談相手（日常家庭）	平野喜代子編 大正六	一	三六一	一七三
婦人の修養	鳩山春子 大正一〇	一	六三	五 ロ
婦人の使命	金杉英五郎 大正五	一	六〇	四三六
婦人の使命	下田次郎 大正一一	一	五〇三	五〇
婦人の生涯	高島平三郎 大正四	一	三六〇	一八〇
婦人の社會運動	市川房枝（婦人問題講演集第二輯ノ内 大正九）		五〇〇	二
婦人の新運動	西川文子（婦人問題講演集第五輯ノ内 大正一〇）		五〇〇	二
婦人の新倫理	近藤良董 大正一三	一	五二五	二二〇
婦人の進むべき道	小林鶯里 大正一三（國民叢書ノ内）	一	五一五	九九 ヤ
婦人の嗜み	江木清一 大正一〇	一	三九五	二一七
婦人の立場から	三宅やす子 大正一三	一	五二五	一二五
婦人の爲に	岡垣松太郎 大正五	一	五六	一八
婦人の爲めに	加藤熊一郎 大正一四	一	五四六	三二
婦人の爲めに	高島平三郎 大正七（大正名著文庫第三一編）	一	三四〇	三六
婦人の力	佐々木吉三郎（故天野松子追悼講演集ノ内 大正九）		四五	五五〇
婦人の力	三宅雄二郎（朝日講演集第三輯ノ内 大正六）		三三五	三三三
婦人の力と帝國の將來	中川謙二郎 大正一四	一	五三六	一一六
婦人の知識	清文堂編 大正一四	一	五四七	三一
婦人の務	下田次郎 大正一二	一	五〇三	二三〇
婦人の手紙	渡邊白水 大正三	一	三五六	一九
婦人の手紙（直ぐ役に立つ）	婦人教育會編 大正一五	一	五二七	五八一
婦人の典型	アリス・コークラン著 林靜太譯 大正三	一	三六〇	一九
婦人の二大天職	佐伯矩（婦人問題講演集第八輯ノ内 大正一二）		五〇〇	二
婦人の法律	片山哲 大正一二（婦人の科學叢書第二編）	一	五二五	五四
婦人の法律と經濟	大久保靜平 大正一五	一	五四六	九一
婦人の眼に映じたる世界の新潮流	井上秀子 大正一二	一	五一四	六〇
婦人之養生	吉岡彌生 大正元	一	六一	一三五
婦人寶鑑（家庭百科全書一）	大正一三年度 大阪每日新聞社編 大正一三 六七〇頁	一	三七四	一〇〇
婦人最新家庭全書	河野正義編 大正三 一〇四一頁	一	三四九	三六七
婦人寶典	大正一二年度 大阪每日新聞社編 大正一二 六三八頁	一	三七四	一〇〇
婦人パンフレット	婦人文化研究會發行 大正一一、一二	九	五〇〇	五九
第二號	西伯利事情（織田淑子編）	一	五三五	一九三
第四號	長春會議（婦人文化研究會編）	一	五一五	一九二
第六輯	童謠集銀の種（織田淑子編）			
第七輯	婦人經濟學（中村弘毅）			
第八輯	アルセーヌ、ルパン（探偵小說研究會譯）（ルブラン著 婦人文化）			
第九輯	榮養と食物（石黑退三）			
第一〇輯	ベラミイ（モウパッサン著 婦人文化）（抄譯研究會譯）			
第一一輯	普選と婦人參政論（婦人文化研究會編）			
第一二輯	遺傳と人種改善（石黑退三）			
婦人美談	孝女の卷 桐原花村 大正一三	一	五三五	一九三
婦人美談	たどりしあと 杉山忠恕編 大正七	一	三七六	二一〇

	冊	函	號
婦人風俗畫　尾形月耕畫　明治三〇　一二枚	一帖	四〇五	四ノ一
婦人風俗畫　尾形月耕畫　明治三一　三六枚	一帖	三三四	七五
婦人文化講演集　國民教育奬勵會編　大正一一	一	五〇三	六七
明治時代の名婦（下田歌子）			
女性の心理（下田次郎）			
家事科に就て（井上秀子）			
歐米に於ける女子の運動（吉田熊次）			
顧みられざる食品に就て（一戸伊勢）			
藝術と道德（阿部次郎）			
文藝批判の標準（齋藤勇）			
有夫女教員が主婦としての任務を全うすべき適切なる方法如何（澤柳政太郎）			
婦人文化講座　大阪朝日新聞社發行　大正一一、一二	二	五〇〇	五七
第一輯　婦人の心得べき經濟常識（河田嗣郎）			
食物と榮養（古武彌四郎）			
婦人運動と現行法律（宮本英雄）			
道德根本の人格價値（藤井健治郎）			
第二輯　物價問題に就いて（津村秀松）			
婦人の心得べき建築の智識（藤井厚二）			
婦人運動の發達史（野上俊夫）			
婦人文庫　同刊行會發行　大正三	一二	三四〇	三七
第一回　教訓鑑草　六卷（中江藤樹）			
女大學			
女四書			
庭の訓抄（阿佛尼著　伴蒿蹊釋）			
第二回　傳記本朝女鑑抄　二卷			
本朝女二十四孝			
比賣鑑　二卷（中村惕齋）			
第三回　節用女學範　二卷（大江資衡）			
和漢準道手習指南（浪花隱士）			
教訓歌繪都風俗化粧傳　三卷、附錄三卷（佐山半七丸）			
當流節用料理大全（高島某編）			
四季漬物早指南（小田原屋主人）			
菓子話船橋（船橋屋織江）			
第四回　文集　藤蔭册子　[抄]（上田秋成）			
琴後文萃（村田春海）			
泊洒舍文集（清水濱臣）			
歸家日記（井上通女）			
庚子道の記（武女）			
旅の命毛（土屋斐女）			
磯づたひ（品野綾女）			
奥の荒海（岡田士開妻）			
醒睡笑　[抄]（安樂庵策傳）			
鹿の卷筆　[抄]（鹿野武左衞門）			
四方のあか　[抄]（大田南畝）			
名媛遺芳（婦人文庫編輯局編）			
第五回　教訓梳翁道話（布施梳翁）			
鳩翁道話（柴田鳩翁）			
續鳩翁道話（同）			
第六回　小說墨田川梅柳新書　六卷（瀧澤馬琴）			
假名文章娘節用　九卷（曲山人補綴）			
第七回　傳記比賣鑑　後編一九卷（中林竹洞）			
大東婦女貞烈記　[抄]　三卷（源鑾岳）			
第八回　歌集中古才媛歌集（婦人文庫編輯局編）			
近世才媛歌集（同）			
明治才媛歌集（同）			
和歌作法　才媛俳句集（同）			
第九回　小說雨月物語　五卷（上田秋成）			
近江縣物語　五卷（石川雅望）			
西山物語（建部綾足）			
竺志船物語（村田春海）			
第一〇回　畫集浮世繪略史（勃興期の諸畫、懷月堂派、宮川勝川派、後期の諸派）			
肉筆繪本錦繪（諸職あほんかゞみ、潮干のつと、山滿多山、富嶽百景、木曾街道六十九次、東海道五十三次、名所江戸百景）			
第一二回　節用女諸禮集　四卷（高井蘭山）			
女重寶記（松本善齋）			
茶事開書（叢香舍主人）			
香道峰の月（森文華）			
池坊家花道秘書（佐山半七丸）			
婦人每日の心得（身のまはりから臺所まで）　大妻コタカ　大正一五	一	五六四	七一
婦人も働け　木下幹編　大正八	一	三八六	九五
婦人問題　上杉愼吉　再版　明治四三	一	三五〇	三六
婦人問題　沼法量編　大正九（問題叢書第九編）	一	三九〇	一一
婦人問題　宮田脩　大正九（世界改造叢書第八編）	一	三八九	一六
婦人問題　宮田脩（北海道廳主催社會改善講習會講演集　大正一二）		五二	七〇
婦人問題　吉野作造編　大正五（現代叢書ノ內）	一	三四〇	四八
婦人問題概觀　山田わか（現代社會問題文化大學十六講ノ內　大正一二）		五三五	一七
婦人問題講演集　石川六郎編　大正九至一二		五〇〇	二
第一輯　予の婦人觀（永井柳太郎）			
差別待遇（馬場恒吾）			
ユーゼニー皇后（德富猪一郎）			
第二輯　女性の精神生活（富士川游）			
改造と文化（金子馬治）			
我國の婦人勞働問題（鈴木文治）			
婦人の社會運動（市川房枝）			
女主男從論（山田わか）			
第三輯　日本の婦人に告ぐ（尾崎行雄）			
トルストイと其の夫人（片上伸）			
婦人參政の理想と實際（永井柳太郎）			
第四輯　新生活の意味（厨川白村）			
日本婦人の使命（蜂須賀正韶）			
女子の高等教育（塚本はま子）			
婦人と自治（後藤新平）			
第五輯　音樂の話（田邊尚雄）			
婦人の新運動（西川文子）			
國母主義（麻生正蔵）			
第六輯　女人崇拜論（賀川豐彥）			
婦人優秀論（市川源三）			
近代の劇藝術（三島章道）			
第七輯　遺傳と婦人（三宅驥一）			
婦人文化の意義（小橋三四子）			
若き支那に學べ（石本惠吉）			
婦人問題研究　永井亨　大正一四	一	五一二	二七七
婦人問題十六講　奥むめお　大正一四	一	五三五	一四六
婦人問題と近代文藝　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）		三七九	一一
婦人問題と教育　鰺坂國芳　大正九	一	四五	五二四
婦人問題と宗教　和田鼎（布教講習會講演錄第二輯ノ內　大正六）		三二四	五四七
婦人問題と婦人運動　山川菊榮　大正一四（社會問題叢書第八編）	一	五三九	九
婦人問題に就いて　河田嗣郎　大正一四　二四頁	一	五三四	三七三
婦人問題の解決　神木猶之助　大正一二	一	五〇三	二三五
同　三版　大正一三	一	五〇三	二三五イ
婦人問題の諸相　滿月會編　大正一四（滿月集第二）	一	五三六	三二
婦人問題の歷史　ジョージ著　栗原古城解　大正一四（日本讀書協會叢書第二）	一	五二〇	四八
婦人問題早わかり　附　婦人と勞働　シュライネル著　高野重三抄譯　大正三	一	三五〇	三九〇
婦人問題評論集　帆足理一郎　大正一三	一	五三五	一四〇
婦人問題六講　織田淑子編　大正一三	一	五三五	一三六

	冊	函	號
遺傳と結婚問題（石黒退三） 産兒制限論（三浦博亮） 醫學的美容法（石黒退三） 普選と婦人參政論（遠矢良已） 文化住宅の研究（竹井清） 戀愛至上論（秋山晴） 附 ブレーズ夫人（ソフイカアル著 小野絲子譯）			
不仁野夫鑑 東湖山人〔安永四年刊カ〕〔庸醫ヲ罵倒セルモノ〕	特 一	京	三七九
婦人よろづの手紙 桑田春風 大正六	一	三六四	三三三
婦人勞働保護に關する立法 吉野信次（成田山講演集ノ内 大正九）		三八〇	一〇九
婦人勞働問題 社會政策學會編 大正八（同會論叢第一二冊）	一	七八	九三
婦人勞働問題 内務省地方局編（戰時列國地方資料第七輯ノ内 大正七）		三二六	二一一
富壽滿 榛原紙店襖部發行	一	四一二	四一
皺及大豆粕ノ乳牛飼料トシテノ價値 八鍬儀七郎、工藤重佐（〔農商務省〕畜産試驗場報告第二卷第一號ノ内 大正一三）		一四、二 イ	四八四
襖壁紙文樣集 第一期第一至四集 同頒布會編 大正一四、一五	三	四〇七	八七
同 第一期第三輯 大正一四	一	四〇七	八七 イ
不正競業論 有馬忠三郎 大正一一 五二四頁	一	五一二	七
傳青主對題 大島友直編 大正五〔「戴本孝山水」ト合綴〕		四九	七七
武清粉本 寫本〔喜多武清ノ古畫ヲ縮圖セルモノ〕	特 二五	や	四八
普照語錄 隱元 二卷（禪學大系祖錄部第四卷ノ内 明治四五）		三三〇	一八
不肖の子 久米正雄 大正一二（表現叢書第一）	一	三八九	八五
布石攻合新法 阿部龜次郎 大正七（圍碁研究全書ノ内）	一	一〇	三三〇
布石通解 第二卷 岩佐銈 明治四五	一	二四六	二五八
布施功德經 赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ内 大正一三）		五一五	一〇四
布施太子の入山 倉田百三 大正一〇	一	五〇一	二〇〇
同（現代戲曲全集第八卷ノ内 大正一四）		五二〇	二五
不折畫賸 中村不折畫 田中常太郎編 大正元	一	三三七	九五
不折山人丙辰潑墨 第一至三集 中村不折畫 大正五、六	三	一一	一九五
布勢屋乃塵 後水尾天皇御撰（續群書類從第一八輯ノ下物語部ノ内 再版 大正一三）		八〇	二二一 ロ
伏屋塵（後水尾天皇—）（列聖全集御撰集第三卷ノ内 大正五）		三二八	三七八
普選運動血淚史 水野石溪 大正一四	一	五三五	四五
普選運動史及普選の心得 弘田勝太郎 大正一四	一	五三五	一四五
普選運動と病的思想 田中萃一郎 大正九	一	三六二	二〇七
普選義解（國民要覽—） 小山松壽編 再版 大正一四	一	五三五	一九八
普選尙早論 日本聯合通信社編 大正一一	一	五〇二	八〇
步船鈔甲辰記 義讓 二卷（眞宗大系第二一ノ内 大正八）		三六九	一五 な
普選卽行（急進—徹底—） 布施辰治 大正一三 四三頁（パンフレット一）	一	三九三	六三〇
豐前村誌 寫本	八	一〇四	三六一
普選讀本 尾崎行雄、林田龜太郎 大正一五	一	五六一	三〇
普選と社會的訓練 佐藤三二郎（布南） 大正九	一	三八八	二六四
普選と鮮人問題 下村宏（時局問題批判ノ内 大正一三）		五二三	七八

	冊	函	號
婦選と婦人參政論 遠矢良已（婦人問題六講ノ内 大正一三）		五二五	一三六
普選と婦人參政論 婦人文化研究會編 大正一二 五四頁（婦人パンフレット第一一輯）	一	五〇〇	五九
普選に直面して政治の倫理化を提唱す 後藤新平 大正一五 六九頁〔題簽ニハ「政治倫理化運動の第一聲」トアリ〕	一	五四九	九二
普選の取締と罰則 芳谷武雄 再版 大正一四	一	五三五	二一二
普選法案と歐米の近代道德 江木衷 大正一三	一	五二四	一七二
普選法罰則講話 古田正武 大正一五	一	五六五	五八
普選問題統體觀 江木衷 大正一二 八二頁	一	五二四	二六
普選問題と僧參問題の側面觀 丸山興愍 大正一一	一	三九三	三二八
普選より新しき政治へ 池田超爾 大正一四	一	五三五	二一三
蕪村遺稿講義 秋、冬之部 高濱虛子編 大正三〔「蕪村句集講義」ト合綴〕	一	八八	一五 ロ
蕪村翁の墨蹟（召波居士—に宛たる） 田中常太郎編 大正八	一	三七二	二八四
蕪村句集講義 秋、冬之部 附總索引 高濱虛子編 大正三〔「蕪村遺稿講義」ト合綴〕	一	八八	一五 ロ
蕪村句全集（校註—解釋） 長谷川零餘子編 大正一〇	一	五〇一	一五五
蕪村畫集 與謝蕪村畫 武藤山治編 大正一釋	一	四一三	三三
蕪村七部集（新釋日本文學叢書第一二卷ノ内 大正一二）		三四五	一三 ぬ
蕪村全集 潁原退藏編 大正一四	一	五四四	一七六
蕪村その他（俳諧—家言） 岡野知十（敬胤） 大正一三	一	五二九	一七三
蕪村と其周圍 乾猷平 大正一五	一	五一七	三九四
蕪村の新研究 乾猷平 大正一四	一	五三八	一七八
蕪村の俳諧學校 乾木水解 大西一外校 大正一三	一	一六〇	二〇四
蕪村俳句畫帖 栗田二三編 大正一四	一	一六二	一五四
蕪村俳句集 小澤武二編 大正一五（俳人叢書第三篇）	一	五五〇	五五
蕪村俳句全集（季題—別） 半田良平編 大正一四 八〇頁	一	三九三	七九一
蕪村俳句選評 野口米次郎 大正一五（野口米次郎ブックレット第一〇編）	一	五四八	五
蕪村夢物語 春、夏の部 木村架空 大正六、九	二	三三八	三一四
ぶた 飯田吉英 增訂 大正二	一	三二八	二七六 イ
舞臺かがみ守田勘彌 安部豐編 大正一五	一	五六四	一二
部隊供用小銃腔中檢査ノ要旨 陸軍技術本部編 大正一一 四七頁	一	三一八	四七三
舞臺觀察手引草 杉贋阿彌（諦一郎） 大正七	一	三六一	二六五
舞臺藝術 カアル・ハアゲマン著 新關良三譯 大正九	一	三九五	四二
同 大正一四	一	三九五	四二 イ
舞臺劇及び映畫劇に於ける顏のつくり方 アデイア・ゲラルト著 宇羅河志計緒譯 大正一四	一	五四一	二〇三
不退轉法輪經 四卷（大正新脩大藏經第九卷法華部華嚴部上ノ内 大正一四）	特	四四	三七四
同		八六	三九一
舞臺動作の監督と「ヂオゲネスの誘惑」 島村抱月（抱月全集第二卷ノ内 大正九）		三七九	一一
舞臺と面影 林長三 明治四五	一	三三二	二四一

		冊	函	號
舞臺のおもかけ	安部豐編 大正八、九			
第二輯	市村羽左衛門			
第四輯	中村吉右衛門			
第五輯	中村歌右衛門			
第六輯	中村雁治郎			
第七輯	尾上梅幸			
舞臺之團十郎	伊原青々園、安部豐編 大正一二	特	一〇	四三
舞臺之華	安部豐編 大正元	一	三三一	五七
双岩村誌	愛媛縣西宇和郡同村役場編 大正八	一	三八四	八三
附帶犯論	花井卓藏 再版 大正六	一	三六六	三〇
葡萄液製造試驗	色川三男、園田宗介（朝鮮總督府中央試驗所報告第二囘ノ內 大正六）		一四一イ	三六三
葡萄害蟲に關する研究	岡山縣立農事試驗場編 大正九（同場臨時報告第二報）	一	一四一イ	三六七
武道藝術秘傳圖會	初編 大森正富著 國芳畫 安政二	特	一〇	一八三
武道極意	附 剛勇百話 內田良平 大正一四	一	五四七	五八
同	八版 大正一五	一	五四七	五八イ
武道極意護身術奥義	小脇國秀 大正一三	一	五二八	六五
葡萄酒	水上滝太郎 大正一一	一	五一七	一五五
葡萄酒及果實酒釀造法	高橋傳造 大正元	一	三四二	一八四
葡萄酒製造法	丹波敬三編（化學工業全書第一一册ノ內 明治四三）		四五	一九〇ニ
葡萄酒釀造試驗成績	色川三男、鴨下梅吉（朝鮮總督府中央試驗所報告第一囘ノ內 大正四）		一四一イ	三六二
葡萄峠を度る	田山花袋（花袋全集第一二卷ノ內 大正一三）			
葡萄棚	吉井勇（新劇名作集ノ內 大正一三）			
武道繼穗の梅	五卷 石川流宣（浮世草紙刊行會叢書第二卷ノ內 大正五）			
同	（江戸時代文藝資料第三ノ內 大正五）			
武道傳來記	井原西鶴 八卷（西鶴文集ノ內 大正二）		三四五	一は
葡萄の結果力と剪定諸方式との關係を論ず	大井上康（大井上理農學研究所學術研究報告第一號ノ內 大正一三）		一四一五	一〇五
葡萄の單爲結果現象に關する研究補遺	大井上康（大井上理農學研究所學術研究報告第一號ノ內 大正一三）		一四一五	一〇五
蒲萄坊千那	西村燕々編 大正一三	一	三九三	七〇一
葡萄圃の中	有島生馬 大正七（新興文藝叢書第一〇編）	一	三一	五五五
葡萄畑の葡萄作り	ジュウル・ルナアル著 岸田國士譯 大正一三	一	五二三	二〇一
不當利得論	清瀬一郎 明治四五（法學論叢ノ內）	一	三三六	一四
ふたおもて	前編 田口掬汀 大正五	一	三二九	二五四
ふたご	ユーゴー著 宮原晃一郎譯（ユーゴー全集第七卷ノ內 大正九）		三五五	九三イ
雙生隅田川	近松門左衛門著 小林榮子校（傑作近松時代淨瑠璃集成ノ內 大正一〇）		三七七	二四一
攣生抄	遊佐好生（日本衛生文庫第二輯ノ內 大正六）		六一	二〇四
札差請合證文帳ニ付申合連判	寫本（江戸札差記錄第一〇册）	特	二〇三	八三
札差仲間條目帳	寫本（安永七年仰付ノ條目ナリ）		一九二	二八
再び運賃値上反對論を駁す	住居房治編 大正九		一	三九七	九一
再び「近代批評の意義」について	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）			三七九	二
再び草の野に	田山花袋 大正八		一	三七七	一三三
同	大正一四		一	三七七	一三三イ
同	（花袋全集第八卷ノ內 大正一二）			五一五	三六
再び酸素注射效果に就て	大島濤兎 大正一二		一	六〇	五四三
再び植物の視外生物病に就て	笠井幹夫（農學研究第八卷ノ內 大正一五）			雜 三八	二イ
再ビ水質硬度ノ定量方法ニ就テ	鈴谷隆次（臺灣總督府研究所報告第四囘ノ內 大正四）				
再び地震約款の無效を論ず	花岡敏夫（災後の法律問題ノ內 大正一二）			一四一二イ	二八五
再び日本刀刃部の硬度に就て	俵國一 大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第二一）			五二一	一九六
再び運賃値上反對論を駁す	住居房治編 大正九		一	三九七	九一
再び「近代批評の意義」について	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）			三七九	二
再び草の野に	田山花袋 大正八		一	三七七	一三三
同	大正一四		一	三七七	一三三イ
同	（花袋全集第八卷ノ內 大正一二）			五一五	三六
再び酸素注射效果に就て	大島濤兎 大正一二		一	六〇	五四三
再び植物の視外生物病に就て	笠井幹夫（農學研究第八卷ノ內 大正一五）			雜 三八	二イ
再ビ水質硬度ノ定量方法ニ就テ	鈴谷隆次（臺灣總督府研究所報告第四囘ノ內 大正四）				
再び地震約款の無效を論ず	花岡敏夫（災後の法律問題ノ內 大正一二）			一四一二イ	二八五
再び日本刀刃部の硬度に就て	俵國一 大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第二一）			五二一	一九六
再び運賃値上反對論を駁す	住居房治編 大正九		一	三九七	九一
再び「近代批評の意義」について	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）			三七九	二
再び草の野に	田山花袋 大正八		一	三七七	一三三
同	大正一四		一	三七七	一三三イ
同	（花袋全集第八卷ノ內 大正一二）			五一五	三六
再び酸素注射效果に就て	大島濤兎 大正一二		一	六〇	五四三
再び植物の視外生物病に就て	笠井幹夫（農學研究第八卷ノ內 大正一五）			雜 三八	二イ
再ビ水質硬度ノ定量方法ニ就テ	鈴谷隆次（臺灣總督府研究所報告第四囘ノ內 大正四）				
再び地震約款の無效を論ず	花岡敏夫（災後の法律問題ノ內 大正一二）			一四一二イ	二八五
再び日本刀刃部の硬度に就て	俵國一 大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第二一）			五二一	一九六
再併（狂歌）	安倍川望成（梅本高節）大正一〇（「一笑一詠」ノ改題）			一四一五	三七
ふたつき見月	寫本（雀庵稿本第一）	特	一〇	さ	四三
雙蝶色成曙	寫本（松島松作芝居臺帳第一二ノ內）			八二四	二
二髑髏	アントレーゼン・メーリス（ヘーフェル著 森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ內 大正一三）			五二〇	一
同		特		五二〇	一イ
二つの結婚	生田春月 大正一五			一五一七	四四〇
二つの幻影	蕗谷虹兒 大正一二			一五一七	一八七
二つの心	武者小路實篤（現代戲曲全集第七卷ノ內 大正一四）			五二〇	三五
二つの生	田山花袋 大正九 八六九頁			一五〇一	七一
二つの太陽	前編 小杉天外 大正一二			一五一七	一九二
二つの戰	トルストイ著 宮原晃一郎譯（トルストイ全集第八卷ノ內 大正八）			三九〇	三九
二つの途	豐島與志雄（新興文藝叢書第一三編）			一三一	五五五
二つの道	有島武郎（有島武郎全集第一卷ノ內 大正一三）			五二〇	七
二つの道	ジョン・ラスキン著 小林一郎譯 大正六（ラスキン叢書第二卷）			一三五五	八六
二つの道（長篇小說）	德田秋聲 大正一四			一五四四	二
二つの指輪（印度創作集）	ポンキム・チョンドロ・チヤツタヂイ著 他三篇 佐野甚之助譯 大正一四（印度文藝叢書第二編）			一五三九	四四
二坪より百坪まで	日本庭造眞行草三體圖案新書 附 築庭法心得及仕樣書と工費豫算書 杉本文太郎 大正五			一三五六	二〇三
普達王經	（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ內 大正一四）	特		四四	三七四
同				八六	三九一
豚ノ飼料ニ關スル試驗	（第一、二囘） 川上三男、山下脇人 大正一三（農商務省畜產試驗場報告第二卷第四號）			一一四一二イ	四八四
豚ノ「スピロヘーテ」ニ關スル研究	能美季一、松尾豐治 大正一三（農商務省畜產試驗場報告第二卷第三號）			一四一二イ	四八四

豚ノ「スピロヘーテ」ニ關スル實驗例　能美季一、松尾豐治（〔農商務省〕畜産試驗場報告第一卷第四號ノ內　大正一一）　一四、二イ　四八四

豚の傳染病豫防協議會要錄　農商務省畜産局編　大正一三　三三頁　一　五二四　九五

二葉　北川淸吉意匠部編　大正九　一〇　一九五　二〇〇

二葉　白木屋呉服店圖案課編　大正八　一〇　四一八　六八

ふたば集　岡本綺堂編　大正九至一四　五　三九六　三

第一卷
月光の下に（額田六福）
宇津村正（中島俊雄）
みだれ金春（大村嘉代子）
疑惑（菊岡進一郎）
五月闇（柳田顯道）
ある日の午後（森田信義）
戰の後（岡本綺堂）

第二卷
彼岸の夕（額田六福）
歸船（中野實）
濃紫三人男（中島俊雄）
その曉（海野昌平）
僧院の秘事（大村嘉代子）
春の雪解（柳田顯道）
深川の秋（小林宗吉）
雨の夜（森田信義）
小笠原島（岡本綺堂）

第三卷
虛無の果（新原爽巨）
山本勘助（額田六福）
場末の春（中野實）
北國夜話（中島俊雄）
手帳（柳田顯道）
われから（海野昌平）
精靈舟（小林宗吉）

第四卷
鐘（額田六福）
狂奔（中野實）
船（中島俊雄）
賣花翁（海野昌平）
白糸と主水（大村嘉代子）
雪の朝（柳田顯道）
虫籠（山崎孝一郎）
夜あけ（山下巖）
霧（小林宗吉）
夜の四場（森田信義）
眞田三代記（岡本綺堂）

第五卷
小梶丸（額田六福）
お葉（小林宗吉）
渡守（中野實）
田村（森田信義）
湖畔（海野昌平）
有明の茶壺（大村嘉代子）
なが雨（山下巖）
傘屋の夫婦（柳田顯道）
武士の敵（山上貞一）
家康入國（岡本綺堂）

二葉亭全集　二葉亭四迷（長谷川辰之助）　明治四四至大正二　三　三二九　四六

第二卷
あひびき
めぐりあひ
片戀
猶太人
夢かたり
うき草
くされ緣

第三卷
肖像畫
むかしの人
狂人日記
猶太人の浮世
ふさぎの虫
灰色人
二狂人
乞食
四日間
露助の妻

第四卷
四人共産團
つゝを枕
酒袋
親心
愛
志士の末期
椋のミハイロ
わからずや
雜纂
おひたち
文學の本色及び平民と文學との關係
學術と美術との差別
ひとり言
某政治家のかぐや姫評
小按摩
昨今のウキッテ
其後のウキッテ
黑瀧江畔の勇婦

露西亞の婦人界
入露記
露都雜記
老の繰言
日記斷行
そゞろ言
雜談
文談五則
余が飜譯の標準
雜談
エスペラントの話
小說の題のつけ方
ゴーリキーとアンドレエーエフの近業
余が言文一致の由來
法帖を習ひ連句を讀む
私は懷疑派だ
予が半世の纖悔
附錄
俳諧日錄

二葉亭論二則　島村抱月（抱月全集第一卷ノ內　大正八）　三七九　一一

舞蹈　フランス著　森鷗外譯（鷗外全集第一五卷ノ內　大正一四）　五二〇　一

同　特　五二〇　一イ

舞踏とオペラ　島村抱月（抱月全集第七卷ノ內　大正九）　三七九　一一

二重虹　北原白秋　大正一五（繪入童謠第七輯）　一　五三八　一九二

二見浦曙の圖　國貞畫　一枚　七別　二九

二見浦名勝誌　附　神都案內　坂本德次郎編　大正二　一　三四八　六九

同　大正九　一　三四八　六九イ

ふた夜　ハックレンダー著　森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ內　大正一三）　五二〇　一

同　特　五二〇　一イ

補陀洛迦山傳　元、盛熙明述（大日本續藏經第七四八册ノ內　明治四五）　二二五　二

補陀洛山建立修行日記　仁朝（續群書類從第二八輯ノ上釋家部ノ內　大正一五）　八〇　二二一

同　八〇　二二一イ

二荒日記　小中村淸矩稿本　寫本　特　一〇　八三一　二七

二荒山神社　同社務所編　大正六　一　三六七　一二

二荒山神社考證　同社務所編　寫本　一〇　一八一　三八四

二人靜　後編　柳川春葉　大正六　一　三二九　二七五

粲靜胎內捃（フタリ）　近松門左衞門（近松門左衞門全集第七卷ノ內　大正一二）　五〇五　五八

同　近松門左衞門著　木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第一〇卷ノ內　大正一二）　五〇五　三六

二人妻　永井荷風　大正一二（三田文學叢書第一編）　一　五一五　七八

二人連れ　泉鏡花（鏡花全集第一〇卷ノ內　大正一四）　五二〇　四四

二人の異敎徒の對話　松村武雄（英文學研究第二册ノ內　大正一〇）　三九〇　二四

同　（英文學研究第二册ノ內　再版　大正一一）　三九〇　二四イ

二人の異端者　他二篇　佐々木味津三　大正一三　一　五二九　一五四

二人の輕業師　長谷川如是閑（長谷川如是閑創作集第一編ノ內　大正一二）　五一五　四五

同　（長谷川如是閑創作集第三編ノ內　大正一四）　五二七　一八

二人の彼　武者小路實篤　大正一一（中篇小說叢書第六）　一　五〇五　四九

二人の苦行者（創一作）　三浦關造　大正一〇　一　五〇一　二五一

二人の最期　田山花袋（花袋全集第六卷ノ內　大正一二）　五一五　三六

二人の稚兒　谷崎潤一郎　大正七　一　三七七　九一

	冊	函	號
二人の稚兒 谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第四卷ノ内 大正一〇）		五〇〇	四
二人の友 モオパッサン著 岸田國士譯（佛蘭西文學譯註叢書第一篇ノ内 大正一四）		五四八	一四
同 モウパッサン著 安成四郎譯（モウパッサン全集第六卷ノ内 大正一〇）		三九〇	四一
二人の母親 田山花袋（花袋全集第六卷ノ内 大正一二）		五一五	三六
二人の髯男 宮地嘉六（世界短篇小說大系日本篇下ノ内 大正一五）		五二〇	四五
二人の獨り者 近松秋江 大正一二	一	五二二	七〇
二人の不幸者 廣津和郎 大正七	一	三七七	一〇四
二人の文學青年 新井紀一 大正一一（新進作家叢書第三二）	一	三一	五五四
二人の驃騎兵 トルストイ著 福永挽歌譯（トルストイ全集第二卷ノ内 三版 大正九）		三九〇	三九
二人の盲人 ボアレエヴ著 井上勇譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ内 大正一四）		五二〇	四五
二人の未亡人 鈴木泉三郎（現代戲曲全集第一九卷ノ内 大正一五）		五二〇	二五
二人の隣人 フイリップ著 井上勇譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ内 大正一四）		五二〇	四五
傅家甸（フチイアデン）及び其の通貨（哈爾賓支店調査叢書第七編—） 公門仲 大正一五（〔横濱正金銀行〕調査報告第六二號）	一	一四、五	二九
藤井寺勸進帳（續群書類從第二七輯ノ下釋家部ノ内 大正一五）		八〇	二二一
藤井紋太夫記錄 寫本	一〇	一六六	三〇七
峰中作法 本山相傳（日本大藏經第三七卷ノ内 大正八）		三五三	六
峰中作法次第 本山相傳（日本大藏經第三七卷ノ内 大正八）		三五三	六
峰中式目 本山相傳（日本大藏經第三七卷ノ内 大正八）		三五三	六
峰中十種修行作法（日本大藏經第一七卷ノ内 大正五）		三五三	六
峰中正灌頂外場作法（日本大藏經第一七卷ノ内 大正五）		三五三	六

	冊	函	號
峰中修行記 行昭撰（日本大藏經第三七卷ノ内 大正八）		三五三	六
藤枝町誌 靜岡縣志太郡同町役場編 大正一三 五九二頁	一	五一九	一二〇
藤岡吉平傳 佐伯元吉 大正七	一〇	一〇	二九八
藤河の記 一條兼良（文藝叢書第一一冊紀行文編ノ内 大正三）		三四五	一り
〔藤倉學園〕年報（財團—法人） 第一卷（大正九年度）、第二卷（同一〇年度）、第五卷（同一三年度） 同園編 大正一〇 三三頁	三	二九八	一七
藤澤町外二箇村聯合耕地整理組合地區之圖 中野工務所製 大正一〇 一・六×三・三	一枚	三三九	一〇三九
藤澤町全圖（神奈川縣—） 大日本町村全圖刊行會製 大正一五	一	四二五	一〇
藤島孝平歌集 藤島敏男編 大正一五	一	五三一	七三
藤田式修養息心調和法 中傳 藤田靈齋 大正四	一	六一	一八〇
藤田式調和法前傳略解 藤田靈齋 大正二	一	六一	三一八
藤田傳三郎 大河內翠山 明治四五	一	三二九	一三八
藤田電燈學 上卷 藤田經定 五版 明治四五	一	六四	一〇六ハ
同	一	六四	一〇六ニ
同 增訂六版 大正二	一	六四	一〇六ホ
同 上、中、下卷 增訂七版 大正六	三	六四	一〇六ヘ
同 上卷 八版 大正九	一	六四	一〇六ト
同 上卷 再訂 大正一一	一	六四	一〇六チ

	冊	函	號
藤田電燈工學全書 藤田經定 大正一四 第三卷 蓄電池	一	五四二	七三
同 第三卷	一	五四二	七二イ
藤田東湖正氣歌評釋 亘理章三郎 大正三	一	三三九	五三八
藤田東湖百話 大庭三郎編 大正六（教訓叢書ノ内）	一	三四〇	二八
藤津郡七浦村大字飯田區保健衛生調査報告 佐賀縣編 大正一四	一	一四、六ハ	二一四
藤戶 野上彌生子（現代三十三人集ノ内 大正一一）		五〇六	一二一
藤波 荒木田麗女（德川時代女流文學麗女小說集下卷ノ内 大正四）		三三九	二三六
藤浪集 藤村叡運著 同忍隆編 大正一	一〇	一六〇	八九
藤の岩屋 荒木田麗女（德川時代女流文學麗女小說集上卷ノ内 大正四）		三二九	二三六
藤野式計算器使用法（專賣—特許） 片山三平 大正六	一	三六四	三五三
同 補再版 大正八	一	三六四	三五三イ
同 補三版 大正八	一	三六四	三五三ロ
藤の下陰 芝葛鎭 大正八	一〇	一五九	九一
藤のしなひ 附 白拍子舞の歌 春日神社々務所編 大正一三	一〇	一六〇	二一六
藤の舍集 平岡好國 大正七	一〇	一〇	二六八
藤のゆかり（繪—本） 長谷川光信畫 寬延四	特 三	は	八六
藤の夢 佐竹守一郎（現代戲曲全集第一八卷ノ内 大正一五）		五二〇	二五
藤原朝臣吉村公御詠歌 伊達吉村（仙臺叢書第四卷ノ内 大正一二）		五〇八	一三

	冊	函	號
藤原朝臣吉村公道の記 伊達吉村（仙臺叢書第四卷ノ内 大正一二）		五〇八	一三
藤原家經朝臣集（續群書類從第一六輯ノ上和歌部ノ内 再版 大正一三）		八〇	二二一ロ
藤原氏三代の事蹟と源賴朝の奧州征伐 大森金五郎（奧羽沿革史論ノ内 大正五）		三四八	三七七
藤原時代物語 木村小舟 大正一〇 五七八頁（小舟五部作第五編）	一	三八九	四八
藤原爲賴朝臣集（續群書類從第一六輯ノ上和歌部ノ内 再版 大正一三）		八〇	二二一ロ
藤原秀衡（平泉—情史） 藤原相之助 大正六	一	三二九	二八一
藤原保則傳 栗田寬（栗里先生雜著中卷ノ内 明治四三）		二三	二四五イ
藤本パンフレット 藤本ビルブローカー銀行編 大正一四	一	五四九	三
第二冊 債券投資の本質に就いて			
婦女界 婦女界社發行 第二九卷第四號（大正一三年四月）ヨリ		雜 五一	三七
婦女子の爲めに 宮崎爲山編 大正一三	一	五二五	一三一
婦女典範實用家庭顧問 藤田篤、三谷洋編 大正七	一	三七〇	一八
婦女のかゞみ（女子—修養） 山崎眞之編 大正一五	一	五三三	二七四
婦女の栞 川俣馨一 大正二	一	三四二	三五一
婦女平素の心得 北村包直（修養講話ノ内 大正四）		三四九	三五
「ブチロメーター」ニ依ル乳肉及其製品ノ脂肪定量法ニ關スル研究 山下脇人、中江利郎（農商務省）畜産試驗場報告第一卷第一號ノ内 大正一〇）		一四、二イ	四八四
佛阿毘曇經（出家相品第一） 陳、眞諦譯 二卷（大正新脩大藏經第二四卷律部三ノ内 大正一五）	特	四四	三四七

佛爲阿支羅迦葉自化作苦經	（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ内 大正一四）	特	冊	函號	頁
同		特	冊	四四 三七四	一
佛爲優塡王說王法政論經	唐、不空譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ内 大正一四）	特	冊	四四 三七四	一
同		特	冊	八六 三九一	一
佛爲海龍王說法印經	唐、義淨譯（大正新脩大藏經第一五卷經集部二ノ内 大正一四）	特	冊	四四 三七四	一
同		特	冊	八六 三九一	一
佛爲首迦長者說業報差別經	隋、闍那崛多譯（大正新脩大藏經第一卷阿含部上ノ内 大正一三）	特	冊	四四 三七四	一
同		特	冊	八六 三九一	一
佛爲勝光天子說王法經	唐、義淨譯（大正新脩大藏經第一五卷經集部二ノ内 大正一四）	特	冊	四四 三七四	一
同		特	冊	八六 三九一	一
佛爲娑伽羅龍王所說大乘經	宋、施護譯（大正新脩大藏經第一五卷經集部二ノ内 大正一四）	特	冊	四四 三七四	一
同		特	冊	八六 三九一	一
佛一百八名讚	宋、法天譯（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ内 大正一四）	特	冊	四四 三七四	一
同		特	冊	八六 三九一	一
佛爲年少比丘說正事經	西晉、法炬譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ内 大正一四）	特	冊	四四 三七四	一
同		特	冊	八六 三九一	一
佛爲黃竹園老婆羅門說學經	（大正新脩大藏經第一卷阿含部上ノ内 大正一三）	特	冊	四四 三七四	一
同		特	冊	八六 三九一	一
普通有毒植物誌	梅村甚太郎 大正六				一

普通板及合板の吸濕並膨脹	泉岩太（〔農林省〕林業試驗彙報第一九號ノ内 大正一五）		冊	函號	頁
普通及實業用露語書簡文	テ・トドロウキチ 大正六		冊	一四、イ 一二五、ロ	一
普通海員運用術教科書同參考書	附圖付 日本海員掖濟會編 大正一〇		冊	三三三 二九	一
同	附圖付 日本海員掖濟會編 大正一〇		冊	四四 三七四	三
普通海員機關術教科書同參考書	附圖付 日本海員掖濟會編 大正一〇		冊	四四 三七四	三
普通各科教授法	小川正行等 大正二		冊	八六 三九一	一
普通員類の栞	平瀨與一郎編 大正三		冊	二三、一 二一九	一
普通幾何學大要	菊池大麓 大正七		冊	二四四 四五六	一
普通規矩術（圖解—捷徑—）	山下太作 大正八		冊	二六五 一一八	一
普通緩速濾過池ノ使用期限ニ就テ	山口謹爾（臺灣總督府研究所報告第一回ノ内 明治四五）		冊	二三七 八七	一
普通官話演說集	湯山昇編 大正九		冊	一四、イ 八五	一
普通官話新華言集	支、張廷彥 大正八		冊	二九六 五三	一
普通經濟學原論	與椙本太郎 大正四 五五四頁		冊	二八八 四一	一
普通教育學	小川正行等 大正二		冊	六八 六四一	一
普通教育學	（ルマン・ケルン著 澤柳政太郎譯（澤柳全集第五卷ノ内 大正一四）		冊	二五三 二一四	一
同			冊	五二〇 三七、イ	一
普通教育學（改訂）	小泉又一 訂四版 大正二		冊	五二〇 三七、イ	一
普通教育幾何教科書	平面之部 坂井英太郎 訂再版 明治三八		冊	二五九、五 二〇、イ	一
普通教育文部省訓令及通牒類輯	東郷整編 大正九		冊	九八 一九九、イ	一
				二五六、一 一〇一	一

普通教育顯微鏡實驗圖解	內田茂、福山惟吉 大正二		冊	函號	頁
普通教育國語教授法	須田安洲 大正七		冊	二六三、三 一四二	一
普通教育新定圖案	白濱徵 大正一〇		冊	四二三 五三	二
普通教育地理の實習	鈴木重雄（革新叢書第一冊） 大正三		冊	二四五 一〇	一
普通教育圖案新資料	藤五代策編 明治四五		冊	二四二 一二〇	一
普通教育圖案の考へ方	堀孝雄 大正八		冊	二七三 二七六	一
普通教育圖書科に就きて	白濱徵（文部省講習會圖書科講話集ノ内 大正六）		冊	三七一 四二	一
普通教育圖書之友	渡邊福義 大正六		冊	三三九 九七二	一
普通教育に於ける藝術教育	ヘンリー・ターナー・ベーレー著 霜田靜志譯 大正六		冊	二九二 五五	一
普通教育に於ける藝術的陶冶	關衛 大正一〇 八一三頁		冊	二九二 六九	一
普通教育に於ける宗教的陶冶	關寬之（最近思潮教育夏季講習錄 大正一一年度ノ内 大正一一）		冊	二五八、一 三九	一
普通教育法制の綱領及其教授	中島信虎 大正四（教育新潮叢書第二期第三卷）		冊	二五九、五 三一	一
普通教育ニ關スル施設一斑	廣島縣內務部學務兵事課 發行 大正二		冊	二七〇 六	一
普通農業實習法	谷本龜次郎 大正二		冊	三四九 三〇	一
普通教育の根本改造	山本良吉 大正九		冊	二七〇 一三	一
普通教育の實際	森岡常藏（視學講習會講演集第三七回ノ内 大正一四）		冊	三六五 九	一
普通教室體操教授に於ける	石丸節夫、香川重美 大正一四		冊	二七六 三六六	一
普通作物栽培法	愛知縣立農事試驗場編 大正三		冊	三四四 三九二	一
普通作物の害蟲	高橋獎 大正五		冊	三九八 一〇九	一

普通作物論講義	菊池楳（農學講義大全ノ内 大正元）		冊	函號	頁
普通作法精義	錦織竹香 大正九		冊	三七〇 一三一	一
普通蠶種病毒歩合ニ關スル調査	大正七至一〇年 農商務省農務局編 大正一二		冊	一四二、ロ 一八六	一
普通社會學	第四卷 社會動學 建部遯吾 大正七		冊	四一 一二八	一
普通植物檢索表	文部省（三好學、牧野富太郎）編 明治四四		冊	三二九 二四	一
普通植物檢索表準據植物圖解	高柳悅三郎 明治四五		冊	三三二 二八〇	一
同 改訂	大正三		冊	三三二、イ 二八〇	一
普通心理學	金子馬治 大正六		冊	三五六 二六三	一
普通心理學	澤柳政太郎（澤柳全集第四卷ノ内 大正一四）		冊	五二〇 三七	一
同			冊	五二〇、イ 三七	一
普通政治講話	政治教育會調查部編 大正一四		冊	一五三五 一八一	一
普通生理衞生學	大森千藏 增訂 大正三		冊	六一、イ 八	一
普通選擧	關和知（世界改造叢書第六編） 大正九		冊	三八九 一六	一
普通選擧	橋口西彥編（通俗民衆教育叢書第六編） 大正八		冊	三八九 六	一
普通選擧とは？	廣田義夫 大正八		冊	三六三 一四六	一
普通選擧と無產政黨	安部磯雄 大正一四（日本フェビアン協會パンフレット第一）		冊	三九三 七五七	一
普通選擧の準備	ウヰルソン・エル・ギル著 桐生悠々譯 大正九		冊	三六二 二三三	一
普通選擧の準備作業	柳田國男（時局問題批判ノ内 大正一三）		冊	五三三 七八	一

		冊	函	號	
普通選擧の精神	上杉愼吉 大正一四	一	五三五	二四一	
普通選擧の話	小林鶯里 大正一四（國民叢書ノ內）	一	五一五	九九	む
普通選擧法要綱	坂千秋、三宅正太郎 補八版 大正一五	一	五五〇	四一	
普通選擧法要義	刑事法學會編 大正一五	一	五四六	一〇五	
普通選擧法釋義	三宅正太郎等 大正一五	一	五六五	一〇九	
普通選擧法註解	附則及選擧區別表 黒澤松次郎編 大正一四（題簽ノ冠稱ニハ「衆議院議員」トアリ）	一	五三五	一〇六	
普通選擧問題	下村宏（成人教育ノ內 大正一四）		五三六	一一三	
普通選擧論	吉野作造 大正八	一	三八二	三五	
普通測地學	上、下卷 野坂喜代松編 明治四五	二	三四二	一一〇	
普通地質學講義	横山又次郎 大正三	一	三三〇	一二九	
普通動物圖說	內田茂、小野久七 大正四	一	三六〇	一三八	
同	大正七	一	三六〇	一三八	イ
普通動物圖譜	田中茂穗 大正四	一	三五一	四七	
普通日本蘚類苑圖說	飯柴永吉等 明治四五 五六八頁	一	三三三	二一九	
普通物理學講義	上卷 中村清二 大正三	一	四六	一三九	
普通文官及裁判所書記試驗模範問題集	大正元至一二年 大日本登龍倶樂部編 大正一三	一	五三三	一二二	
普通文官及裁判所書記試驗問題答案集	大正元至八年度 日本大學法制學會編	一	三六二	一九六	
普通文官及試驗問題模範答案集	星野武雄 大正一四	一	五三五	一三三	
普通文官最近答案集	法制時報社編 大正四	一	三七	四六四	

		冊	函	號	
普通文官最近答案集追錄	法制時報社編 大正七	一	三七	四六四	
普通文官裁判所書記、外務書記生選擧部考試稅務官吏、森林主事試驗及第之秘訣	普通文官裁判所書記、外務書記生選擧部考試稅務官吏、森林主事試驗及第之秘訣	一	三八八	八九	
普通文官裁判所書記警部巡査部長普通試驗問題正解	普通文官養成學會編輯部編 大正八	一	五四六	一七三	
普通文官裁判所書記受驗要義	大島正義編 大正一五	一	三六四	一二一	
普通文官就職顧問	後藤進二 大正六	一	三五〇	二八七	
普通文官試驗問題模範答案集	林儀一郎編 大正三 五五〇頁	一	五四六	二八	
普通文官受驗提要	星野武雄 大正一四	一	二	四七四	
同 改訂二二版 大正七	原友己、古川喜九郎 改訂一六版 大正五	一	二	四七四	イ
普通文典	落合直文 大正四（新撰百科全書第一二六編）	一	七八	九三	
普通理論化學	秋吉重雄編 大正二	一	四七	五〇五	
物價安定論	アービング・フヰッシアー著 文明協會譯 大正一五	一	五五七	五	
佛開解梵志阿颰經	吳、支謙譯（大正新脩大藏經第一卷 阿含部上ノ內 大正一三）	特	四四	三七四	
同			八六	三九一	
二日醉芭蕉	萬象亭（國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ內 大正三）		三三〇	四九	ろ
佛覺三色慄傳像	惠海（續淨土宗全書第一四ノ內 大正一三）		三二四	六三	
物價決定の法則	ケムメラー著 糸井靖之、大田信吉譯 大正一〇	一	五〇二	二七七	
物價指數	明治三三年一〇月至大正八年一二月 日本銀行調査局編 大正九	一	三七八	九六	
物價指數研究	郡菊之助（商業經濟論叢第四卷ノ內 大正一五）		五〇七	一五九	

		冊	函	號	
物價指數研究	郡菊之助（商業經濟論叢第四卷ノ內 大正一五）		五〇七	一五九	イ
物價調査報告	第一輯 兵庫縣編 大正一二 九九頁	一	五一八	二六	
物價調節ト國民一般ノ責任	濱岡光哲 大正一一 二八頁	一	三九七	二七一	
物價調節と小運送費	橋本信次郎 三八頁	一	三九三	四三六	
物價調節ニ關スル施設	第三輯 愛知縣編 大正一二	一	五一八	二七	
物價騰貴對策	日本銀行調査局譯 大正九	一	三七二	三五四	
物價騰貴と其對策	神戸高等商業學校商業研究所編（同校）商業研究所彙報第五號） 大正九	一	一四五	四三	
物價騰貴と通貨縮少	ケマラー著 大脇順路譯 大正一四 九一頁	一	三九三	七五三	
物價騰貴の研究	豊浦與七 大正一四（救化資料第一一輯）	一	三九三	七二九	
物價騰貴の際は何に投資すべきか	丹羽豐 大正七	一	三七三	二四五	
物價騰貴の眞相	佐藤密藏（經濟及社會叢書第一編） 大正八	一	三九〇	六	
物價騰貴論	レートン著 增井幸雄譯 大正二	一	三三三	四三〇	
物價統計及外國貿易統計	藤本幸太郎（統計局統計講習會講演錄ノ內 大正一三）	一	五一八	四八	イ
物價と生活問題	フレデリック・シーホー著 宮地武夫譯 大正九	一	三六二	二三一	
物價の見方	下田將美 大正一三（通俗財政經濟大系第一〇編）	一	五二七	六六	
物價百年史	樋口麗陽 大正六	一	三六一	一四四	
物價表	バートソン、セルデン著 野村銀行調査部抄譯 大正一〇 八六頁	一	三九三	五一八	
	明治三三至大正八、九年上半期至一一年上半期 農商務大臣官房統計課編 大正九至一二	四	一四四	四八五	

		冊	函	號	
物價問題	井上辰九郎（經濟時事講演集第二輯ノ內 大正七）	一	一四五	四三	
物價問題	小川鄉太郎 大正一二（越佐夏季大學講演集第一回第三輯）	一	三九三	七五三	
物價問題	高城仙次郎 大正一五	一	三七三	二四五	
物價問題に就て	河津邇（銀行叢書第三編） 大正一三	一	五〇八	三〇	
物價問題に就いて	津村秀松（婦人文化講座第二輯ノ內 大正一二）	一	五一八	二七	
物價論の一考察	田中金司 大正一四（神戸高等商業學校）商業研究所講演集第一九册）	一	三七二	三五四	
佛鬼軍	鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第九卷文藝部上ノ內 大正一五）	一	一四五	四三	
佛吉祥德讃	寂友造 宋、施護譯 三卷（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內 大正一四）	特	四四	三七四	
佛經供養表白	（續群書類從第二六輯ノ下釋家部ノ內 大正一四）		八六	三九一	
佛光寺小部集	佛教史學會編（戊午叢書第四編） 大正一二		三三五	三	
佛光寺中興了源上人傳	唯了（眞宗全書第三五卷ノ內 大正三）		三四六	七	
佛光錄	祖元 二卷（禪學大系祖錄部第四卷ノ內 明治四五）		三三〇	一八	
佛果擊節錄	宋、重顯拈古 克勤擊節 二卷（大日本續藏經第五八三册ノ內 明治四五）		三三五	二	
佛果克勤禪師心要	子文編 四卷（大日本續藏經第五九九册ノ內 明治四五）		三三五	二	
佛軍航空戰史	陸軍航空本部編 大正一四		一五四三	七五	

		冊	函	號	
フツク氏國民經濟學解說	フツクス著 栗原美吉譯 大正一三	一	五三三	二〇	
フツクス氏國民經濟學解說	德溫等編（大日本佛教全書第九五册ノ內 明治四五） 一〇卷	一	三五三	一〇	
同		一	八〇	三二	イ
		一	八〇	三三	イ
		一	二三五	三	
		一	三四六	七	
		一	三三〇	一八	
		一	三三五	二	
		一	三三五	二	
		一	五四三	七五	

	冊	函	號
佛軍大部隊戰術的用法教令草案（千九百二十二年發行佛國統帥綱領案）今村勝次譯 大正一二	一	三一八	四九九
佛教音樂略解 寫本	一〇	二〇五	二一八
佛教改革家日蓮 井上義澄譯編 大正一五	一	五三三	一五四
佛教改革論 附 宗教的社會主義の研究 豐田劍陵 大正一四	一	五三三	一二二
佛教概說 山邊習學 大正一三（釋尊研究叢書第一編）	一	五二七	七
佛教概論 加藤咄堂 大正六（佛教大觀第一編）	一	三六九	一一
佛教概論 金子大榮 大正八	一	三二四	五九六
佛教概論 龜川教信 大正一四	一	五一一	八四
佛教概論 佐々木月樵 大正六	一	三二五	二五五
佛教講演集（夏期講習會）關西佛教青年會編 明治四五至大正六	三	三一八	一七
第一八回 眞宗の教義と華嚴經（花山大安） 鎌倉時代に於ける布教の經路（原勝郎） 秘密教義の一端（和田大圓） 冷暖自知（米田仁禮） 三禮文大意（吉谷覺壽） 般若心經解題（田村德海） 天親菩薩の願生淨土に就て（薗田宗惠） 宗教の權威（桑木嚴翼） 南絢所感（松岡寬慶） 禪宗の起源（松本文三郎） 二利願行（藤島了穩） 佛教社會觀（赤松連城） 信仰の對象（森達立）			
第二一回 宗教活動の諸方面（姉崎正治） 佛教の社會的方面（松本文三郎） 佛陀の三毒（田村德海） 八正道に就て（野々村梅所） 台密と東密（長谷寶秀） 廻向の生活（大村桂巖） 萬法歸一（天岫接三） 輪廻轉生（森達立）			
第二二回 一心論（天岫接三） 道德生活と宗教生活（藤井健次郎） 信仰と道德（森川智德） 印度思想と實生活（松本文三郎） 宗教と科學（マック・ガヴアン） 宗教の將來（大槻快尊） 法華經の解題（田村德海）			
佛教講演叢書 護法館發行 大正八	一	三七五	二七
第一卷 自然科學と宗教（石川成章）			
佛教講話 苦悶より解脫へ 加藤亮將 大正一二	一	五〇四	二三一
佛教學 無礙光社發行 第一卷第一號（大正一三年四月）ヨリ「無礙光」ノ改題		三雜	三ロ
佛教各宗大意 下卷 伊藤義賢 大正八	一	三二四	六一二
佛教各宗大意 平安專修學院編 大正一五	二	五一一	一四三
佛教各宗に於ける聖德太子の信仰 大屋德城 大正一〇	一	三二四	六三三
佛教學叢書 佛書研究會（後、金尾文淵堂）發行 大正三至一一	三	三二四	四二二
第一編 淨土教の研究（望月信亨） 第二編 佛教之美術及歷史（小野玄妙） 第三編 大乘起信論之研究（望月信亨）			
佛教各派源流 鷲尾順敬（世界聖典全集後輯第一五世界聖典外纂ノ內 大正一二）		三三五	三七二
佛教から觀たる人生 南條文雄（釋迦一代記ノ附錄）		五三三	一一三
佛教救世軍叢書 柿花啓正 三版 大正四、五	二	三五	二七〇
第一編 本軍之使命 第二編 進擊的佛教			
佛教管見 財津忠藏 大正七	一〇	一〇	三〇七
佛教藝術とその人物 松本文三郎 大正一二	一	五一一	三六
佛教藝術の研究 平子鐸嶺 大正三 七七〇頁	一	三四九	二八八

	冊	函	號
佛教々化運動の將來 椎尾辨匡（時局講演集第三回ノ內 大正九）		三七〇	五五
佛教々理概論（緣成思想體系）下村春之助 大正一五	一	五五九	七
佛教研究法 深浦正文 大正一二（佛教大觀第一〇編）	一	三六九	一一
佛教研究名辭集 オロセンベルグ 大正五	一	三五九	四五
佛教原理と淨土眞宗 雲山龍珠 大正一四	一	五一一	一〇三
佛教國民の理想 高楠順次郎 大正五	一	三二五	四三三
佛教護國經世諸經（現代意譯）長谷川良信譯 大正一一	一	五〇四	三九
佛教古典叢書 中外出版株式會社編 大正一二、一三	六〇	一六〇	一四二
第一編 一言芳談抄 二卷 祖師一口法語			
第二編 光闡百首（顯誓） 今古獨語（同） 顯誓領解之訴狀（同）			
第三編 法然上人傳記附一期物語 三卷（隆寬） 法然上人秘傳 法然上人ノ事			
第四編 續選擇文義要鈔（靜遍）			
第五編 黑谷上人語燈錄 一〇卷（源空撰 了惠編）			
第六編 明義進行集 卷第二、三（信瑞）			
佛教遭難史論 羽根田文明 大正一四〔扉等ノ冠稱ニハ「維新前後」トアリ〕	一	五三三	三七
佛教修身講話 中島觀琇 大正六	一	三二五	二六二
佛教修養講話 和田性海 大正四	一	三二五	三五八
佛教思想講話 附錄 日本佛教發達の徑路 前田慧雲 大正二	一	三二四	三四七
同 增補 大正五	一	三二四	三四七イ
佛教思想講話 前田慧雲 大正一五	一	五三三	一四六
佛教史籍叢書 龍谷大學史學會編 大正一三	一	一五	四一九
い蓮如上人法語集			
佛教辭典 浩々洞編 七版 大正三	一	三五	二二五イ
佛教辭典（梵漢對譯）（飜譯名義大集）荻原雲來 大正四	一	三二四	四三四
佛教十四宗 小野清秀 大正一四	一	五一六	三八七
佛教社會觀 赤松連城（夏期講習會佛教講演集第一八回ノ內 明治四五）		三一八	一七
佛教社會觀序說 石川舜台 大正九	一	三二四	六三一
佛教初期の傳道 薗田宗惠（布教研究會講演集第八回ノ內 大正八）		三二四	五九一
佛教序說 高神覺昇 大正一三	一	五三三	一三
佛教辭林 藤井宣正著 島地大等補 大正元	一	三二四	三二五
佛教史論 赤堀又次郎 大正一二	一	五〇四	一四六
佛教史論 境野黃洋（哲） 大正五	一	三二五	四〇五
佛教新講演 濱口惠璋編 大正六	一	三二五	二六〇
佛教信仰の極致 野依秀一 大正一一 五三〇頁	一	五〇四	一二八
佛教人生觀 南條文雄 大正六	一	三二四	五二七
佛教心理の研究 橘惠勝 大正五	一	三二四	四八九
佛教聖典一日一訓 菅原洞禪編 大正八	一	三九二	一九
佛教聖典概論 深浦正文 大正一三	一	五一一	七二
佛教制度叢書 同發行所發行 大正一四、一五	二	五一一	一一一

		冊	函	號
第一	度及度緣戒牒之研究 （荒木良仙）			
第二	僧綱之研究 （同）	一	五二	二イ
佛教制度叢書	同發行所發行第二 大正一五	一	三九二	三二
佛教制度之研究	荒木良仙 大正一〇	一	四五	五七イ
佛教小史	藤井宣正 訂正 大正一〇 二卷	一	三二四	四五七
佛教捷徑	いろは本義 大八木紋吉 大正四	一	三二四	五六四
佛教大意	境野哲（黃洋）（現代佛教研究ノ內 大正七）	一	三三五	三三六
佛教大綱	村上專精 大正三（現代佛教叢書第一編）	四	三七九	一〇
佛教大學叢書	六條學報社發行 大正八至一〇			
第一編	佛教と歷史 （藺田宗惠）			
第二編	眞宗學史 （鈴木法琛）			
第三編	華嚴大系 （湯次了榮）			
第四編	支那佛教史之研究 （山內晉卿）			
佛教大學論叢	同社發行 第二四二、二四三號（大正一一年二、四月）（「六條學報」ノ改題、第二四四號（大正一一年六月）ヨリ「龍谷大學論叢」ト改題）	一	雜 三 四五	
佛教大觀	丙午出版社發行 大正六至一二	八	三六九	一二
第一編	佛教概論 （加藤咄堂）			
第二編	印度の佛教 （荻原雲來）			
第三編	支那の佛教 （境野哲）			
第四編	日本の佛教 （同）			
第五編	歐米の佛教 （渡邊海旭）			
第六編	禪學要義 （加藤咄堂）			
第七編	佛典の解說 （常盤大定）			
第一〇編	佛教研究法 （深浦正文）			
佛教太原論	中村日暉 大正五	一	一〇二	四三一
佛教大辭彙	第一至三卷 佛教大學編 大正三至一一	三	三三一	一〇四
佛教大辭彙	第一卷 佛教大學編 大正三	一	五二一	二イ
佛教大辭典	織田得能 大正六	一	三九二	三三二
同	訂五版 大正九	一	三六七	七イ
佛教大辭典	第三卷 望月信亨 大正五	一	三九	一一
佛教大無量壽經眞義	田中晴川 大正一一	一	三二四	六六九
佛教道德修養訓話	新井石禪 大正五	一	三三五	三九九
佛教道德十善大意	澤柳政太郎（澤柳全集第四卷ノ內 大正一四）	五二〇	三七	
同		五二〇	三七イ	
佛教地獄極樂論	泉芳璟 大正七	一	三二四	五五八
佛教女性觀	武田豐四郎 大正一一	一	五〇四	二三〇
佛教哲學	小野清秀 大正四（宗教倫理叢書第五卷）	一	三五三	一四
佛教哲學思想大系	三井晶史 大正一三	一	五二一	六三
佛教哲學論	廣瀨文豪 大正一五	一	五三三	二一三
佛教讀本	斯波隨性編 大正八	一	三七二	三三四
佛教讀本	平安專修學院編 大正一五	一	五一一	一四〇
佛教讀本	釋山鬘華（半三郎）編 大正一五	一	五五九	一四
佛教と現代思想	小野清一郎 大正一五	一	五三三	一三六
佛教と國民思想	鷲尾順敬 大正一一（文化叢書第二編）	一	五〇五	二六
佛教と修養	新井石禪 明治四五 七九頁	一	三二四	二八四
佛教の趣味と智識	（誰れにも心得べき一） 渡邊館 大正一〇	一	三九二	二〇七
佛教の新研究	上宮教會編 大正七	一	三二四	五八五
佛教の神髓	富士川游 大正一二 七二頁	一	一六〇	一四〇
佛教の眞髓	丘宗潭 大正六	一	一五	三三六
佛教の世界觀	パウル、ダールケ著 高桑純夫譯 大正一五	一	五三三	二三四
佛教の正しき女性觀	赤沼智善 大正一二（合掌叢書第一編）	一	五一五	六六
佛教の倫盜戒に就きて	長井眞琴（明治聖德記念學會紀要第一〇卷ノ內 大正七）	一四、五		一
佛教の女性觀	高島米峰（現代社會問題文化大學十六講ノ內 大正一二）	五三五		一七
佛教之美術及歷史	小野玄妙（佛教學叢書第二編） 大正五	一	三二四	四三三
佛教美術	小野玄妙 大正一五	一	五一一	一五三
佛教美術概論	小野玄妙 大正六	一	三二四	五四八
佛教美術と上代文化	津田敬武 大正一二（文化叢書第三二編）	一	五〇五	二六
佛教美術に於ける印度と支那との關係	大村西崖（東京帝室博物館講演集第三冊ノ內 大正一五）	一四、五		一
佛教婦人	安井廣度編 大正一二	一	五〇四	二三三
佛教文學概論	小野玄妙 大正一四	一	五一一	一二六
佛教文學叢書	佛教協會編 大正一一、一二	一	五〇五	五四
第二編	佛國土の建設者	三	五〇〇	一八
第三編	白道をふむ人			
佛教の史的研究	藺田宗惠（布教研究會講演集第九回ノ內 大正九）	三二四	五九一	
佛教の社會的方面	松本文三郎（夏期講習會佛教講演集第二回ノ內 大正四）	三一八	一七	
佛教と實業精神	甲斐靜也 大正一五	一	五三三	三五
佛教徒社會事業大觀	佛教徒社會事業研究會編 大正九	一	三二四	六二九
佛教と社會主義	黑田道之助 大正一三	一	五三三	六
佛教と酒肉	長井眞琴（明治聖德記念學會紀要第一五卷ノ內 大正一〇）	一四、五		一
佛教とは何ぞや	西谷順誓 大正五（青年傳道文庫第三編）	一	三五	二七五
佛教渡來前に於ける國家の組織と神道の成立	津田敬武（明治聖德記念學會紀要第一二卷ノ內 大正八）	一四、五		一

フツケ

	冊	函	號
第一編　眞實道（赤沼智善）			
第三編　親鸞意志（源哲勝）			
第四編　人間を緣として（佐々木月樵）			
佛教文化叢書　日本佛教新聞社發行　大正一二	一	五一五	四四
第一　蒙古巡禮（直繼義太郎）	一	五三三	一九四
佛教文化大學講座講習錄　汐川泰仙編　大正一五	一	五四四	八六
佛教用兒童劇　伊達豐　大正一四	一	三八九	一四
佛教より見たる社會主義　田崎達雄　大正八（新思想叢書第一卷）	一	三三四	五二七イ
佛教より觀たる人の一生　南條文雄　大正一四	一	三九二	四六
佛教より觀たる民力涵養　加藤咄堂　大正八	二	五二一	四三
〔佛教聯合會〕講習會講演集　佛教聯合會編　大正一〇、一一	一	三二四	五七七
第四回　自治生活の新精神（後藤新平） 最近に於ける國際の趨勢（杉村陽太郎） 戰後の歐米と日本（粟屋謙） 陪審制度に就て（馬場鍈一） 渡支路査より見たる三教の交涉（常盤大定） 日本佛教史に就て（辻善之助） 社會教育に就て（乘杉嘉壽） 協調の精神（添田敬一郎） 僧侶被選權問題（安藤正純） 大本教に就て（中村古峽） 社會衞生と宗教（永井潛）			
第五回　最近歐洲思想界の所見（木村泰賢） 刑事政策と犯罪（山岡萬之助） 最近歐米の勞働問題（永井亨） 農村問題に就て（山崎延吉） 信仰に就て（小笠原長生） 印度に於ける中印度系の古代佛教藝術（瀧精一） 勞農露國の理想と其實際（北田正元） 婚姻法論（穗積重遠）			
佛教論理學　村上專精、境野黃洋　大正七	一	三二四	五七七
佛教和讃五百題　藤井佐兵衞編　大正五	一	七〇	三六九
佛華嚴入如來智德不思議境界經　隋、闍那崛多譯　二卷（大正新脩大藏經第一〇卷　特）	一	四四	三七四
同		八六	三九一
物權法　第二部　飯島喬平　謄寫版　大正九	一〇	一四	六七二
物權法　（大正一四年度明治大學講義）上卷　霜山精一 謄寫版　大正一四	一〇	一四	七四七
物權法　上卷、下卷第一分冊　末弘嚴太郎　上卷　再版 大正一〇、一一	二	五〇三	六九
同	二	五〇三	六九イ
同	二	五〇三	六九ロ
物權法　（大正一〇年度東京帝國大學講義） 鳩山秀夫　謄寫版　大正一三	一〇	一四	七三二
物權法　早川彌三郎　謄寫版　大正一二	一〇	一四	七〇三
物權法　松本某　謄寫版　大正一〇	一〇	一四	六七一
物權法　（大正一三年度日本大學講義）第三編　山下某 謄寫版　大正一三	一〇	一四	七三五
物權法　橫田秀雄　一八版　大正四　八七四頁	一	四四	三五八ヲ
同　二六版　大正一四　八七四頁	一	四四	三五八ヲ
物權法　第一至六章　橫田秀雄　大正一〇	一	五一二	一九
物權法要綱　上冊　久保久　大正一一	一	五〇三	一二八
同　〔全〕大正一二	一	五〇三	一九六
物權法要覽　普文學會編　大正一三 （法律要覽叢書第八編）	一	三五	二七八
物權法要論　川名兼四郎　大正四	一	三五三	六五

	冊	函	號
物權法要論　早川彌三郎　大正一三	一	五三〇	八
物權法講義　（明治四四年度東京帝國大學講義） 富井政章　謄寫版	一	一四	六四八
物權法借地借家法　法律萬解辭典　石角春之助　大正一二 （日常叢書第三編）	一	五一五	四三
物權法大意　橫田秀雄　大正四	一	三五三	七八
同	一	三五二	七八イ
同	一	三五三	七八ロ
物權法提要　第一、二冊　三潴信三　再版　大正六	二	三六六	七一
同　訂四版　大正七	二	三六六	七一イ
同　第二冊　訂一一版　大正一三	一	三六六	七一ロ
同	一	三六六	七一ハ
同　第一、二冊　訂一三版　大正一三	二	三六六	七一ニ
物權法論　分冊第一、二　山下博章　大正一五	一	五三〇	二三八
物權法論　橫田秀雄　大正一〇	一	五一二	一〇五
佛語經　元魏、菩提流支譯（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ內　大正一四）　特	一	四四	三七四
同	一	三七八	一三
佛國及外國ニ於ケル社會保險論　內務省衞生局編　大正九		八六	三九一
佛國革命とナポレオン　奈翁會編（奈翁全傳第一卷）　大正一一	一	三三四	二四八
佛國監獄制度及同職員會　司法省調査課譯（司法資料第四〇號）　大正一三	一	一四五	五四
佛國經濟組織革新策ニ關スル報告　大藏省臨時調査局編　大正七	一	三二六	三二七
佛國經濟報告　大正一二年二月一五日附、三月一五日及一日附（大正一二）　日本銀行調査局編	二	三九七	四六四
佛國研究　教育學術研究會編　大正六	一	三五六	二六八
佛國絹糸並に人造絹糸工業　桐生高等工業學校染織會編（色染叢書第八ノ內　大正一三）	三八〇		一六五
佛國國師和歌集　鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第八卷歌頌部ノ內　大正一四）	五三九		六七
佛國將校野外必携　參謀本部譯　明治四五	二	三一九	二七四
佛國商事裁判制度　司法省調査課譯　大正一三 （司法資料第五四號）	一	二四五	五四
佛國商船廳ノ事業　遞信省臨時調査局海事部譯　大正七 （同部報告第九號）	一	二四五	一三
佛國借家借地法　司法省調査課譯編　大正一三 （司法資料第三八號）	一	二四五	五四
佛國植民地關稅政策　ジロー著　臨時產業調査局第四部譯 第一課譯（同局調査資料第三五號ノ內　大正八） 附錄　佛國中小商工業ニ對スル信用制度法案　コンバ著　大藏大臣官房銀行課譯　大正四	一	二四一	四一八
佛國庶民銀行概觀	一	三六六	七一ハ
佛國小學讀本　水野葉舟、星野辰男譯　大正一〇、一一 （世界兒童讀本叢書第七、八卷）	一	三六六	六五
佛國禪師文殊指南圖讃　寫本　特	二	二五九	五〇
佛國戰時家賃法　島保譯（司法資料第一〇號ノ內　大正一一）	一	ひ	八一
佛國染料工業復興論　アンリ・ヰタ著　臨時產業調査局第三部譯（同局調査資料第三號ノ內　大正六）	一	四五	五四
佛國中央水難救濟會　起源、發達、組織　帝國水難救濟會編　大正一五　六五頁	一	四二	四八
佛國鐵道罷業ニ就テ　日本銀行調査局（平瀨書記）編　大正九 〔英國ニ於ケル勞働運動ノ變化ニ就テノ合綴〕	一	五二四	四九一
佛國土の建設者　佛教協會編　三版　大正一一 （佛教文學叢書第二編）	三七三		四一
	一	一四五	五四
	一	五〇五	五四

佛國取引所法規	農商務省生産調査會編（取引所ニ關スル外國法規其二）	大正元 六八頁	一	一四七	二四
佛國ニ於ケル屋外運動競技ト體育	アンリ・プュソル著 內務省衛生局譯	大正一一	一	三七八	二八五
佛國ニ於ケル造船及航海補助制度竝ニ其效果	遞信省臨時調査局海事部編（同部報告第四號）	大正六	一	一四五	一三
佛國ニ於ケル主要開港ニ關スル調査	遞信省臨時調査局海事部編（同部報告第一六號）	大正八	一	一四五	一三
佛國ニ於ケル主要食糧農產物ニ關スル戰時政策	臨時產業調査局編	大正九	一	三六八	七七
佛國の財政及び經濟	神戸高等商業學校商業研究所編（同校）商業研究所彙報第六號）	大正一〇	一	一四五	四三
佛國の製鐵問題、佛國の對聯合與國貸附金	日本銀行臨時調査委員會（安倍書記）編	大正八	一	三七二	二一〇
佛國ノ戰後經營ニ關スル施設並調査機關	日本銀行臨時調査委員會（安倍書記）編	大正七	一	三七八	一三
佛國不換紙幣 Assignats に就て	堀田時次郎（一橫濱正金銀行調査課）調査資料第一五號）	大正一一	一	一四五	四九
佛國步兵操典草案	第二部 一九二〇年二月一日發布 偕行社編	大正一一	一	三一八	四八四
佛國勞働者の生計狀態	英國商務院編 明治四五 生產調査會譯		一	三四二	二一
佛國勞働法典	社會局編（勞働保護資料第五輯）	大正一三	一	一四五	一三
佛國錄	顯日 二卷（禪學大系祖錄部第五卷ノ內）	大正元）	一	三三〇	八
佛語會話入門	初學者用 ジュ・ブスケ	大正四	一	三三	一三

佛語教科書文法篇	ルイ・マルシャン著 德尾俊彥等編	大正一五	一	三三	四六六
佛語雜考	岡本保孝自筆稿本（況齋隨筆第七册）	寫本	特 一〇	八三一	二一
佛語心論	師錬述 一八卷（日本大藏經第一〇卷ノ內）	大正五）		三五三	六
佛語心論口訣	智徹記 二卷（日本大藏經第一〇卷ノ內）	大正五）		三五三	六
佛語通信講義	第一輯 初等科前期（第一卷）	楠永光太郎 大正一五	一	三三三	七三八
佛時の用法	ジュ・ブスケ	大正五	一	三三三	一四一
佛語の發音及文法	松井知時編	大正五	一	三三三	一九九
佛語發音記號の知識と練習	加茂正一	大正一三	一	三三三	五七八
佛語發音の研究	關根秀雄	大正一五	一	三三三	七四〇
佛五百弟子自說本起經	西晋、竺法護譯（大正新脩大藏經第四卷本緣部下ノ內 大正一三）		特	四四	三七四
同				八六	三九一
佛藏經	姚秦、鳩摩羅什譯 卷經集部二ノ內	三卷（大正新脩大藏經第一五 大正一四）	特	四四	三七四
同				八六	三九一
佛像造不之論	日雄（日蓮宗宗學全書ノ內）	大正一三）		三五三	三〇 と
佛像集	佛師道直編	寫本	一	一〇五	一〇
佛像新集	權田雷斧、大村西崖	大正八	二	一五九	九〇
佛像双六			一軸	ん	一七五
佛像綜鑒	柴田常惠	大正九	一	三九二	九二
佛像圖解	儀軌之卷 藝術書院編	大正一四	一	三九三	七七三

佛像の研究	小野玄妙	大正七	一	三三四	五六〇
佛像標幟義箋註	義海撰 三卷（大日本佛教全書第七三册ノ內）	大正二）		三五三	一〇
佛像標幟義圖說	義海撰 二卷（大日本佛教全書第七三册ノ內）	大正二）		三五三	一〇
佛三身讃	西土賢聖撰 宋、法賢譯 二卷（大正新脩大藏經第三論集部ノ內）	大正一四）	特	四四	三七四
同				八六	三九一
物產聲類	岡本保孝自筆稿本（況齋隨筆第一七册）	寫本	特	一〇 八三一	二一
佛山堂遺稿	村上佛山（剛）著 末松謙澄編	大正三 二卷		一〇〇	八四
佛式唯心術治療法	安藤瓊巖	大正六	一	六〇	四四八
佛式唯心術治療秘書	安藤瓊巖	大正五	一	六一	一八九
物質觀の革命	田中龍夫	大正一二	一	三六五	二五九
物質主義の沒落	田中龍夫	大正一五 六四頁	一	五九九	一七五
物質の究極的要素	ラツセル著 松本悟朗譯（ラツセル叢書第六篇）	大正一〇	一	三九九	一七
物質の構造概要	平田敏雄	大正一四	一	四六	二六三
物質、變化	吉田弘（自然界の話第九編）	大正一四	一	一五一	三四
佛性論	天親造 陳、眞諦譯 四卷（大正新脩大藏經第三一卷瑜伽部下ノ內）	大正一四）	特	四四	三七四
同				八六	三九一
佛性論節義	賢洲 四卷（日本大藏經第二三卷ノ內）	大正六）		三五三	六
佛昇忉利天爲母說法經	泉芳璟譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第五卷ノ內）	大正一三）		五一五	一〇四
佛昇忉利天爲母說法經	西晋、竺法護譯 三卷（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ內）	大正一四）	特	四四	三七四
同				八六	三九一
佛書解題	大村西崖、中野義照 再版	大正一一		三五三	六
佛所行讃	馬鳴造 北涼、曇無讖譯 五卷（大正新脩大藏經第四卷本緣部下ノ內）	大正一三）	特	四四	三七四
同				八六	三九一
佛所行讃（現代意譯）	池田卓然	大正一〇		一三九二	二七三
佛所行讃（西藏傳譯）	上、中、下 寺本婉雅譯（世界文庫九至一一）	大正一三		三五六	一八五
佛心及其表現	續佛教概論 佐々木月樵	大正八	一	三三五	二五五
佛心鬼語	高島米峰	大正八	一	三八六	六三
佛心解	託何（大日本佛教全書第六七册ノ內）	大正五）		三五三	一〇
佛心凡心一體錄	圓輪述 平松理英校補	大正二	一	三三五	一八〇
佛神論	伴信友稿本 寫本（伴信友遺書ノ內）		特	せ	六三
佛、琉、塊、伊國中央衛生行政機關	內務省衛生局（氏原佐藏）編	〔大正一〇〕		一一四六	一二八
佛垂般涅槃略說教誡經	姚秦、鳩摩羅什譯（大正新脩大藏經第一二卷寶積部下涅槃部ノ內）	大正一四）	特	四四	三七四
同				八六	三九一
同	山上曹源譯（國譯大藏經經部第一一卷ノ內）	大正六）		三六九	五
佛說阿彌陀經講義	齋藤唯信（〔尾張國講習會〕講義錄第七回ノ內）	大正六）		三三四	五三七

		冊	函	號
佛說阿彌陀經甲午記	慧雲 二卷（眞宗全書續編第三卷ノ內 大正五）	三	三四六	七
佛說阿彌陀經記聞	履善 二卷（眞宗全書第二卷ノ內 大正三）	三	三四六	七
佛說阿彌陀經註釋會要	支、徐珂編 大正一四	二〇	一六六	三一七
佛說阿彌陀經丁丑錄	芳英 二卷（眞宗全書第五卷ノ內 大正三）	三	三四六	七
佛說阿彌陀經明煥記	慧忍 二卷（眞宗全書續編第三卷ノ內 大正五）	三	三四六	七
佛說優婆塞五戒相經	鹽崎達人譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第九卷ノ內 大正一三）	五	一五四	一〇四
佛說盂蘭盆經講話	大西良慶著 中井道賢編 大正五	一	三三九	七七〇
佛說戒消災經	鹽崎達人譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第九卷ノ內 大正一三）	五	一五四	一〇四
佛說迦葉禁戒經	鹽崎達人譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第九卷ノ內 大正一三）	五	一五四	一〇四
佛說觀無量壽經講記	靈曜 九卷（眞宗全書第二卷ノ內 大正三）	三	三四六	七
佛說三身壽量無邊經	（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）	三	三五三	六
佛說尸迦羅越六方禮經	（大日本佛教叢書第二輯ノ內 大正六）	三	三六九	二
同	立花俊道譯（國譯大藏經經部第一一卷ノ內 大正六）	三	三六九	二
佛說四十二章經講話	高島大圓 大正八	一〇	一二	三〇一
佛說大無量壽經眞義	卷一、三 田中晴川 大正一二	二	三三四	六六九
佛說斷溫經	（大日本續藏經第七四九册ノ內 明治四五）	二	三三五	二
佛說地藏菩薩發心因緣十王經	唐、藏川（大日本續藏經第七四九册ノ內 明治四五）	二	三三五	二
佛說長壽滅罪護諸童子陀羅尼經	佛陀波利勅譯（大日本續藏經第七四九册ノ內 明治四五）	二	三四六	七
佛說天地八陽神呪經	唐、義淨勅譯（大日本續藏經第七四九册ノ內 明治四五）	二	三三五	二
佛說毘沙門天王功德經	（九一堂叢書第一編ノ內 大正一五）	五	四九	八一
佛說秘密儀軌衆法經總目	（大日本佛教全書第二册ノ內 大正三）	三	三五三	一〇
佛說無量壽經五惡段講話	曉烏敏 大正一三	一	五一六	三二〇
佛說無量壽經三誓偈講話	曉烏敏 大正一三	一	五一六	一九五
佛說無量壽經甄解	直隱 大正二一八卷（眞宗全書第一卷）	一	三四六	七
佛說無量壽經叢書	香草舍發行 大正一五	二	五五〇	二二
佛說目連五百問戒律中輕重事經釋	阿彌陀佛の修行とその淨土 阿彌陀佛とその師との問答（同）			
	明、永海述 二卷（大日本續藏經第四七三册ノ內 明治四五）	二	三三五	二
佛說目連所問經	鹽崎達人譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第九卷ノ內 大正一三）	五	一五四	一〇四
佛說預修十王生七經	唐、藏川（大日本續藏經第七四九册ノ內 明治四五）	二	三三五	二
佛足石歌	鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第八卷歌頌部ノ內 大正一四）	五	五九	六七
佛祖袈裟考	養存撰（大日本佛教全書第七四八册ノ內 大正一〇）	二	三三五	一〇
佛祖正傳禪戒鈔布薩	萬仞編 陸鏡巖譯 大正九	一〇	一九五	二一三
佛祖心燈	（大日本續藏經第七四八册ノ內 明治四五）	二	三三五	二
弗措先生傳及遺稿	關德編 大正一一 四六枚	一〇	二一	五七三

		冊	函	號
佛陀	木村善堯 大正一四	一	五三三	一二一
佛體をたのむか名號をたのむか（眞宗安心論）	第一至五編 石川舜臺	五	五〇四	二七八
佛道手引草	大賢（仙臺叢書第四卷ノ內 大正一二）	五	五〇八	一三
佛道獨案內	松平親該（金岳公子著書集ノ內 大正四）	三	三四八	三〇六
佛道の信仰	上地天逸（印度洋講演集ノ內 大正一〇）	三	八七	二一二
佛陀伽耶（佛教古蹟一覽）	逸見梅榮 大正一四	特 一	四一四	二三
佛陀教說の外延	渡邊楳雄 大正一一	一	五〇四	三六
佛陀傳	長井眞琴 大正一二	一	五〇四	一八七
同	再版 大正一三	一	五〇四	一八七イ
佛陀と幼兒の死	秋田雨雀 大正九	一	三九一	八三
佛陀と孫悟空	武者小路實篤（現代戲曲全集第七卷ノ內 大正一四）		五三〇	二五
佛陀の教	小林一郎 大正一三	一	五二一	六七
佛陀の言葉	（全譯法句經） 友松圓諦譯 大正一三	一	五三三	二七
佛陀の最高哲學とカントの哲學	龜谷聖馨 大正一三	一	五一〇	八九
佛陀の三毒	田村德海（夏期講習會佛教講演集第二二回ノ內 大正四）		三二八	一七
佛陀の生涯と思想	ピッシェル著 鈴木重信譯 大正一一	一	五〇四	一二三
佛陀の聖訓	富田鳳瑞編 大正六	一〇	一一	二六三
佛陀の福音	ポール・ケラス著 八幡關太郎譯 大正九	一	三九二	七三
佛陀の福音	小林鶯里（國民叢書ノ內） 大正一四	一	五一五	九九そ
佛地經論	親光等造 唐、玄奘譯（大正新脩大藏經第二六卷釋經論部下毘曇部一ノ內 大正一五）	特 四四	三七四	
同		八六	三九一	
佛治身經	（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ內 大正一四）	特 四四	三七四	
同		八六	三九一	
佛頂尊勝陀羅尼經釋	清、續法釋（大日本續藏經第四五六册ノ內 明治四五）	二	三五	二
佛聽帽子編	卓善撰（大日本佛教全書第七四册ノ內 大正一〇）	三	三五三	一〇
物的一勘定說に就いて	野本悌之助（商業經濟論叢第一卷ノ內 大正一三）	一	五〇七	一九九
佛弟子經	赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ內 大正一三）	一	五一五	一〇四
佛弟子傳	山邊習學 大正二	一	三四八	四三
佛展	一九二六年 朝日新聞社編 大正一五 六〇頁	一	三三七	三三〇
佛天を仰いて	蜂屋賢喜代（家學文集第二輯） 大正一三	一	五一五	一〇一
佛陀の教	小林一郎 大正一三	一	五二一	六七
佛陀の言葉	（全譯法句經） 友松圓諦譯 大正一三	一	五三三	二七
佛陀の最高哲學とカントの哲學	龜谷聖馨 大正一三	一	五一〇	八九
佛陀の三毒	田村德海（夏期講習會佛教講演集第二二回ノ內 大正四）		三二八	一七
佛陀の生涯と思想	ピッシェル著 鈴木重信譯 大正一一	一	五〇四	一二三
佛陀の聖訓	富田鳳瑞編 大正六	一〇	一一	二六三
佛陀の福音	ポール・ケラス著 八幡關太郎譯 大正八	一	三九二	七三
佛陀の福音	小林鶯里（國民叢書ノ內） 大正一四	一	五一五	九九そ
佛地經論	親光等造 唐、玄奘譯（大正新脩大藏經第二六卷釋經論部下毘曇部一ノ內 大正一五）	特 四四	三七四	
同		八六	三九一	
佛治身經	（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ內 大正一四）	特 四四	三七四	
同		八六	三九一	
佛頂尊勝陀羅尼經釋	清、續法釋（大日本續藏經第四五六册ノ內 明治四五）	二	三五	二
佛聽帽子編	卓善撰（大日本佛教全書第七四册ノ內 大正一〇）	三	三五三	一〇
物的一勘定說に就いて	野本悌之助（商業經濟論叢第一卷ノ內 大正一三）	一	五〇七	一九九
佛弟子經	赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ內 大正一三）	一	五一五	一〇四
佛弟子傳	山邊習學 大正二	一	三四八	四三
佛展	一九二六年 朝日新聞社編 大正一五 六〇頁	一	三三七	三三〇
佛天を仰いて	蜂屋賢喜代（家學文集第二輯） 大正一三	一	五一五	一〇一
佛陀の教	小林一郎 大正一三	一	五二一	六七
佛陀の言葉	（全譯法句經） 友松圓諦譯 大正一三	一	五三三	二七
佛陀の最高哲學とカントの哲學	龜谷聖馨 大正一三	一	五一〇	八九
佛陀の三毒	田村德海（夏期講習會佛教講演集第二二回ノ內 大正四）		三二八	一七
佛陀の生涯と思想	ピッシェル著 鈴木重信譯 大正一一	一	五〇四	一二三
佛陀の聖訓	富田鳳瑞編 大正六	一〇	一一	二六三
佛陀の福音	ポール・ケラス著 八幡關太郎譯 大正八	一	三九二	七三
佛典結集	松本文三郎 大正四（宗教倫理叢書第一卷）	一	三五三	一四
佛傳集成	常盤大定 大正一三	一	五一一	五三
佛典疏鈔目錄	興隆撰 一卷（大日本佛教全書第一册ノ內 大正二）	三	三五三	一〇
佛展圖錄	大正一三至一五年 朝日新聞社編 大正一三至一五	三	三三七	三三〇
佛典に現れたる療病法	佐々木憲德 大正七	一	六〇	六〇九